

松阪市 市民意識調査

【結果報告書】

令和3年12月

松阪市

目次

I	調査の概要	1
	1. 調査目的	2
	2. 調査概要	2
	3. 報告書における図表の見方	2
	4. 標本誤差	3
II	調査結果	5
	ご自身のこと及び松阪市のまちづくりについて	
	ご自身のことについて	6
	市政全般等について	25
	松阪市の個々の課題	
	1. 広報全般について	52
	2. アフターコロナの重点的施策について	66
	3. 若者流出防止対策・大学誘致について	69
	4. 電子申請・届出の利用について	71
	5. 公共施設のコミュニティセンター化について	75
	6. 人権尊重・男女の地位の平等について	79
	7. 松阪市人権施策基本方針(第二次改訂)の改訂について	82
	8. パートナーシップ宣誓制度について	83
	9. 障がい福祉の推進について	84
	10. 松阪市版エンディングノート「もめんノート」の活用推進にむけて	87
	11. 成年後見制度・認知症の相談について	95
	12. がん検診の受診について	97
	13. 移動手段について	119
	14. 企業誘致の推進について	141
	15. 観光施策について	143
	16. 松阪駅西地区複合施設について	156
	17. COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る認知度について	157
III	自由記述	159
IV	調査票	177

I 調査の概要

1. 調査目的

松阪市の市政運営の基礎資料とするため、アンケート調査を行い、市民の市政に対する意識や要望を調査、把握するために実施しました。

2. 調査概要

(1) 調査の名称

松阪市市民意識調査

(2) 調査対象

市内にお住まいの15歳以上の方

(3) 調査時期

令和3年8月16日～令和3年9月3日

(4) 調査方法

無作為に抽出した3,000人の市民への郵送による調査

(5) 回収結果

調査年度	標本数	回収数	回収率(%)	有効回収数	有効回収率(%)
令和3年度(今回)	3,000	1,558	51.9	1,554	51.8
令和元年度(前回)	3,000	1,558	51.9	1,554	51.8
平成29年度	3,000	1,330	44.3	1,330	44.3
平成27年度	5,000	2,376	47.5	2,371	47.4
平成24年度	3,000	1,305	43.5	1,301	43.4
平成21年度	3,000	1,506	50.2	1,505	50.2

※有効回収数:回収した調査票より全て記入のない白票等を無効票とし除いた数

3. 報告書における図表の見方

- ①図表内の「n」は、設問に対する回答の合計数である。
- ②単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとする。
- ③集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ④複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ⑤クロス集計表では性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者総数と数が合わないことがある。
- ⑥本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

4. 標本誤差

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n、回答者数）、回答の比率（p）によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合である。定数 1.96 は、信頼率 95%と設定した場合の定数である。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N：母集団数（調査の対象となる集団の総数）

n：サンプル数（有効回答数）

P：回答比率（ある選択肢の回答割合）

この計算式に従って算出される各調査の標本誤差は以下のとおりとなる。

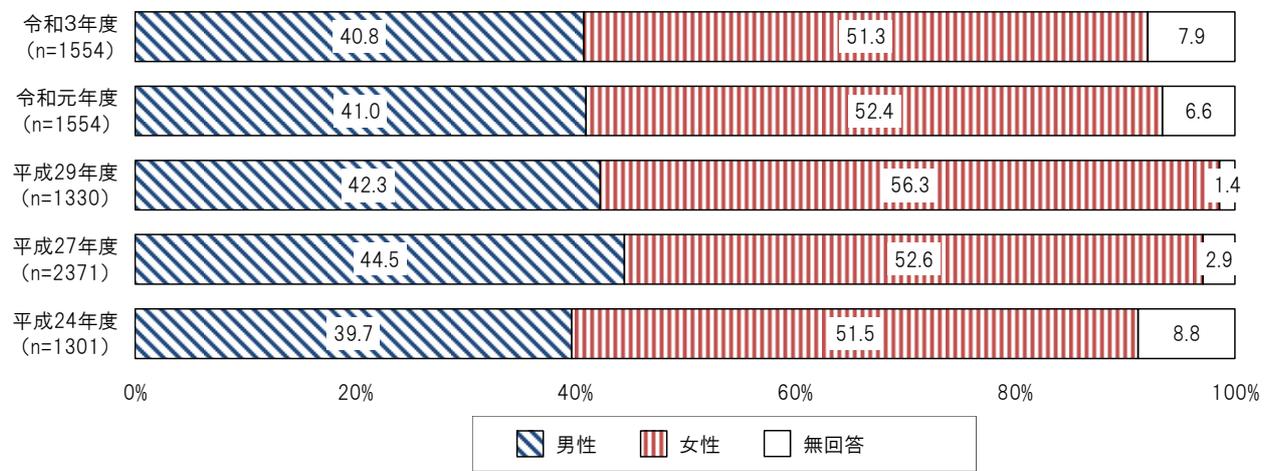
(1) 松阪市市民意識調査（N=161,105）令和3年8月1日現在の住民基本台帳人口

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,554(全数)	±1.48%	±1.98%	±2.27%	±2.42%	±2.47%
634(男性)	±2.33%	±3.10%	±3.55%	±3.80%	±3.88%
797(女性)	±2.07%	±2.76%	±3.17%	±3.38%	±3.45%

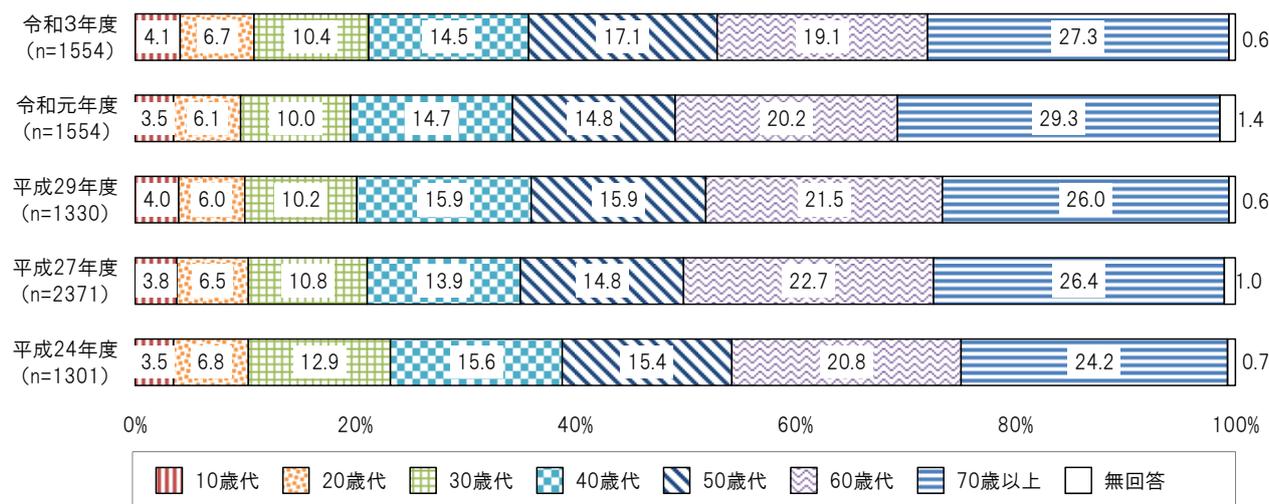
Ⅱ 調査結果

問1 あなたご自身についておうかがいします。

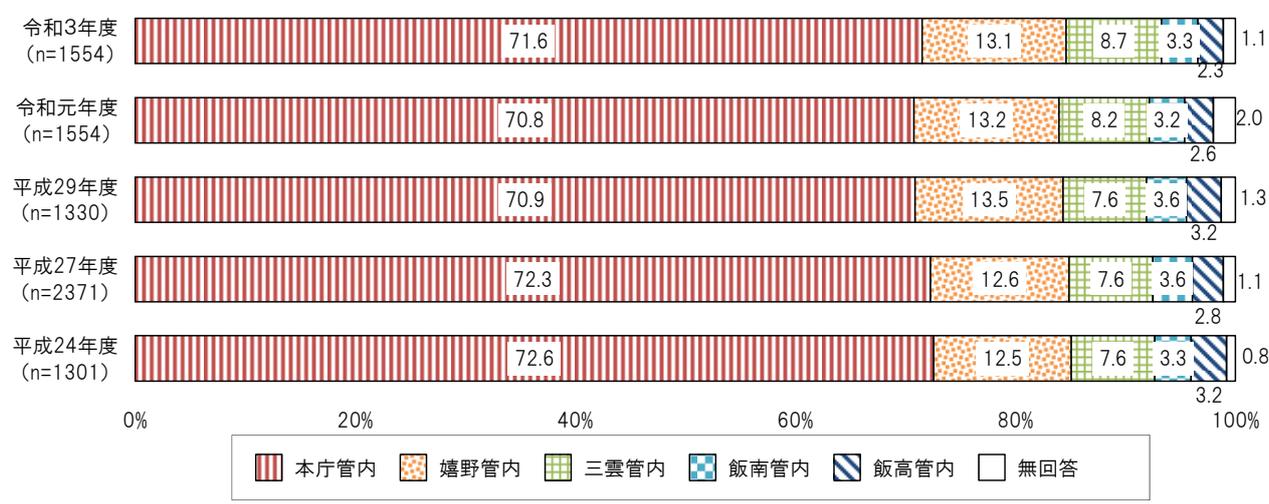
(1) 性別



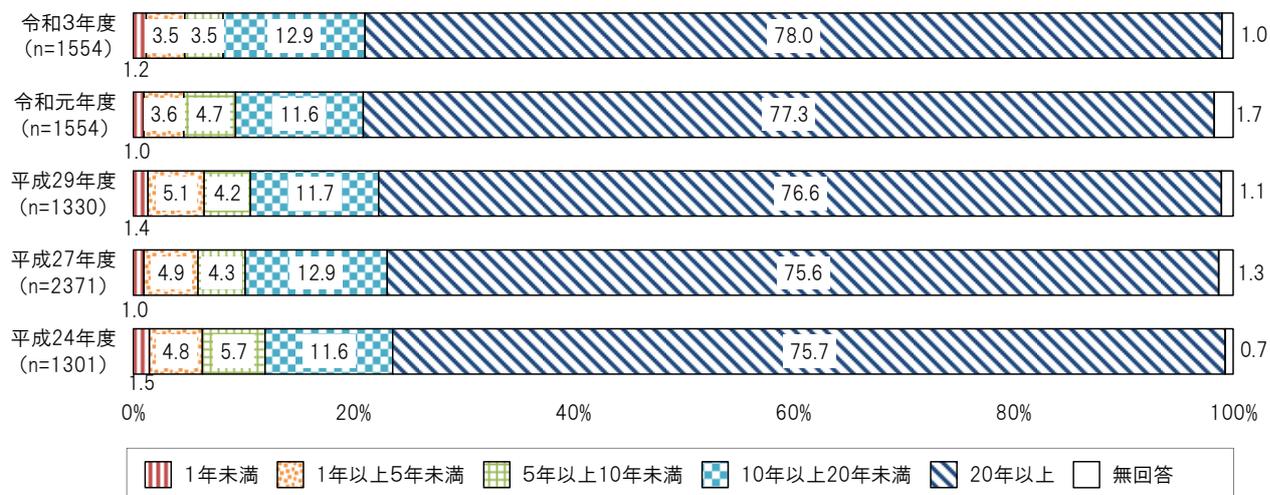
(2) 年齢



(3) 居住地



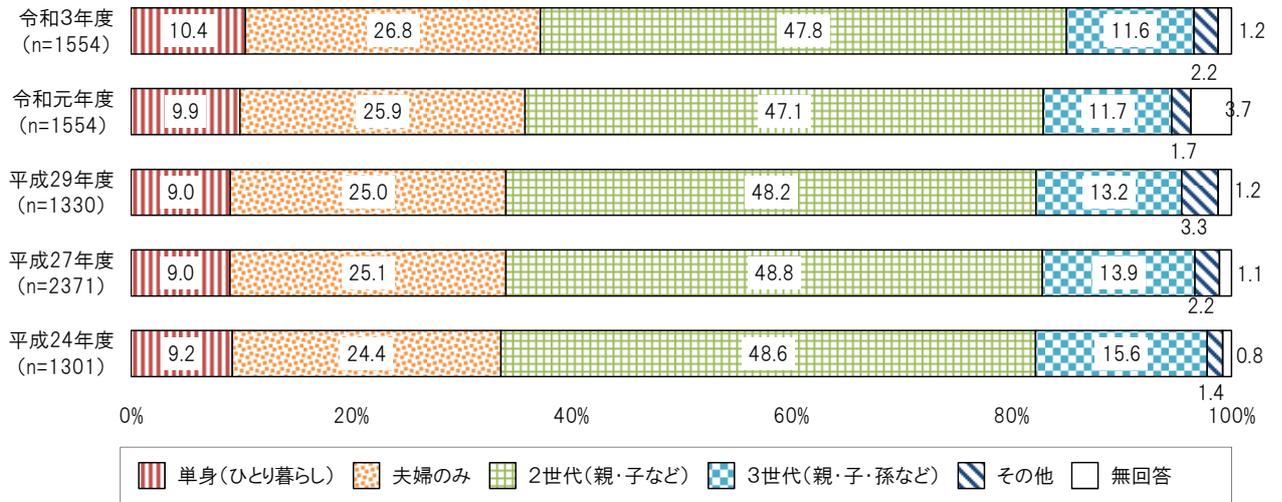
(4) 居住年数



(5) 職業



(6) 家族構成



(7) 婚姻状況



問2 あなたの現在の状況についておうかがいします。

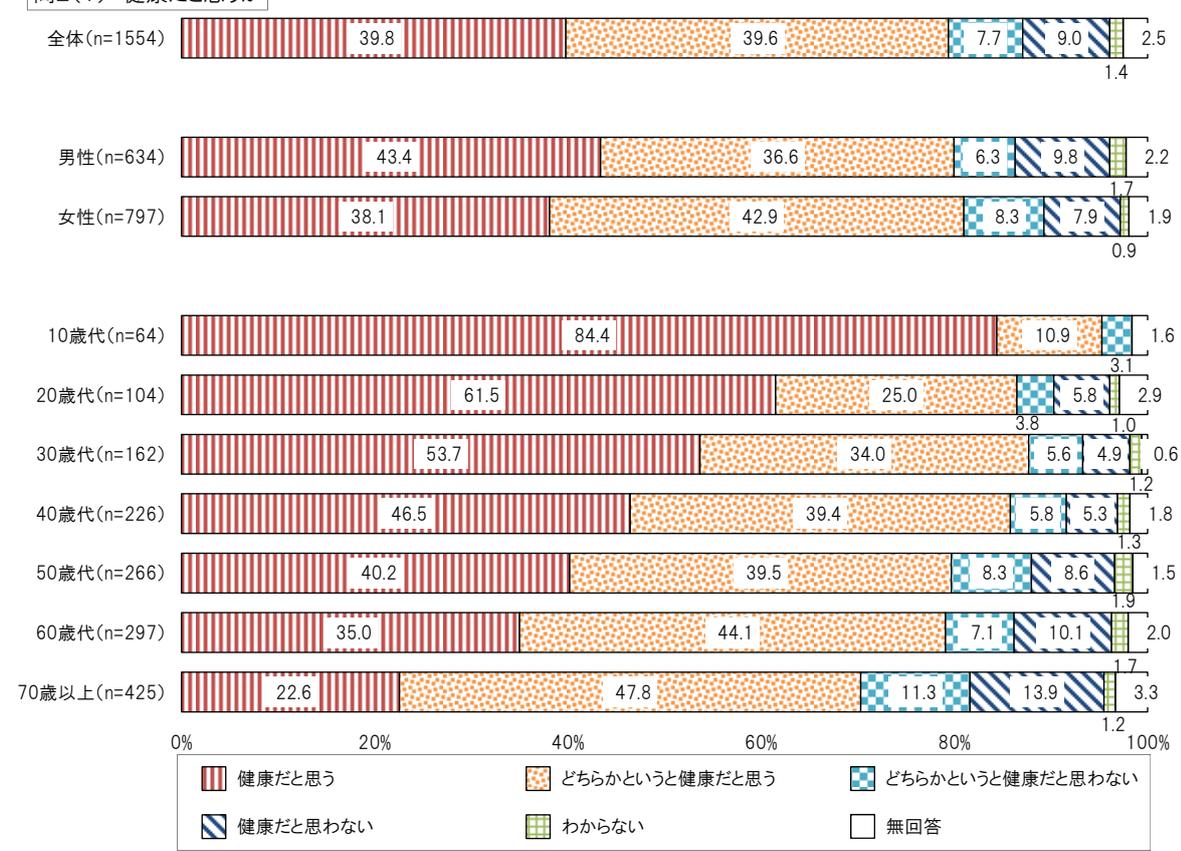
(1) 健康だと思いますか。(〇は1つだけ)

「健康だと思う」が39.8%と最も高く、ついで「どちらかという健康だと思う」が39.6%、「健康だと思わない」が9.0%となっている。

性別にみると、男性では「健康だと思う」が最も高く、女性では「どちらかという健康だと思う」が最も高くなっている。

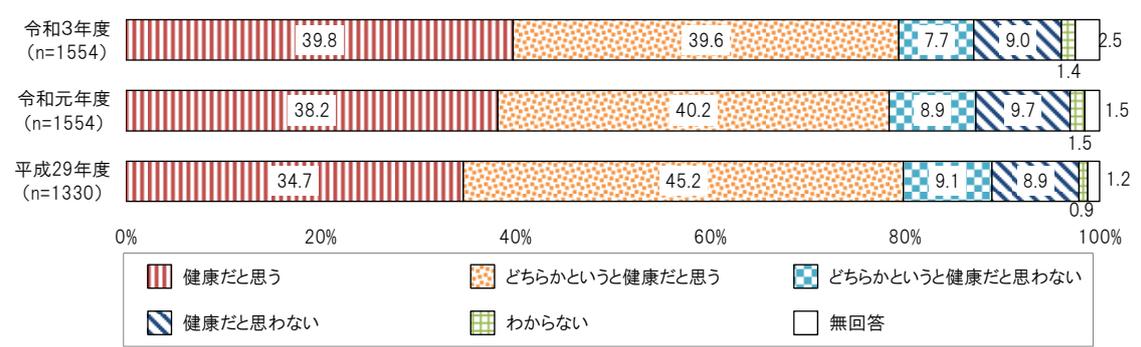
年代別にみると、「健康だと思う」が年代が上がるにつれて減少している一方で、「どちらかという健康だと思わない」「健康だと思わない」が増加している。

問2(1) 健康だと思うか



前回と比較すると、「健康だと思う」「どちらかという健康だと思う」を合計した割合は、前回は78.4%であったが今回は79.4%と若干増加している。また、これまでは「どちらかという健康だと思わない」の方が高かったが今回では「健康だと思う」の方が高くなっている。

問2(1) 健康だと思うか



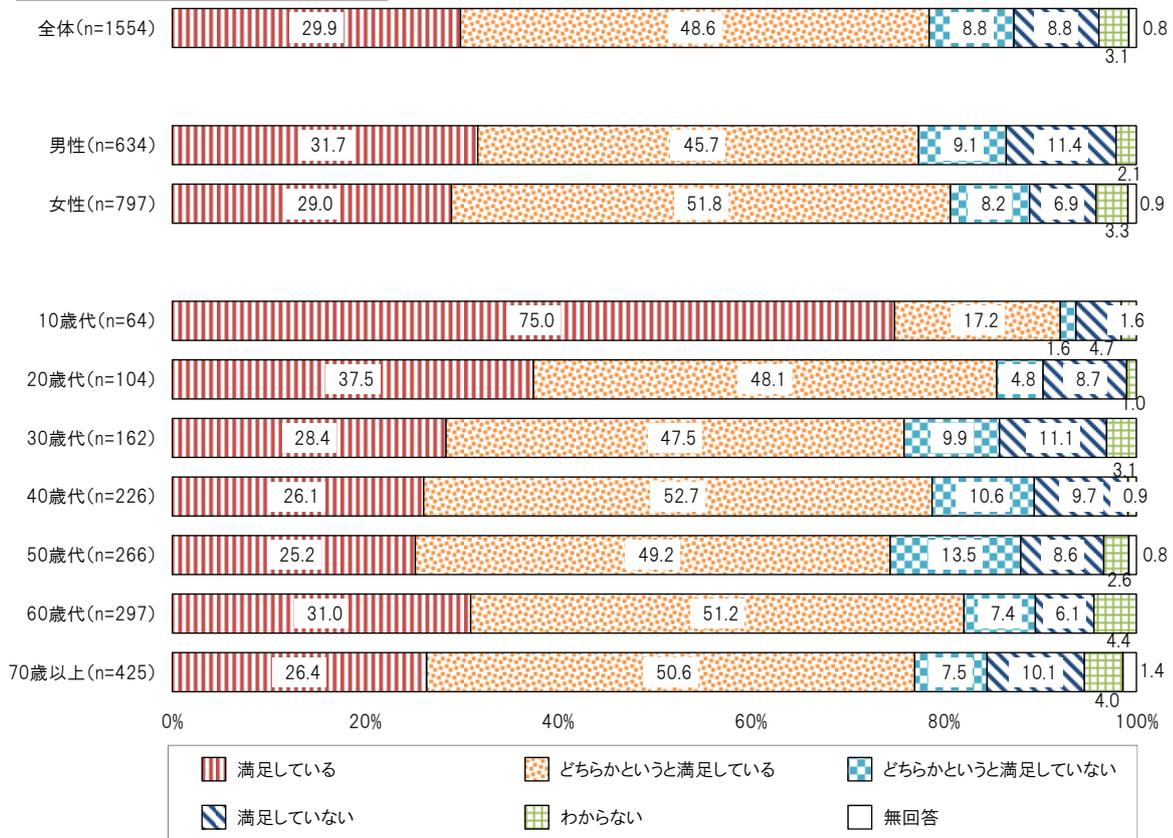
(2) 現在の生活に満足していますか。(〇は1つだけ)

「どちらかという満足している」が48.6%と最も高く、ついで「満足している」が29.9%、「どちらかという満足していない」が8.8%となっている。

性別にみると、女性の方が男性よりも「満足している」「どちらかという満足している」の合計の割合が高くなっている。

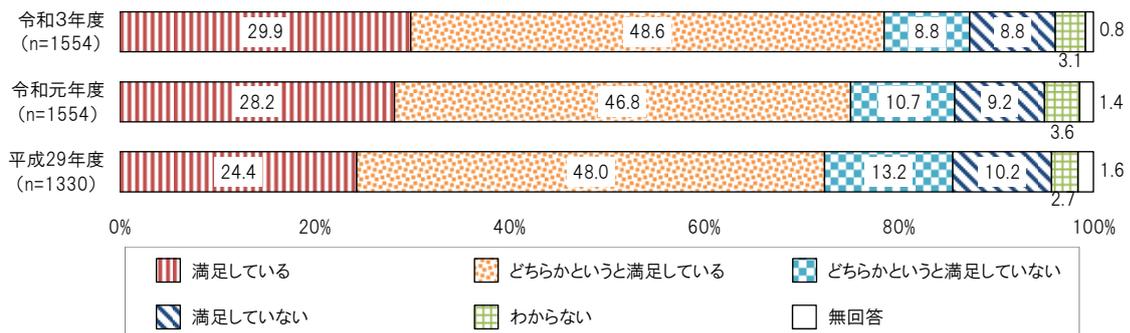
年代別では、10歳代の「満足している」の割合が高く、他の年代よりも30ポイント以上高くなっている。「満足している」と「どちらかという満足している」を合計した割合は30歳代、50歳代、70歳以上で低くなっている。

問2(2) 現在の生活に満足しているか



前回と比較すると、「満足している」と「どちらかという満足している」を合計した割合は前回は75.0%であったのに対し今回は78.5%であり、調査ごとに増加している。

問2(2) 現在の生活に満足しているか



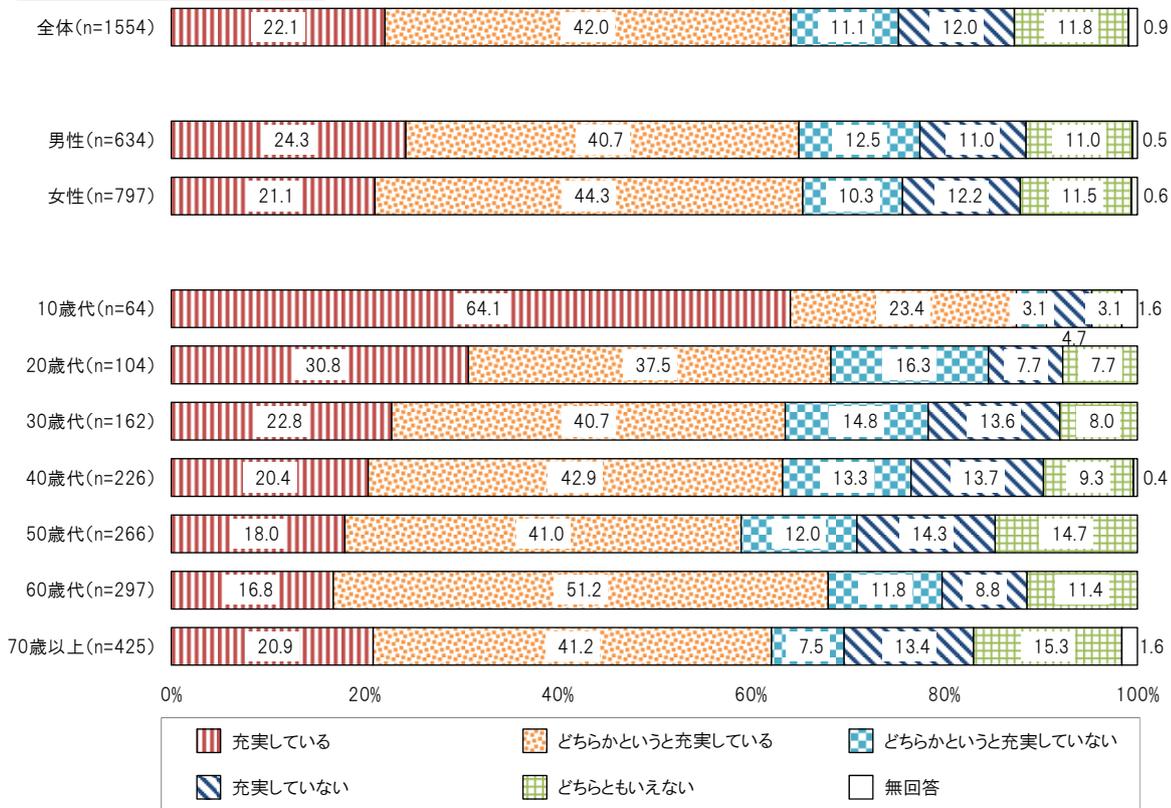
(3) 余暇は充実していますか。(〇は1つだけ)

「どちらかという充実している」が42.0%と最も高く、ついで「充実している」が22.1%となっている。

性別では、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合をみると、男性と女性の間で大きな違いはみられない。

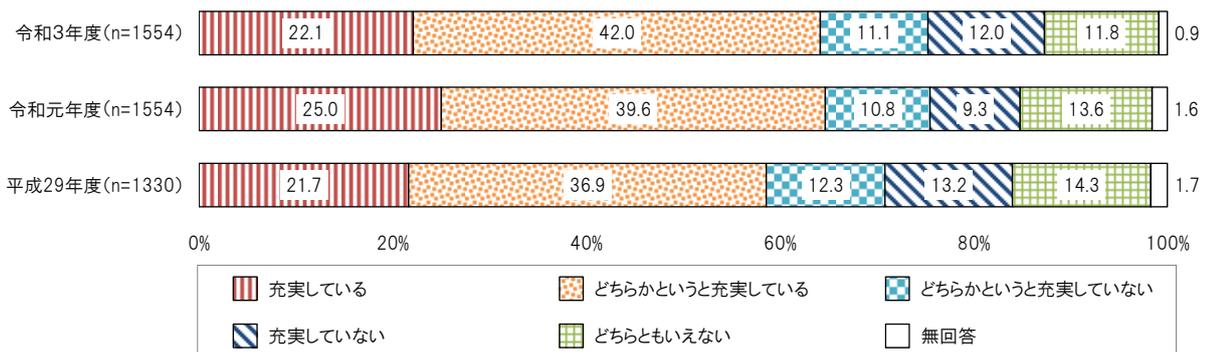
年代別では、10歳代で「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合が最も高く87.5%となっている。その後年代が上がるにつれてその割合は減少するが、60歳代では増加している。最も高い10歳代と最も低い50歳代では28.5ポイントの差がある。

問2(3) 余暇は充実しているか



前回と比較すると、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合は前回が64.6%であったのに対し今回は64.1%と若干減少している。

問2(3) 余暇は充実しているか

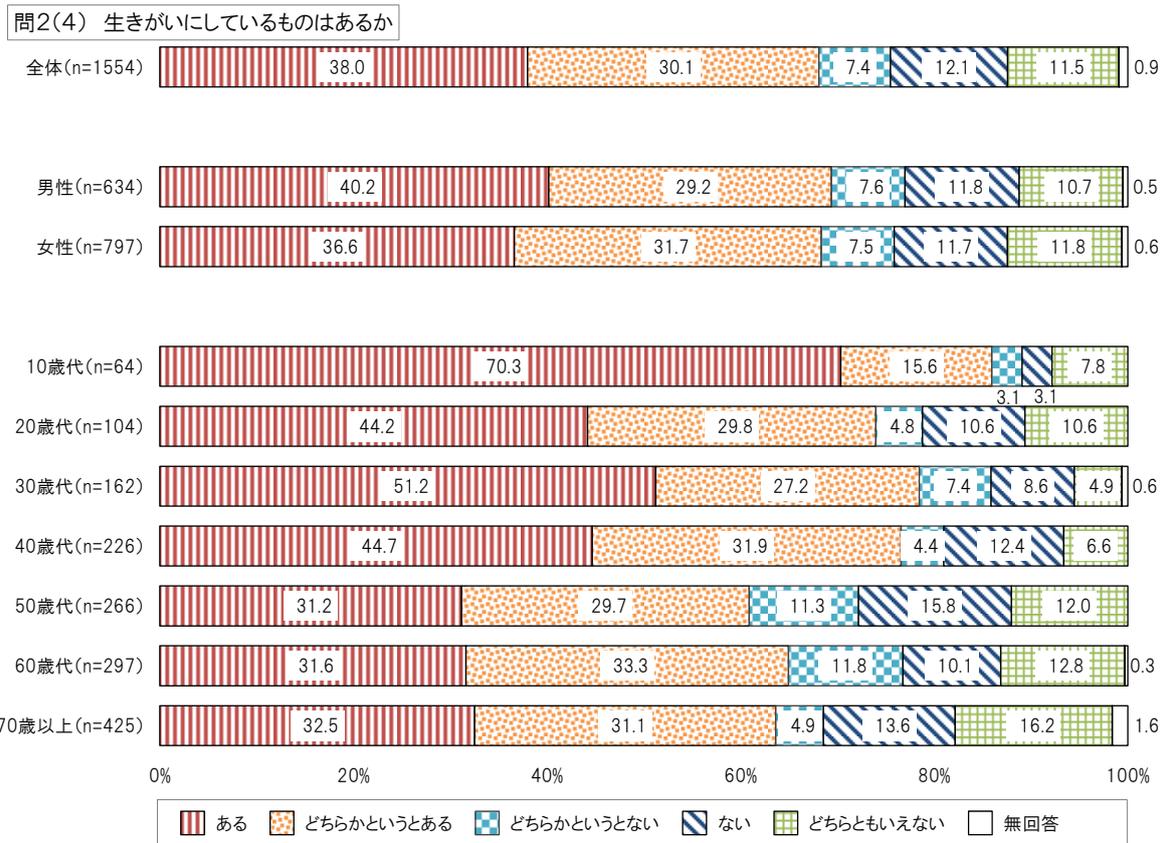


(4) 生きがいになっているものはありますか。(〇は1つだけ)

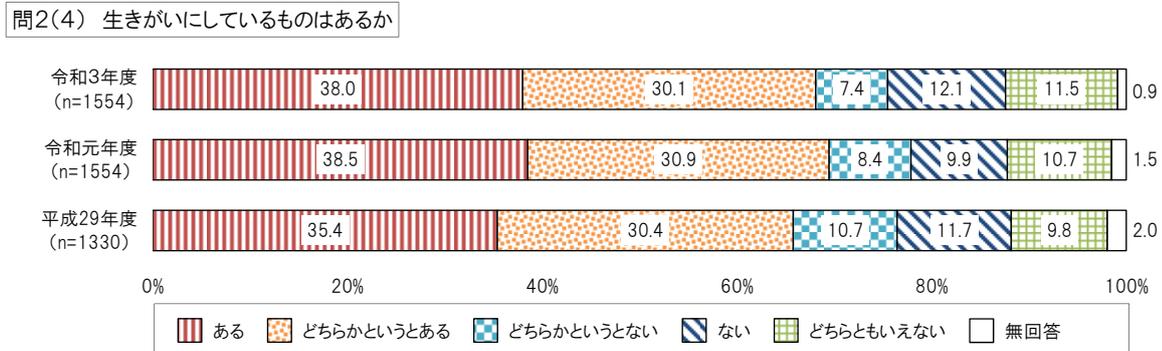
「ある」が38.0%で最も高く、ついで「どちらかというところ」が30.1%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「ある」の割合が3.6ポイント高く40.2%となっている。

年代別にみると、10歳代で「ある」の割合が最も高く70.3%となっており、「どちらかというところ」も含めると85.9%に上る。ついで30歳代で高くなっているが、50歳代以降になると比較的低くなっている。



前回と比較すると、「ある」「どちらかというところ」を合計した割合は、前回は69.4%であったのに対し今回は68.1%と減少している。



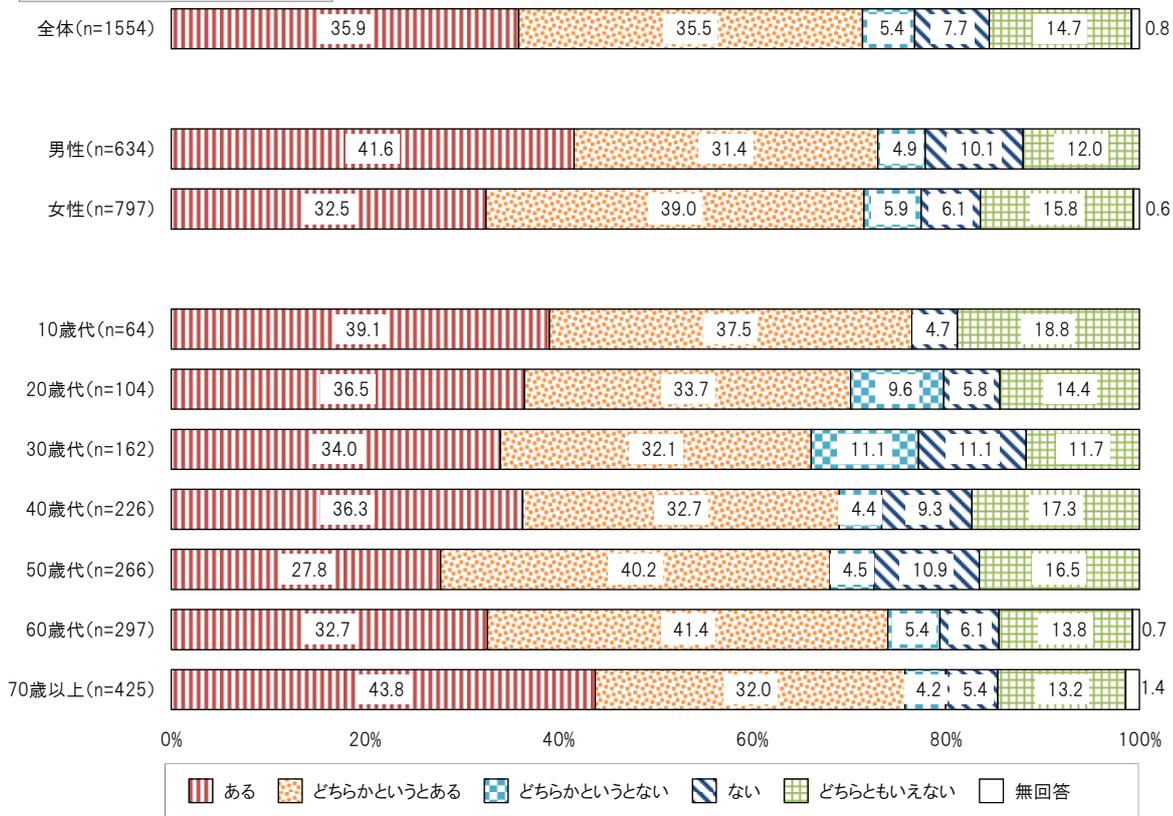
(5) 地域への愛着はありますか。(〇は1つだけ)

「ある」が35.9%と最も高く、ついで「どちらかというところある」が35.5%、「どちらともいえない」が14.7%となっている。

性別にみると、「ある」「どちらかというところある」の合計の割合は男性の方が女性より1.5ポイント高くなっている。

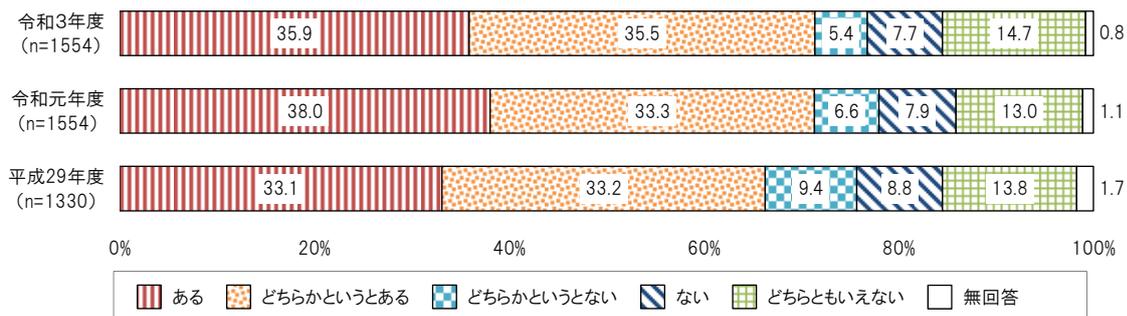
年代別にみると、「ある」「どちらかというところある」の合計の割合は10歳代が最も高く76.6%であり、ついで70歳以上で75.8%となっている。10歳代以降徐々に低くなり30歳代が最も低く、それ以降は年々高くなっている。

問2(5) 地域への愛着はあるか



前回と比較すると、「ある」「どちらかというところある」を合計した割合は、前回は71.3%であり今回も71.4%とほぼ同じ割合となっている。

問2(5) 地域への愛着はあるか

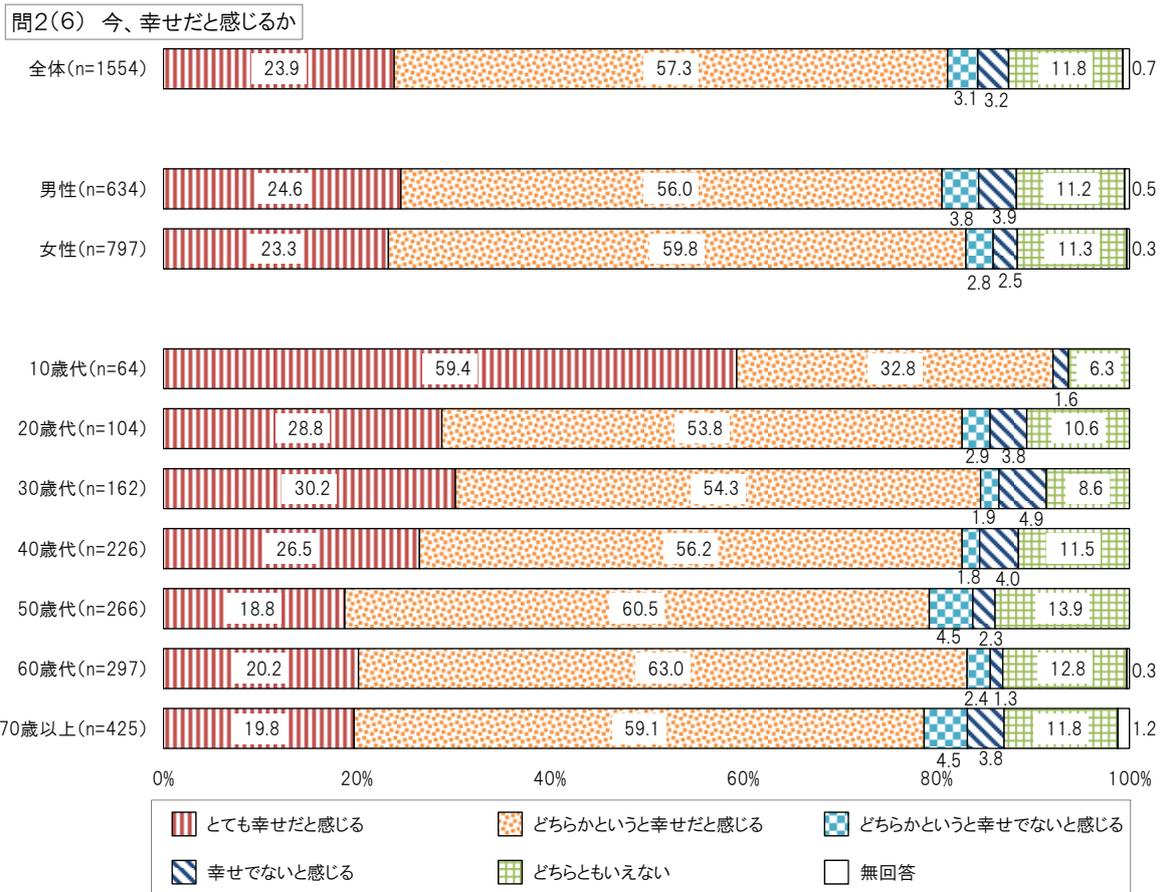


(6) あなたは今、幸せだと感じますか。(〇は1つだけ)

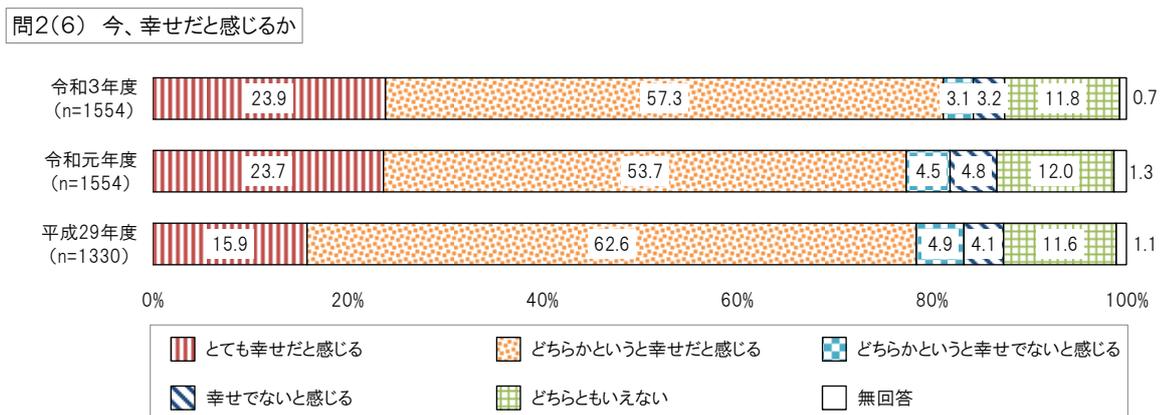
「どちらかという幸せだと感じる」が57.3%と最も高く、ついで「とても幸せだと感じる」が23.9%、「どちらともいえない」が11.8%となっている。

性別にみると、女性の方が男性よりも「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合が高く、83.1%となっている。

年代別にみると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合は10歳代で最も高く、50歳代および70歳以上で低くなっている。



前回と比較すると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合をみると、前回は77.4%であったのに対し今回は81.2%と3.8ポイント増加している。



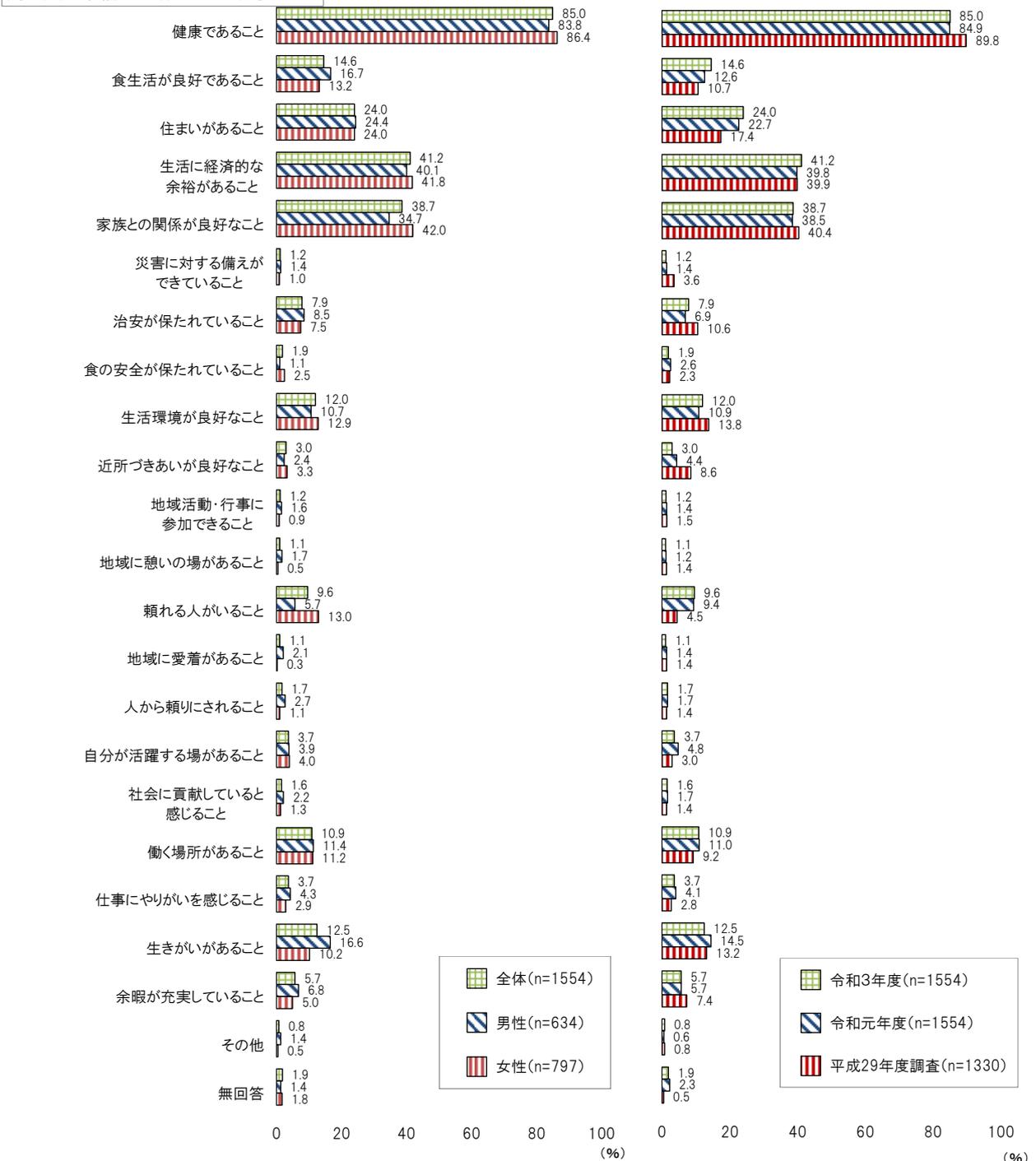
(7) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

「健康であること」が85.0%で最も高く、ついで「生活に経済的な余裕があること」が41.2%、「家族との関係が良好なこと」が38.7%となっている。

性別にみると、「頼れる人がいること」「家族との関係が良好なこと」では女性の方が5ポイント以上高く、「生きがいがあること」では男性の方が5ポイント以上高くなっている。

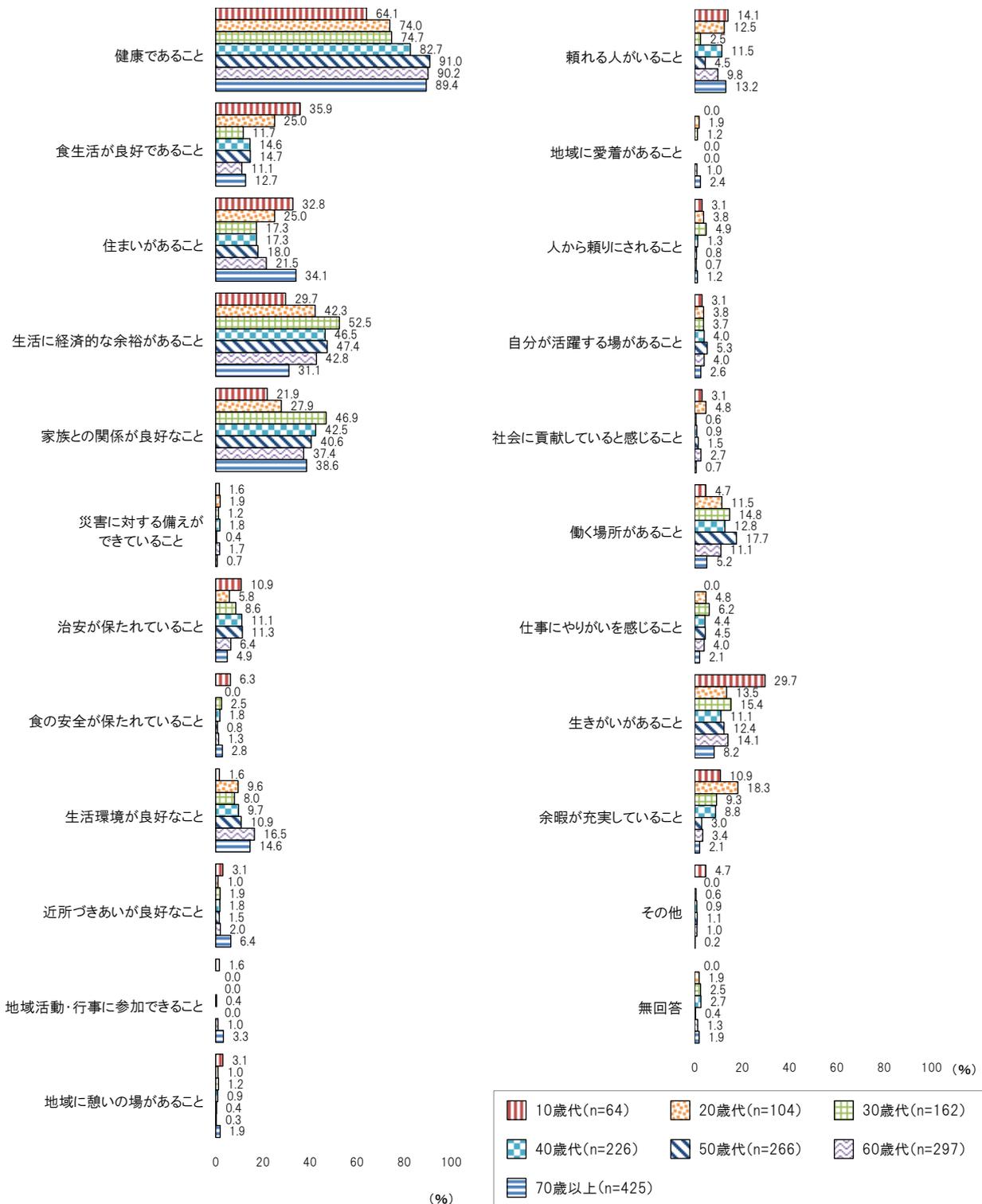
前回調査と比べると、「食生活が良好であること」「生活に経済的な余裕があること」「住まいがあること」などで前回から増加しており、一方で「生きがいがあること」「近所づきあいが良好なこと」「自分が活躍する場があること」などで前回から減少している。

問2(7) 幸福な生活のために必要なこと



年代別にみると、いずれの年代でも「健康であること」が最も高いが、年代が上がるごとに割合は高くなっており、50歳代以降ではほぼ横ばいとなっている。また10歳代と70歳以上を除く年代で「生活に経済的な余裕があること」が2番目に高くなっている。

問2(7) 幸福な生活のために必要なこと



問3 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

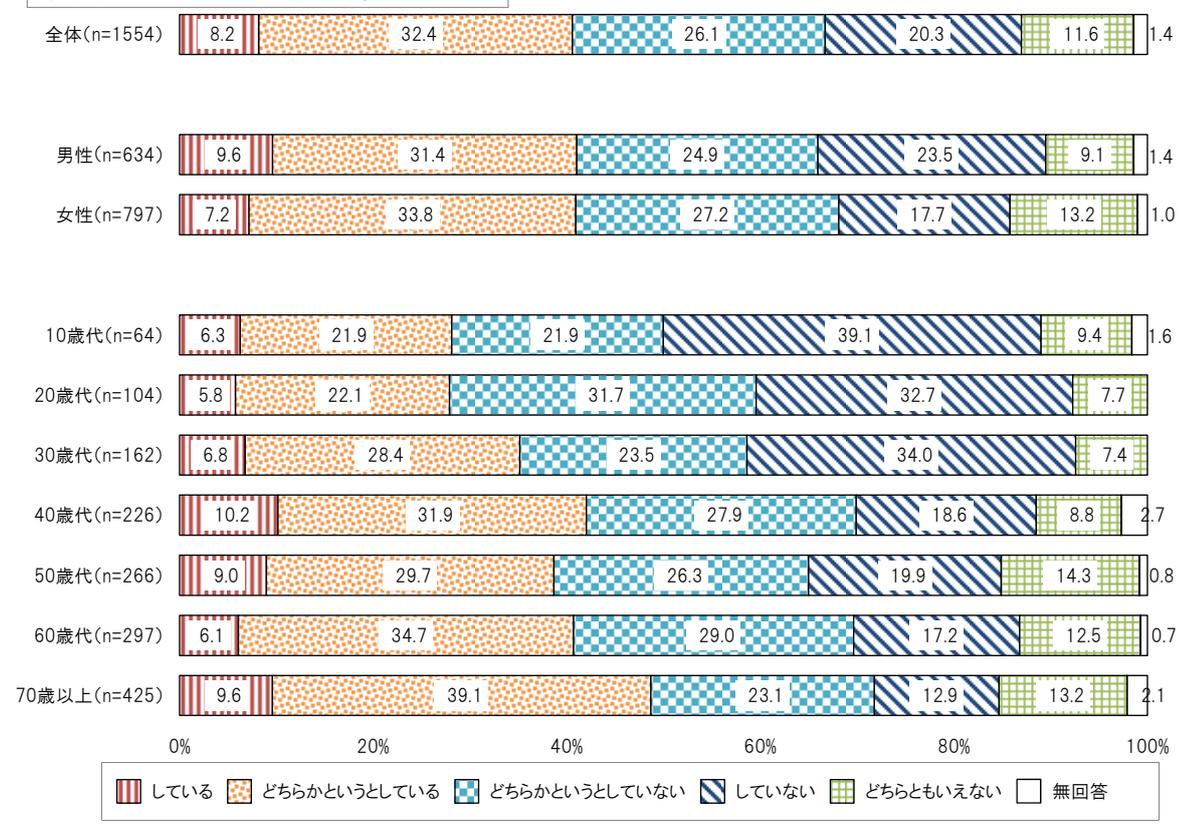
(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというとしている」が32.4%で最も高く、ついで「どちらかというとしていない」が26.1%、「していない」が20.3%となっている。

性別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は、41.0%で男女とも同割合となっている。

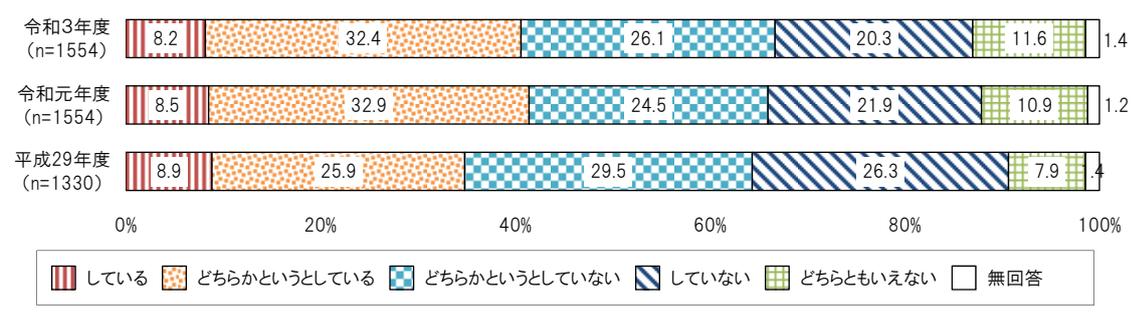
年代別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は70歳以上で最も高く48.7%であり、ついで40歳代で42.1%となっている。最も高い70歳以上と最も低い20歳代では20.8ポイントの差が生じている。

問3(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか



前回と比較すると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は、前回から0.8ポイント減少している。

問3(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか

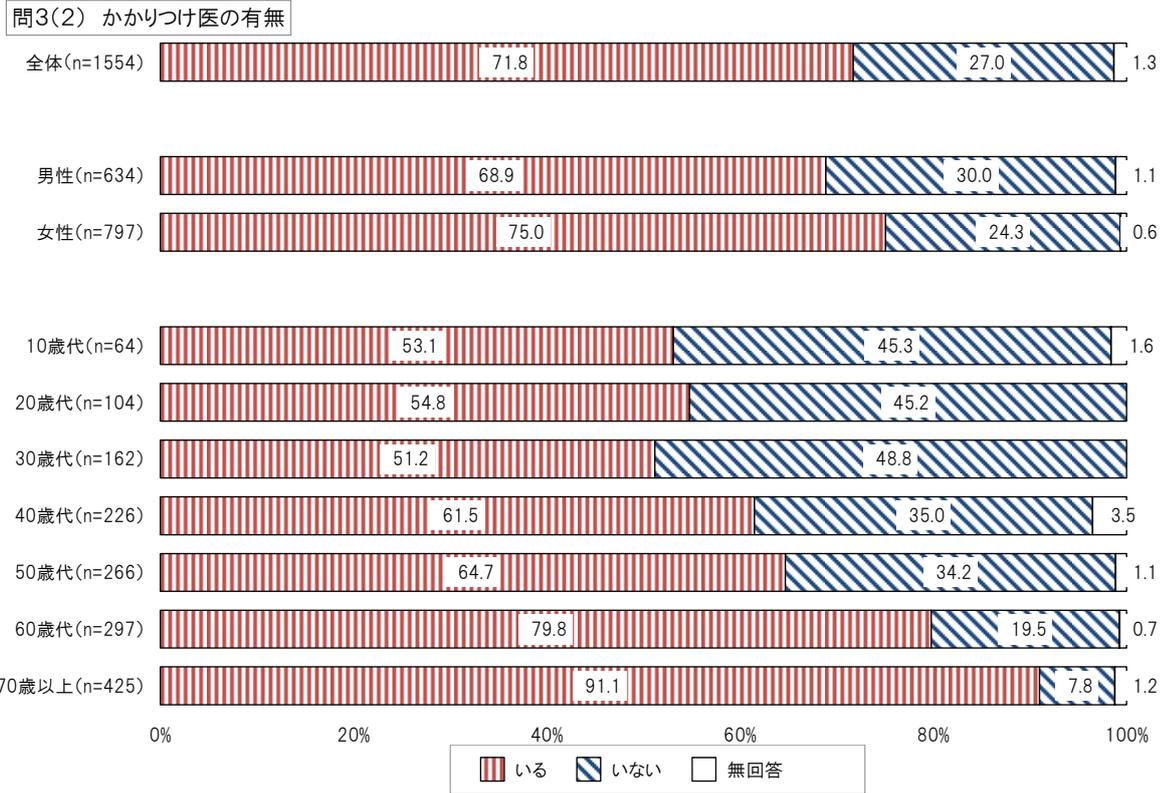


(2) かかりつけ医がいますか。(〇は1つだけ)

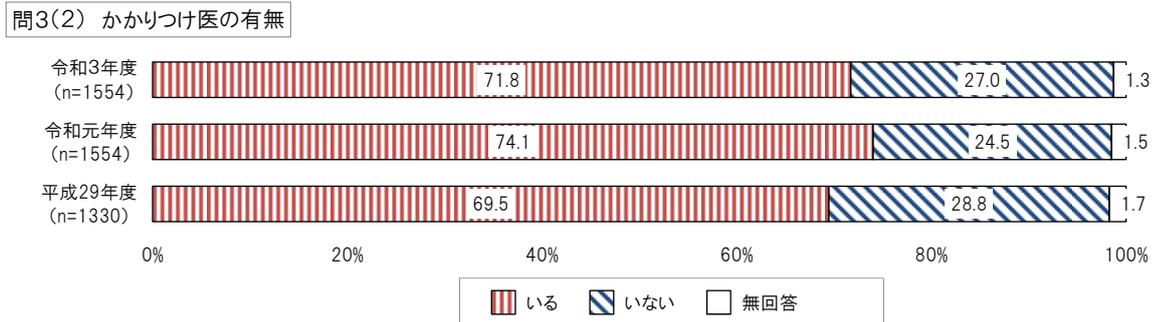
「いる」が71.8%となっており、「いない」が27.0%となっている。

性別にみると、女性の方が男性よりも「いる」の割合が6.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、10歳代、20歳代、30歳代では5割ほどとなっているが、それ以降は年齢が高くなるほど「いる」の割合が高くなっている。



前回と比較すると、「いる」の割合は前回に比べ2.3ポイント減少している。



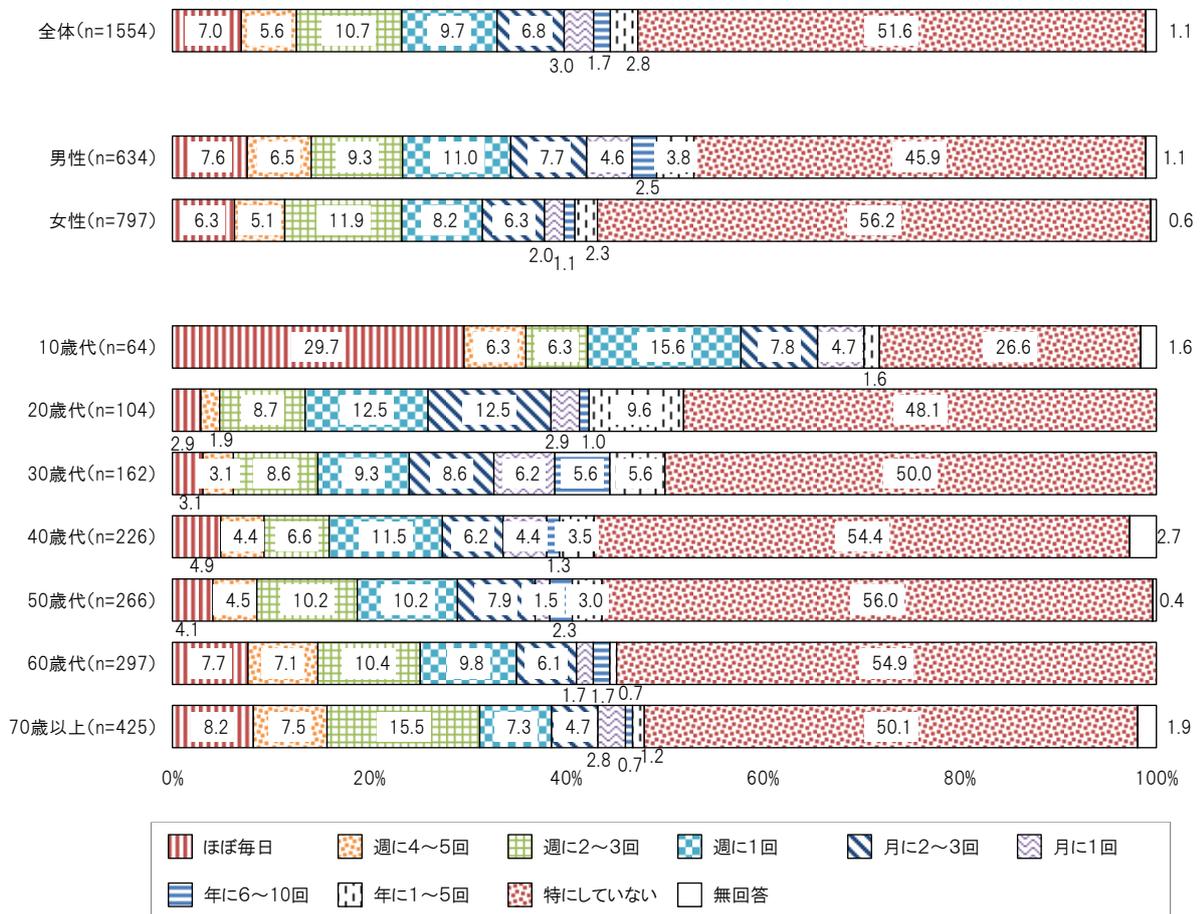
(3) あなたはこの1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。(〇は1つだけ)

「特にしていない」が51.6%と最も高く、ついで「週に2〜3回」が10.7%、「週に1回」が9.7%となっている。

性別にみると、女性では「特にしていない」が56.2%と半数を超えており、男性に比べて10.3ポイント高くなっている。

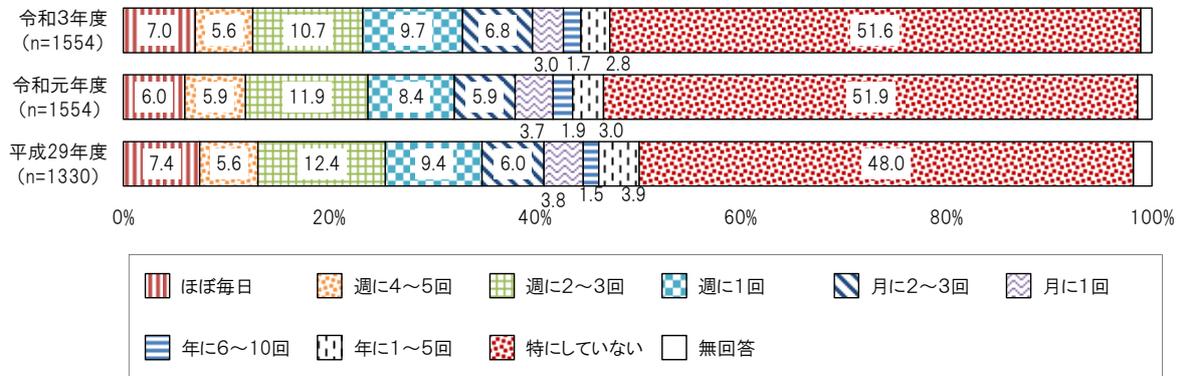
年代別にみると、40歳代以上では「特にしていない」の割合が半数を超えている。また、10歳代では「ほぼ毎日」が29.7%と他の世代と比べ非常に高くなっている。一方、「ほぼ毎日」「週に4〜5回」「週に2〜3回」「週に1回」の合計の割合をみると、30歳代が最も低く24.1%であるが、それ以降年齢が上がるにつれ割合が高くなり70歳以上では38.5%となっている。

問3(3) 運動・スポーツをどの程度行っているか



前回と比較すると、「特にしていない」はほぼ横ばいであり、運動・スポーツを行っている人は全体の半数ほどとなっている。

問3(3) 運動・スポーツをどの程度行っているか



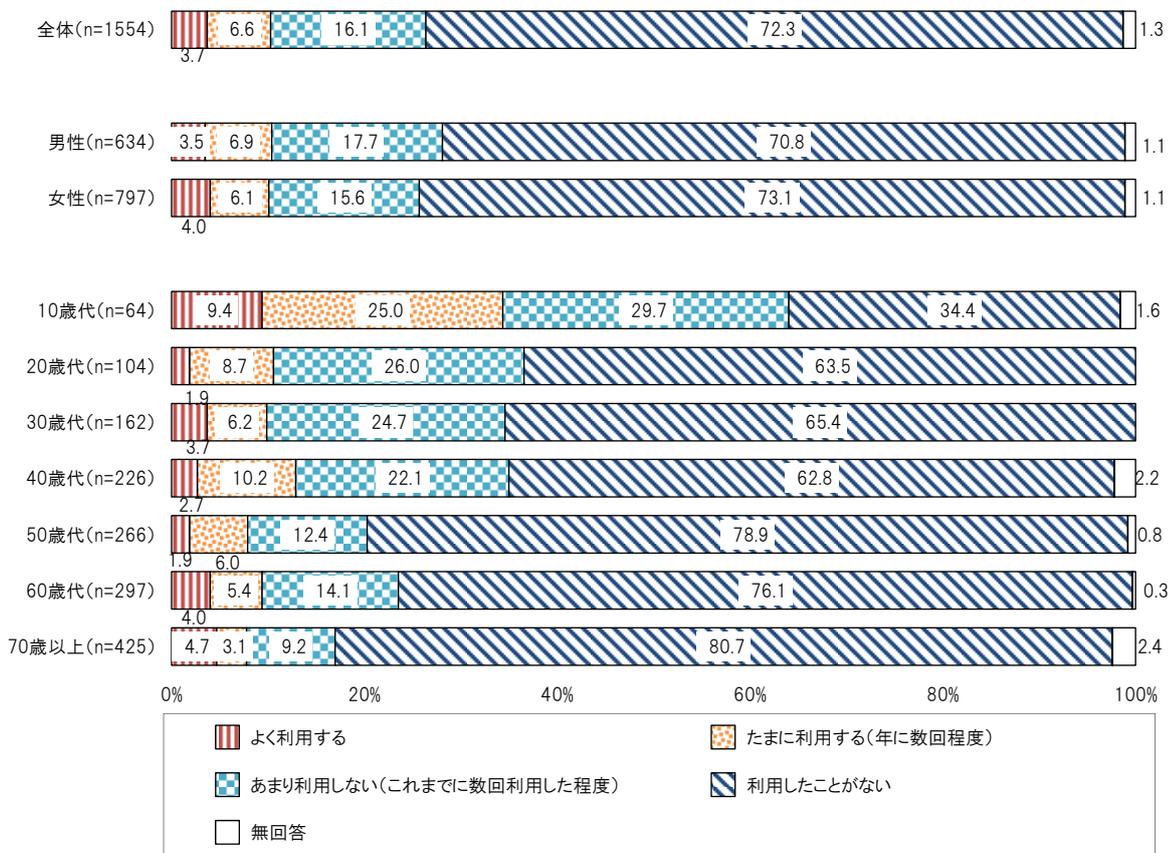
(4) 最近（この2～3年間で）、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。（〇は1つだけ）

「利用したことがない」が72.3%と最も高く、ついで「あまり利用しない（これまでに数回利用した程度）」が16.1%、「たまに利用する（年に数回程度）」が6.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「利用したことがない」が高くなっており、いずれも7割程度となっている。

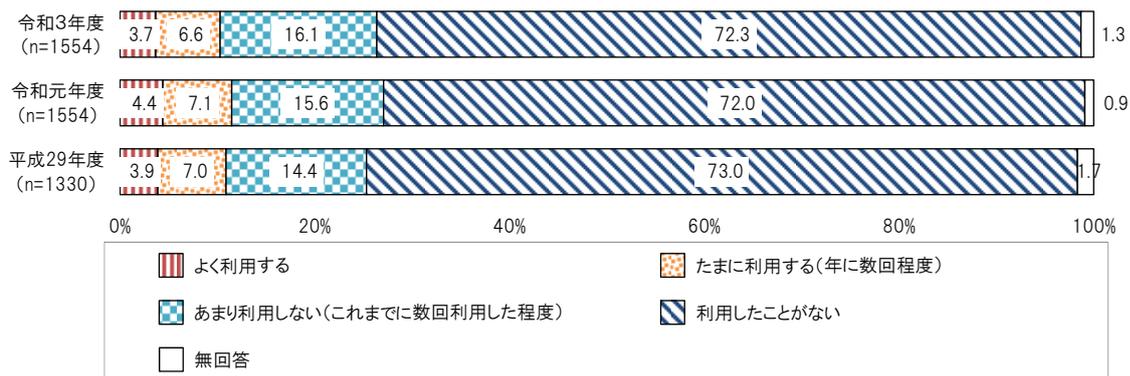
年代別にみると、10歳代で利用したことがある人の割合が高くなっている。50歳代以上では「利用したことがない」が75%を超えている。

問3(4)公共スポーツ施設をどの程度利用しているか



前回と比較すると、利用したことがある人の割合はほぼ横ばいとなっている。

問3(4)公共スポーツ施設をどの程度利用しているか



問4 あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。

(1) あなたのお住まいの地域の住民自治協議会(まちづくり協議会)を知っていますか。
(〇は1つだけ)

「知っている」が37.9%で最も高く、ついで「知らない」が32.6%、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が28.6%となっている。

性別にみると、「知っている」の割合は男性で39.7%、女性で36.4%と3.3ポイント男性の方が高くなっている。

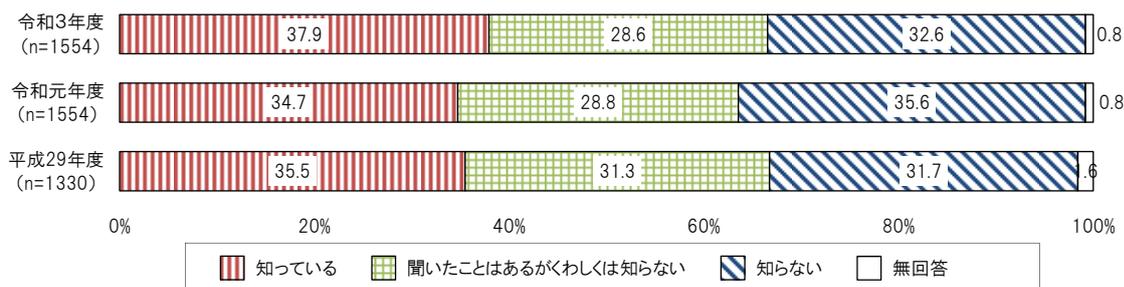
年代別にみると、30歳代までは10%ほどと低くなっており、40歳代以降では年齢が高くなるにつれ「知っている」の割合が高くなっている。

問4(1) 住民自治協議会を知っているか



前回と比較すると、「知っている」が3.2ポイント増加しており、一方で「知らない」が3.0ポイント減少している。

問4(1) 住民自治協議会を知っているか



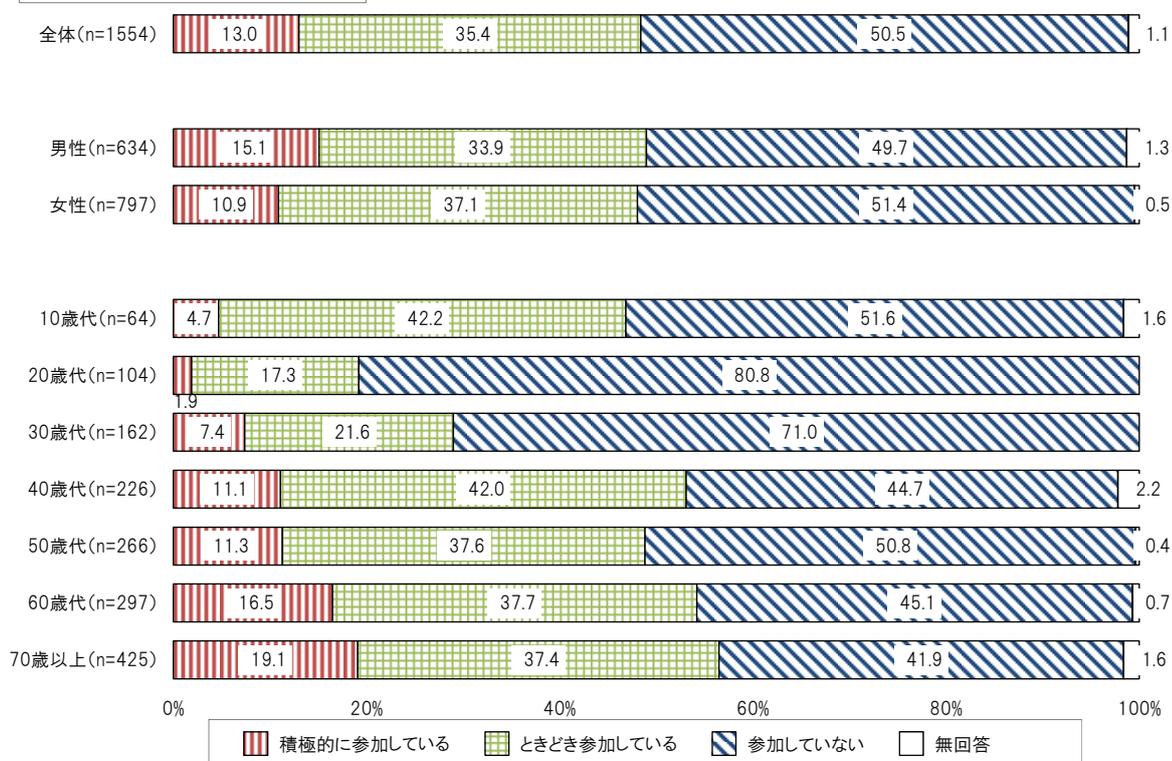
(2) あなたはお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）のまちづくり活動に参加していますか。（○は1つだけ）

「参加していない」が50.5%と最も高く、ついで「ときどき参加している」が35.4%、「積極的に参加している」が13.0%となっている。

性別にみると、男性は「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合が49.0%と、女性と比べ1.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は10歳代で高いものの、20歳代では19.2%で最も低くなり、年齢が上がるにつれ参加している割合が高くなっている。

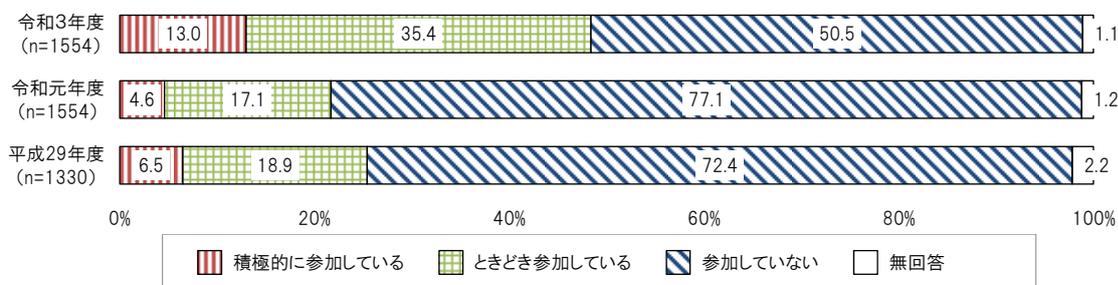
問4(2) 住民自治協議会への参加



前回と比較すると、「積極的に参加している」が4.6%から13.0%へ8.4ポイントの増加、「ときどき参加している」が17.1%から35.4%へ18.3ポイントの増加となっており、「参加していない」は77.1%から50.5%へ26.6ポイントの減少となっている。

今回大幅な変化が生じた要因を特定することは難しいが、前回の設問文が『あなたはお住まいの地域の住民協議会（まちづくり協議会）のまちづくり活動に参加していますか。』との問いかけであったのに対し、今回の設問文は『あなたはお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）のまちづくり活動（清掃活動・防災訓練・お祭りなど）に参加したことがありますか。』となっており、『まちづくり活動（清掃活動・防災訓練・お祭りなど）』といったまちづくり活動の具体的な活動内容を記載したことから、自分が関わっている活動が含まれるかどうかの判断がしやすくなったため「積極的に参加している」や「ときどき参加している」と回答した方が増えたものと考えられる。

問4(2) 住民自治協議会への参加



問5 市全般に関することについておうかがいします。

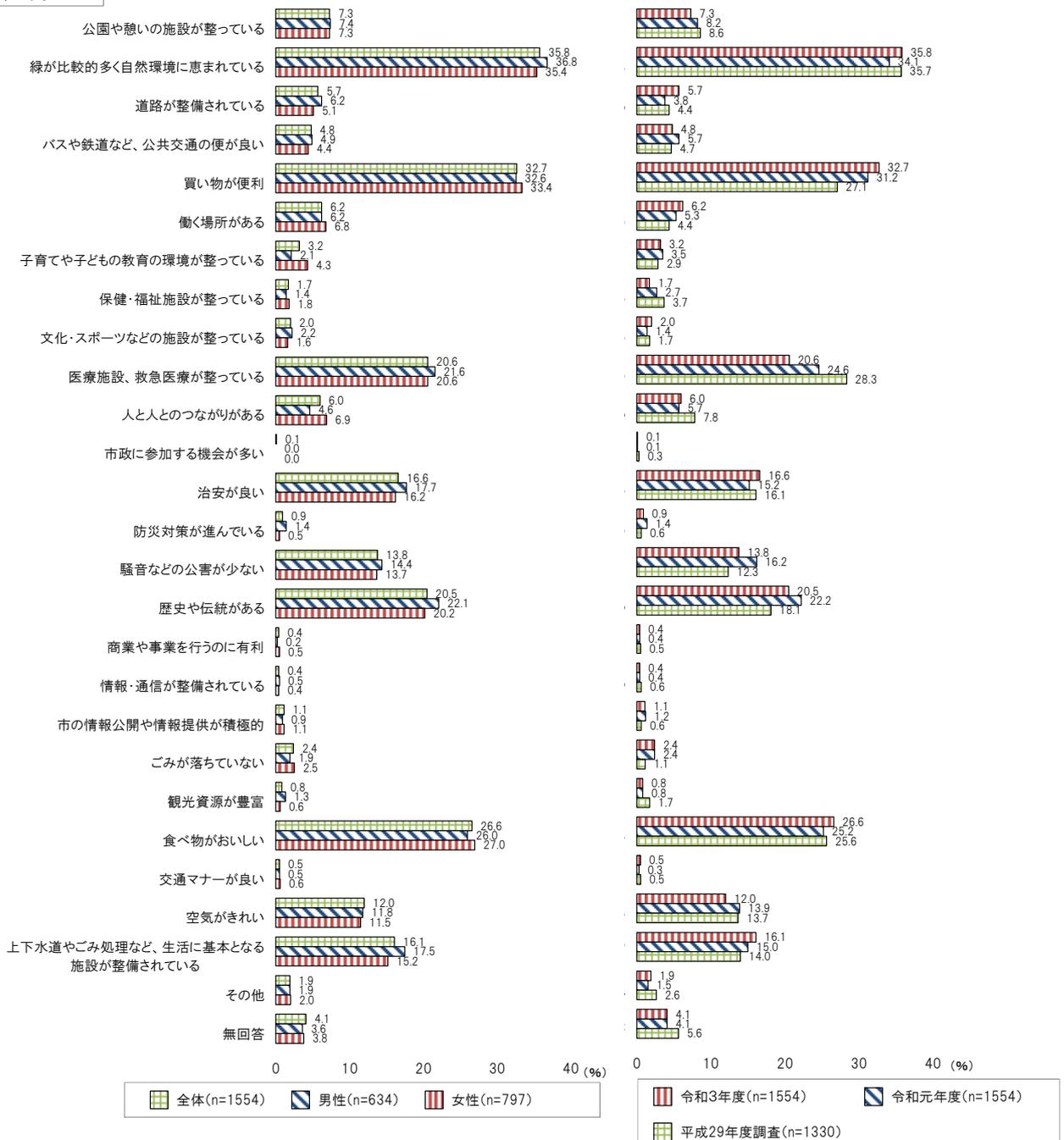
(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」が35.8%と最も高く、ついで「買い物が便利」が32.7%、「食べ物がおいしい」が26.6%となっている。

性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は同じだが、ついで4番目に高い項目は男性では「歴史や伝統がある」、女性では「医療施設、救急医療が整っている」となっている。

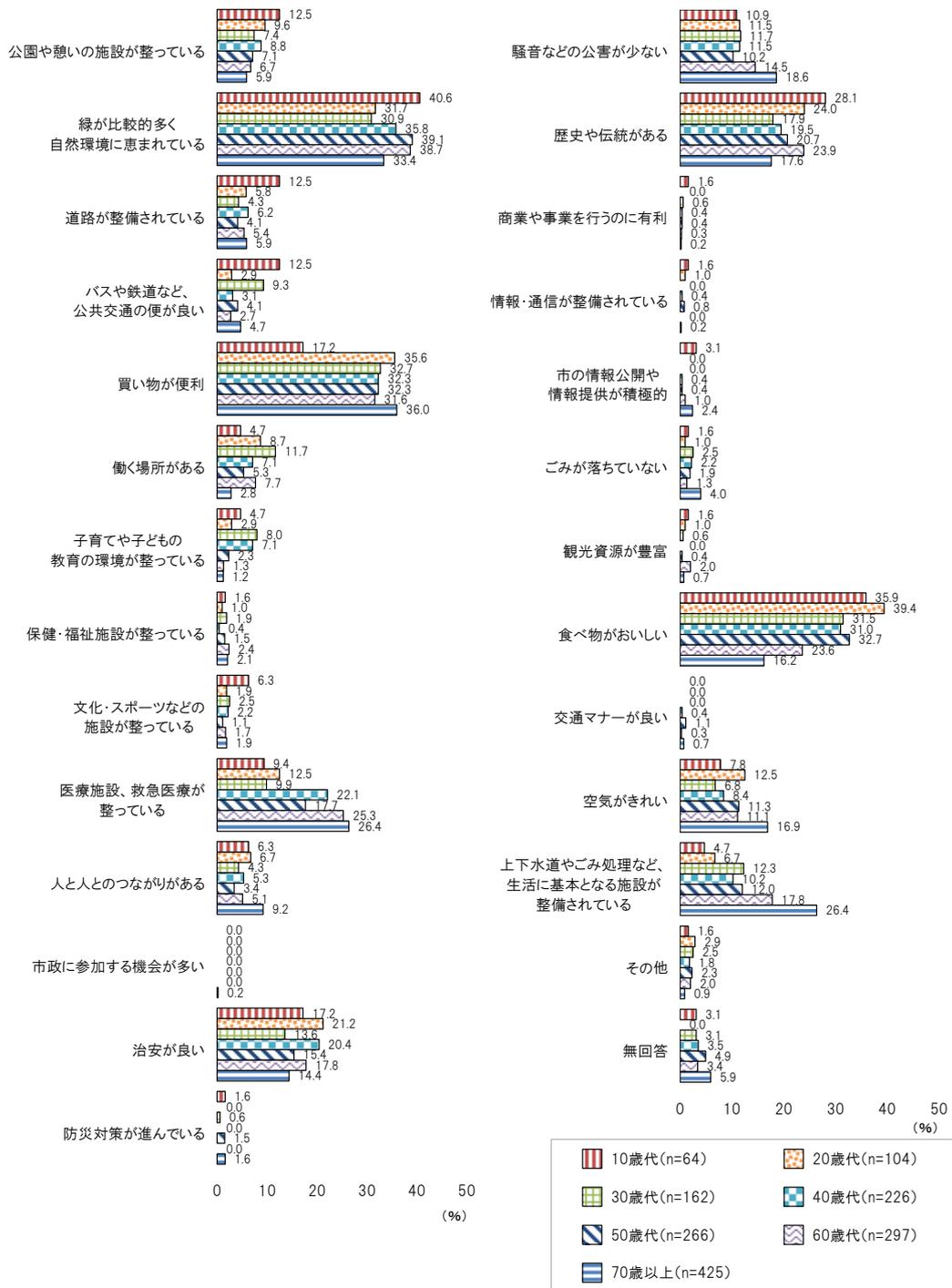
前回調査と比較すると、「道路が整備されている」「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」等が増加しており、「医療施設、救急医療が整っている」「騒音などの公害が少ない」等が減少している。

問5(1) 松阪市の良いところ



年代別にみると、1番目に高い項目は、10歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」、30歳代、70歳以上では「買い物が便利」、20歳代では「食べ物がおいしい」となっている。

問5(1) 松阪市の良いところ



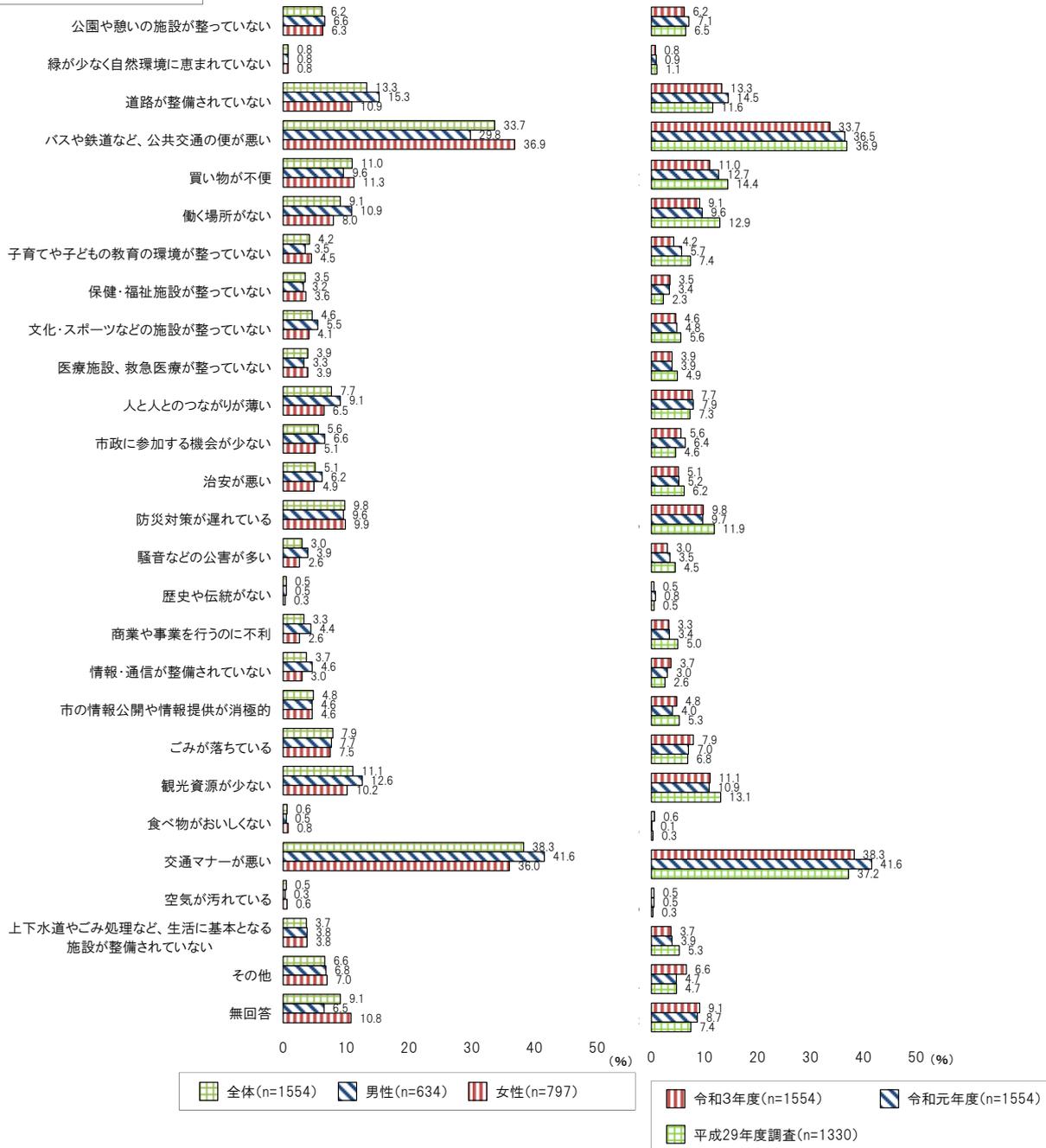
(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「交通マナーが悪い」が38.3%で最も高く、ついで「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が33.7%、「道路が整備されていない」が13.3%となっている。

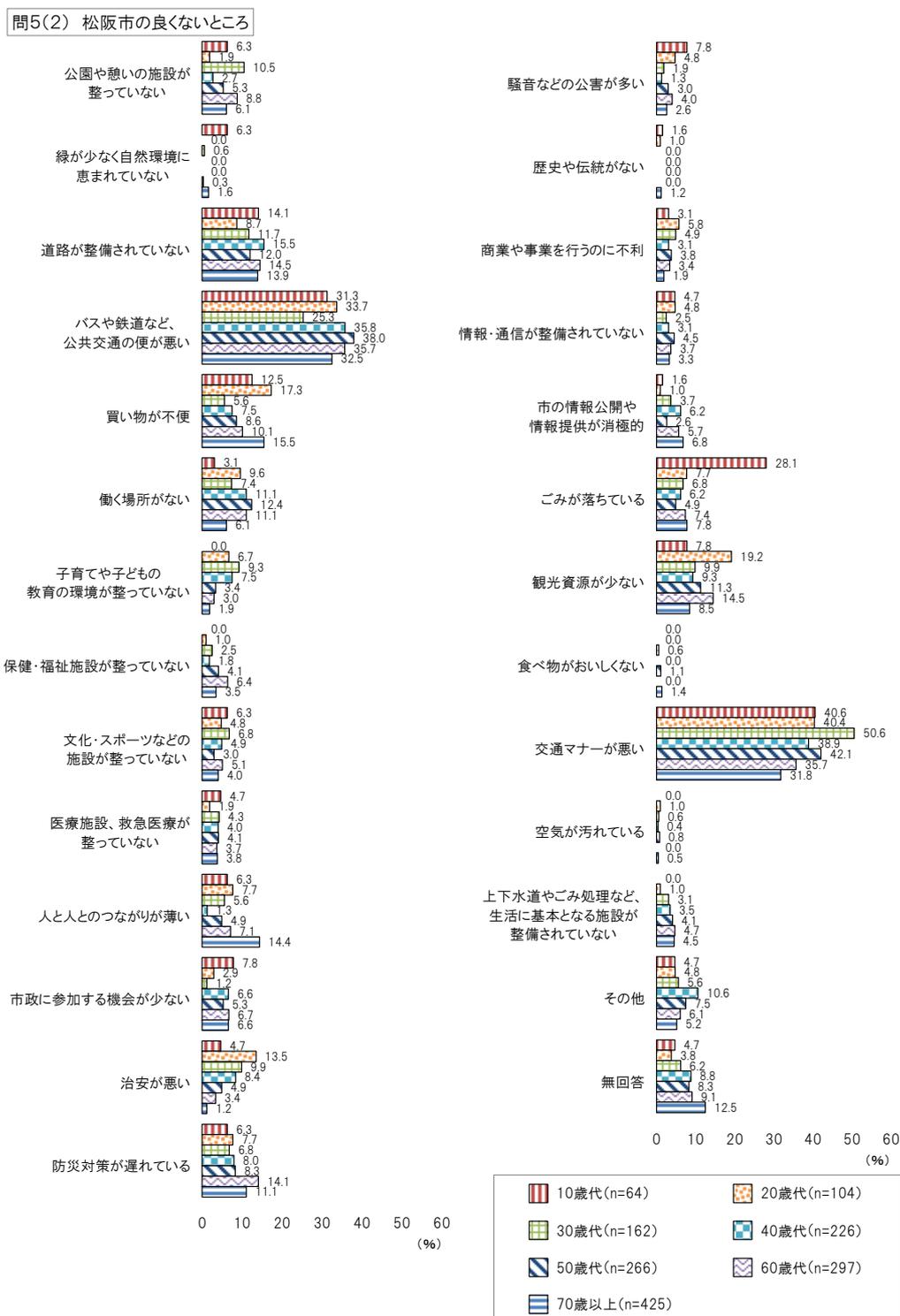
性別にみると1番目に高い項目は男性では「交通マナーが悪い」、女性では「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」となっている。

前回調査と比較すると、「ごみが落ちている」「その他」等が増加しており、「交通マナーが悪い」「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」等が減少している。

問5(2) 松阪市の良くないところ



年代別にみると、1番目、2番目に高い項目はいずれの年代も「交通マナーが悪い」もしくは「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」であるが、3番目に高い項目は、10歳代は「ゴミが落ちている」、20歳代、60歳代は「観光資源が少ない」30歳代、40歳代、60歳代は「道路が整備されていない」、50歳代は「働く場所がない」、70歳以上は「買い物に不便」であった。なお、60歳代の3番目に高い項目である「道路が整備されていない」「観光資源が少ない」は同率であった。



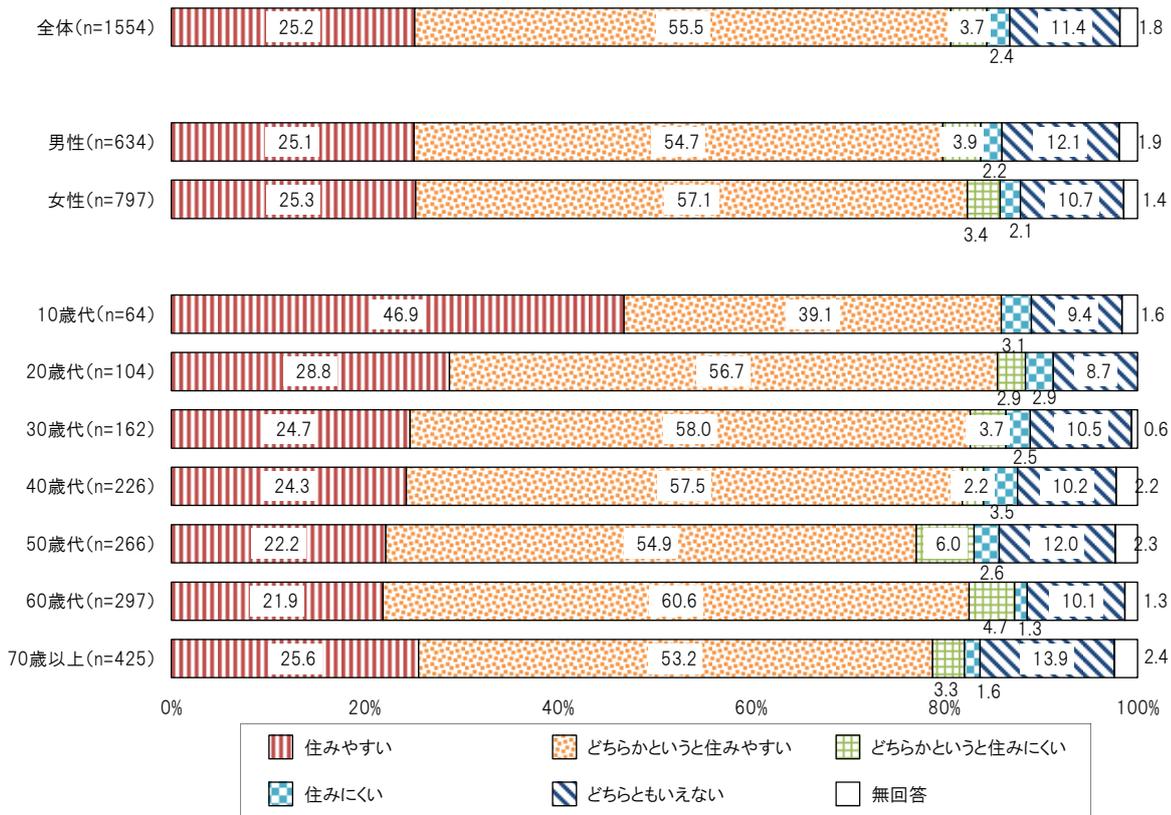
(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというに住みやすい」が55.5%と最も高く、ついで「住みやすい」が25.2%、「どちらともいえない」が11.4%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合が高くなっているが、女性の方が男性よりも2.6ポイント高くなっている。

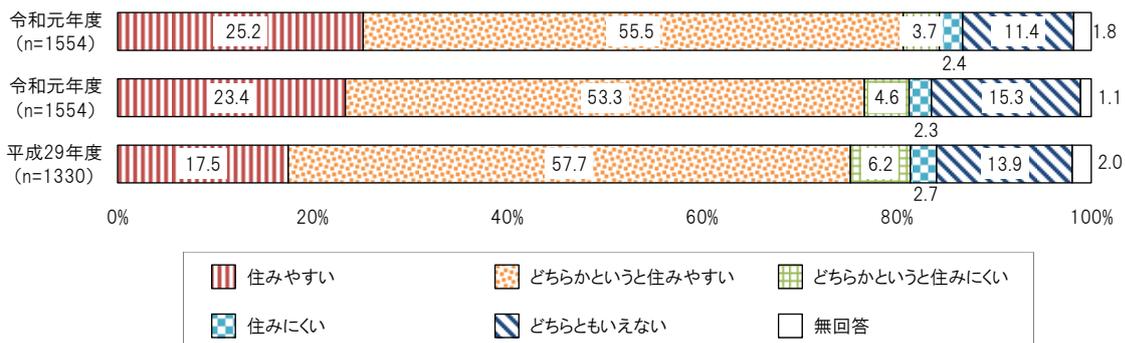
年代別にみると、いずれの年代も「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合が77%以上となっており、特に10歳代、20歳代が高くなっている。

問5(3) 松阪市は住みやすいか



前回と比較すると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合は4.0ポイント増加している。

問5(3) 松阪市は住みやすいか

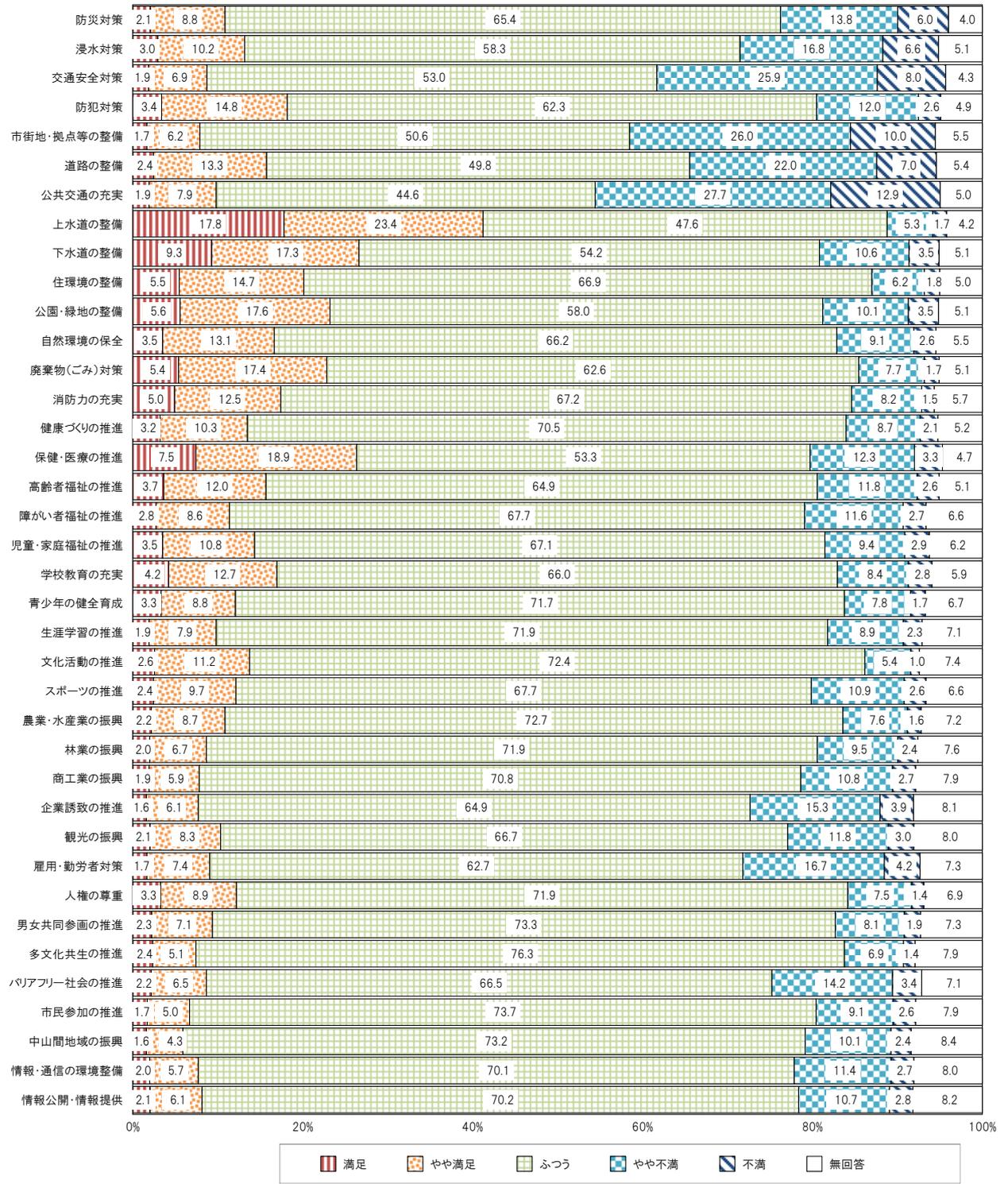


問6 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(38)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

(1) 満足度

満足度(「満足」「やや満足」の合計)が高いものとして、「上水道の整備」が最も高く41.2%となっており、ついで「下水道の整備」が26.6%、「保健・医療の推進」が26.4%となっている。一方で不満度(「やや不満」「不満」)が高いものは、「公共交通の充実」が40.6%で最も高く、ついで「市街地・拠点等の整備」が36.0%、「交通安全対策」が33.9%となっている。

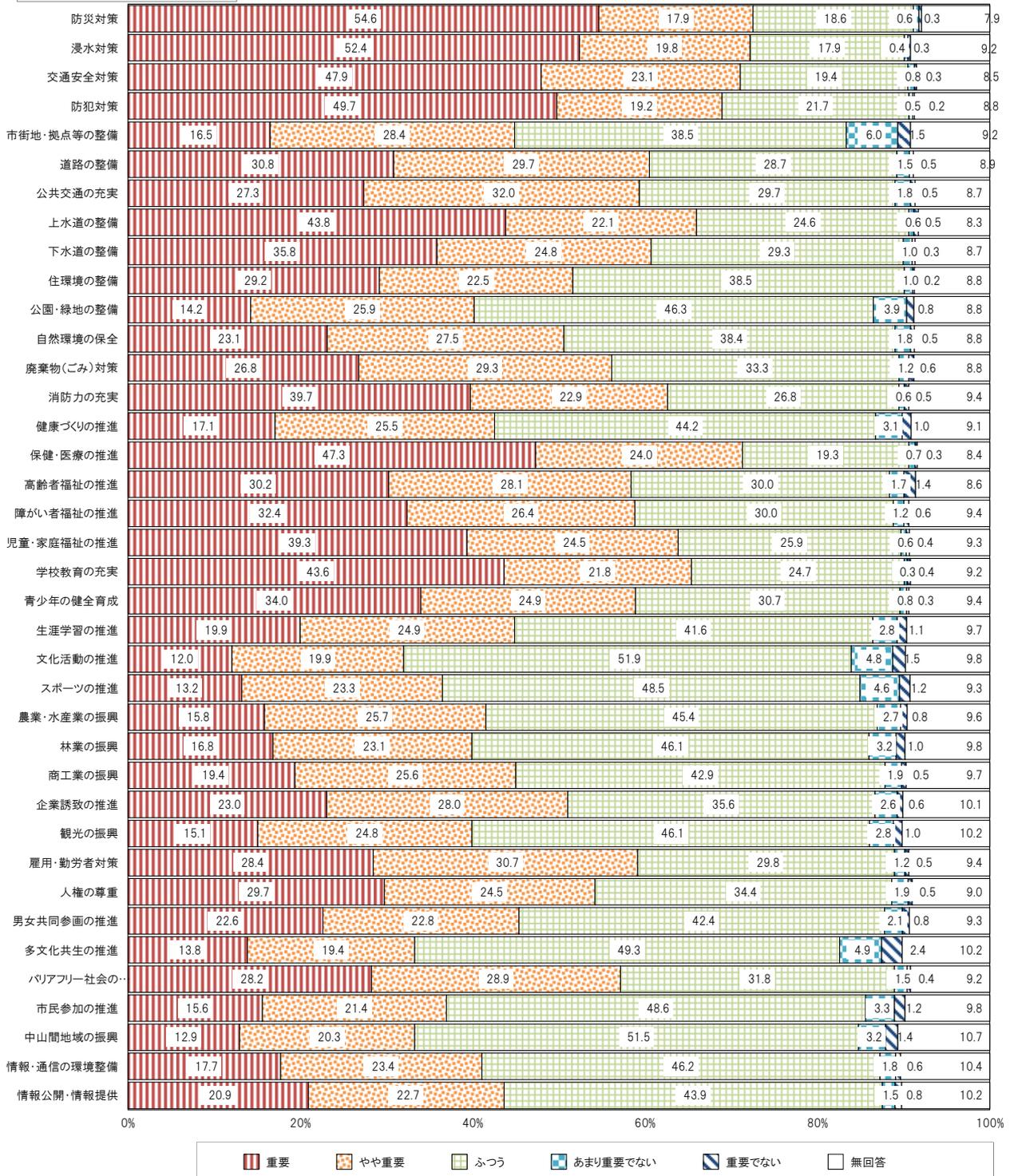
問6 松阪市の政策に対する満足度



(2) 重要度

重要度（「重要」「やや重要」の合計）が高いものとして、「防災対策」が72.5%で最も高く、ついで「浸水対策」が72.2%、「保健・医療の推進」が71.3%となっている。

問6 松阪市の政策に対する重要度



施策項目ごとに、満足度と重要度のそれぞれに評価得点をつけて評価する。評価得点は、満足度及び重要度の選択肢に対して、次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いる。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

《評価得点の算出式》

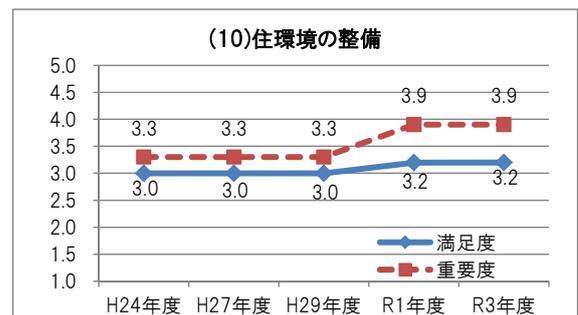
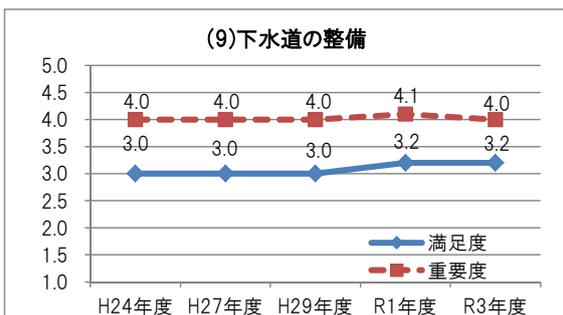
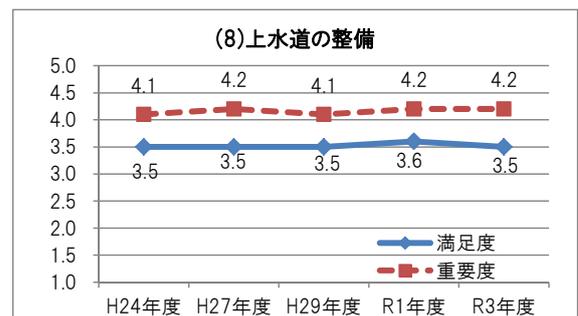
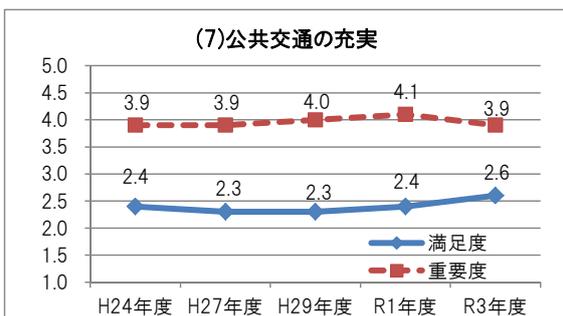
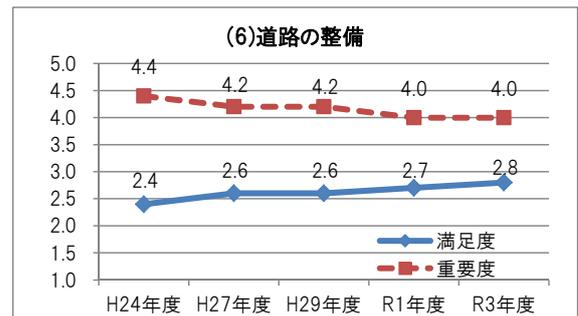
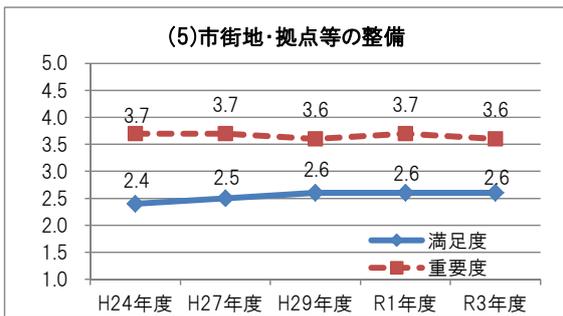
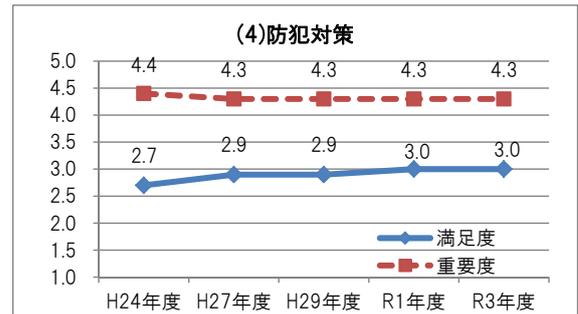
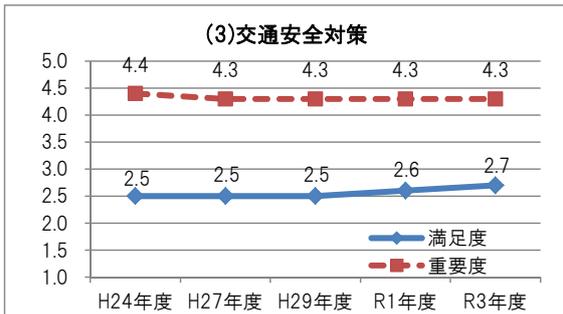
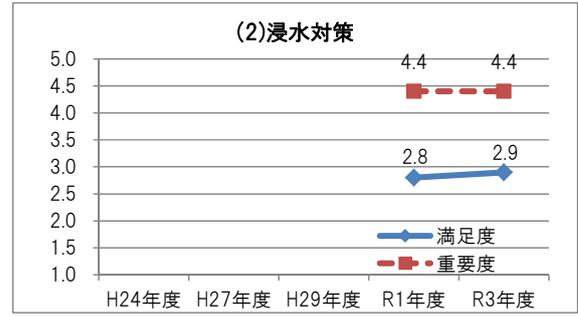
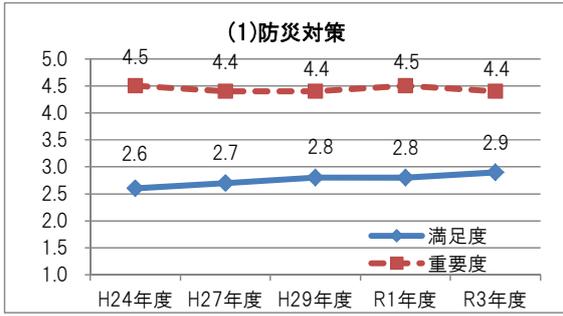
$$\text{満足度} = \frac{[\text{満足}] \times 5 \text{点} + [\text{やや満足}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{やや不満}] \times 2 \text{点} + [\text{不満}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$$

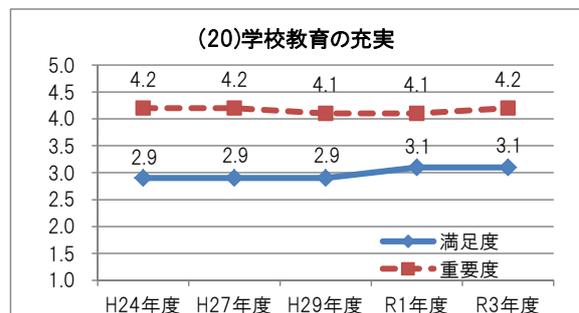
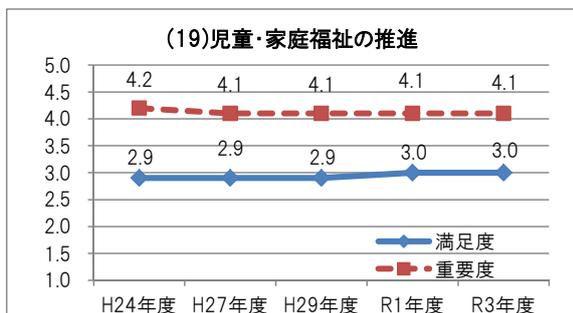
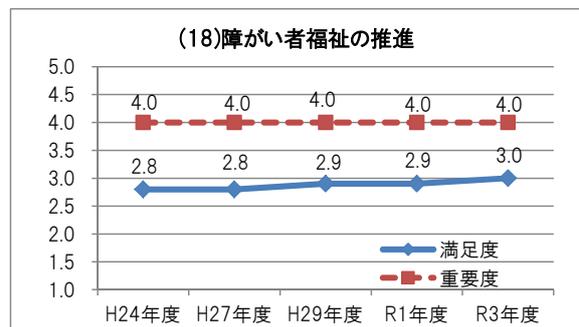
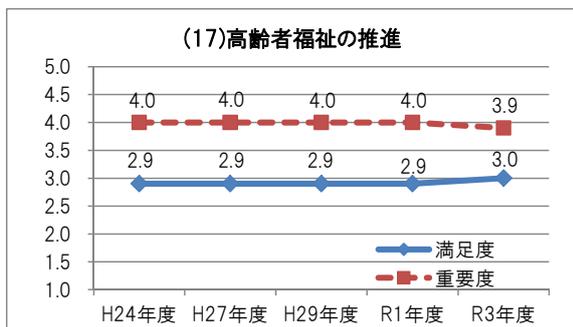
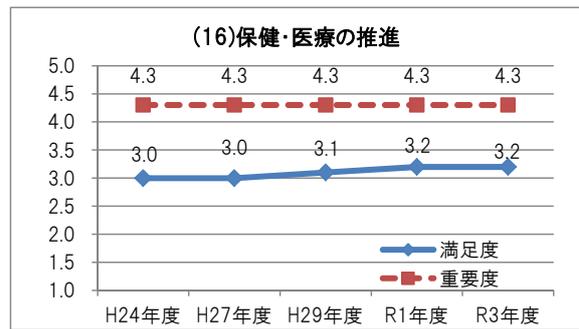
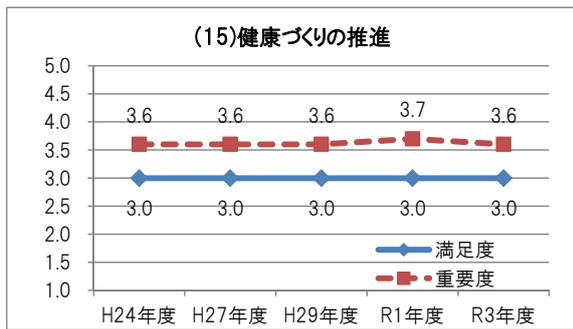
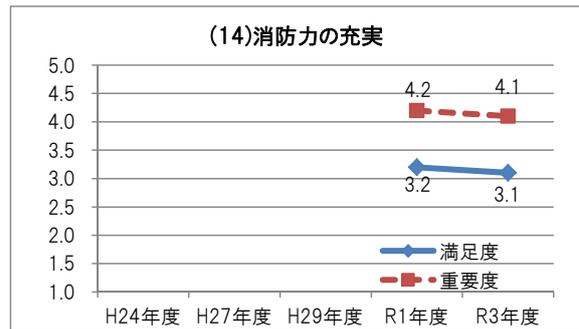
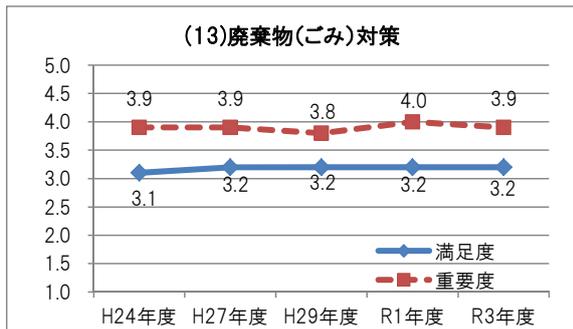
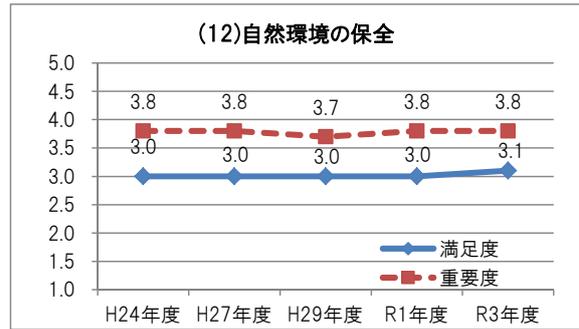
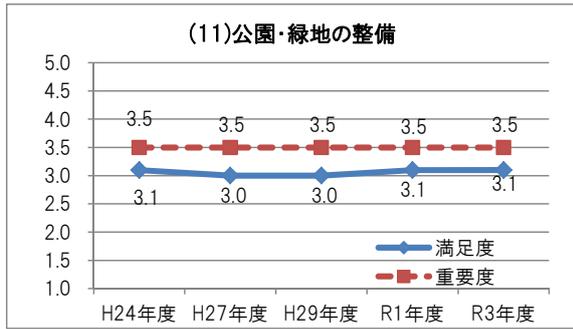
$$\text{重要度} = \frac{[\text{重要}] \times 5 \text{点} + [\text{やや重要}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{あまり重要でない}] \times 2 \text{点} + [\text{重要でない}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$$

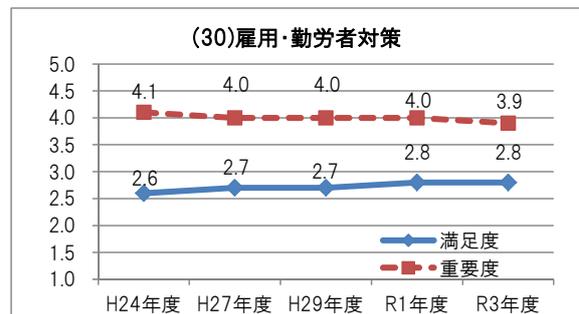
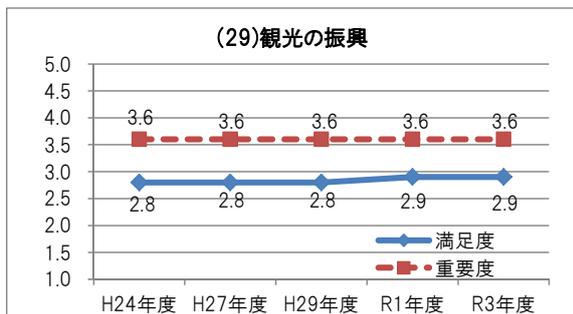
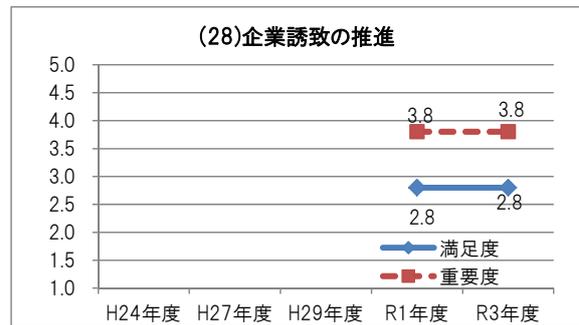
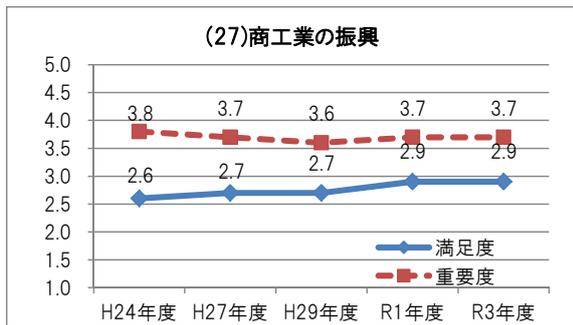
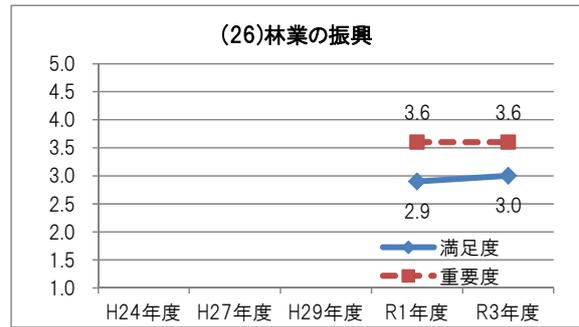
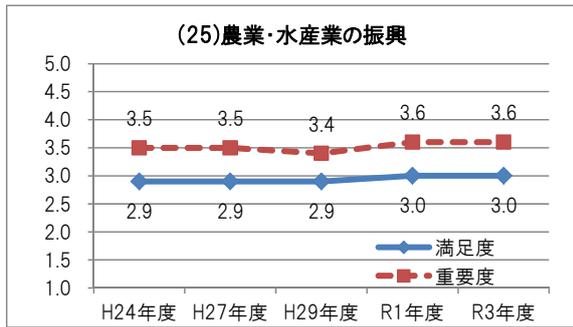
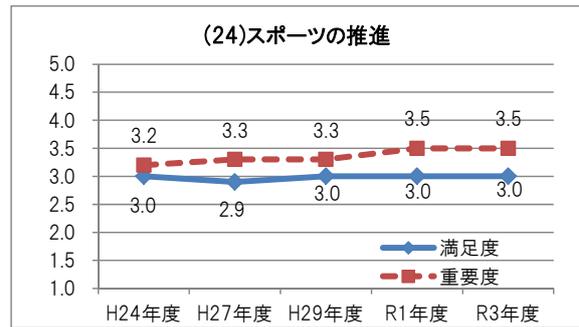
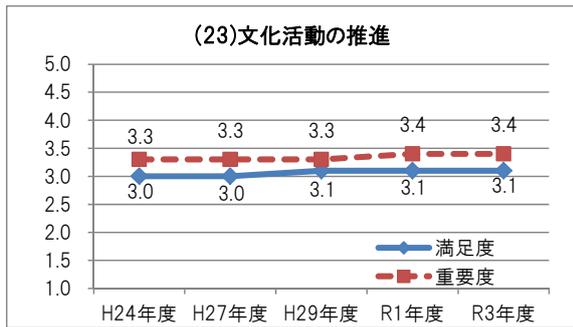
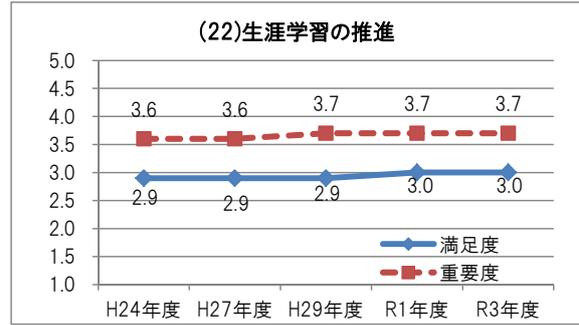
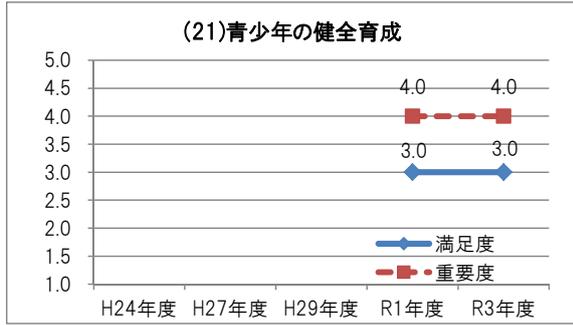
前回と比較すると、満足度では 38 項目中 27 項目が上昇、3 項目が横ばい、8 項目が下降となり、平均では 0.02 の上昇となっている。

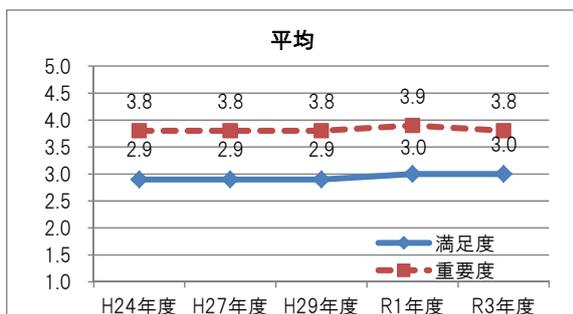
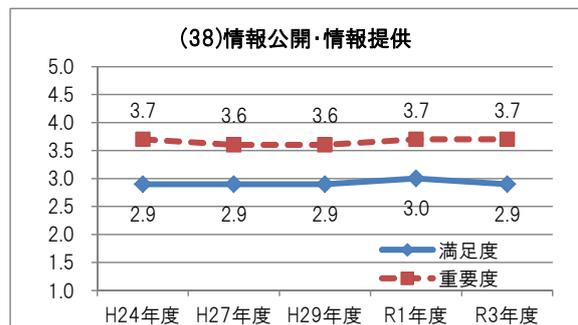
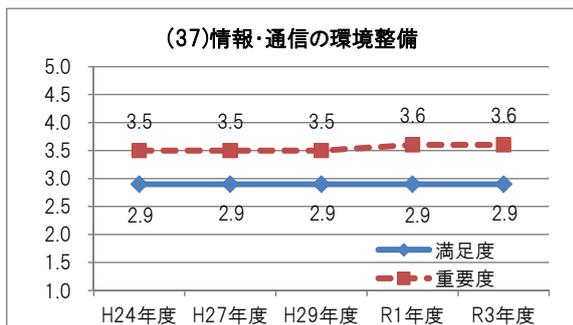
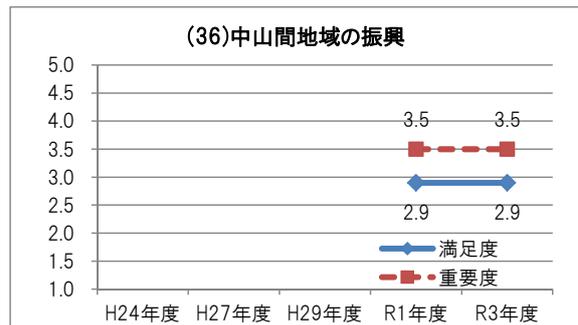
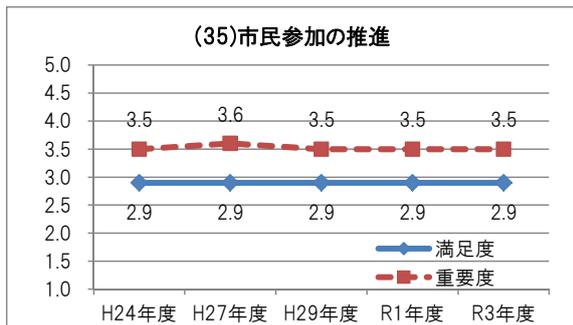
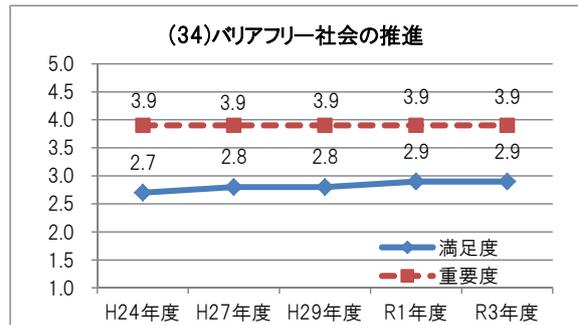
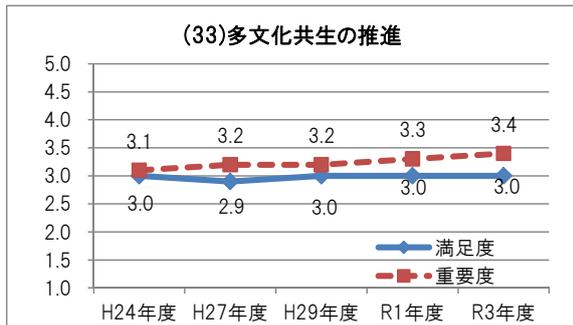
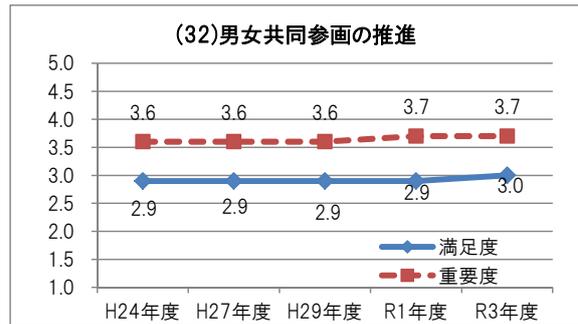
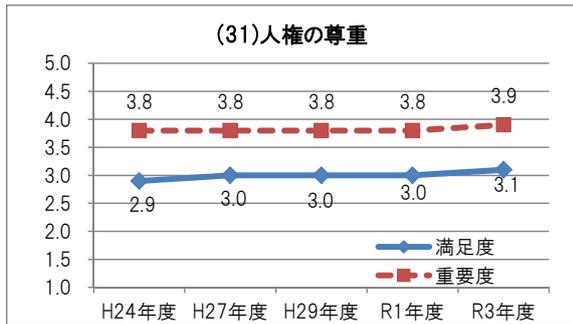
重要度をみると、38 項目中 6 項目が上昇、6 項目が横ばい、26 項目が下降となり、平均では 0.02 の下降となっている。

項目番号	施策	満足度						重要度												
		H24年度	H27年度	H29年度	R1年度	R3年度	H24年度	H27年度	H29年度	R1年度	R3年度									
1	防災対策	2.61	↗	2.72	↗	2.78	↗	2.82	↗	2.87	↘	4.49	↘	4.38	↗	4.42	↗	4.46	↘	4.37
2	浸水対策							2.77	↗	2.85								4.40	↘	4.36
3	交通安全対策	2.47	→	2.47	↗	2.53	↗	2.55	↗	2.67	↘	4.35	↘	4.31	↘	4.29	↗	4.33	↘	4.29
4	防犯対策	2.74	↗	2.91	↗	2.95	→	2.95	↗	3.05	↘	4.38	↘	4.31	↘	4.28	↗	4.32	↘	4.29
5	市街地・拠点等の整備	2.42	↗	2.49	↗	2.56	↗	2.57	↗	2.62	↘	3.72	↘	3.74	↘	3.63	↗	3.66	↘	3.58
6	道路の整備	2.40	↗	2.56	↗	2.61	↗	2.74	↗	2.81	↘	4.37	↘	4.21	↗	4.24	↘	4.02	↘	3.98
7	公共交通の充実	2.37	↘	2.35	↘	2.25	↗	2.39	↗	2.56	↘	3.87	↘	3.90	↘	3.98	↗	4.07	↘	3.92
8	上水道の整備	3.47	↗	3.50	↗	3.54	↗	3.60	↘	3.53	↘	4.14	↘	4.16	↘	4.12	↗	4.23	↘	4.18
9	下水道の整備	2.96	↗	2.97	↗	2.99	↗	3.22	↘	3.19	↘	3.97	↗	4.00	↘	3.98	↗	4.07	↘	4.04
10	住環境の整備	3.00	↘	2.99	↘	2.97	↗	3.17	→	3.17	↘	3.29	↘	3.31	→	3.31	↗	3.88	↘	3.87
11	公園・緑地の整備	3.11	↘	3.03	↘	3.00	↘	3.10	↘	3.12	↘	3.45	↘	3.50	↘	3.48	↗	3.50	↗	3.54
12	自然環境の保全	2.98	↘	2.97	↗	2.98	↗	3.05	↗	3.06	↘	3.76	→	3.76	↘	3.75	→	3.75	↗	3.78
13	廃棄物（ごみ）対策	3.10	↗	3.20	→	3.20	↘	3.17	↗	3.18	↘	3.90	→	3.90	↘	3.83	↗	3.97	↘	3.88
14	消防力の充実							3.15	↘	3.12								4.18	↘	4.11
15	健康づくりの推進	2.97	→	2.97	↗	3.00	↗	3.02	↗	3.04	↘	3.62	↗	3.65	↘	3.63	↗	3.67	↘	3.60
16	保健・医療の推進	2.99	↗	3.03	↗	3.07	↗	3.19	↘	3.16	↘	4.29	→	4.29	↘	4.26	↗	4.30	↘	4.28
17	高齢者福祉の推進	2.94	→	2.94	→	2.94	→	2.94	↘	3.03	↘	4.00	↘	3.98	↘	3.97	↗	4.02	↘	3.92
18	障がい者福祉の推進	2.80	↗	2.82	↗	2.85	↗	2.92	↗	2.97	↘	4.04	↘	3.98	↘	3.97	↗	4.00	↘	3.98
19	児童・家庭福祉の推進	2.89	↗	2.91	↗	2.94	↗	3.01	↗	3.03	↘	4.16	↘	4.11	↘	4.07	↗	4.12	→	4.12
20	学校教育の充実	2.93	→	2.93	↗	2.95	↗	3.08	→	3.08	↘	4.18	→	4.18	↘	4.13	↗	4.15	↗	4.19
21	青少年の健全育成							3.03	↗	3.04								4.04	↘	4.01
22	生涯学習の推進	2.93	↘	2.91	↗	2.94	↗	2.97	↗	2.96	↘	3.61	↘	3.58	↗	3.65	↗	3.67	↘	3.66
23	文化活動の推進	3.01	→	3.01	↗	3.06	↗	3.10	→	3.10	↘	3.31	↘	3.33	↘	3.30	↗	3.44	↘	3.40
24	スポーツの推進	2.95	↘	2.94	↗	2.97	↗	3.00	↘	2.98	↘	3.22	↘	3.30	↘	3.27	↗	3.49	↘	3.47
25	農業・水産業の振興	2.92	↘	2.91	↗	2.95	↗	3.01	↗	3.02	↘	3.50	↗	3.52	↘	3.43	↗	3.62	↘	3.59
26	林業の振興							2.95	↗	2.96								3.57	→	3.57
27	商工業の振興	2.57	↗	2.65	↗	2.70	↗	2.89	↗	2.93	↘	3.78	↘	3.71	↘	3.65	↗	3.68	→	3.68
28	企業誘致の推進							2.82	↗	2.85								3.79	↘	3.78
29	観光の振興	2.75	↗	2.79	↗	2.83	↗	2.93	↗	2.94	↘	3.61	↘	3.58	↘	3.56	↗	3.59	↘	3.56
30	雇用・勤労者対策	2.57	↗	2.67	↗	2.72	↗	2.79	↗	2.85	↘	4.08	↘	4.01	↘	3.96	↘	3.95	↘	3.94
31	人権の尊重	2.93	↘	2.95	↗	2.99	↗	3.00	↗	3.06	↘	3.81	↘	3.76	↗	3.78	↗	3.85	↗	3.89
32	男女共同参画の推進	2.94	↘	2.91	↗	2.93	↗	2.95	↗	3.00	↘	3.58	→	3.58	→	3.58	↗	3.68	↗	3.71
33	多文化共生の推進	2.95	↘	2.92	↗	2.97	↘	2.96	↗	3.00	↘	3.14	↘	3.19	↗	3.20	↗	3.35	↗	3.42
34	バリアフリー社会の推進	2.74	↘	2.79	→	2.79	↗	2.86	↗	2.89	↘	3.92	↘	3.87	↘	3.86	↗	3.92	→	3.92
35	市民参加の推進	2.87	↘	2.85	↗	2.89	↗	2.95	↘	2.94	↘	3.50	↗	3.55	↘	3.48	↗	3.52	→	3.52
36	中山間地域の振興							2.88	↗	2.92								3.46	↘	3.45
37	情報・通信の環境整備	2.91	↘	2.88	↗	2.91	↗	2.94	↘	2.92	↘	3.48	↗	3.50	↘	3.49	↗	3.62	→	3.62
38	情報公開・情報提供	2.94	↘	2.85	↗	2.91	↗	2.96	↘	2.93	↘	3.66	↘	3.64	↘	3.62	↗	3.70	↘	3.69
平均		2.85	↗	2.90	→	2.90	↗	2.96	↗	2.98	↘	3.82	↘	3.80	↘	3.79	↗	3.87	↘	3.85







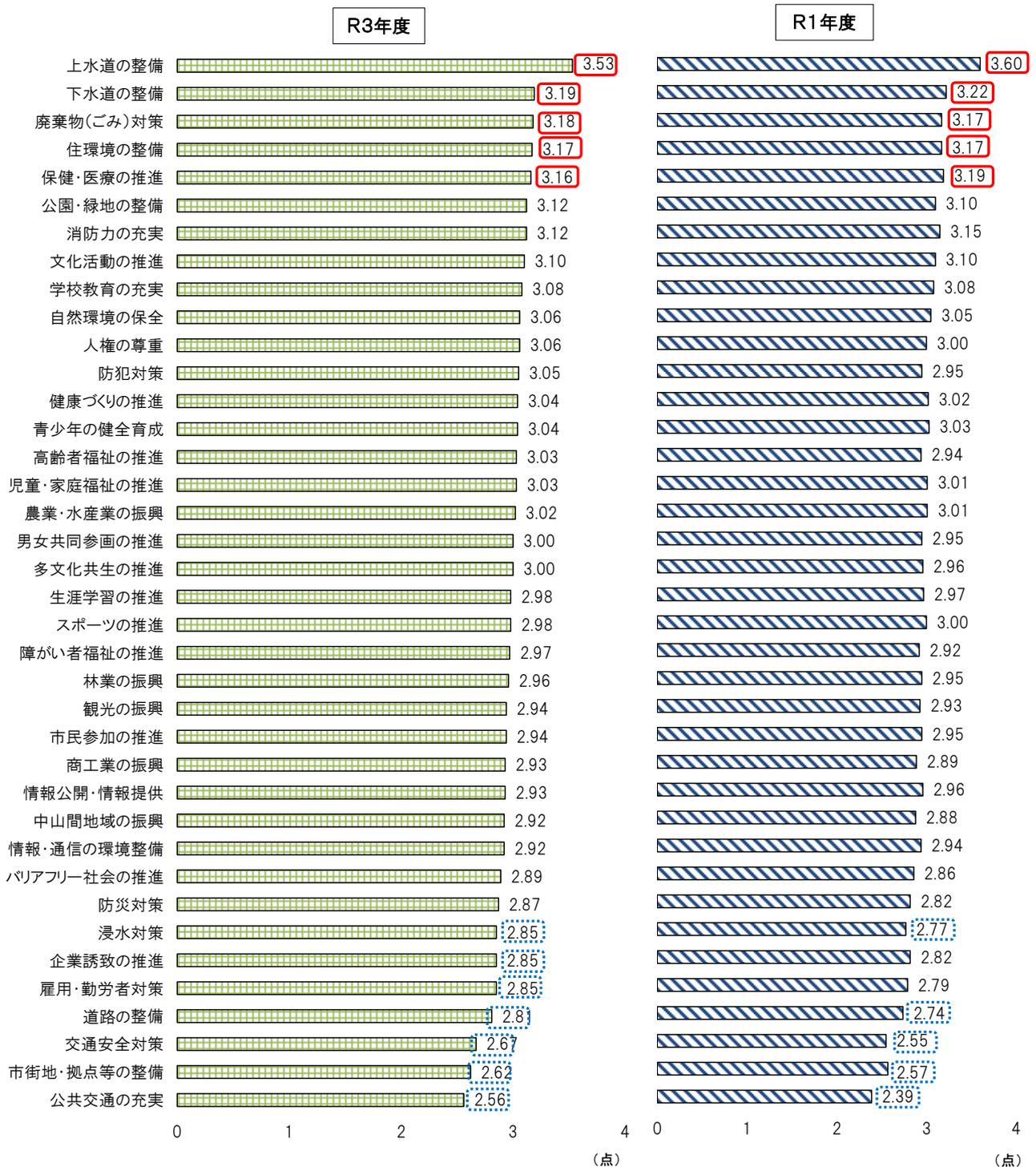


満足度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 、評価得点が低い下位5項目は青枠線内 となっている。

今回の上位5項目はすべて前回と同様の項目となっており、それら項目のうち「上水道の整備」「下水道の整備」「保健・医療の推進」の3項目については満足度が低下、「廃棄物（ごみ）対策の整備」については満足度が上昇している。

下位5項目についてもすべて前回と同様の項目となっている。なお今回の下位から5番目から7番目は「浸水対策」「企業誘致の推進」「雇用・勤労者対策」の3つの項目が同点であった。

問6 松阪市の政策に対する満足度



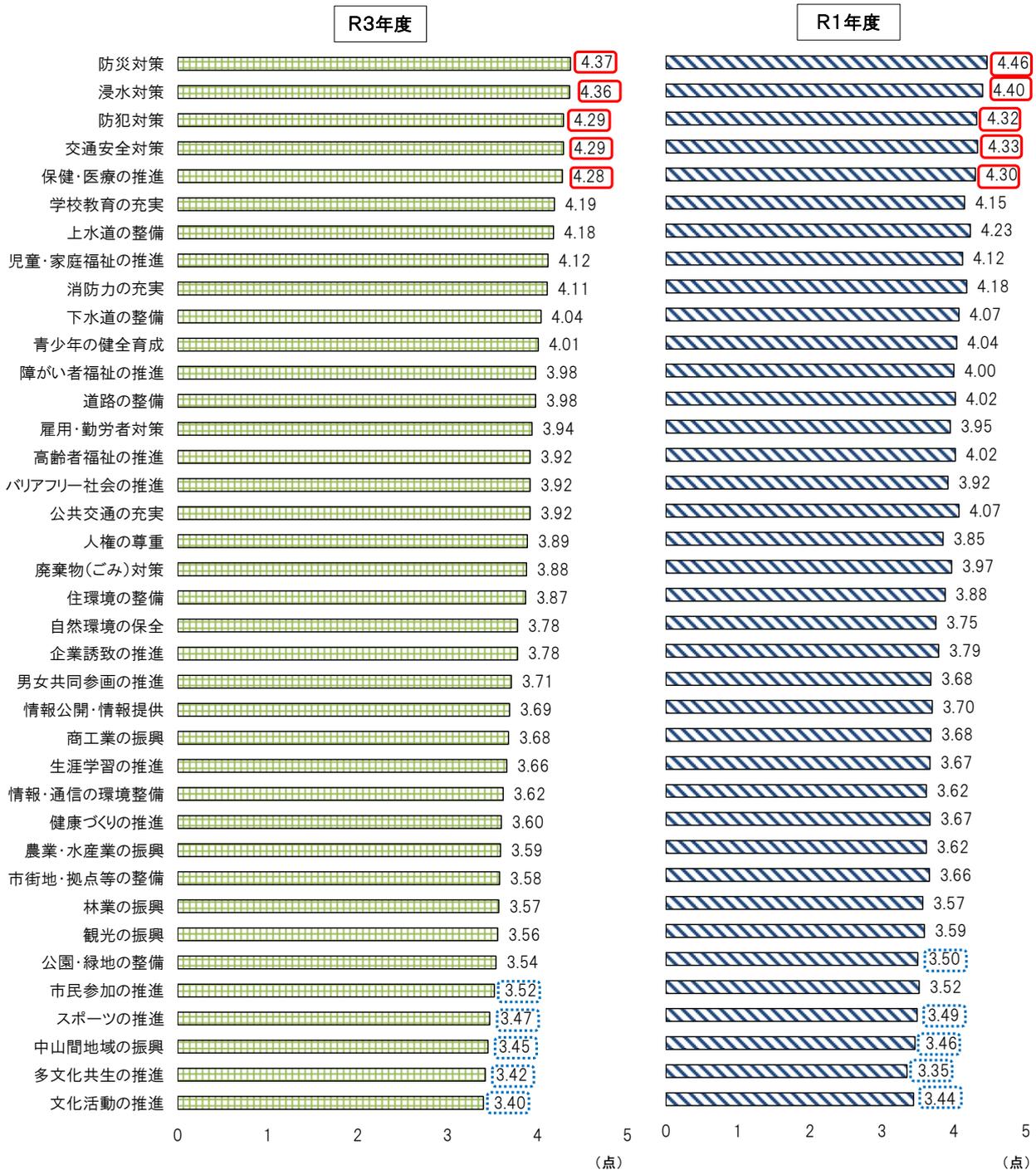
重要度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 、評価得点が低い下位5項目は青枠線内 となっている。

今回の上位5項目はすべて前回と同様の項目となっており、いずれの項目も重要度は低下している。

一方で下位5項目について、下位から4項目は前回と同様となっている。下位5番目については、前回は「公園・緑地の整備」であったものが今回は「市民参加の推進」となっている。

各項目の重要度の変化状況をみると、「多文化共生の推進」は上昇し、「スポーツの推進」「中山間地域の振興」「文化活動の推進」では低下している。

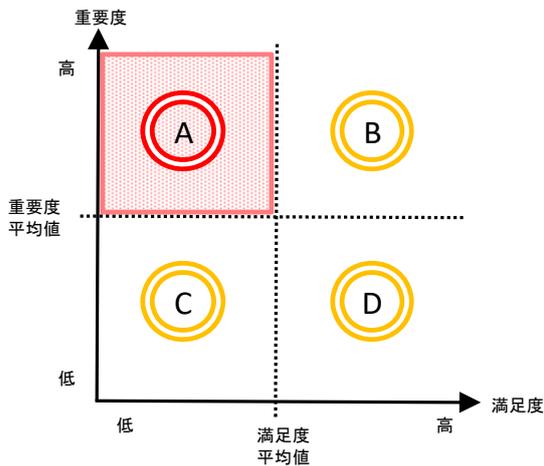
問6 松阪市の政策に対する重要度



38 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

《分析方法》

算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析する。



《最重点項目の設定》

重要度が高く、満足度が低い項目は、市民が最も望んでいる最重点項目と考えることができる。

最重点項目の判定基準

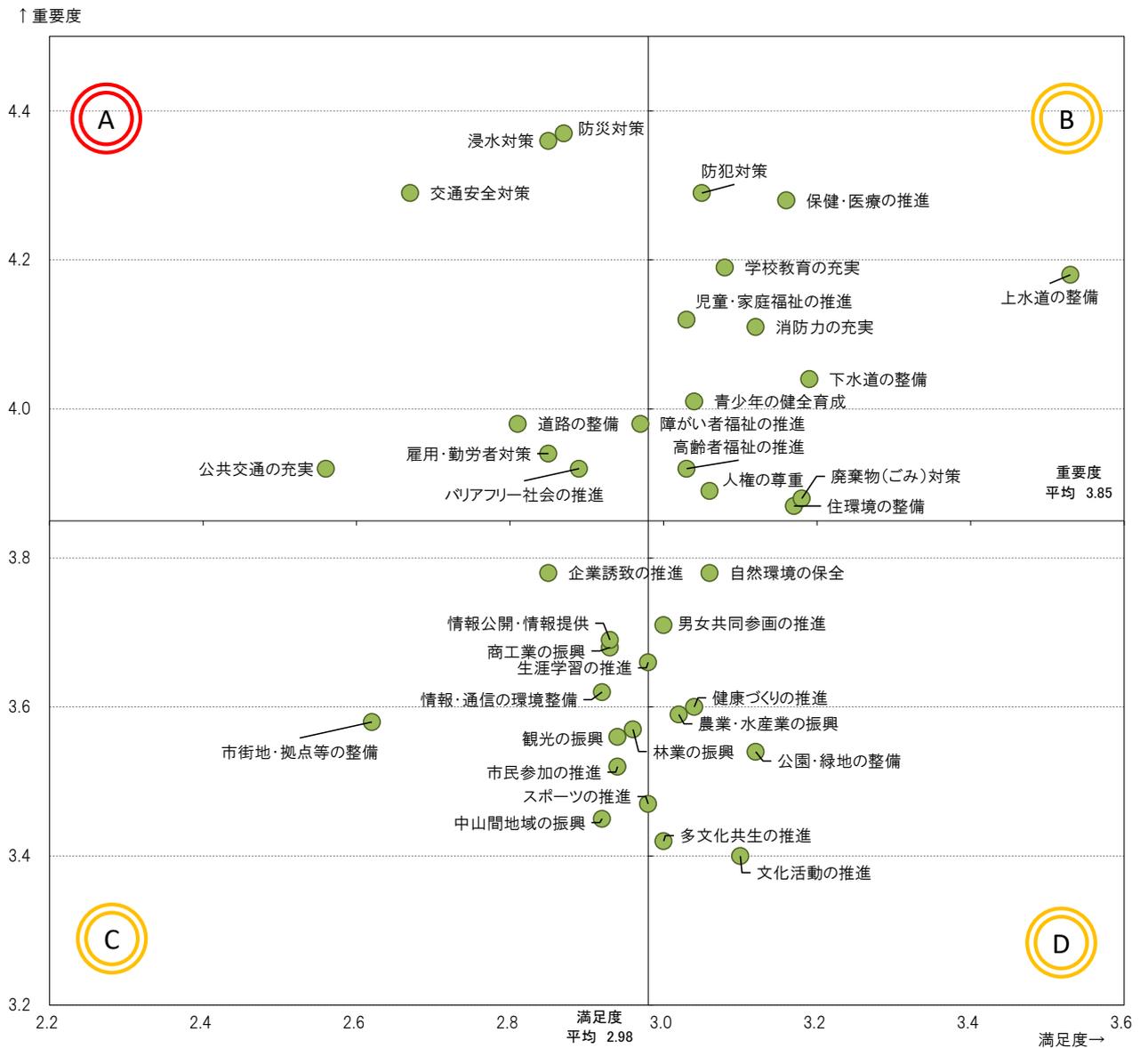
- ・満足度⇒平均値を下回る
- ・重要度⇒平均値を上回る

《施策項目に対する考え方》

分類

- ① A 満足度が低く、重要度が高い ⇒ **最重点項目（優先すべき施策）**
- ② B 満足度が高く、重要度が高い ⇒ **これまで通り継続して実施すべき施策**
- ③ C 満足度が低く、重要度が低い ⇒ **施策内容等を見直し、検討を要する施策**
- ④ D 満足度が高く、重要度が低い ⇒ **これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策**

満足度と重要度の関係



※この表はP32の表の数値を用いています。

以上の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は下記のとおりとなる。

<p>A</p>	<p>最重点項目(市民が優先して求めている施策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 防災対策 <input type="radio"/> 浸水対策 <input type="radio"/> 交通安全対策 <input type="radio"/> 道路の整備 <input type="radio"/> 公共交通の充実 <input type="radio"/> 障がい者福祉の推進 <input type="radio"/> 雇用・勤労者対策 <input type="radio"/> バリアフリー社会の推進
<p>B</p>	<p>これまで通り継続して実施すべき施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 防犯対策 <input type="radio"/> 上水道の整備 <input type="radio"/> 下水道の整備 <input type="radio"/> 住環境の整備 <input type="radio"/> 廃棄物(ごみ)対策 <input type="radio"/> 消防力の充実 <input type="radio"/> 保健・医療の推進 <input type="radio"/> 高齢者福祉の推進 <input type="radio"/> 児童・家庭福祉の推進 <input type="radio"/> 学校教育の充実 <input type="radio"/> 青少年の健全育成 <input type="radio"/> 人権の尊重
<p>C</p>	<p>施策内容等を見直し、検討を要する施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 市街地・拠点等の整備 <input type="radio"/> 生涯学習の推進 <input type="radio"/> スポーツの推進 <input type="radio"/> 林業の振興 <input type="radio"/> 商工業の振興 <input type="radio"/> 企業誘致の推進 <input type="radio"/> 観光の振興 <input type="radio"/> 市民参加の推進 <input type="radio"/> 中山間地域の振興 <input type="radio"/> 情報・通信の環境整備 <input type="radio"/> 情報公開・情報提供
<p>D</p>	<p>これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 公園・緑地の整備 <input type="radio"/> 自然環境の保全 <input type="radio"/> 健康づくりの推進 <input type="radio"/> 文化活動の推進 <input type="radio"/> 農業・水産業の振興 <input type="radio"/> 男女共同参画の推進 <input type="radio"/> 多文化共生の推進

最重点項目について前回と比較した結果は以下の通りとなる。

8つの重点項目をみると、3つのパターンに分かれる。

①『満足度が増加』(0.06以上増加)かつ『重要度が減少』(-0.06以下減少)

- 「公共交通の充実」があげられる。

②『満足度が上昇』かつ『重要度が微減および横ばい』(0~-0.05以上)

- 「交通安全対策」「浸水対策」「道路の整備」「雇用・勤労者対策」があげられる。

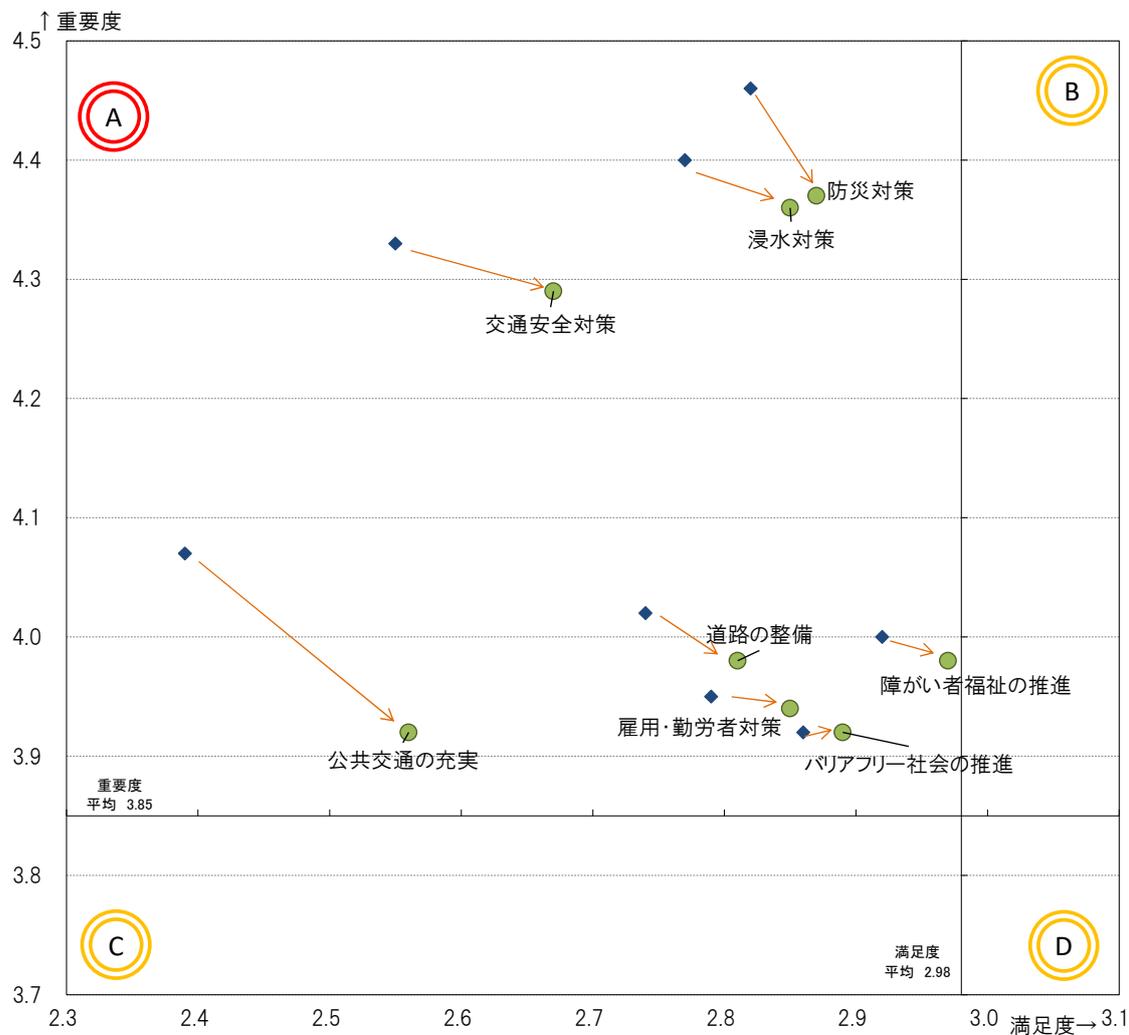
③『満足度が微増および横ばい』(0~0.05以下)かつ『重要度が減少』

- 「防災対策」があげられる。

④『満足度が微増および横ばい』かつ『重要度がほぼ横ばい』

- 「障がい者福祉の推進」「バリアフリー社会の推進」があげられる。

満足度と重要度の関係



※ ◆前回調査 (令和元年度) ●令和3年度調査

ここで、最重点項目について、ニーズを算出して整理する。

《ニーズ得点》

ニーズ得点は、満足度と重要度により、満足度が低くかつ重要度が大きいほど点数が高くなる指標であり、その得点が大きい項目ほど市民のニーズが高いことを示している。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

《ニーズ得点の算出式》

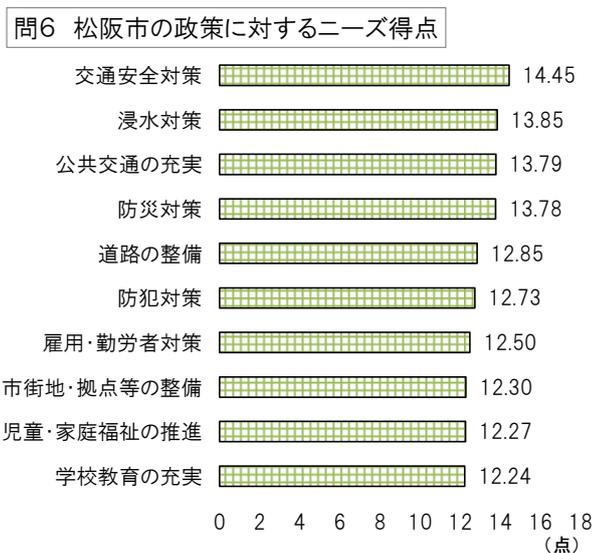
$$\text{ニーズ得点} = (6 - \text{満足度得点}) \times \text{重要度得点}$$

優先順位の判定にあたっては、平均ニーズ得点で行う。

《平均ニーズ得点の算出式》

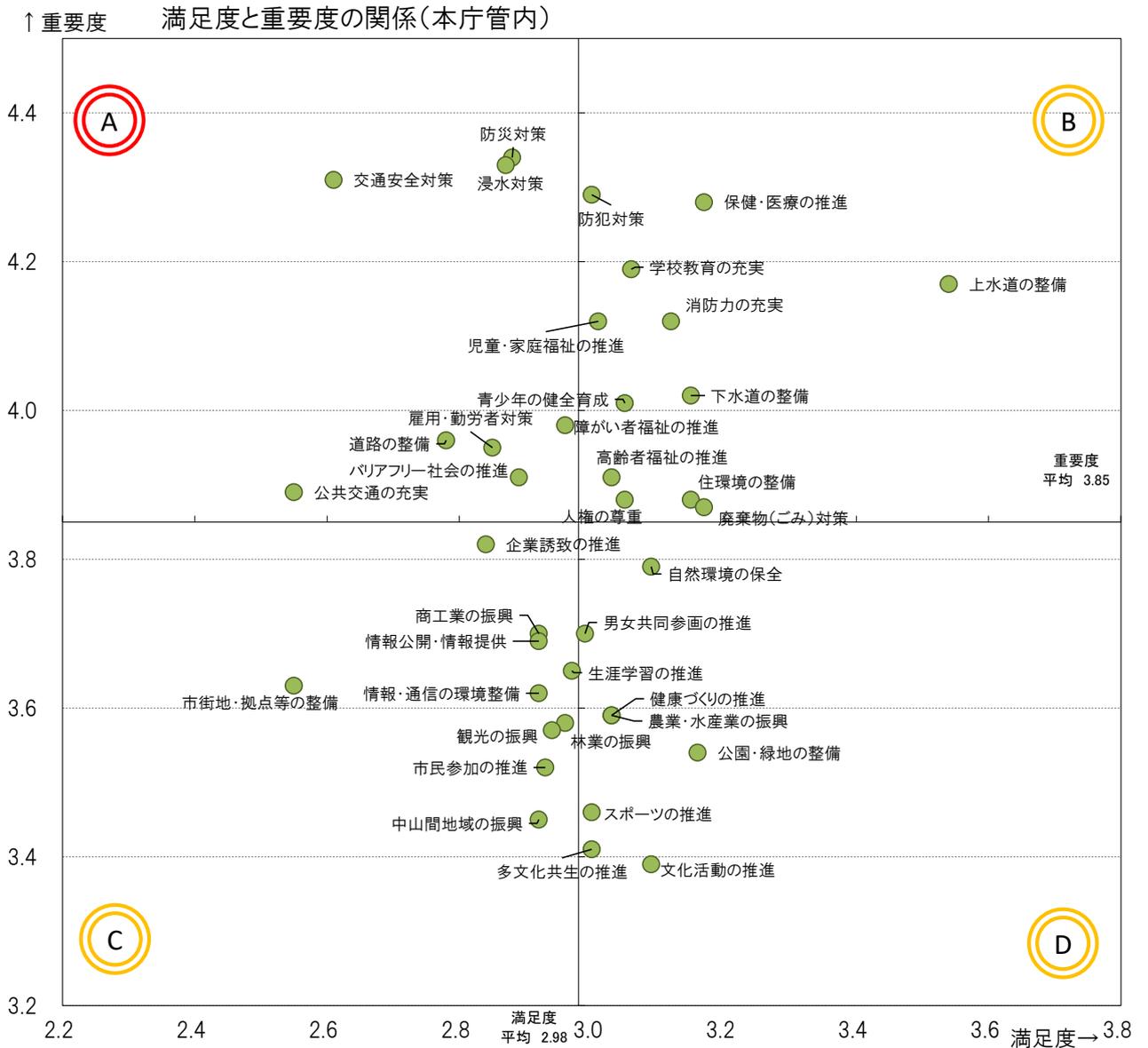
$$\text{平均ニーズ得点} = \text{ニーズ得点の合計} \div \text{回答数（満足度と重要度の両方が回答された数）}$$

以上の算出方法をもとに、最重点項目について平均ニーズ得点を整理すると、以下のように「交通安全対策」「浸水対策」「公共交通の充実」等のニーズ得点が高くなっている。



ここで、居住地域別に 38 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

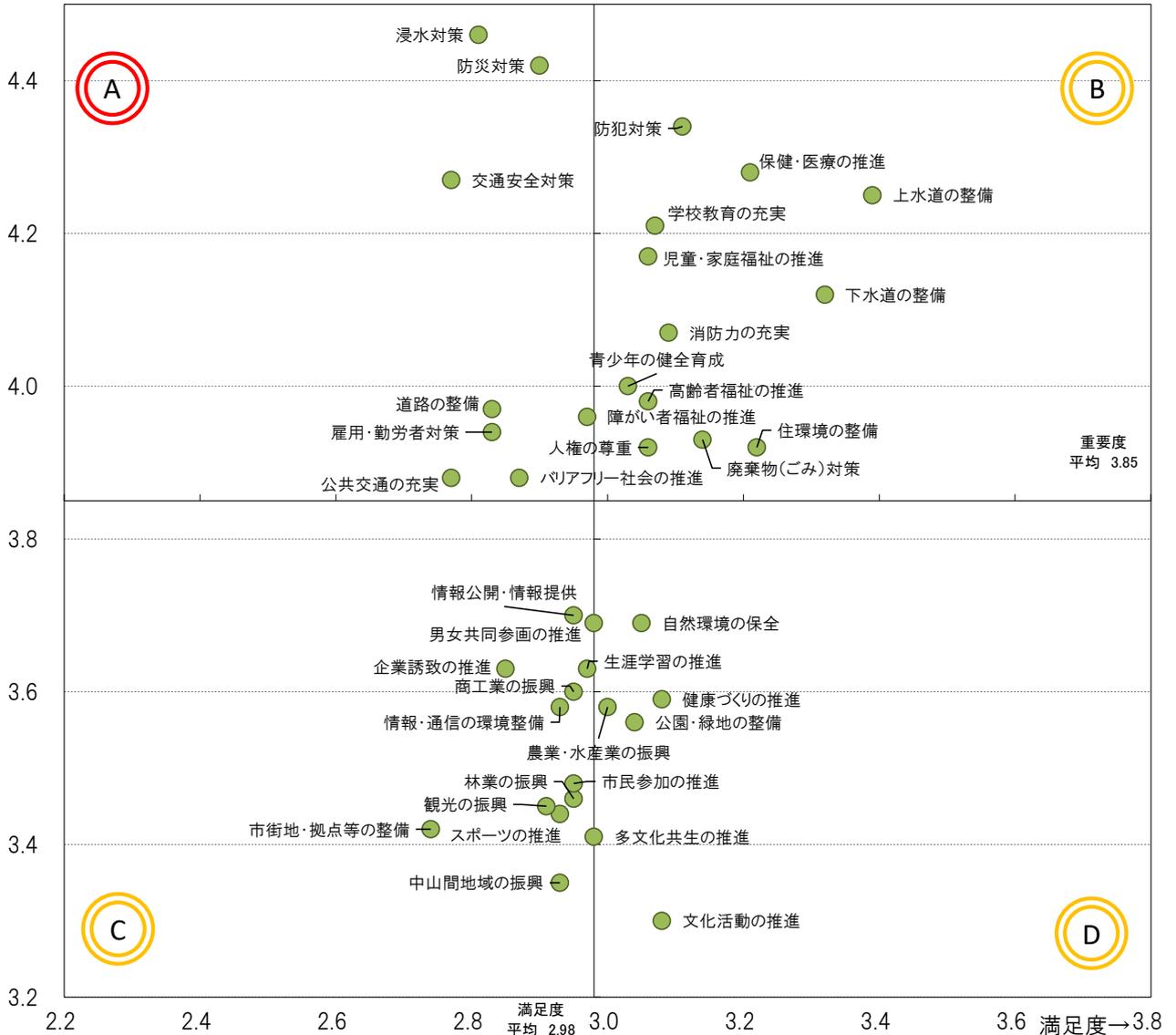
《本庁管内》



- A** 最重点項目（本庁管内の市民が優先して求めている施策）
- 防災対策
 - 交通安全対策
 - 浸水対策
 - 道路の整備
 - 公共交通の充実
 - 障がい者福祉の推進
 - 雇用・勤労者対策
 - パリアフリー社会の推進

《 嬉野管内 》

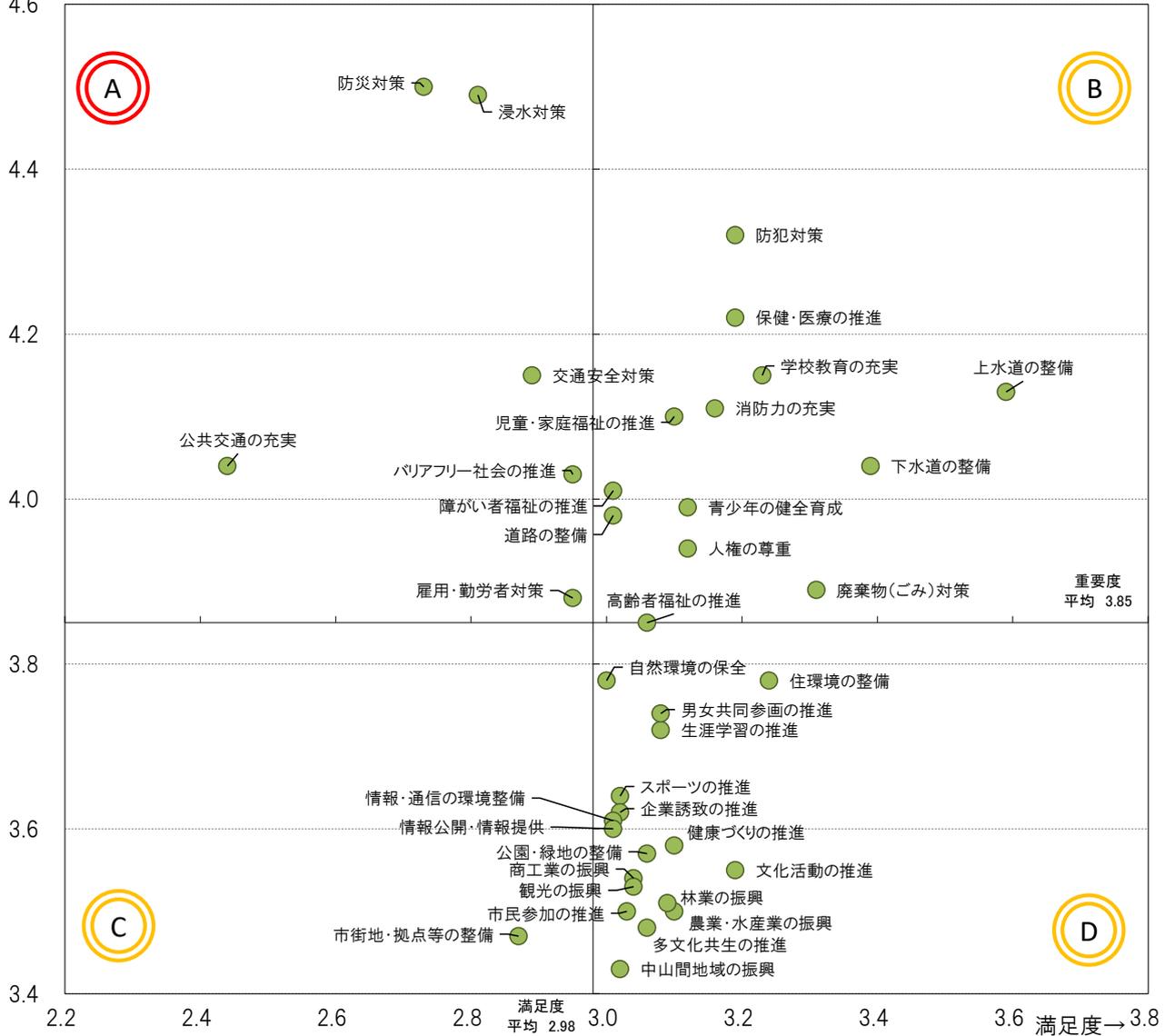
↑ 重要度 満足度と重要度の関係(嬉野管内)



- A** 最重点項目 (嬉野管内の市民が優先して求めている施策)
- 防災対策
 - 浸水対策
 - 交通安全対策
 - 道路の整備
 - 公共交通の充実
 - 障がい者福祉の推進
 - 雇用・勤労者対策
 - パリアフリー社会の推進

《三雲管内》

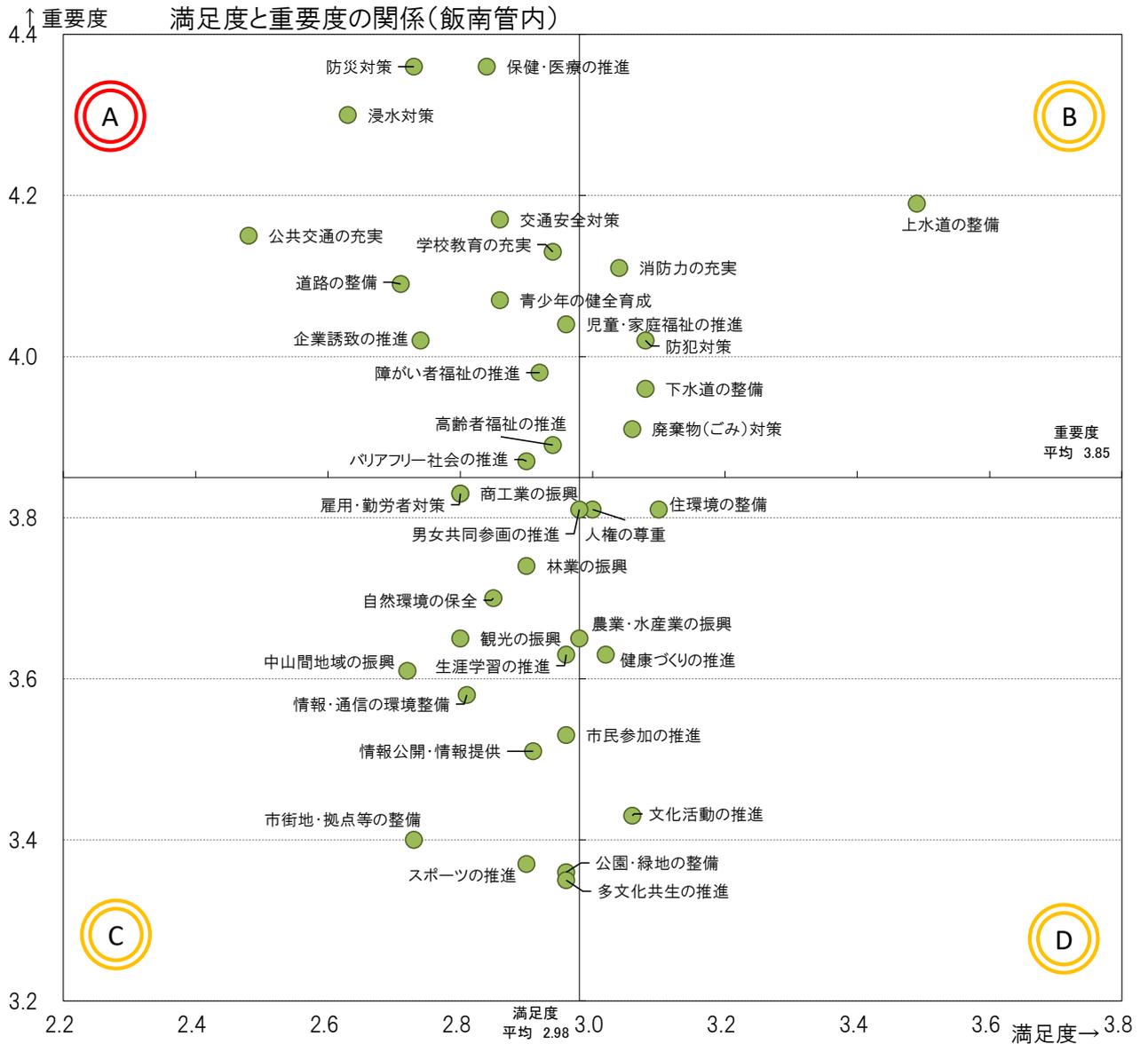
↑重要度 満足度と重要度の関係(三雲管内)



A 最重点項目 (三雲管内の市民が優先して求めている施策)

- 防災対策
- 交通安全対策
- 雇用・勤労者対策
- 浸水対策
- 公共交通の充実
- パリアフリー社会の推進

《飯南管内》

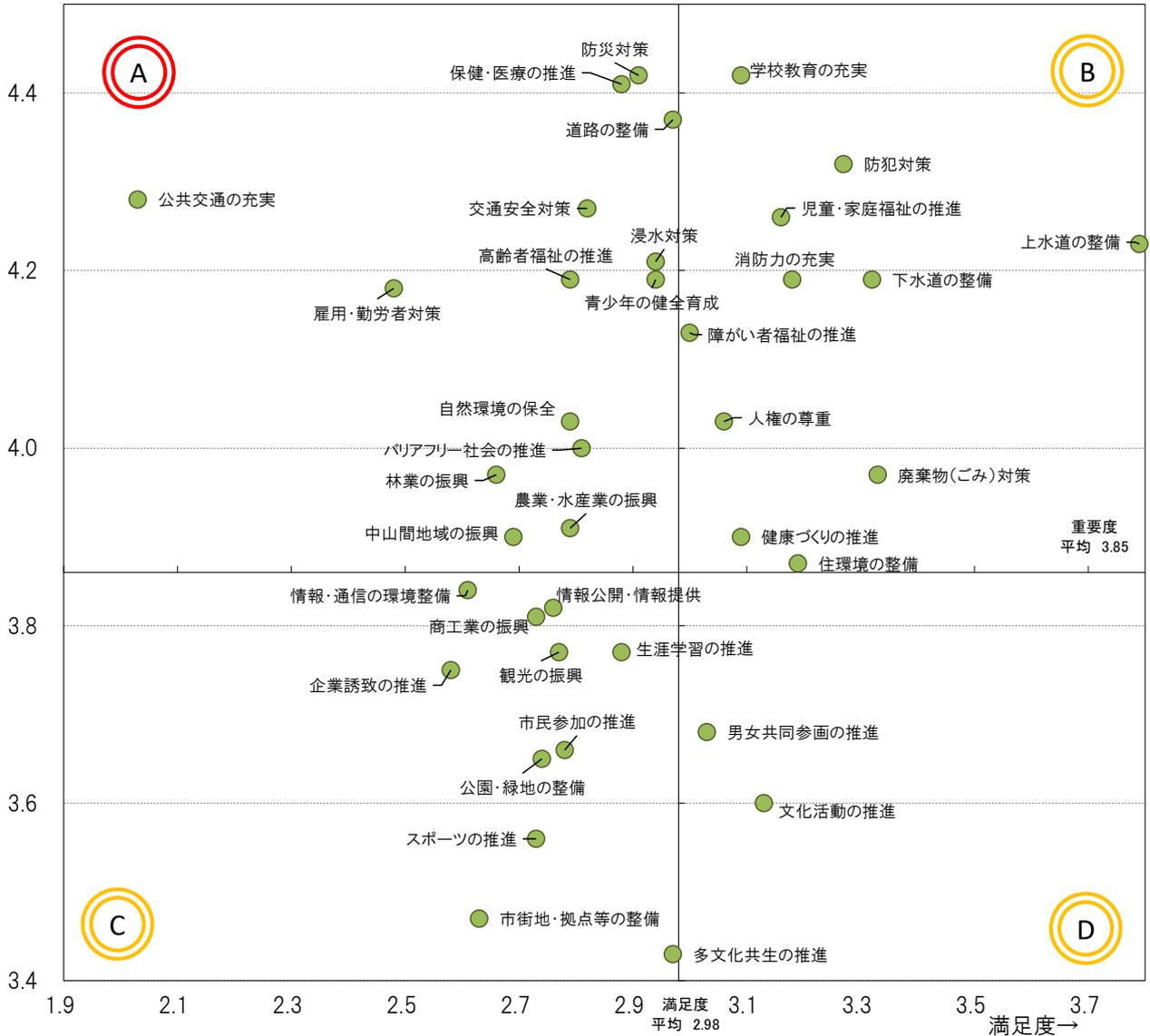


A 最重点項目 (飯南管内の市民が優先して求めている施策)

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 防災対策 | <input type="checkbox"/> 保健・医療の推進 | <input type="checkbox"/> 青少年の健全育成 |
| <input type="checkbox"/> 浸水対策 | <input type="checkbox"/> 高齢者福祉の推進 | <input type="checkbox"/> 企業誘致の推進 |
| <input type="checkbox"/> 交通安全対策 | <input type="checkbox"/> 障がい者福祉の推進 | <input type="checkbox"/> パリアフリー社会の推進 |
| <input type="checkbox"/> 道路の整備 | <input type="checkbox"/> 児童・家庭福祉の推進 | |
| <input type="checkbox"/> 公共交通の充実 | <input type="checkbox"/> 学校教育の充実 | |

《飯高管内》

↑重要度 満足度と重要度の関係(飯高管内)

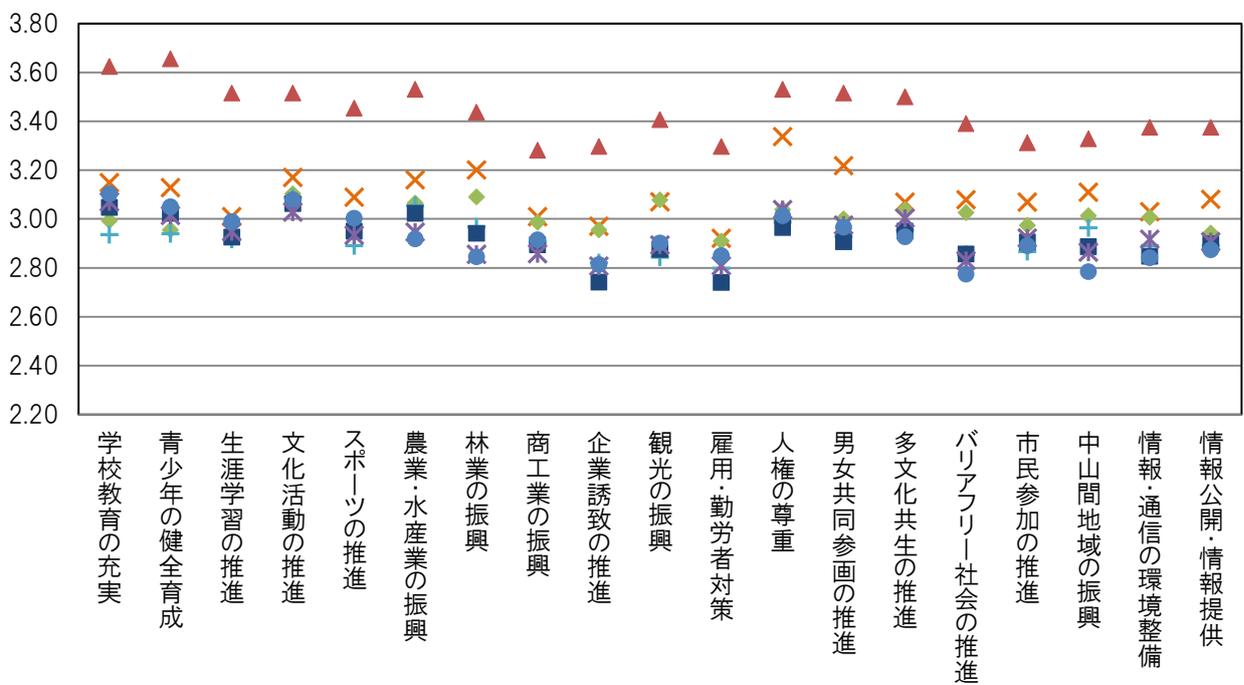
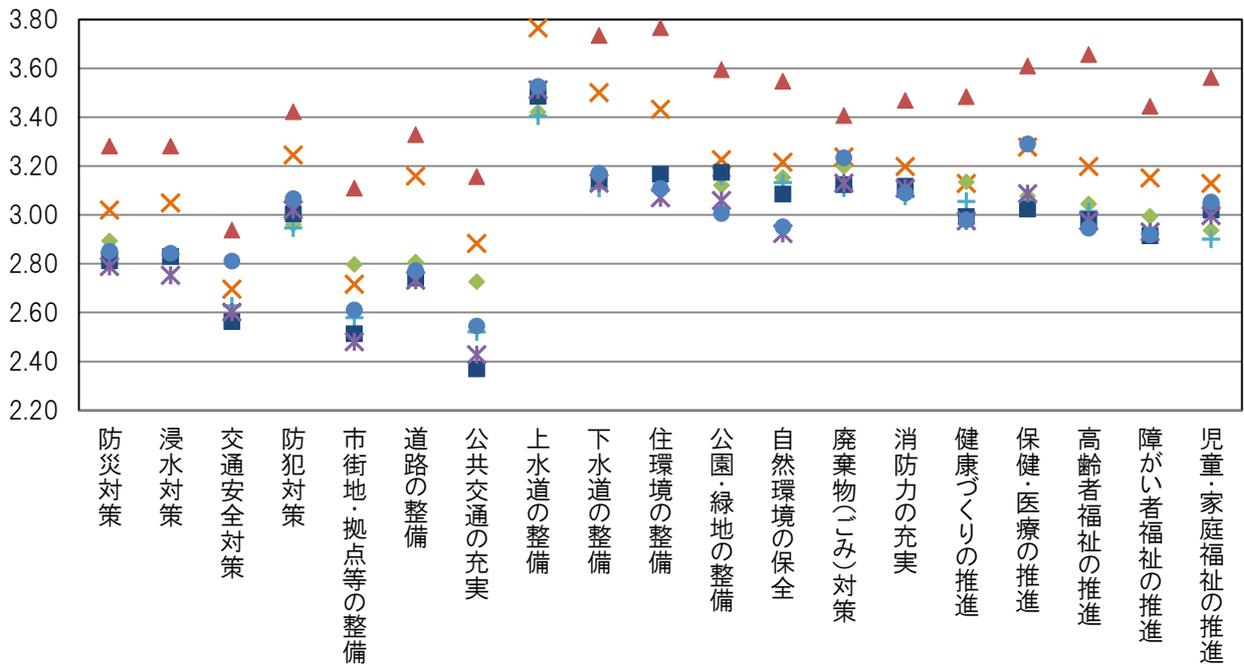


- A** 最重点項目 (飯高管内の市民が優先して求めている施策)
- 防災対策
 - 浸水対策
 - 交通安全対策
 - 道路の整備
 - 公共交通の充実
 - 自然環境の保全
 - 保健・医療の推進
 - 高齢者福祉の推進
 - 青少年の健全育成
 - 農業・水産業の振興
 - 林業の振興
 - 雇用・勤労者対策
 - パリアフリー社会の推進
 - 中山間地域の振興

年代別にみた 38 項目の満足度と重要度は以下のとおりである。

《年代別 満足度》

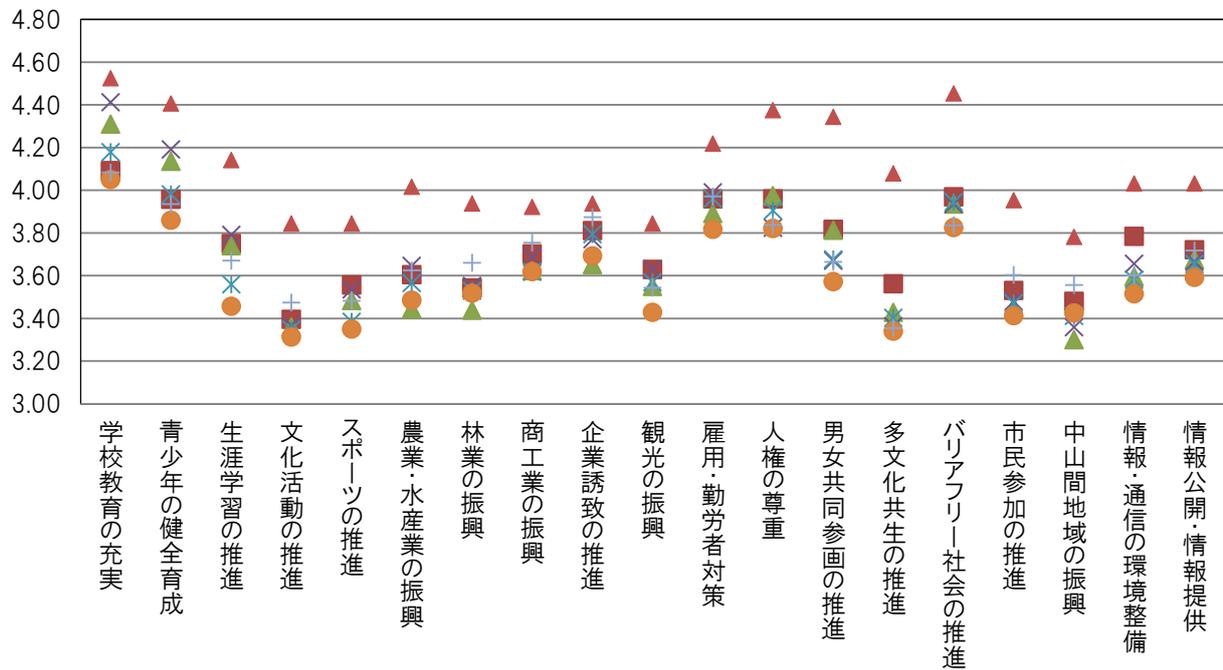
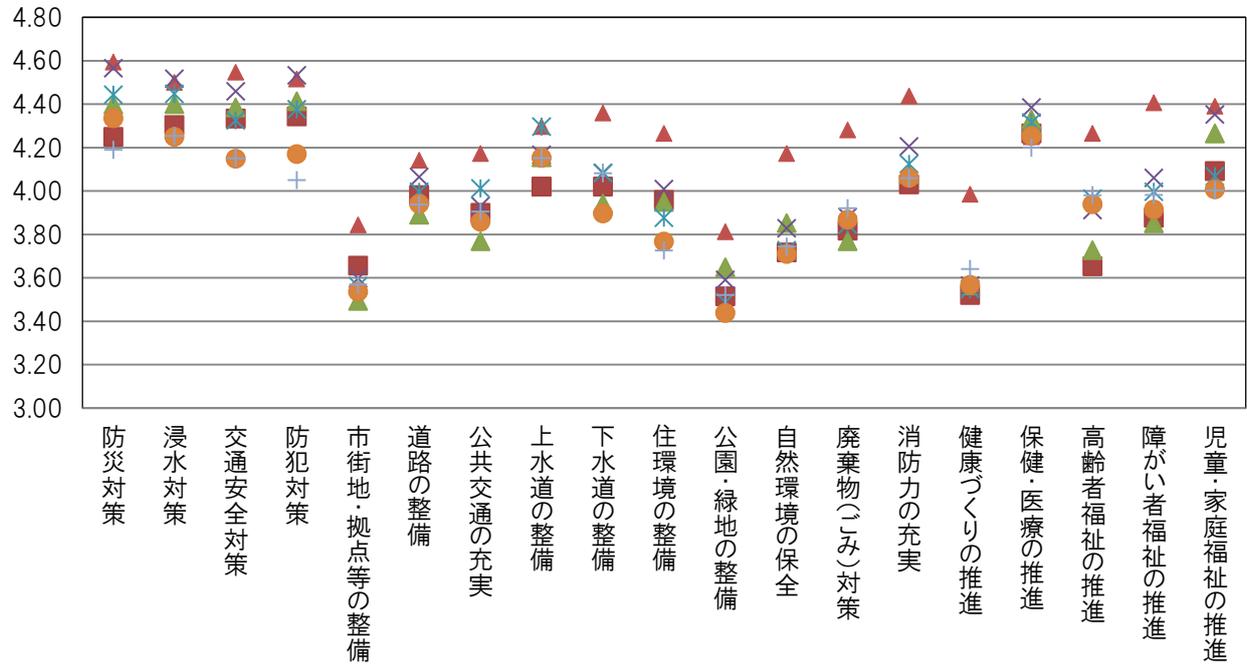
問6 年代別 満足度



▲10歳代 ×20歳代 ◆30歳代 +40歳代 ■50歳代 ×60歳代 ●70歳代以上

《年代別 重要度》

問6 年代別 重要度



▲10歳代 ■20歳代 ▲30歳代 ×40歳代 *50歳代 ●60歳代 +70歳代以上

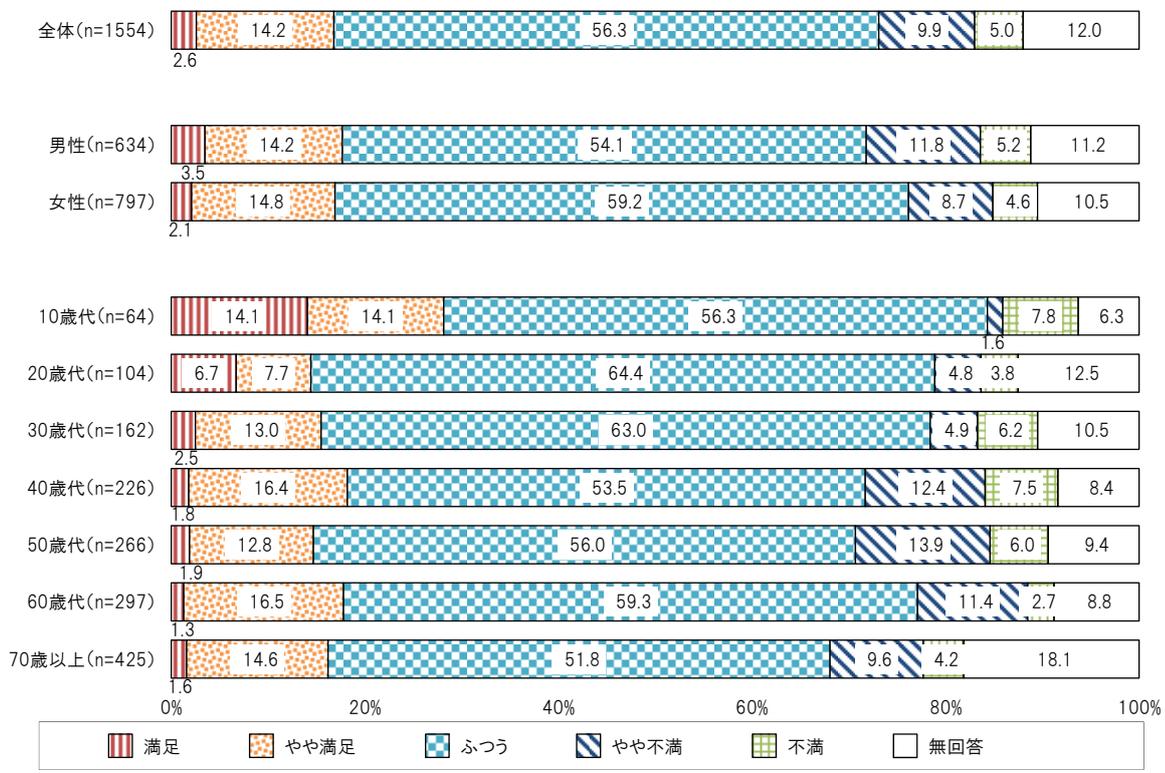
問7 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。（〇は1つだけ）

「ふつう」が56.3%で最も高く、ついで「やや満足」が14.2%、「やや不満」が9.9%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「満足」「やや満足」の合計の割合が0.8ポイント高くなっている。

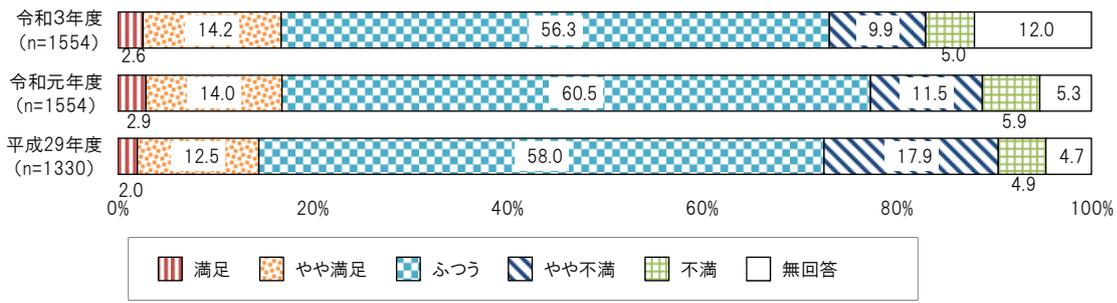
年代別にみると、「満足」「やや満足」の合計の割合は10歳代で高く28.2%となっている。一方で20歳代および50歳代で低くなっている。

問7 松阪市の政策を総合的にみたときの満足度



前回と比較すると、「満足」「やや満足」の合計の割合はほぼ横ばいとなっている。

問7 松阪市の政策を総合的にみたときの満足度



松阪市の個々の課題

1. 広報全般について

問8 松阪市の情報は主にどのような方法で得ていますか。（〇は3つまで）

「広報まつさか」が66.7%で最も高く、ついで「自治会などの回覧」が42.0%、「新聞」が31.5%となっている。

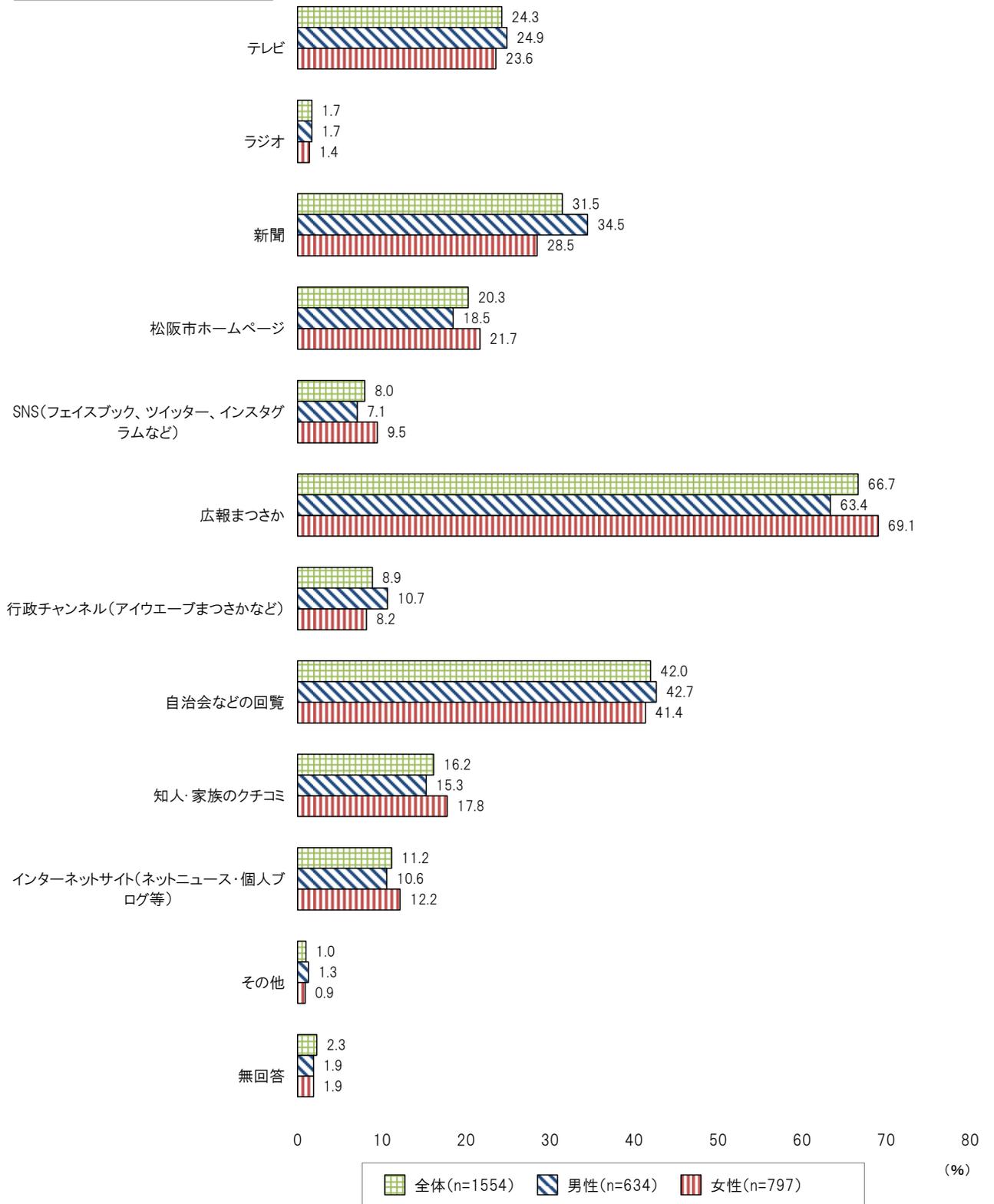
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも同じで、「広報まつさか」「自治会などの回覧」「新聞」であった。男女の間で差が大きかった項目は、「新聞」は男性の方が6.0ポイント高く、「広報まつさか」は女性の方が5.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、1番目の項目は、30歳代以上ではいずれも「広報まつさか」であり、10歳代では「知人・家族のクチコミ」、20歳代では「テレビ」となっている。10歳代では「広報まつさか」は3番目以内に入ってきていない。「自治会などの回覧版」は40歳代以上では3番目以内に入ってくるものの30歳代以下では3番目以内に入ってきていない。

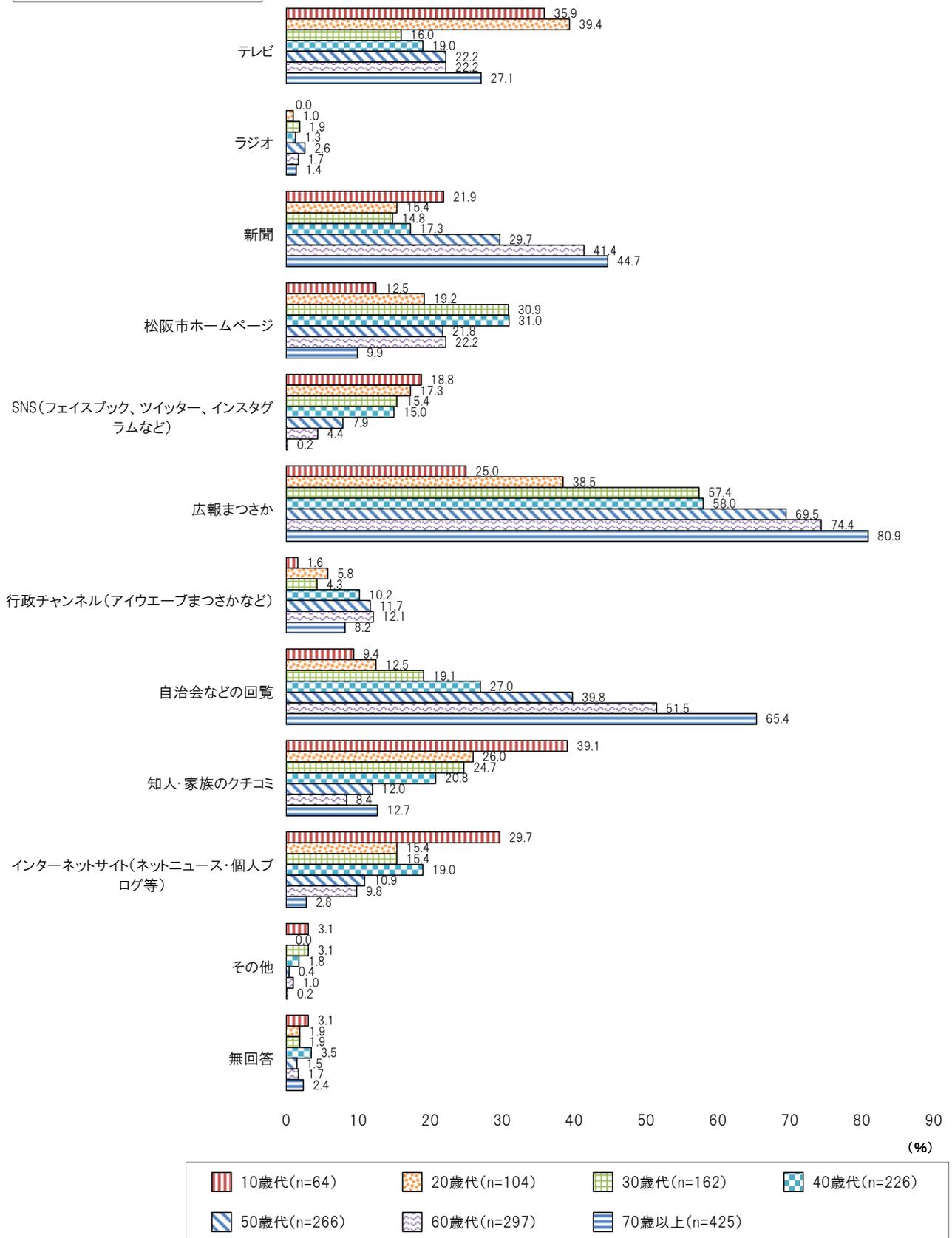
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
10歳代	知人・家族のクチコミ	39.1%	テレビ	35.9%	インターネットサイト（ネットニュース・個人ブログ等）	29.7%
20歳代	テレビ	39.4%	広報まつさか	38.5%	知人・家族のクチコミ	26.0%
30歳代	広報まつさか	57.4%	松阪市ホームページ	30.9%	知人・家族のクチコミ	24.7%
40歳代	広報まつさか	58.0%	松阪市ホームページ	31.0%	自治会などの回覧	27.0%
50歳代	広報まつさか	69.5%	自治会などの回覧	39.8%	新聞	29.7%
60歳代	広報まつさか	74.4%	自治会などの回覧	51.5%	新聞	41.4%
70歳以上	広報まつさか	80.9%	自治会などの回覧	65.4%	新聞	44.7%

問8 松阪市の情報の入手方法



問8 松阪市の情報の入手方法



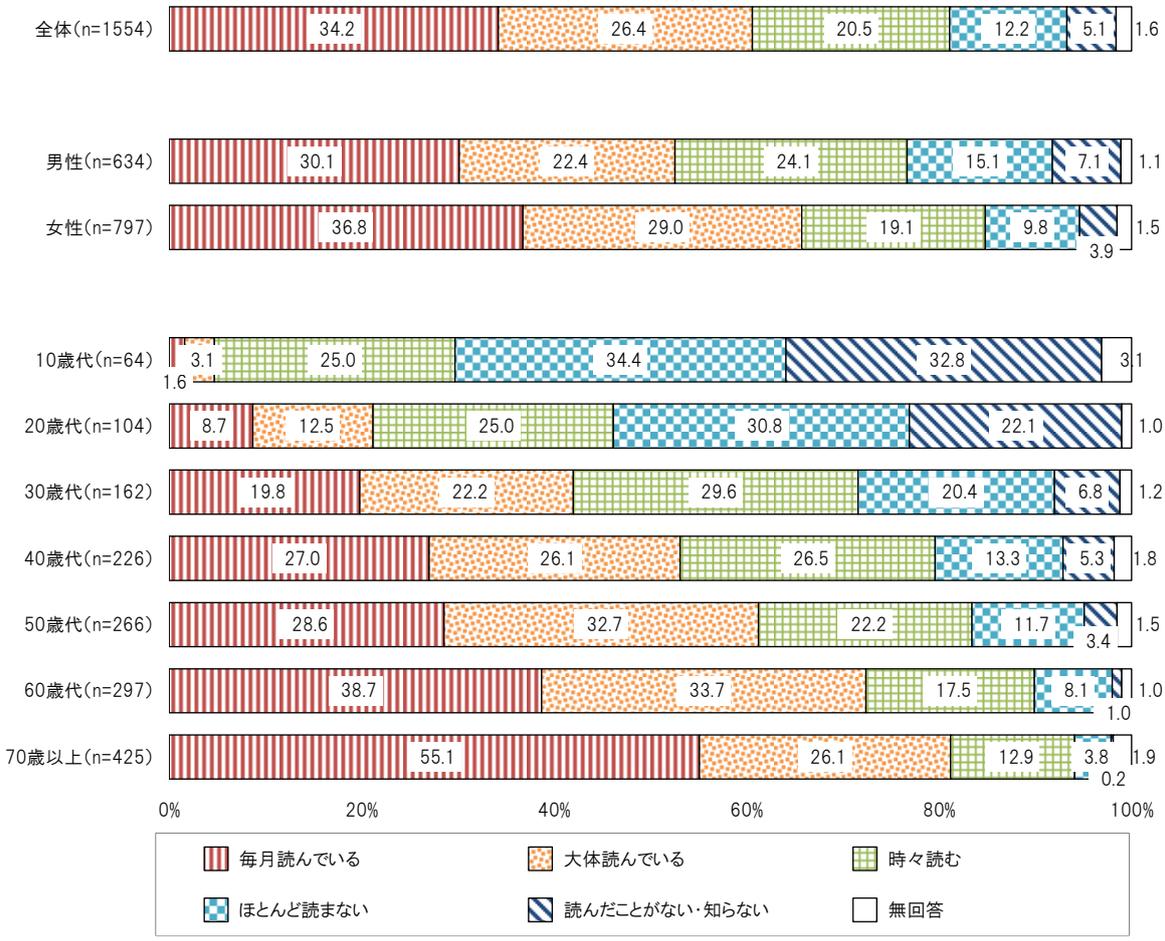
問9 広報まつさかを読んでいますか。(〇は1つだけ)

全体では「毎月読んでいる」が34.2%で最も高く、ついで「大体読んでいる」が26.4%、「時々読む」が20.5%となっている。

性別にみると、「毎月読んでいる」は女性で36.8%であるのに対し、男性では30.1%と、女性の方が6.7ポイント多くなっている。

年代別にみると、「毎月読んでいる」は年齢が高いほど割合が高くなっており、70歳以上では55.1%となっている。一方、10歳代、20歳代では「ほとんど読まない」が最も多くなっており、「読んだことがない・知らない」「ほとんど読まない」の合計の割合をみると10歳代で67.2%、20歳代で52.9%と5割を超えている。

問9 広報まつさかを読んでいるか



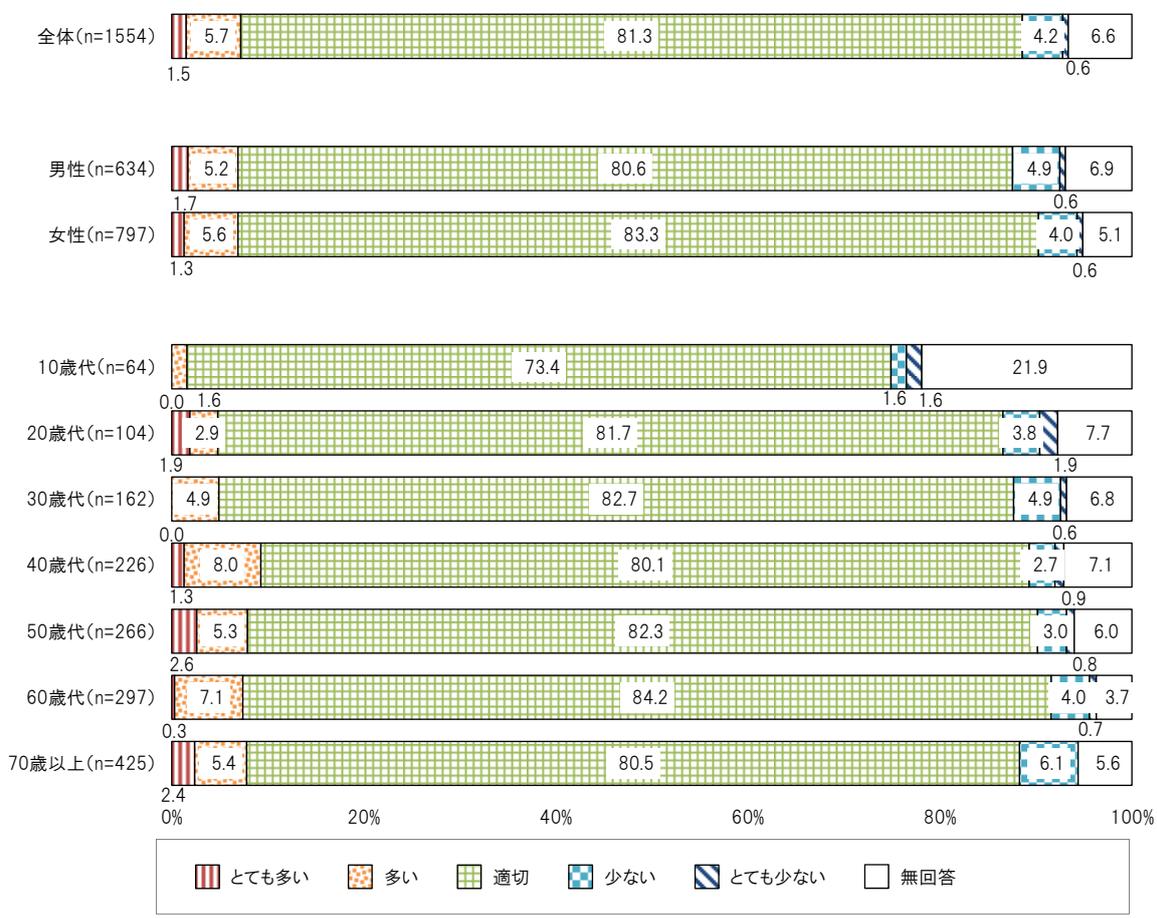
問 10 広報まつさかのページ数は適切ですか。（○は1つだけ）

全体では「適切」が81.3%で最も高く、ついで「多い」が5.7%、「少ない」が4.2%となっている。

性別にみると、「適切」の割合は女性の方が男性より2.7ポイント高いものの、ほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「とても多い」と「多い」の合計の割合は、30歳代以下では5%を下回っており、40歳代以上では5%を超えている。

問10 広報まつさかのページ数は適切か



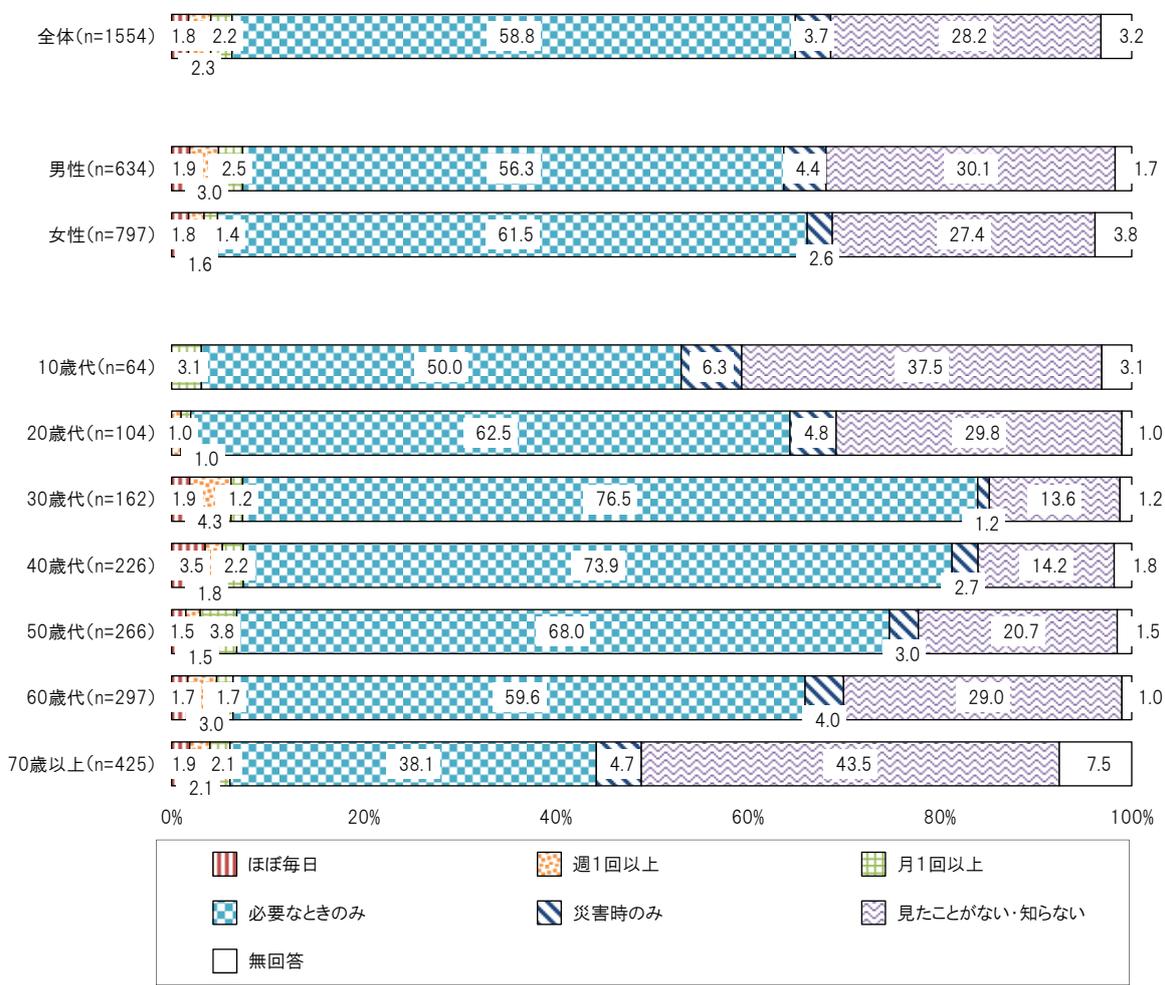
問 11 松阪市ホームページを利用していますか。（○は1つだけ）

全体では「必要なときのみ」が58.8%で最も高く、ついで「見たことがない・知らない」が28.2%、「災害時のみ」が3.7%となっている。

性別にみると、「必要なときのみ」の割合は女性の方が男性より5.2ポイント高いものの、極端な差はなくほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「見たことがない・知らない」の割合は、30歳代、40歳代で20%を下回っており、一方で、10歳代で37.5%、70歳以上で43.5%となっており3割を超えている。

問11 松阪市ホームページの利用状況



問 12 松阪市ホームページをリニューアルするときを求めるものは何ですか。（〇はいくつでも）

「見やすさ」が 49.7%で最も高く、ついで「検索しやすさ」が 45.4%、「災害に強いシステム」が 26.1%となっている。

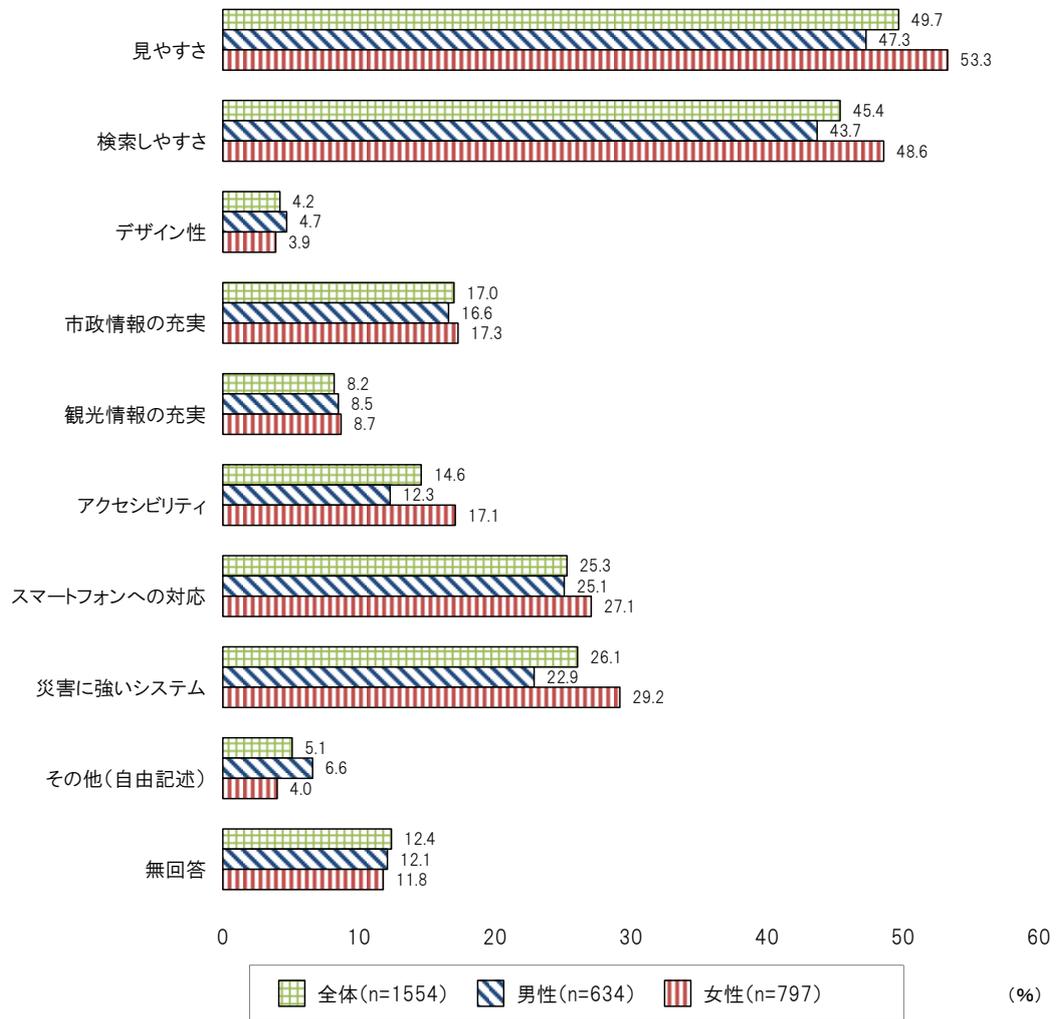
性別にみると、男女ともに1番目は「見やすさ」、2番目は「検索しやすさ」であるが、3番目については男性が「スマートフォンへの対応」、女性が「災害に強いシステム」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、女性の方が「災害に強いシステム」で6.3ポイント、「見やすさ」で6.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも、「見やすさ」は2番目以内には入っており、「検索しやすさ」も3番目以内には入っている。「災害に強いシステム」は10歳代で2番目、50歳代、60歳代で3番目以内に入っており、「スマートフォンへの対応」は20歳代、30歳代、40歳代で3番目に入っている。

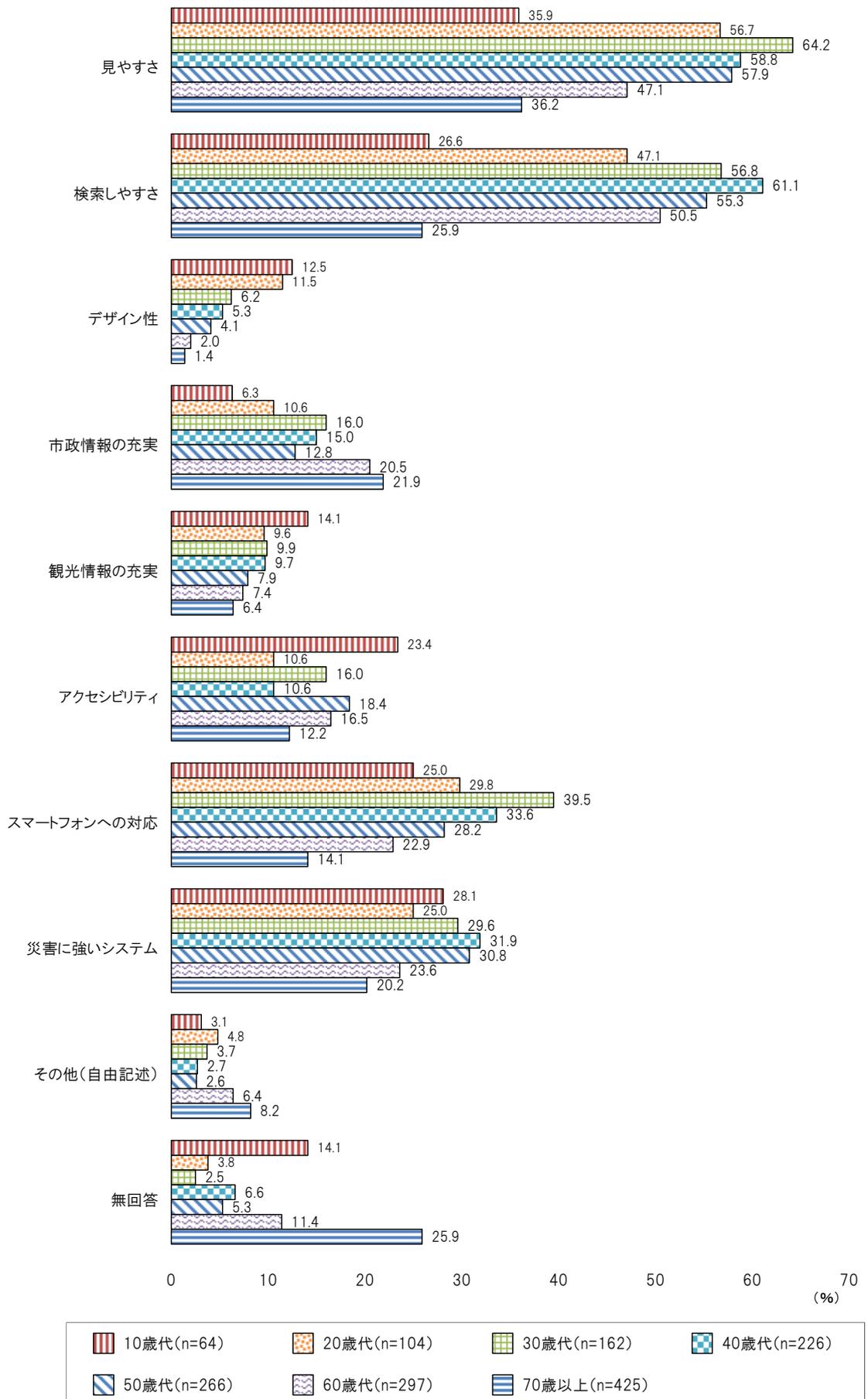
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	見やすさ	35.9%	災害に強いシステム	28.1%	検索しやすさ	26.6%
20 歳代	見やすさ	56.7%	検索しやすさ	47.1%	スマートフォンへの対応	29.8%
30 歳代	見やすさ	64.2%	検索しやすさ	56.8%	スマートフォンへの対応	39.5%
40 歳代	検索しやすさ	61.1%	見やすさ	58.8%	スマートフォンへの対応	33.6%
50 歳代	見やすさ	57.9%	検索しやすさ	55.3%	災害に強いシステム	30.8%
60 歳代	検索しやすさ	50.5%	見やすさ	47.1%	災害に強いシステム	23.6%
70 歳以上	見やすさ	36.2%	検索しやすさ	25.9%	市政情報の充実	21.9%

問12 松阪市ホームページをリニューアルするとき求めるもの



問12 松阪市ホームページをリニューアルするとき求めるもの



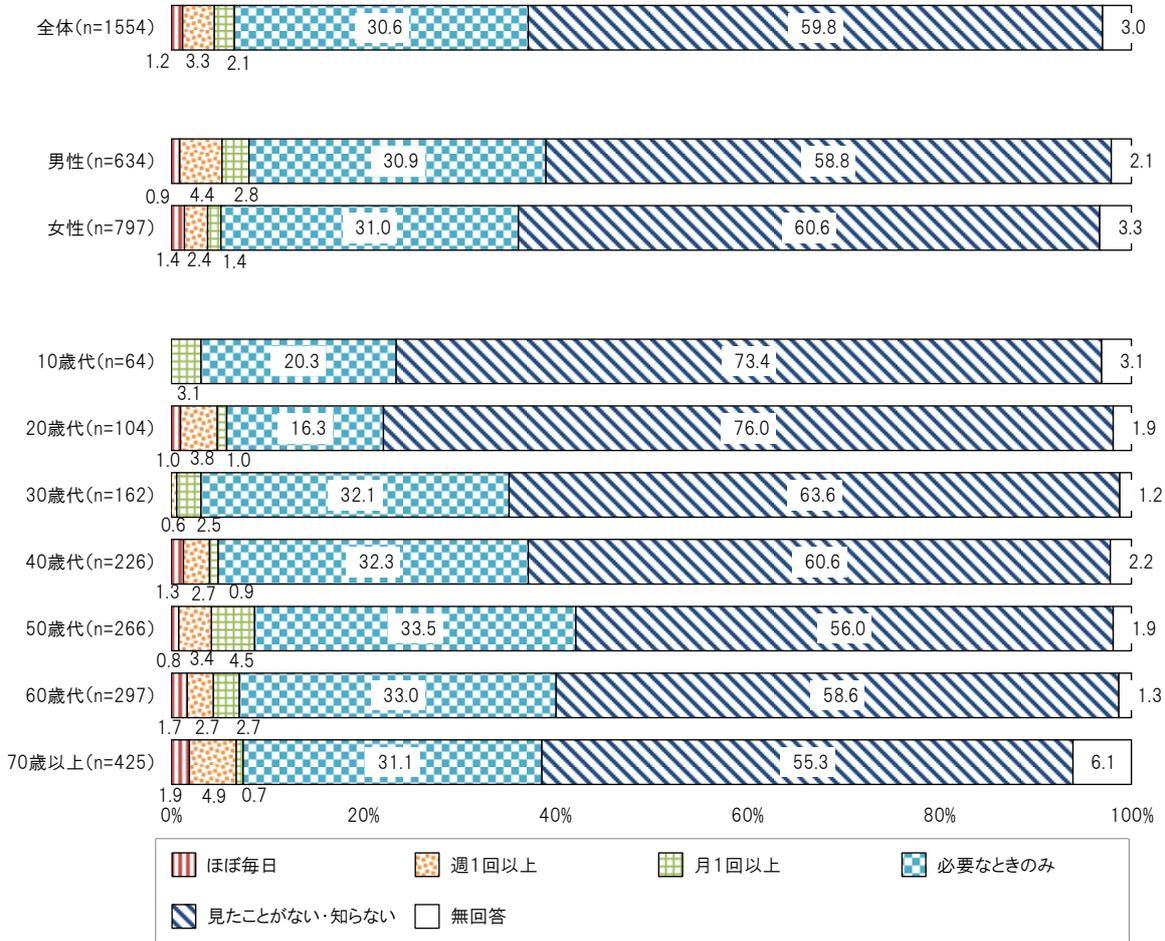
問 13 行政チャンネル（123ch）をご覧になったことはありませんか。（〇は1つだけ）

全体では「見たことがない・知らない」が59.8%で最も高く、ついで「必要なときのみ」が30.6%、「週1回以上」が3.3%となっている。

性別にみると、「週1回以上」の割合は男性の方が女性より2.0ポイント高いものの、ほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「見たことがない・知らない」の割合は、50歳代以上で6割未満、30歳代、40歳代で6割以上7割未満、10歳代、20歳代で7割以上となっている。

問13 行政チャンネルの視聴の有無



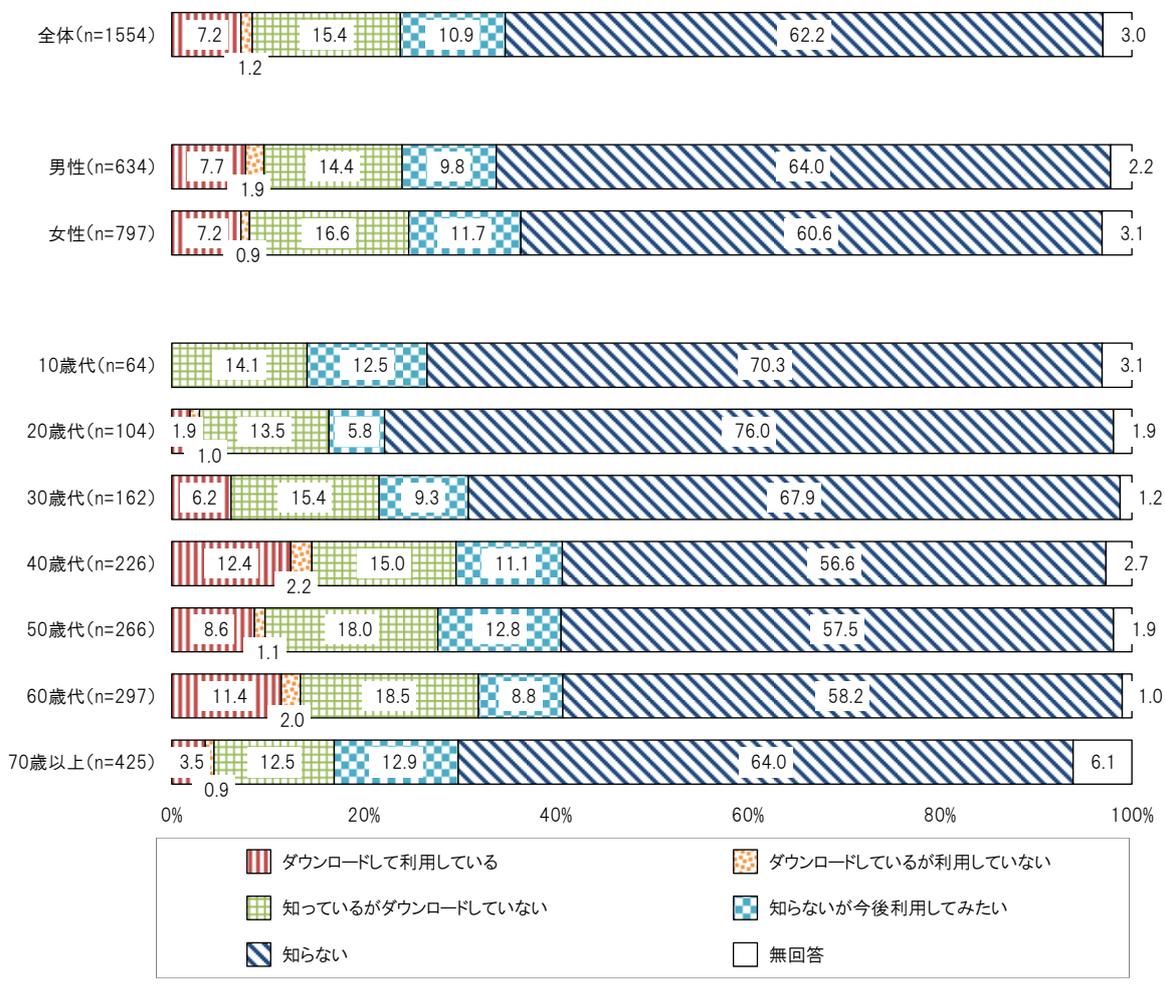
問 14 松阪市公式アプリ「松阪ナビ」を知っていますか。（○は1つだけ）

全体では「知らない」が62.2%で最も高く、ついで「知っているがダウンロードしていない」が15.4%、「知らないが今後利用してみたい」が10.9%となっている。

性別にみると、「知らない」の割合は男性の方が女性より3.4ポイント高いものの、ほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「ダウンロードして利用している」の割合は、40歳代、60歳代では10%を超え高くなっている。一方、10歳代で0.0%、20歳代で1.9%と低くなっており、70歳以上も3.5%と低くなっている。

問14 松阪市公式アプリ「松阪ナビ」の認知状況



問 15 「松阪ナビ」で発信して欲しい情報は何か。（〇はいくつでも）

「災害情報」が47.6%で最も高く、ついで「防災・安全情報」が43.6%、「イベント情報」が32.8%となっている。

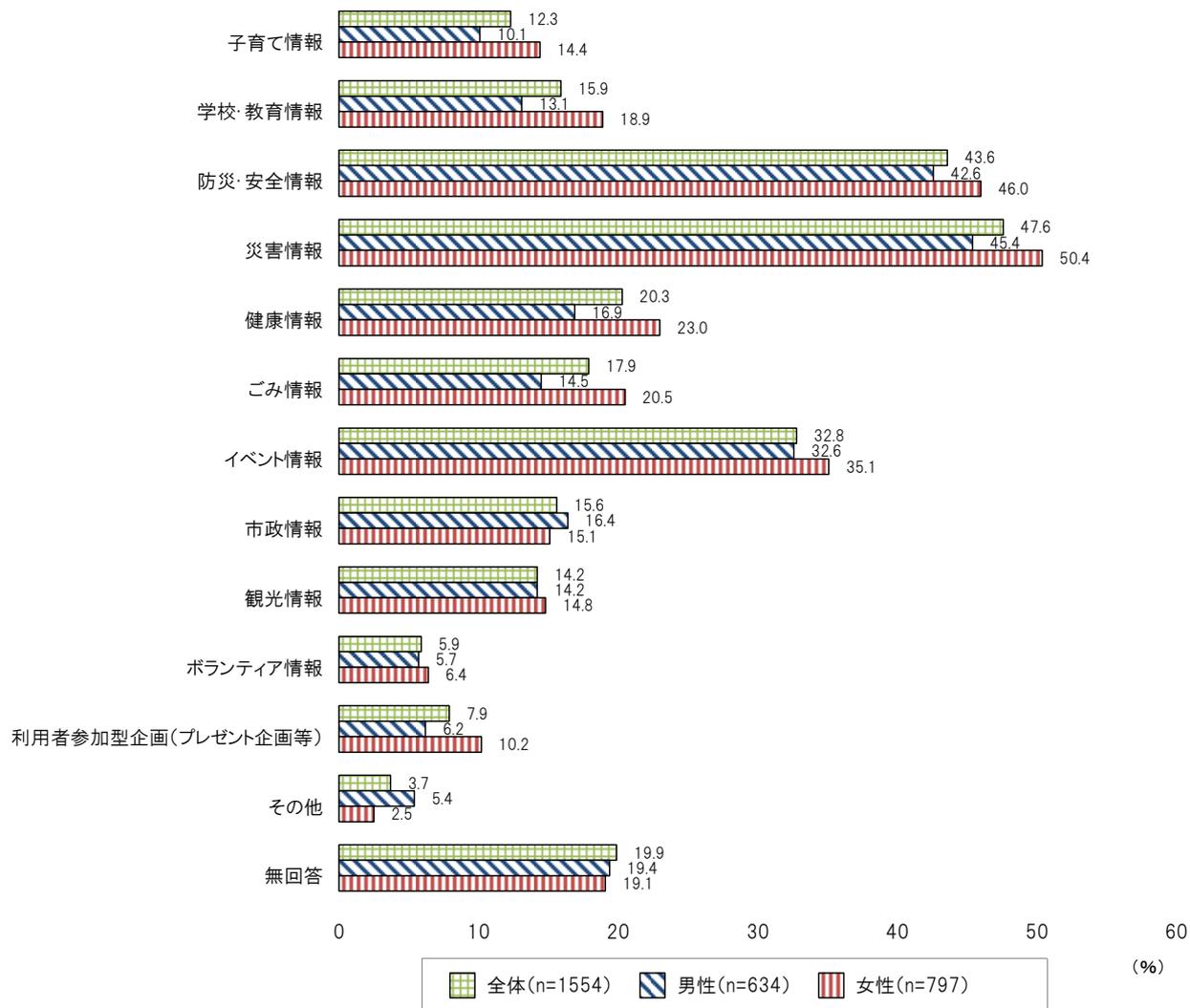
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも同じで、「災害情報」「防災・安全情報」「イベント情報」であった。男女の間に差が大きかった項目は、女性の方が「健康情報」で6.1ポイント、「ごみ情報」で6.0ポイント、「学校・教育情報」で5.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「災害情報」は1番目となっており、「防災・安全情報」も3番目には入っている。「イベント情報」は20歳代で2番目、10歳代、40歳代、50歳代、60歳代で3番目に入っている。30歳代では「子育て情報」、70歳以上では「健康情報」が3番目に入っている。

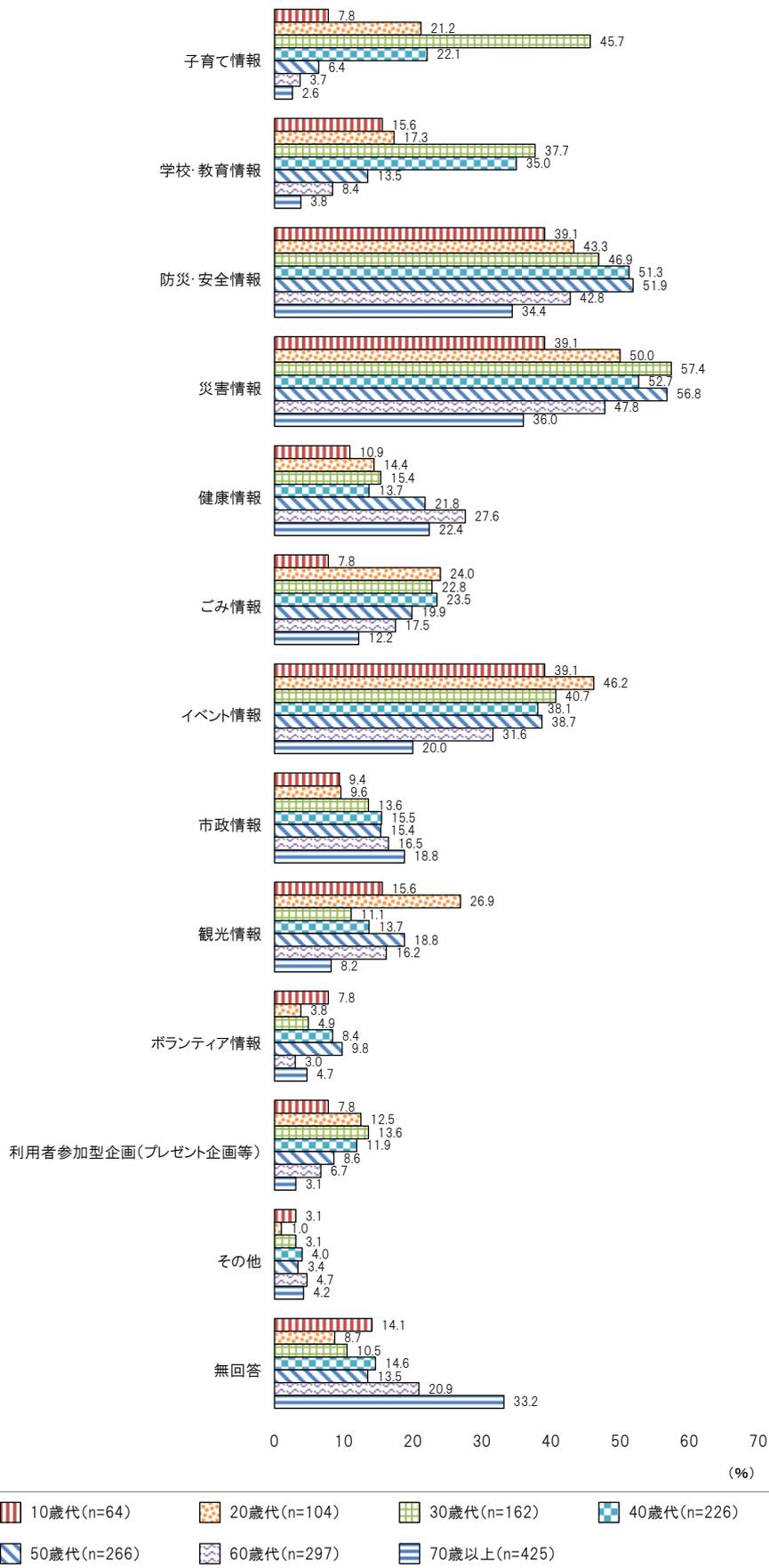
<年代ごとの上位3項目>

	1 番 目		2 番 目		3 番 目	
	10 歳代	防災・安全情報	39.1%			イベント情報
	災害情報	39.1%				
20 歳代	災害情報	50.0%	イベント情報	46.2%	防災・安全情報	43.3%
30 歳代	災害情報	57.4%	防災・安全情報	46.9%	子育て情報	45.7%
40 歳代	災害情報	52.7%	防災・安全情報	51.3%	イベント情報	38.1%
50 歳代	災害情報	56.8%	防災・安全情報	51.9%	イベント情報	38.7%
60 歳代	災害情報	47.8%	防災・安全情報	42.8%	イベント情報	31.6%
70 歳以上	災害情報	36.0%	防災・安全情報	34.4%	健康情報	22.4%

問15 「松阪ナビ」で発信して欲しい情報



問15 「松阪ナビ」で発信して欲しい情報



2. アフターコロナの重点的施策について

問 16 アフターコロナに向けて、どのような分野に力をいれていくべきだと思いますか。
(〇は3つまで)

「地域医療」が32.1%で最も高く、ついで「子ども子育て支援」が19.5%、「学校教育」が17.2%となっている。

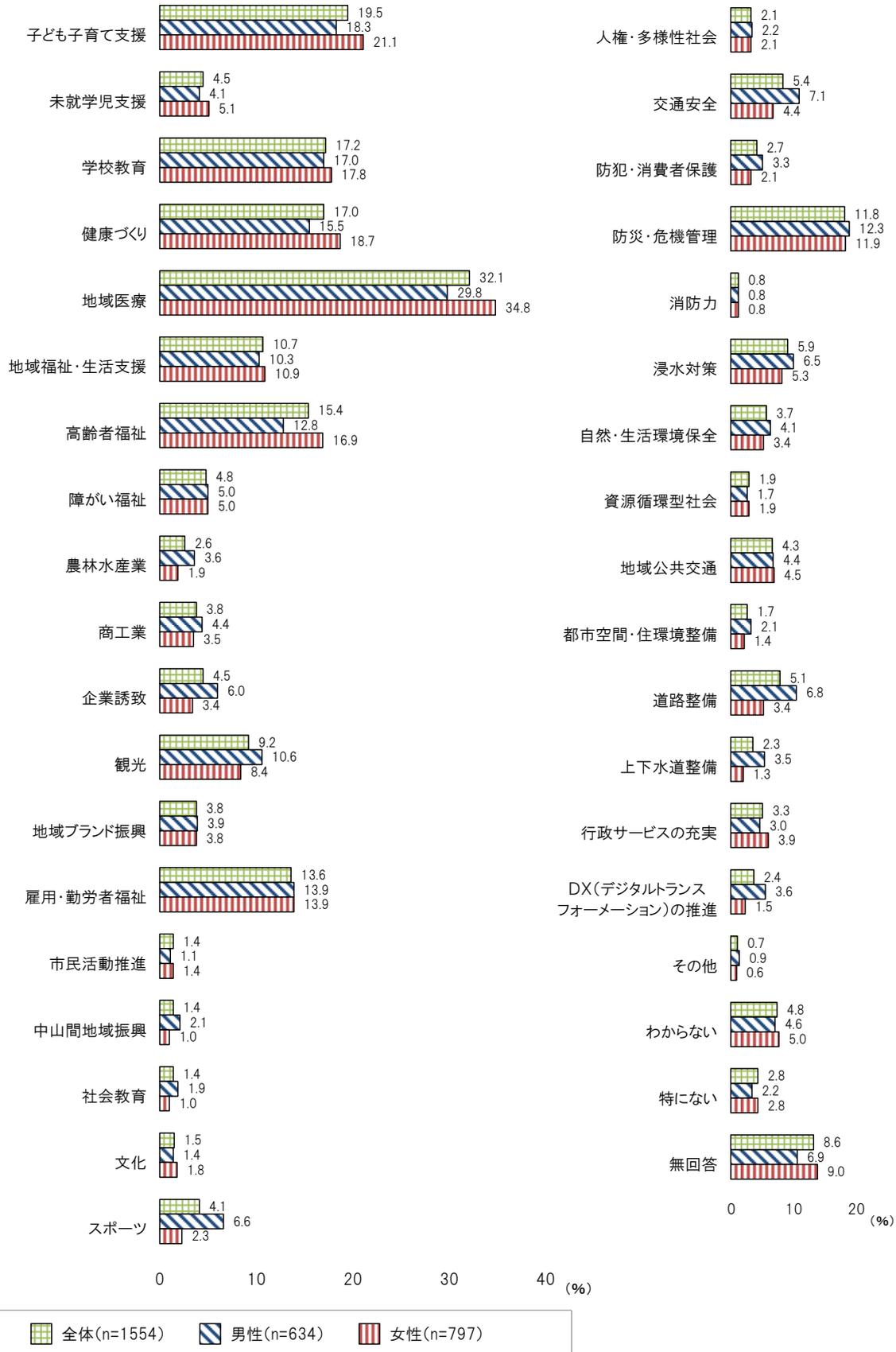
性別にみると、1番目、2番目に高い項目は男女とも同じで、「地域医療」「子ども子育て支援」であった。3番目に高い項目は、男性では「学校教育」、女性では「健康づくり」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「スポーツ」で4.3ポイント、「道路整備」で3.4ポイント、「交通安全」で2.7ポイント男性の方が高く、一方で、「地域医療」で5.0ポイント、「高齢者福祉」で4.1ポイント、「健康づくり」で3.2ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「地域医療」は2番目以内に入っている。3番目以内に入っている項目をみると、10歳代、20歳代、30歳代、40歳代で「学校教育」、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代で「子ども子育て支援」、10歳代、60歳代、70歳以上で「健康づくり」が入っている。また、60歳代、70歳以上では「高齢者福祉」、50歳代では「雇用・勤労者福祉」が3番目以内に入っている。

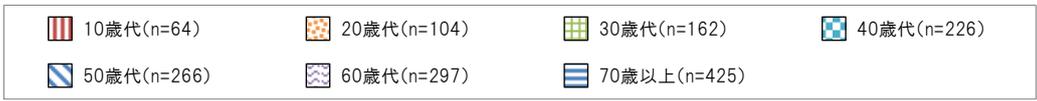
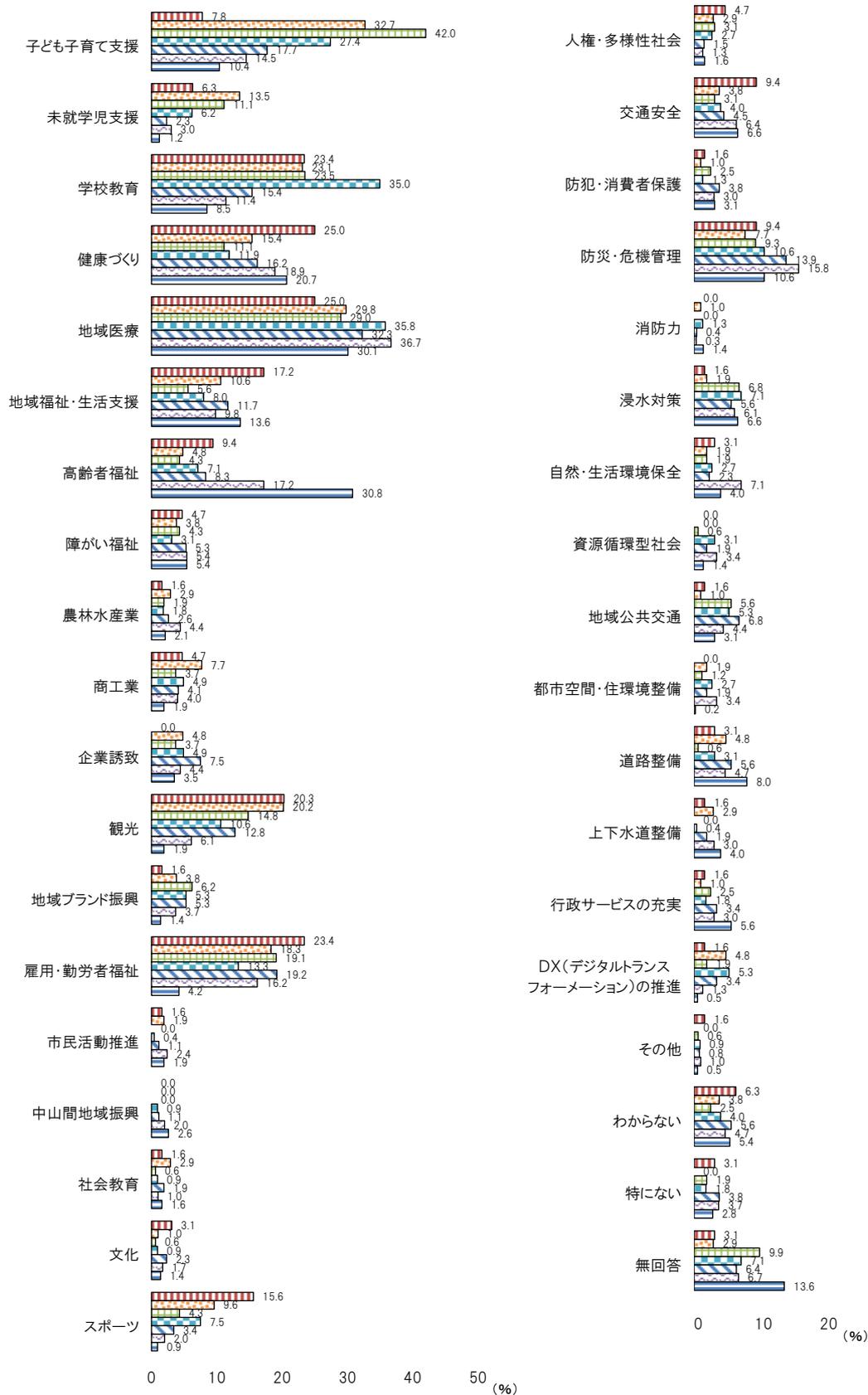
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
10歳代	地域医療	25.0%			学校教育	23.4%
	健康づくり	25.0%				
20歳代	子ども子育て支援	32.7%	地域医療	29.8%	学校教育	23.1%
30歳代	子ども子育て支援	42.0%	地域医療	29.0%	学校教育	23.5%
40歳代	地域医療	35.8%	学校教育	35.0%	子ども子育て支援	27.4%
50歳代	地域医療	32.3%	雇用・勤労者福祉	19.2%	子ども子育て支援	17.7%
60歳代	地域医療	36.7%	健康づくり	18.9%	高齢者福祉	17.2%
70歳以上	高齢者福祉	30.8%	地域医療	30.1%	健康づくり	20.7%

問16 アフターコロナに向けて、力を入れていくべき分野



問16 アフターコロナに向けて、力を入れていくべき分野



3. 若者流出防止対策・大学誘致について

問 17 南三重地域へ県立大学を誘致することについてどう思いますか。（〇は1つだけ）

全体では「良いことだと思う」が50.9%で最も高く、ついで「どちらとも言えない」が38.0%、「良くないと思う」が7.3%となっている。

性別にみると、「良いことだと思う」の割合はほぼ同割合で、「良くないと思う」は男性の方が女性より4.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「良いことだと思う」の割合について、10歳代、40歳代、50歳代、70歳代では5割を超えている。一方、20歳代では39.4%と4割を下回っている。「良くないと思う」の割合は40歳代で1割を超えている。

問17 南三重地域へ県立大学を誘致することについて



問 18 問 17 でそう思われた理由は何ですか。（ご自由にご記入ください。）

全体では 874 件の意見が寄せられ、内訳として「良いことだと思う」についての意見が 517 件、「良くないと思う」についての意見が 98 件、「どちらとも言えない」についての意見が 254 件、その他が 5 件となっている。

<「良いことだと思う」の主な意見>

- 町に活気が出る。
- 若者の多様性が生まれる。
- 県内で学ぶことが出来れば経済的にも助かるから。
- 若者が県外に流れないようにするため。
- 選択肢がなければ若者が地元を離れるのは仕方がないことだと思うから。
- 県外に流れなくなるし、県内で良い人材が生まれる。
- 子どもに県内の大学に進学してもらいたい。

<「良くないと思う」の主な意見>

- 必要性を感じない
- 子ども的人数減少で学校そのものが維持できるかどうか。
- 税金の無駄遣いと思う。（必要性に疑問）
- 大学を誘致する目的が甘い。大学卒業後、地元に着させる努力が見えてこない。
- 大学よりその先の雇用のほうが重要。
- 大学卒業後、県外に出るのであればあまり意味がないと思う。
- 少子化の時代に深い狙いと勝算なく誘致すべきではないと思う。IT 企業が来やすい関係・環境づくりをしてほしい。
- 交通の便もないのに大金を使ってレベルの低い大学を設立する必要はない。県立看護大学などの今の大学で十分。就業先を充実させるような取り組みのほうが将来的なことを考えるといいのでは。
- 何も変わらない。誰も行かない。レベルが下がるだけ。北部の学生が来るとは思えない。

<「どちらとも言えない」の主な意見>

- 私立大学があったが、地域に役立っていたかわからない。
- 良い事と悪い事がわからない。
- 若者は広く世間を見てほしい。
- 本当に流出対策となるのか？大学卒業後、知名度等色々な事があって大学へ行くのではないか？しかし、設立後の運営力がかなり必要である。
- 偏差値 50 以上でないともあまり意味がないと思う。定員割れによって潰れている大学も多いため、何か強みが必要。

4. 電子申請・届出の利用について

問 19 市役所へ来庁することなくパソコンやスマートフォンから各種申請・届出等の行政手続きができる「電子申請」を利用したいですか。（○は1つだけ）

全体では「利用したい」が60.0%で、ついで「利用したくない」が35.0%となっている。

性別にみると、「利用したい」の割合は男性の方が女性より1.8ポイント高いものの、ほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「利用したい」の割合について、30歳代が87.0%と最も高くなっており、ついで40歳代が80.5%となっている。一方、70歳以上が26.6%、60歳代が58.6%と低くなっており、70歳以上では各年代の中で唯一「利用したい」よりも「利用したくない」が上回っている。

問19 「電子申請」の利用希望



問 20 問 19 で「1. 利用したい」と答えた方におうかがいします。
 どのような行政手続きで電子申請を利用したいですか。（〇はいくつでも）

「税務証明各種申請等」が 64.2% で最も高く、ついで「介護関係」が 46.4%、「子育て関係」が 33.0% となっている。

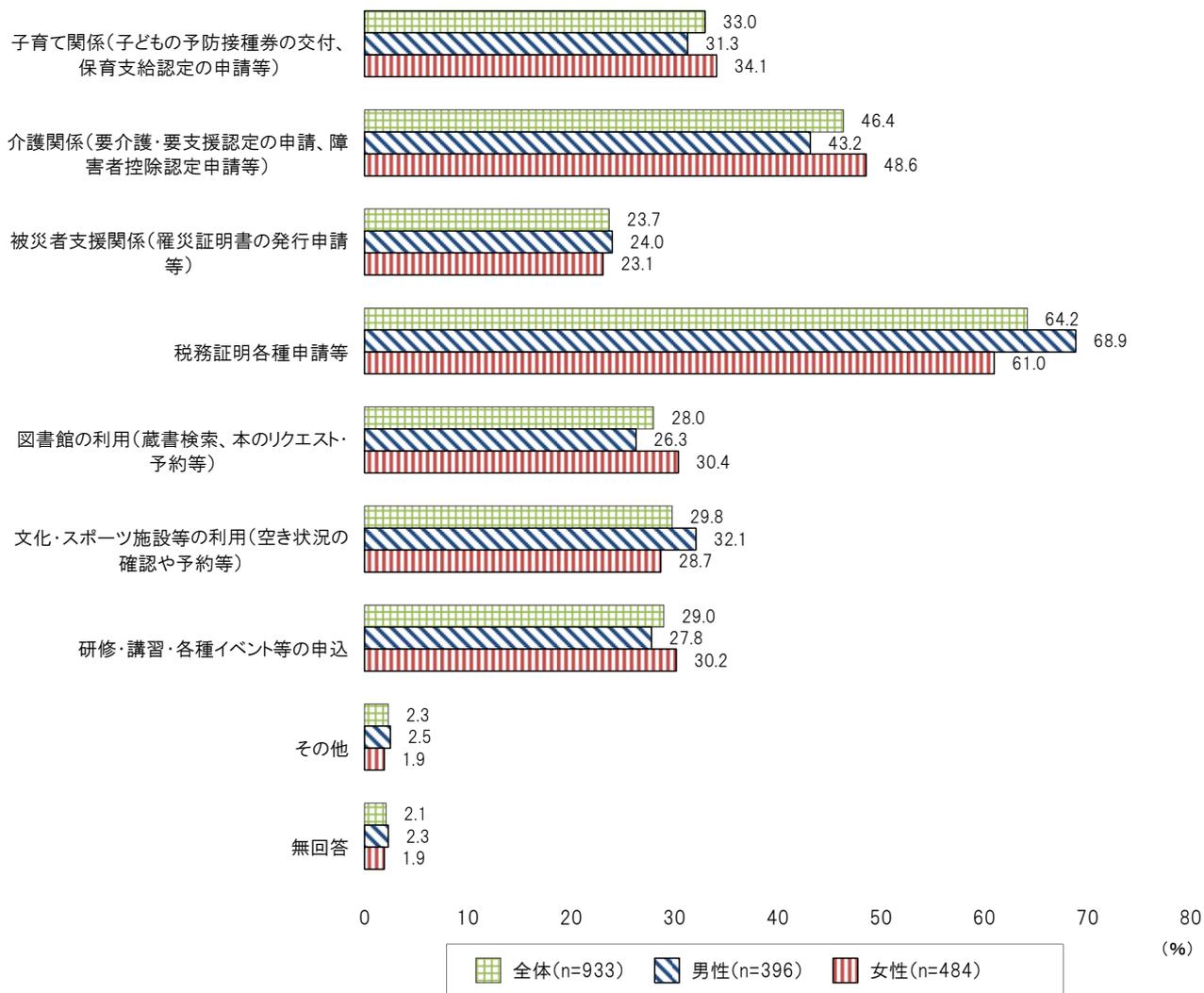
性別にみると、1 番目、2 番目に高い項目は男女とも同じで、「税務証明各種申請等」「介護関係」であった。3 番目に高い項目は、男性では「文化・スポーツ施設等の利用」、女性では「子育て関係」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「税務証明各種申請等」で 7.9 ポイント男性の方が高く、一方で、「介護関係」で 5.4 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「税務証明各種申請等」は 3 番目以内に入っている。3 番目以内に入っている項目をみると、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上で「介護関係」、20 歳代、30 歳代、40 歳代で「子育て関係」、10 歳代、20 歳代、50 歳代で「文化・スポーツ施設等の利用」が入っている。

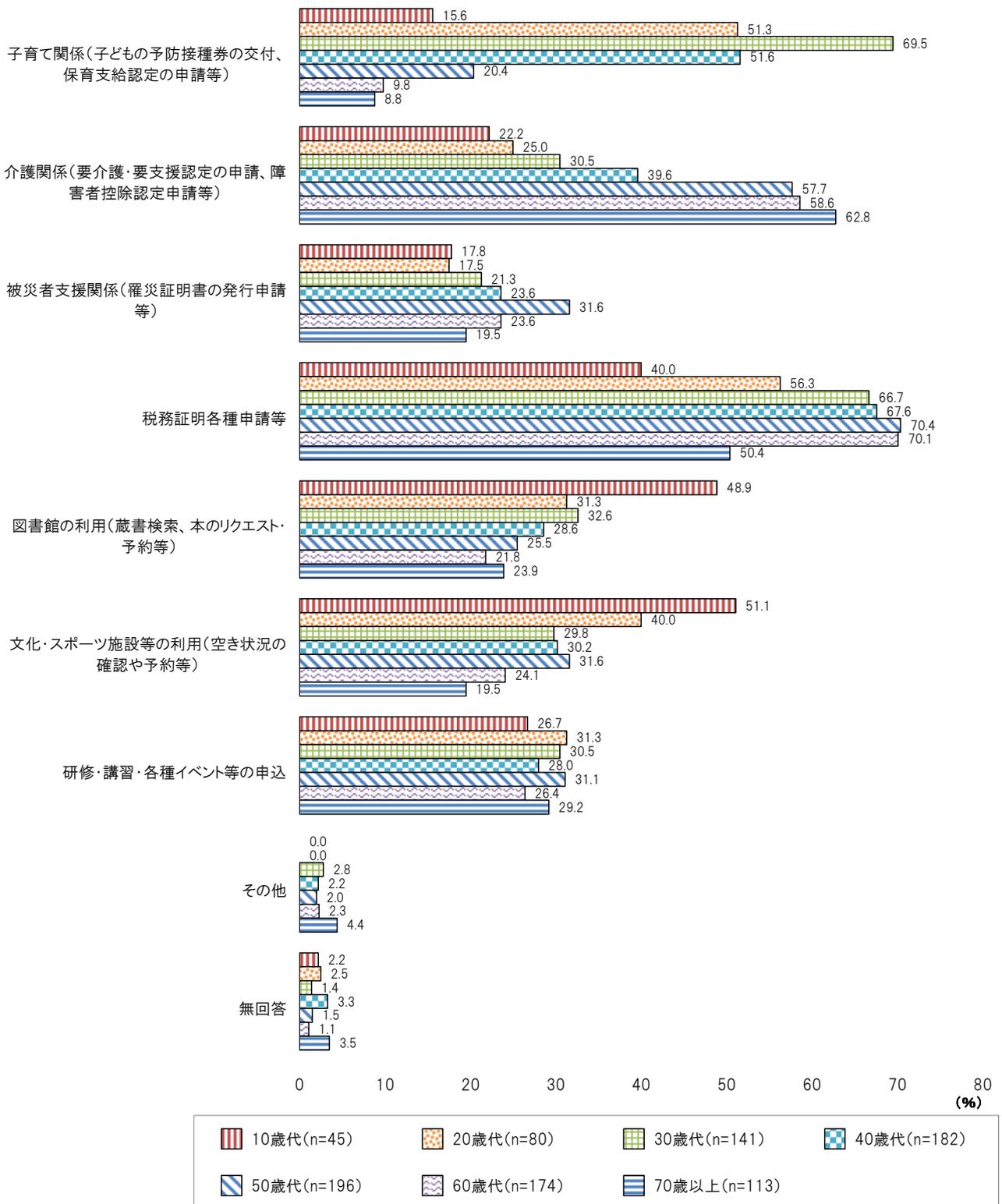
<年代ごとの上位 3 項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	文化・スポーツ施設等の利用（空き状況の確認や予約等）	51.1%	図書館の利用（蔵書検索、本のリクエスト・予約等）	48.9%	税務証明各種申請等	40.0%
20 歳代	税務証明各種申請等	56.3%	子育て関係（子どもの予防接種券の交付、保育支給認定の申請等）	51.3%	文化・スポーツ施設等の利用（空き状況の確認や予約等）	40.0%
30 歳代	子育て関係（子どもの予防接種券の交付、保育支給認定の申請等）	69.5%	税務証明各種申請等	66.7%	図書館の利用（蔵書検索、本のリクエスト・予約等）	32.6%
40 歳代	税務証明各種申請等	67.6%	子育て関係（子どもの予防接種券の交付、保育支給認定の申請等）	51.6%	介護関係（要介護・要支援認定の申請、障害者控除認定申請等）	39.6%
50 歳代	税務証明各種申請等	70.4%	介護関係（要介護・要支援認定の申請、障害者控除認定申請等）	57.7%	文化・スポーツ施設等の利用（空き状況の確認や予約等）	31.6%
					被災者支援関係（罹災証明書の発行申請等）	31.6%
60 歳代	税務証明各種申請等	70.1%	介護関係（要介護・要支援認定の申請、障害者控除認定申請等）	58.6%	研修・講習・各種イベント等の申込	26.4%
70 歳以上	介護関係（要介護・要支援認定の申請、障害者控除認定申請等）	62.8%	税務証明各種申請等	50.4%	研修・講習・各種イベント等の申込	29.2%

問20 電子申請を利用したい行政手続き



問20 電子申請を利用したい行政手続き



5. 公共施設のコミュニティセンター化について

問 21 「コミュニティセンター化」について、このような拠点施設が地域に必要なだと思いますか。（〇は1つだけ）

全体では「必要だと思う」が50.9%で最も高く、ついで「わからない」が38.1%、「必要でないと思う」が6.5%となっている。

性別にみると、「必要でないと思う」の割合は男性の方が女性より6.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「必要だと思う」の割合について、20歳代が39.4%と最も低くなっており、他の年代では50%前後となっている。「必要でないと思う」の割合が最も高いのは40歳代、60歳代の8.4%であり、最も低いのは20歳代の2.9%となっている。

問21 コミュニティセンターのような拠点施設が必要か



問 22 コミュニティセンターにはどのような機能があればよいと思いますか。あるいはどのような活動の拠点であればよいと思いますか。（〇は3つまで）

「防災の拠点（災害対応も含む）」が 31.1%で最も高く、ついで「防犯の拠点（子どもや高齢者の見守り）」が 24.0%、「地域の交流」が 22.2%となっている。

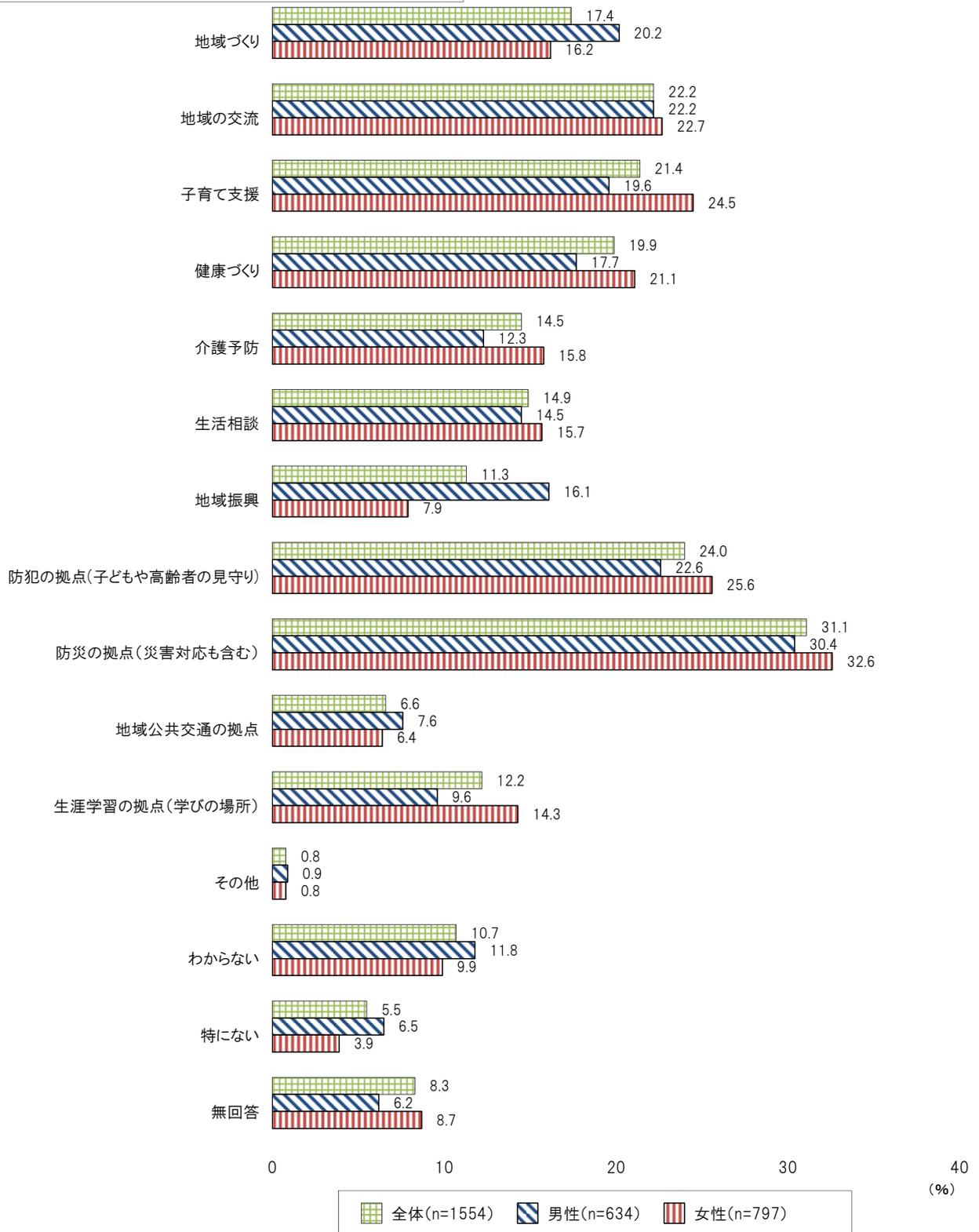
性別にみると、1 番目、2 番目に高い項目は同じであった。3 番目に高い項目は、男性では「地域の交流」、女性では「子育て支援」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「地域振興」で 8.2 ポイント、「地域づくり」で 4.0 ポイント男性の方が高く、一方で、「子育て支援」で 4.9 ポイント、「生涯学習の拠点（学びの場所）」で 4.7 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「防災の拠点（災害対応も含む）」は 3 番目以内に入っている。3 番目以内に入っている項目をみると、10 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代で「防犯の拠点（子どもや高齢者の見守り）」、20 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上で「地域の交流」、20 歳代、30 歳代、40 歳代で「子育て支援」、10 歳代、60 歳代、70 歳以上で「健康づくり」が入っている。

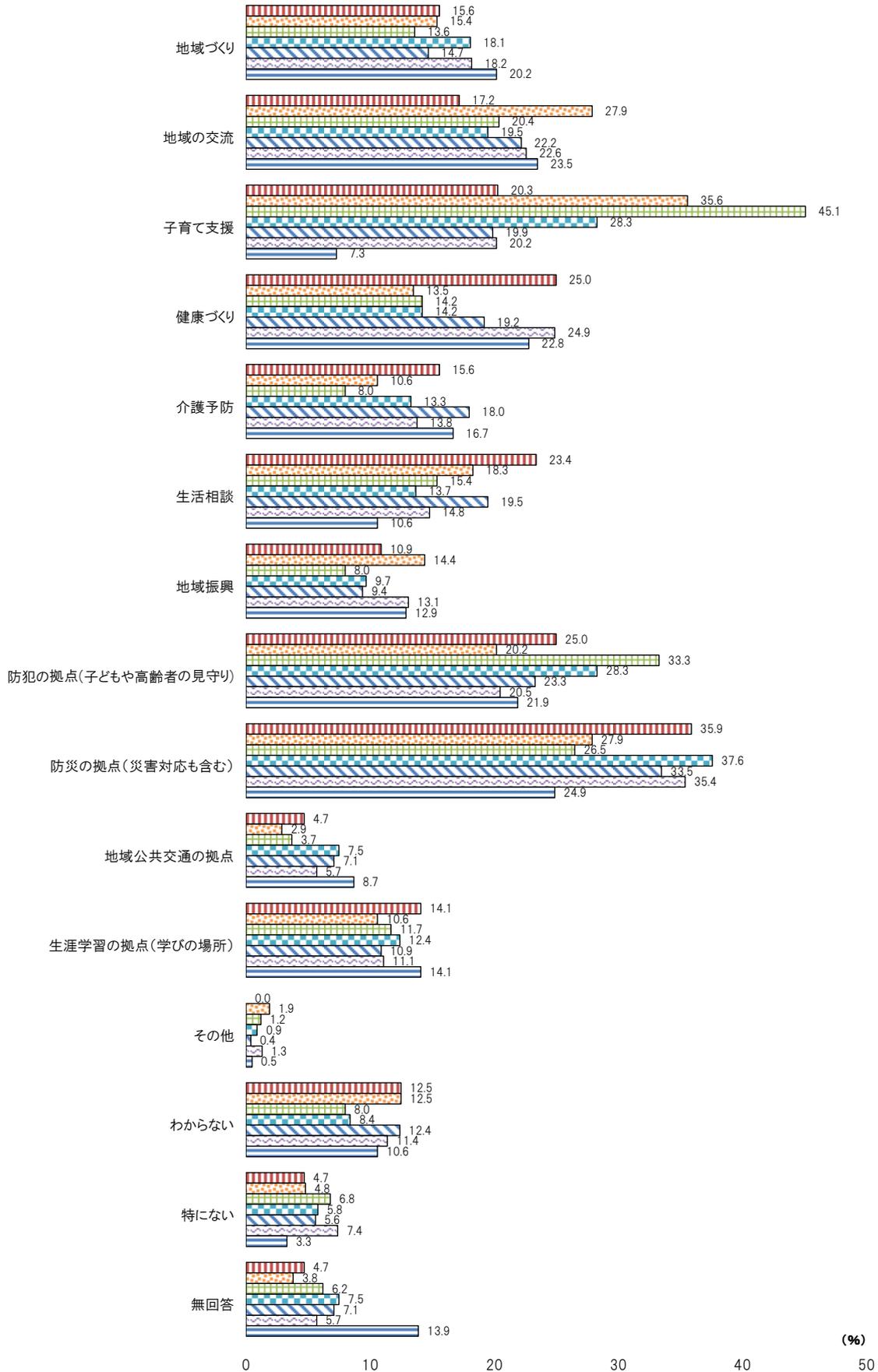
<年代ごとの上位 3 項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	防災の拠点（災害対応も含む）	35.9%	健康づくり	25.0%		
			防犯の拠点（子どもや高齢者の見守り）	25.0%		
20 歳代	子育て支援	35.6%	防災の拠点（災害対応も含む）	27.9%		
			地域の交流	27.9%		
30 歳代	子育て支援	45.1%	防犯の拠点（子どもや高齢者の見守り）	33.3%	防災の拠点（災害対応も含む）	26.5%
40 歳代	防災の拠点（災害対応も含む）	37.6%	防犯の拠点（子どもや高齢者の見守り）	28.3%		
			子育て支援	28.3%		
50 歳代	防災の拠点（災害対応も含む）	33.5%	防犯の拠点（子どもや高齢者の見守り）	23.3%	地域の交流	22.2%
60 歳代	防災の拠点（災害対応も含む）	35.4%	健康づくり	24.9%	地域の交流	22.6%
70 歳以上	防災の拠点（災害対応も含む）	24.9%	地域の交流	23.5%	健康づくり	22.8%

問22 コミュニティセンターにどのような機能があればよいか



問22 コミュニティセンターにどのような機能があればよいか



(%)



6. 人権尊重・男女の地位の平等について

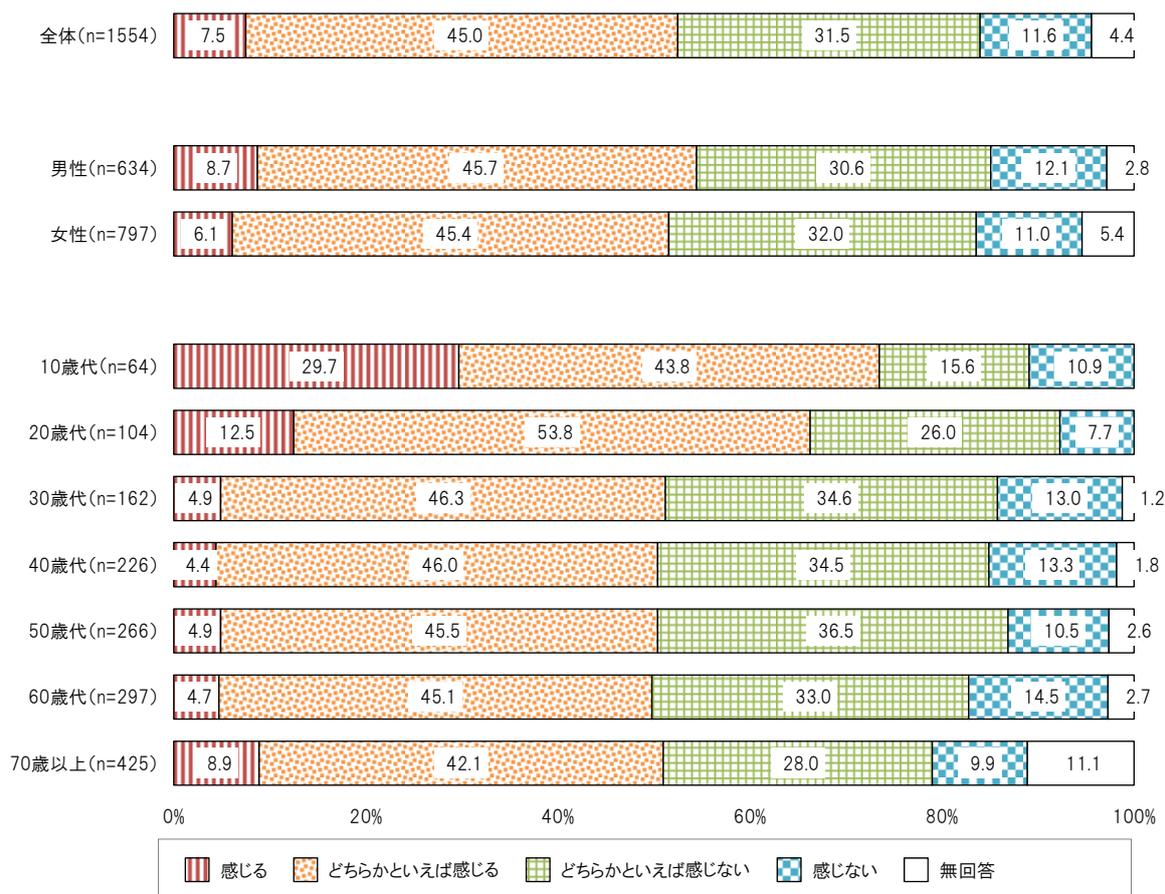
問 23 松阪市は、人権が尊重されている社会になっていると感じますか。(〇は1つだけ)

全体では「どちらかといえば感じる」が45.0%で最も高く、ついで「どちらかといえば感じない」が31.5%、「感じない」が11.6%となっている。

性別にみると、「感じる」の割合は男性の方が女性より2.6ポイント高いものの、ほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計の割合について、10歳代で73.5%と最も高くなっており、ついで20歳代で66.3%となっている。他の年代では50%前後となっている。

問23 松阪市は人権が尊重されている社会になっているか



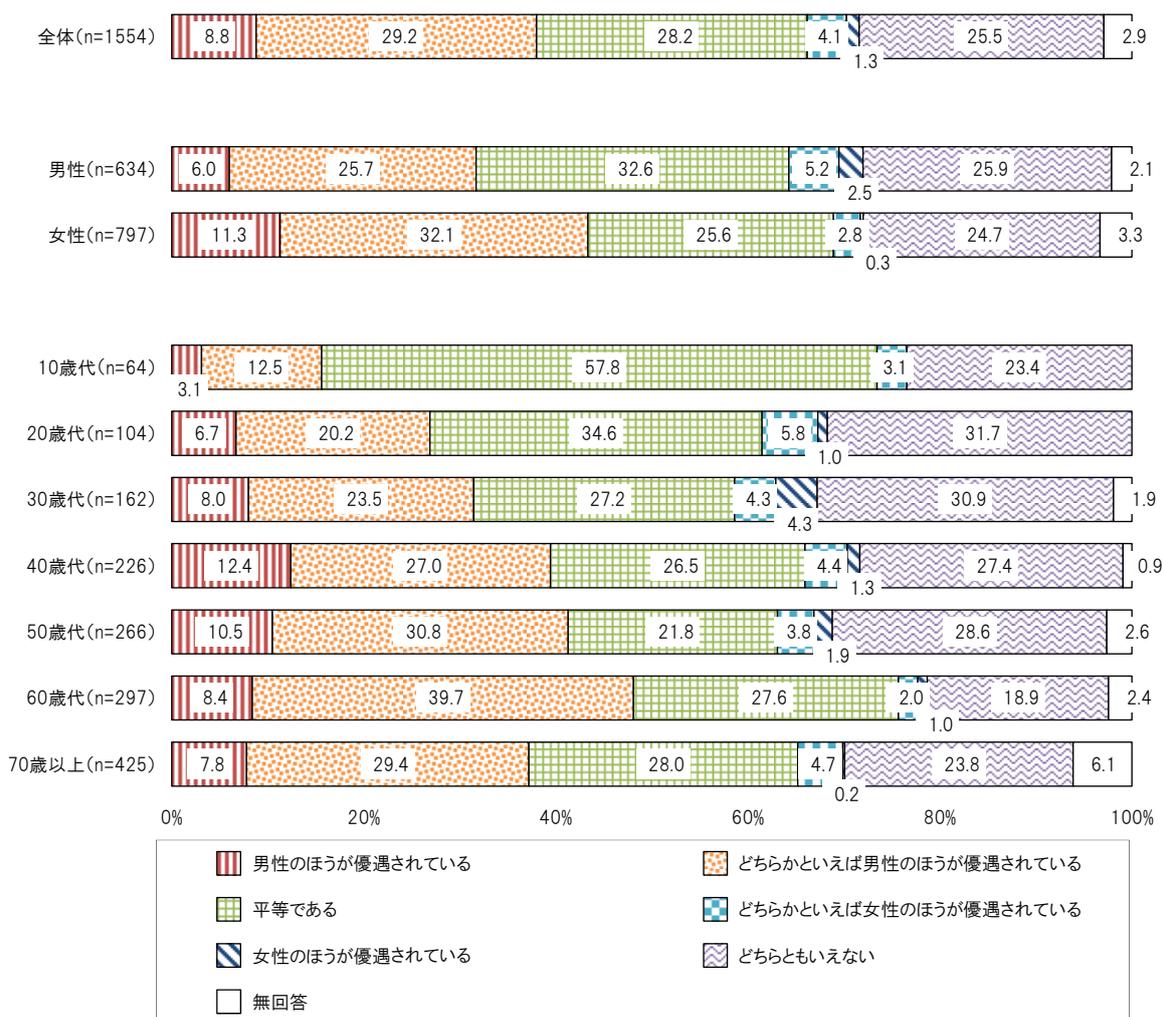
問 24 家庭生活において、男女の地位が平等になっていると思いますか。(〇は1つだけ)

全体では「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が29.2%で最も高く、ついで「平等である」が28.2%、「どちらともいえない」が25.5%となっている。

性別にみると、「平等である」の割合は男性の方が女性より7.0ポイント高くなっている。一方で、「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」、「男性のほうが優遇されている」の合計の割合は女性の方が男性より5ポイント以上高くなっている。

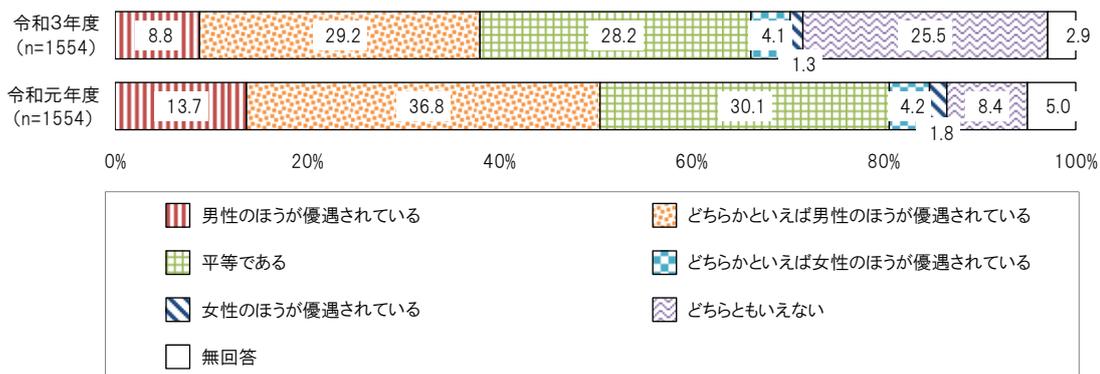
年代別にみると、「男性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」の合計の割合について、60歳代で48.1%と最も高くなっており、ついで50歳代で41.3%となっている。一方で、10歳代では15.6%、20歳代では26.9%と低くなっている。また、各年代で最も高い割合となっている項目をみると、10歳代、20歳代では「平等である」、30歳代、40歳代では「どちらともいえない」、50歳代、60歳代、70歳以上では「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」となっている。

問24 家庭生活において、男女の地位が平等になっているか



前回と比較すると、「どちらともいえない」の割合は、前回は8.4%であったのが今回は25.5%と17.1ポイント高くなっている。また、「男性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」の合計の割合について、前回は50.5%であったのが今回は38.0%と12.5ポイント低くなっている。

問24 家庭生活において、男女の地位が平等になっているか



7. 松阪市人権施策基本方針(第二次改訂)の改訂について

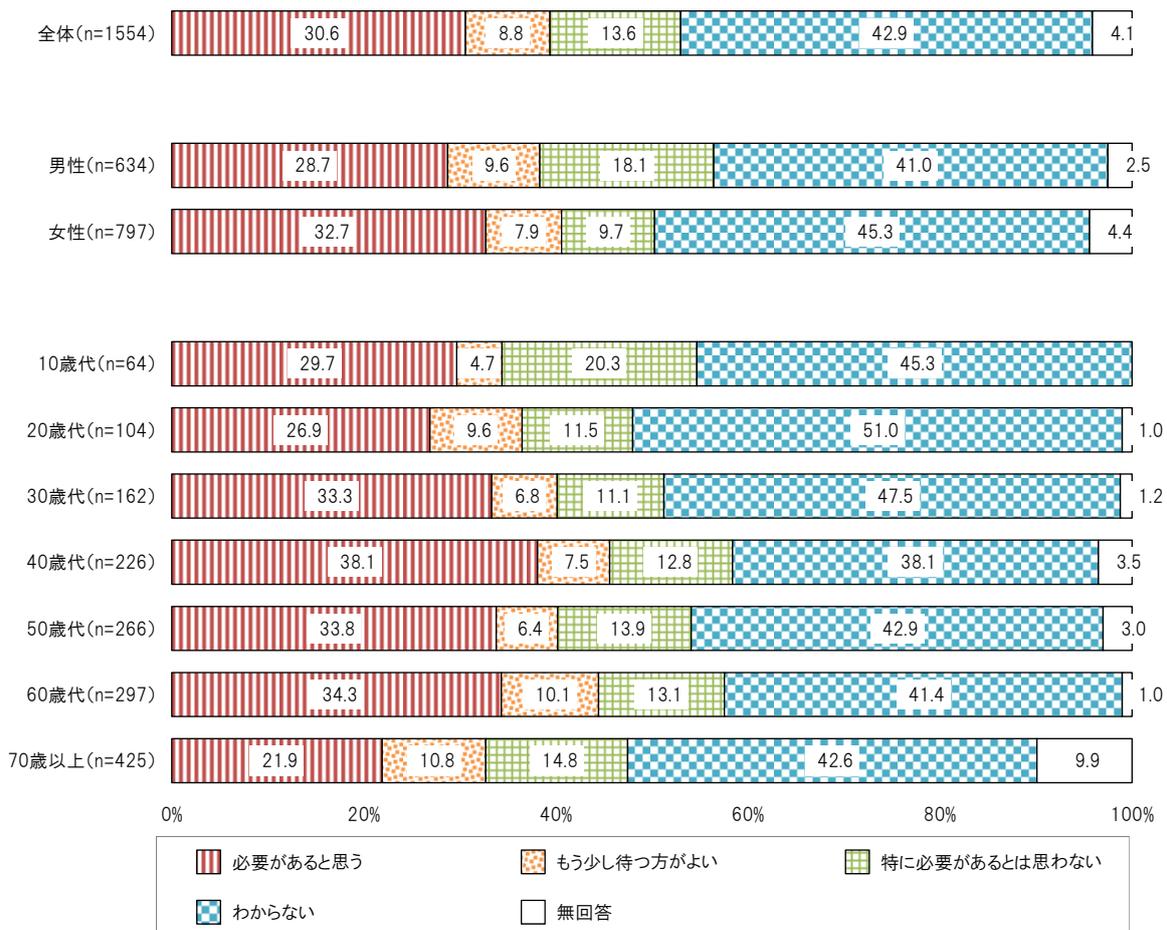
問 25 松阪市において基本方針の改訂を行う必要があると思いますか。(〇は1つだけ)

全体では「わからない」が42.9%で最も高く、ついで「必要があると思う」が30.6%、「特に必要があるとは思わない」が13.6%となっている。

性別にみると、「必要があると思う」の割合は女性の方が男性より4.0ポイント高くなっており、一方で、「特に必要があるとは思わない」の割合は男性の方が女性より8.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「必要があると思う」の割合について、40歳代で38.1%と最も高くなっており、ついで60歳代で34.3%となっている。一方で、70歳代では21.9%、30歳代では26.9%と低くなっている。

問25 松阪市において人権施策基本方針の改定を行うことが必要か



8. パートナーシップ宣誓制度について

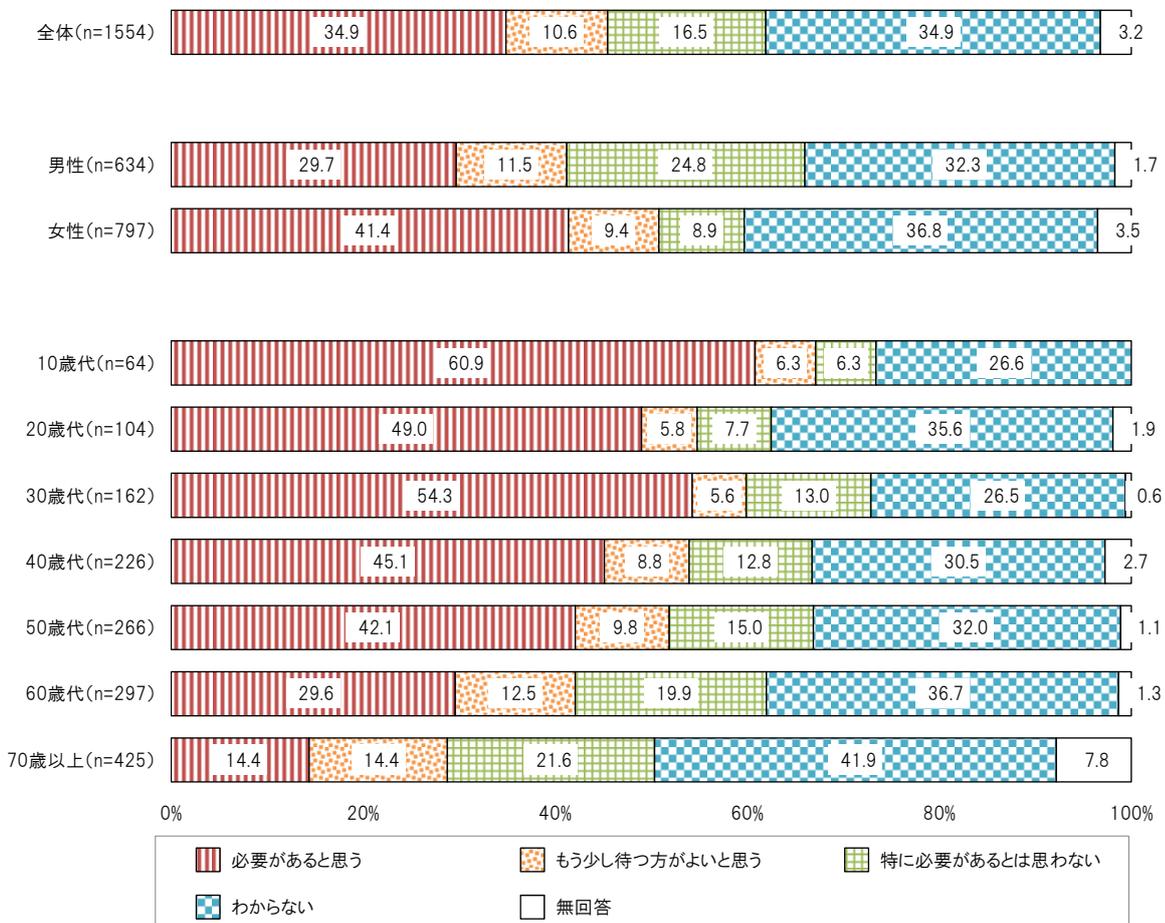
問 26 松阪市においても「パートナーシップ宣誓制度」のような独自の施策を導入する必要があると思いますか。（〇は1つだけ）

全体では「必要があると思う」と「わからない」が34.9%で最も高く、ついで「特に必要があるとは思わない」が16.5%となっている。

性別にみると、「必要があると思う」の割合は女性の方が男性より11.7ポイント高くなっており、一方で、「特に必要があるとは思わない」の割合は男性の方が女性より15.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、「必要があると思う」の割合について、10歳代で60.9%と最も高くなっており、そこから年齢が高くなるにつれ低くなる傾向がみられ、70歳以上では14.4%と低くなっている。50歳代以下の世代では「必要があると思う」の割合が最も高く、60歳代以上の世代では「わからない」の割合が最も高くなっている。

問26 松阪市においても「パートナーシップ宣誓制度」のような独自の施策を導入する必要があるか



9. 障がい福祉の推進について

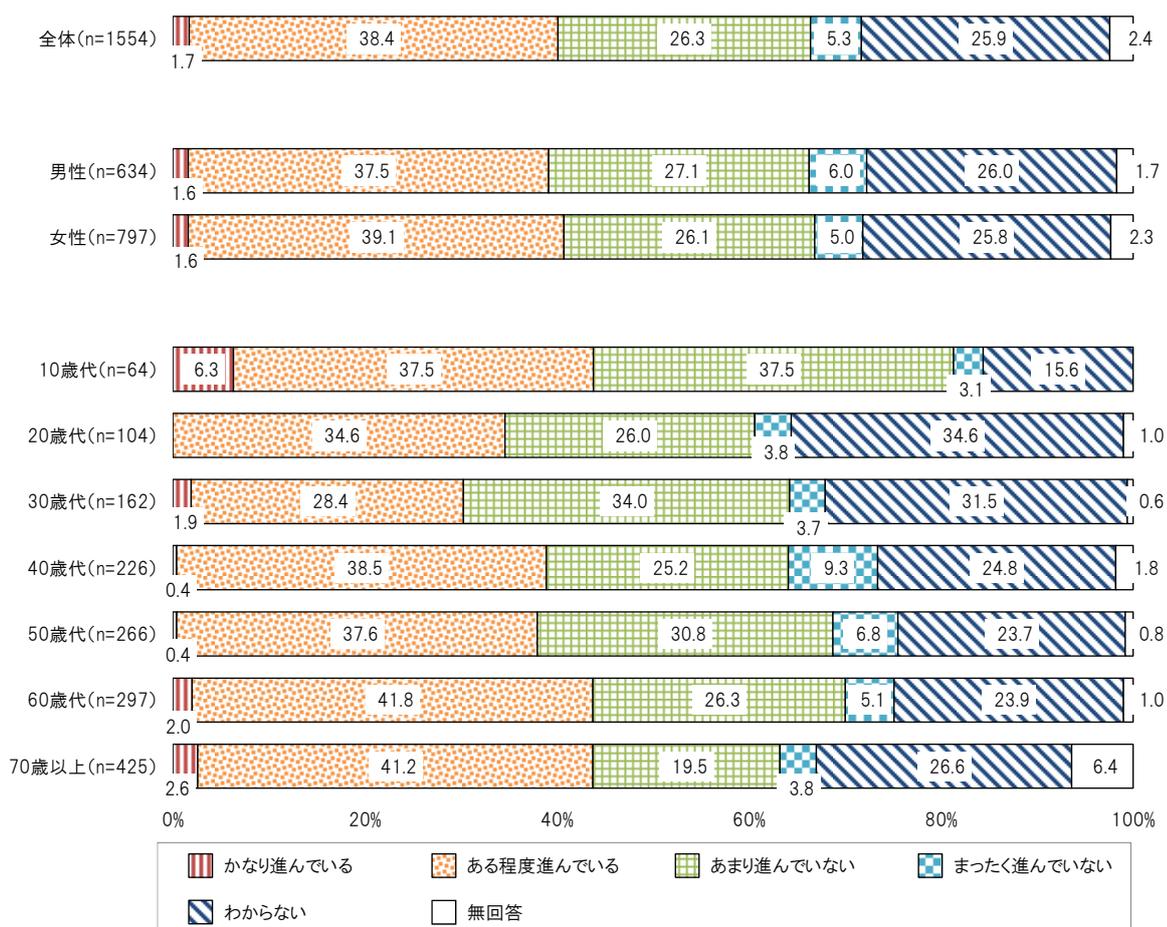
問27 障がいのある人に対する人々の理解は進んでいると思いますか。（○は1つだけ）

全体では「ある程度進んでいる」が38.4%で最も高く、ついで「あまり進んでいない」が26.3%、「わからない」が25.9%となっている。

性別にみると、各回答はほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「かなり進んでいる」と「ある程度進んでいる」の合計の割合について、30歳代で30.3%と最も低くなっており、ついで20歳代で34.6%となっている。一方、10歳代、60歳代、70歳以上では43.8%と高くなっている。

問27 障がいのある人に対する人々の理解は進んでいるか



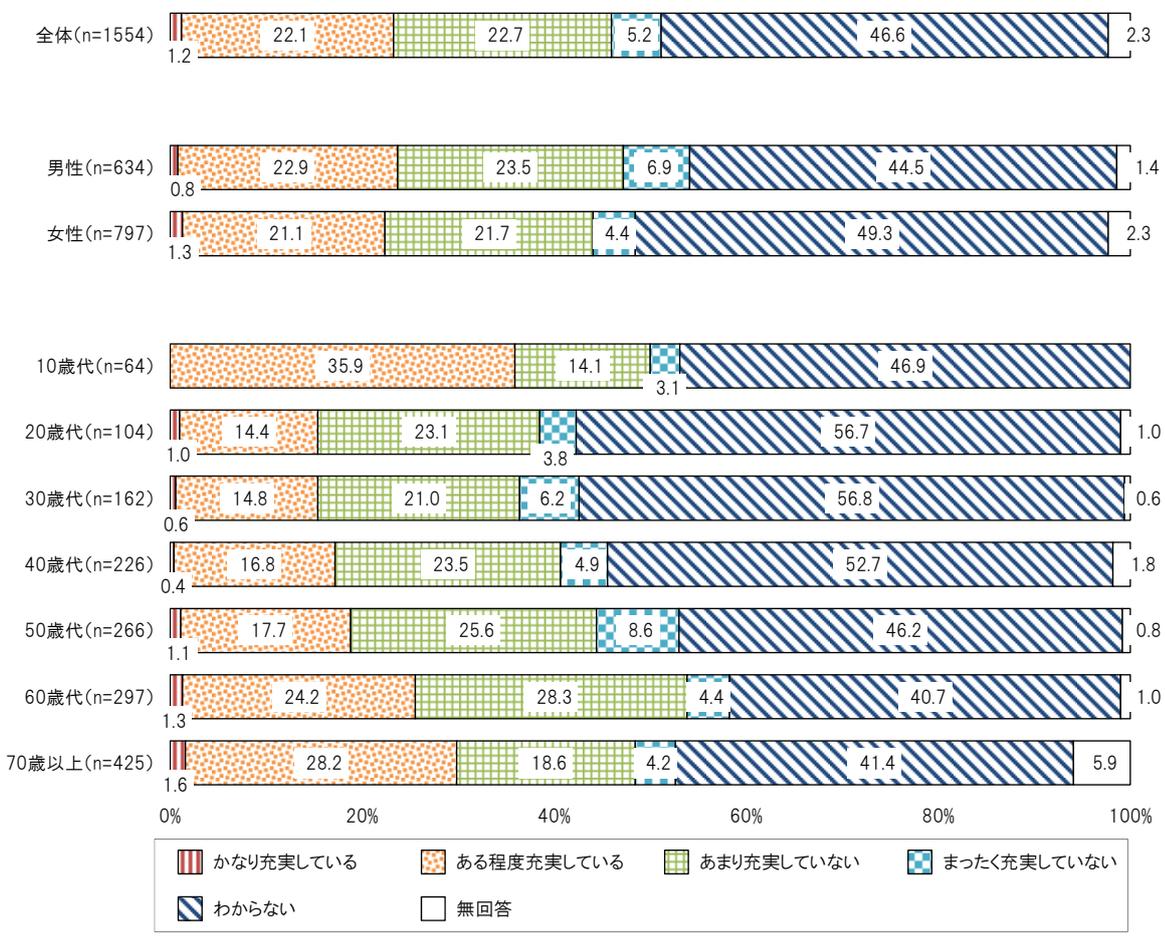
問 28 障がいのある人が自立した生活ができるよう支援する福祉サービスは充実していると思いますか。（○は1つだけ）

全体では「わからない」が46.6%で最も高く、ついで「あまり充実していない」が22.7%、「ある程度充実している」が22.1%となっている。

性別にみると、「わからない」の割合は女性の方が男性より4.8ポイント高くなっているものの、各回答はほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「かなり充実している」と「ある程度充実している」の合計の割合について、10歳代で35.9%と最も高くなっており、ついで70歳以上で29.8%となっている。一方、20歳代、30歳代で15.4%と最も低くなっている。

問28 障がいのある人の自立支援のための福祉サービスは充実しているか



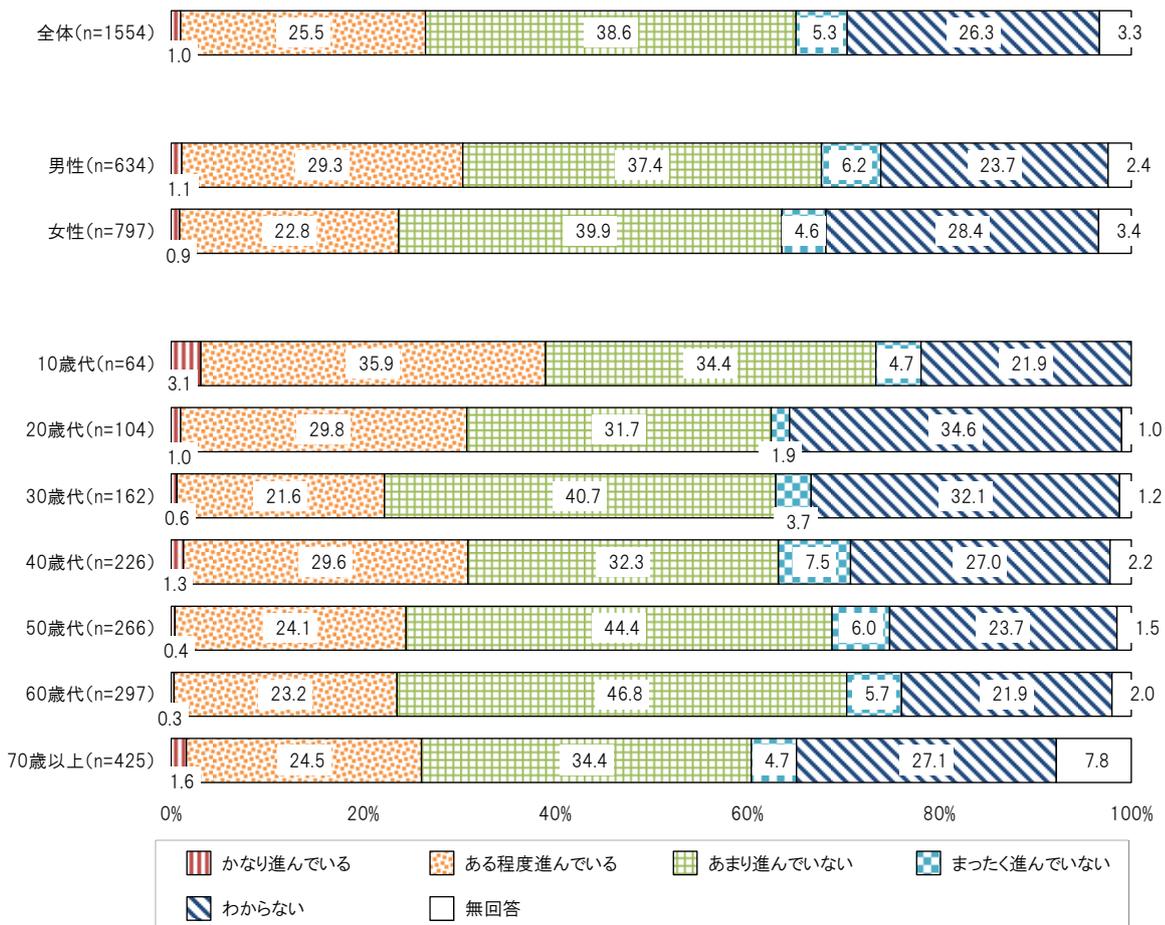
問 29 障がいの有無にかかわらず、安心して生活・行動できるようにするための日常生活の中におけるバリアフリー化などの整備は進んでいると思いますか。（○は1つだけ）

全体では「あまり進んでいない」が38.6%で最も高く、ついで「わからない」が26.3%、「ある程度進んでいる」が25.5%となっている。

性別にみると、「かなり進んでいる」と「ある程度進んでいる」の合計の割合について、男性の方が女性より6.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「かなり進んでいる」と「ある程度進んでいる」の合計の割合について、10歳代で39.0%と最も高くなっており、ついで40歳代で30.9%となっている。一方、30歳代で22.2%と最も低くなっている。また、「あまり進んでいない」と「まったく進んでいない」の合計の割合では、60歳代が52.5%で最も高く、20歳代で33.6%と最も低くなっている。

問29 日常生活の中におけるバリアフリー化などの整備は進んでいるか



10. 松阪市版エンディングノート「もめんノート」の活用推進にむけて

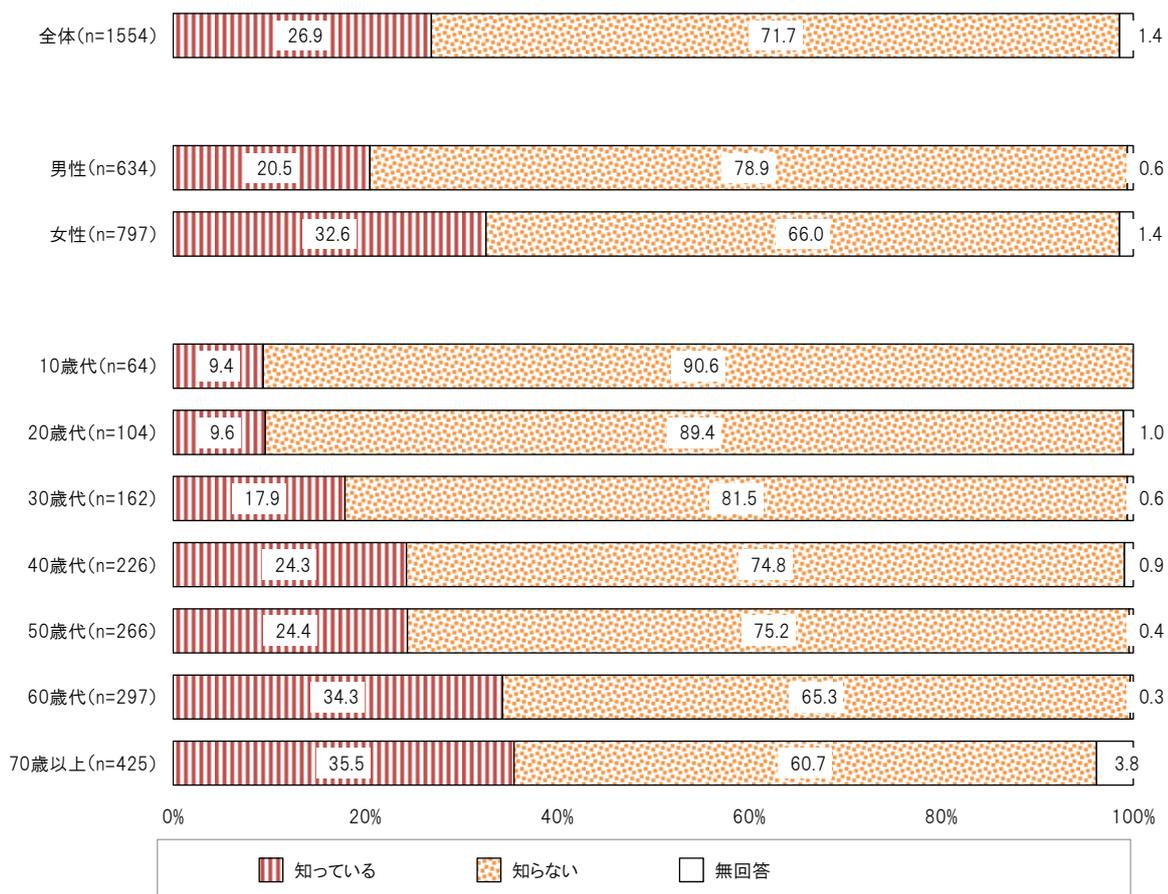
問30 「もめんノート」を知っていますか。（〇は1つだけ）

全体では「知らない」が71.7%で高く、「知っている」が26.9%となっている。

性別にみると、「知っている」の割合について、女性の方が男性より12.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「知っている」の割合について、70歳以上で35.5%と最も高くなっており、ついで60歳代で34.3%となっている。一方、10歳代で9.4%、20歳代で9.6%と低くなっている。

問30 「もめんノート」の認知状況



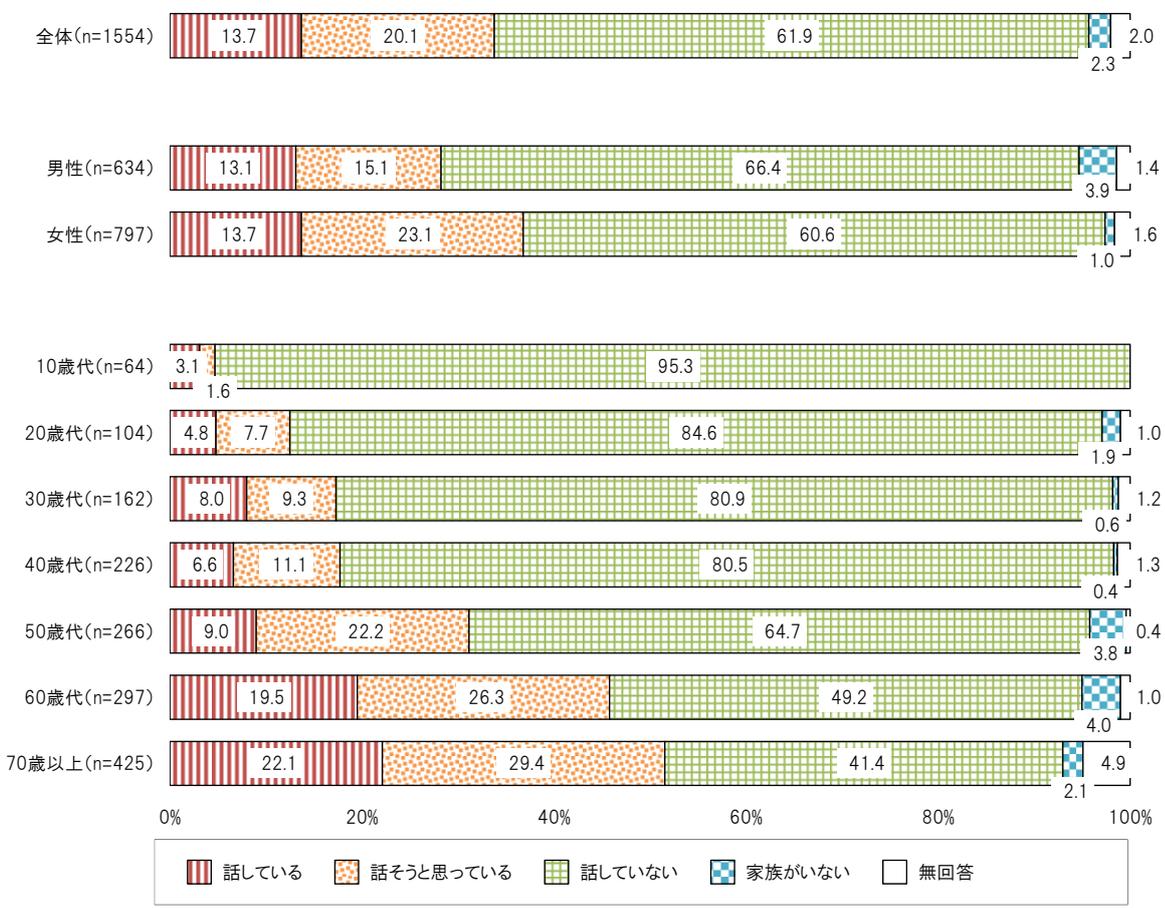
問 31 終末期の医療や財産の処分について家族と話し合っていますか。(○は1つだけ)

全体では「話していない」が61.9%で最も高く、ついで「話そうと思っている」が20.1%、「話している」が13.7%となっている。

性別にみると、「話そうと思っている」の割合について、女性の方が男性より8.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「話している」、「話そうと思っている」の割合ともに、10歳代で最も低く、70歳以上で最も高くなっている。

問31 終末期の医療や財産の処分について家族と話し合っているか



問 32～問 34 については、問 30 で「1. 知っている」と答えた方におうかがいします。

問 32 「もめんノート」を何で知りましたか。（〇はいくつでも）

「広報まつさか」が 76.1%で最も高く、ついで「その他」が 14.1%、「新聞」が 13.2%となっている。なお、「その他」の内容として多かったのは「友人・知人」や「家族」などとなっている。

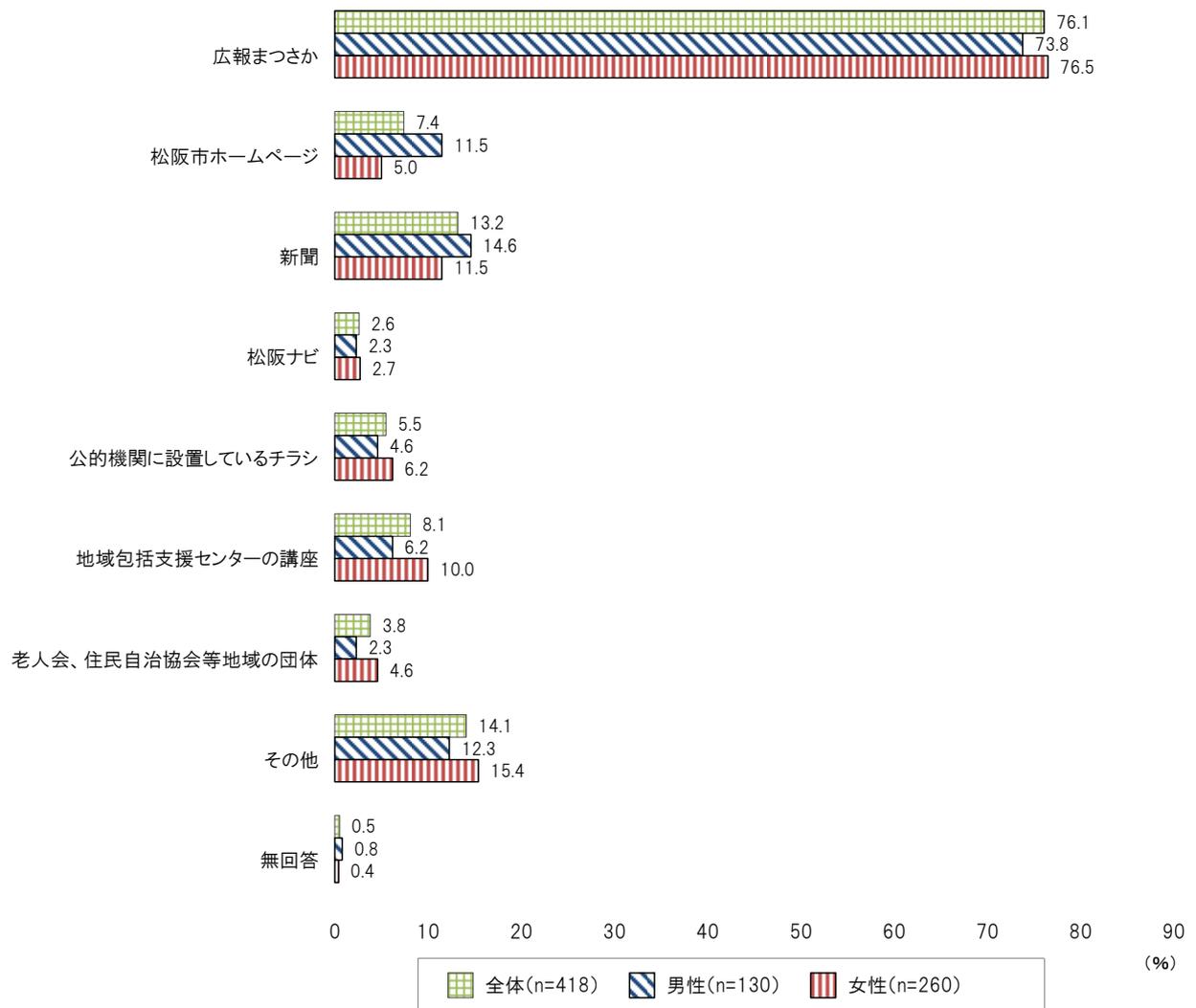
性別にみると、1 番目に高い項目は男女とも同じで、「広報まつさか」であった。男性では「新聞」が 2 番目、「その他」が 3 番目となっており、女性では「その他」が 2 番目、「新聞」が 3 番目となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「松阪市ホームページ」で 6.5 ポイント、「新聞」で 3.1 ポイント男性の方が高く、一方で、「地域包括支援センター」で 3.8 ポイント、「その他」で 3.1 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、10 歳代を除いた年代で「広報まつさか」は 1 番目となっている。3 番目以内に入っている項目をみると、10 歳代、40 歳代、50 歳代、70 歳以上で「新聞」、20 歳代、30 歳代、60 歳代で「松阪市ホームページ」が入っている。

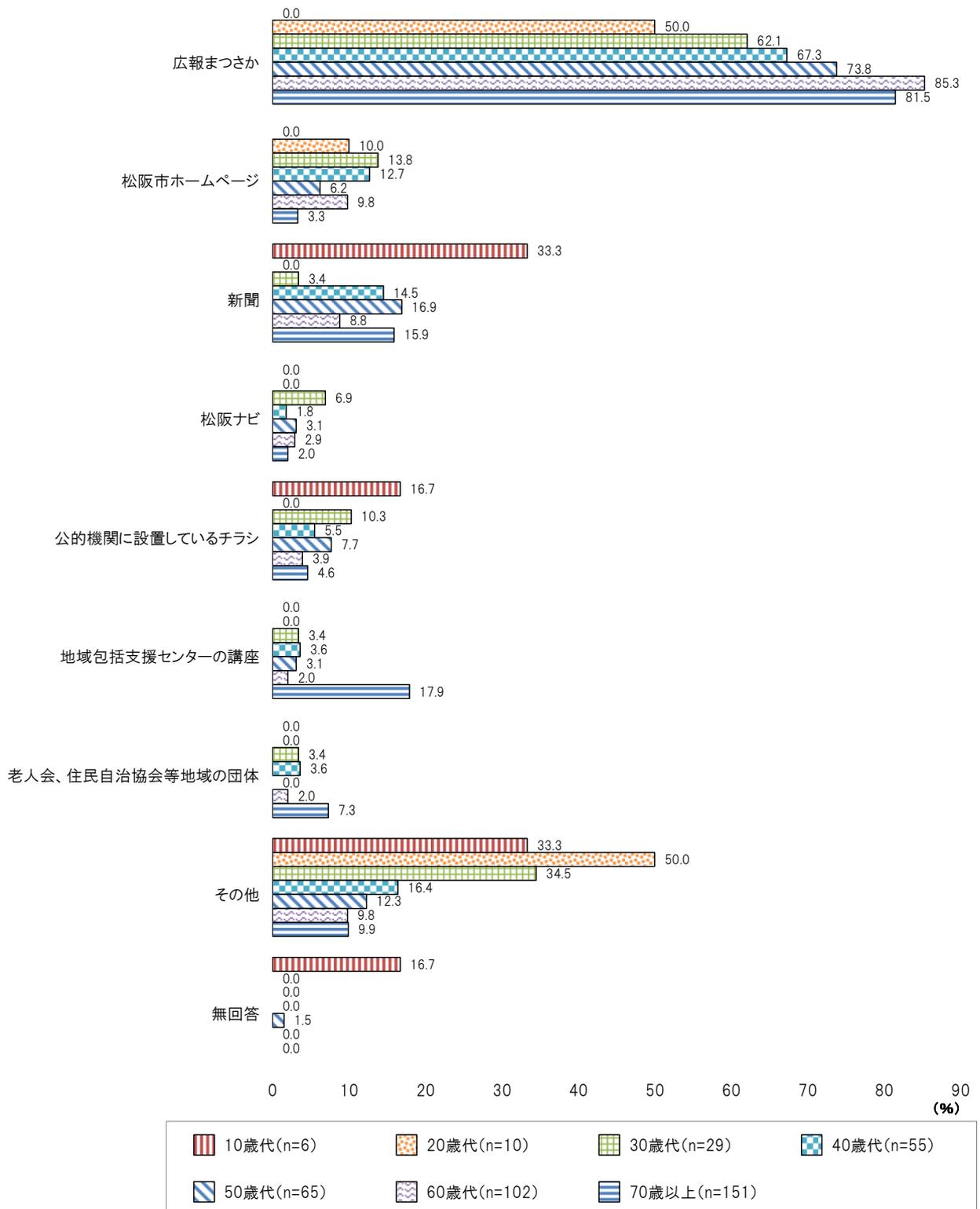
<年代ごとの上位 3 項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	新聞	33.3%			公的機関に設置しているチラシ	16.7%
	その他	33.3%				
20 歳代	その他	50.0%			松阪市ホームページ	10.0%
	広報まつさか	50.0%				
30 歳代	広報まつさか	62.1%	その他	34.5%	松阪市ホームページ	13.8%
40 歳代	広報まつさか	67.3%	その他	16.4%	新聞	14.5%
50 歳代	広報まつさか	73.8%	新聞	16.9%	その他	12.3%
60 歳代	広報まつさか	85.3%	その他	9.8%		
			松阪市ホームページ	9.8%		
70 歳以上	広報まつさか	81.5%	地域包括支援センターの講座	17.9%	新聞	15.9%

問32 「もめんノート」を何で知ったか



問32 「もめんノート」を何で知ったか

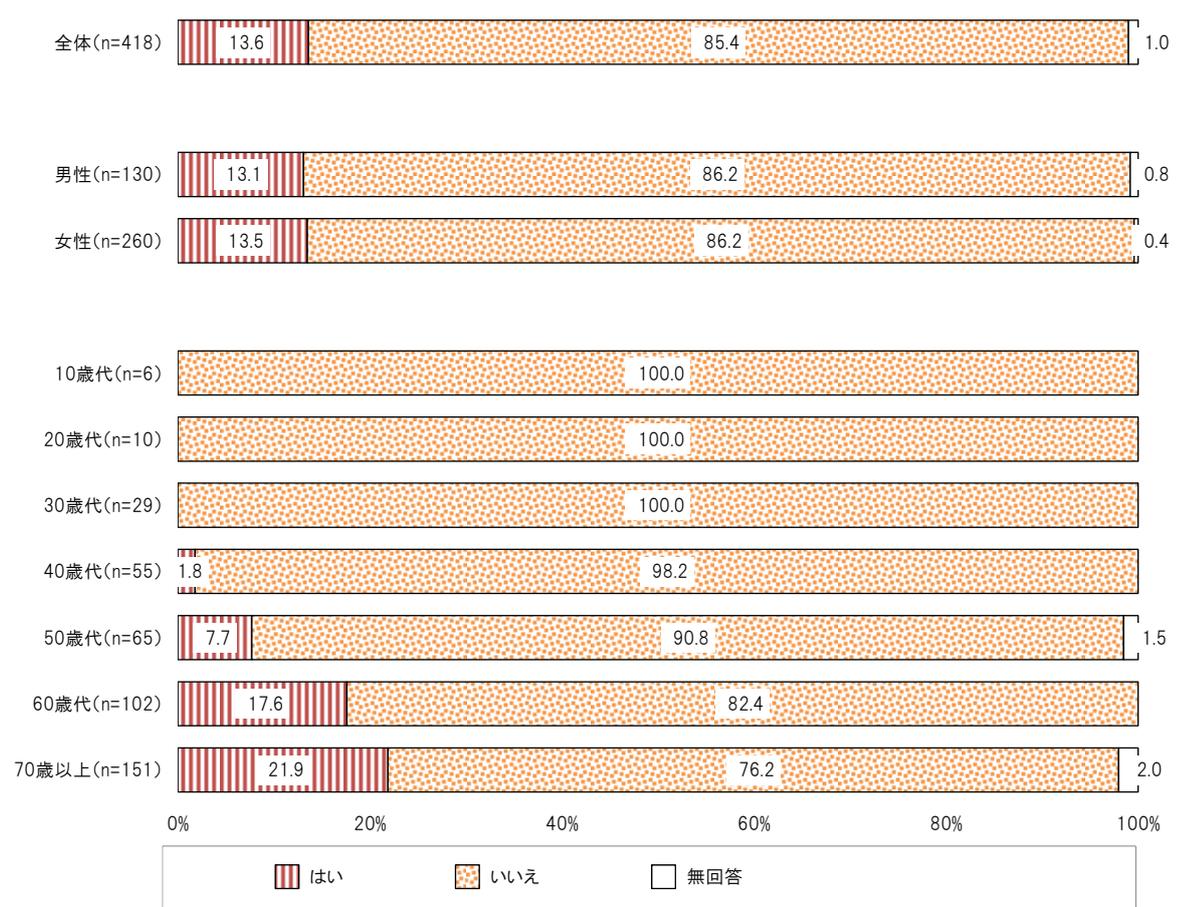


問 33 「もめんノート」を書き始めていますか。（○は1つだけ）

全体では「いいえ」が85.4%となっており、「はい」が13.6%となっている。

年代別にみると、「はい」の割合について、10歳代から30歳代までは0.0%となっており、40歳代以降は年齢が上がるにつれて割合が高くなっている。70歳以上では21.9%となっている。

問33 「もめんノート」を書き始めているか



問 34 「もめんノート」について気がついたことを教えてください。（ご自由にご記入ください。）

全体では 116 件の意見が寄せられた。年代別では 10 歳代が 3 件、20 歳代が 4 件、30 歳代が 7 件、40 歳代が 19 件、50 歳代が 13 件、60 歳代が 25 件、70 歳以上が 45 件となっている。

<10 歳代から 30 歳代の主な意見>

- 地域で終活の取り組みをしているのは知らなかったが、終活のハードルが下がって良いと思った。
- 両親が生前整理を考え始めているので、持ってなかったら教えてあげたい。
- 知らなかった。知っている人は周りにいないと思う。
- 若い世代には知られていないと思う。
- あまり積極的に話そうという内容になっていない。
- 学校で配布する等周知が必要。
- 一人で記入するだけではなく、家族と共有していくことが大切だと思いました。
- 色（表紙）が暗いので、このノートを見つけてもらえなさそうです。記入欄ページだけでまとめてほしいです。ごちゃごちゃしているイメージです。
- 文字を紙に書く時代は終わっています。

<40 歳代から 50 歳代の主な意見>

- わかりやすいです。
- 父母のために市役所にいただきに行き、見せてもらいましたが、すごく見やすい活字で、書きやすい間隔になっていて、とてもやさしいノートに思えました。私ももう少し年齢を重ねたら書いてみたいと思います。
- もめんノートをまだ手に取ったことがありませんが、終活をする時が来たら、活用したいと思います。
- 見たことがないので見本がどこかにあれば見てみたい。
- 少し書き方が難しい。もっとシンプルでも。
- 相続や終活は高齢者だけのものではない時代にきていると思います。市役所の入口にあってもよいと思います。
- 書き方など教えてもらえるセミナーなどあれば、もっと良いと思います！！
- 以前親からエンディングノートがほしいと言われ、「もめんノート」をきっかけに、渡したのですが、今度は渡されたことに不快感を持ったようでした。自分はいいですが、親世代に渡すのは難しいと実感しました。
- 親に書いてもらいたくても、なかなか言い出しづらい。市（他人）から言ってもらいたい。ノートを配るだけじゃなく。
- もらいに行く足がない人にはどうやって配布するのですか？アクティブな人にしか行政利用は出来ていないと思うので不公平。
- 私の住んでいる地域は、市役所までは距離があります。高齢者や障がいのある方には遠いので、各地域でも配布してもらえるといいと思います。

- もめんノートは無料？
- もめんノートは、遺言書の代わりになるのか？
- 知らない人に伝えていく必要がある。

<60 歳代・70 歳以上の主な意見>

- 自分で作成していたのですが、非常によい物を発行していただき助かりました！
- 書きやすく作られていると感じる。
- 何を思っているのかわかるから良いと思った。
- 実物を見たことがないので分かりませんが、自身の計画や希望を終末にこのノートを通して伝える必要のある方は、家族等に伝えられることはよいと思われる。
- 高齢者のいる家庭へ配布してほしい
- 知ってはいるが配布場所がよく解らない。
- 配布されていても、もらいに行きにくい。
- 「もめんノート」自治会を通して配布して下さい。
- 毎年とは言わないが、2年に1冊ぐらい新しいのがほしい
- もめんノート配布の為に、回覧板にて希望者への手渡しを考えて下さい。
- 記載できる欄が少ない。別のノートに書いた。
- ポケットの厚みがない為落ちやすいです。
- 高齢者になると書くという行為が難しくなり、家族が聞き取り書かなければならない。項目が多く書けない。
- 配布の初期にいただいて、活用し始めていますが、年々変わっていく状況に対応するために、随時更新が必要となってきます。有料でよいので、差し替え可能なものにしていただけると嬉しいです。
- 記入していますが、子どもたちがその場面に直面して、いかに活用してくれるか？
- いざ書こうと思うと色々考えてしまい、後回しになっている。
- ちらっと手に取って見ましたが、まだ書こうという気になりません。
- 書き方の説明会を開くので連絡の為に TEL 番号を書いてきましたが、未だかつて連絡もなく、記入を途中でやめています。開かれないのなら、その旨連絡がほしいなあー
- 家族等の問題であり、行政が予算を使ってまですることではない。

11. 成年後見制度・認知症の相談について

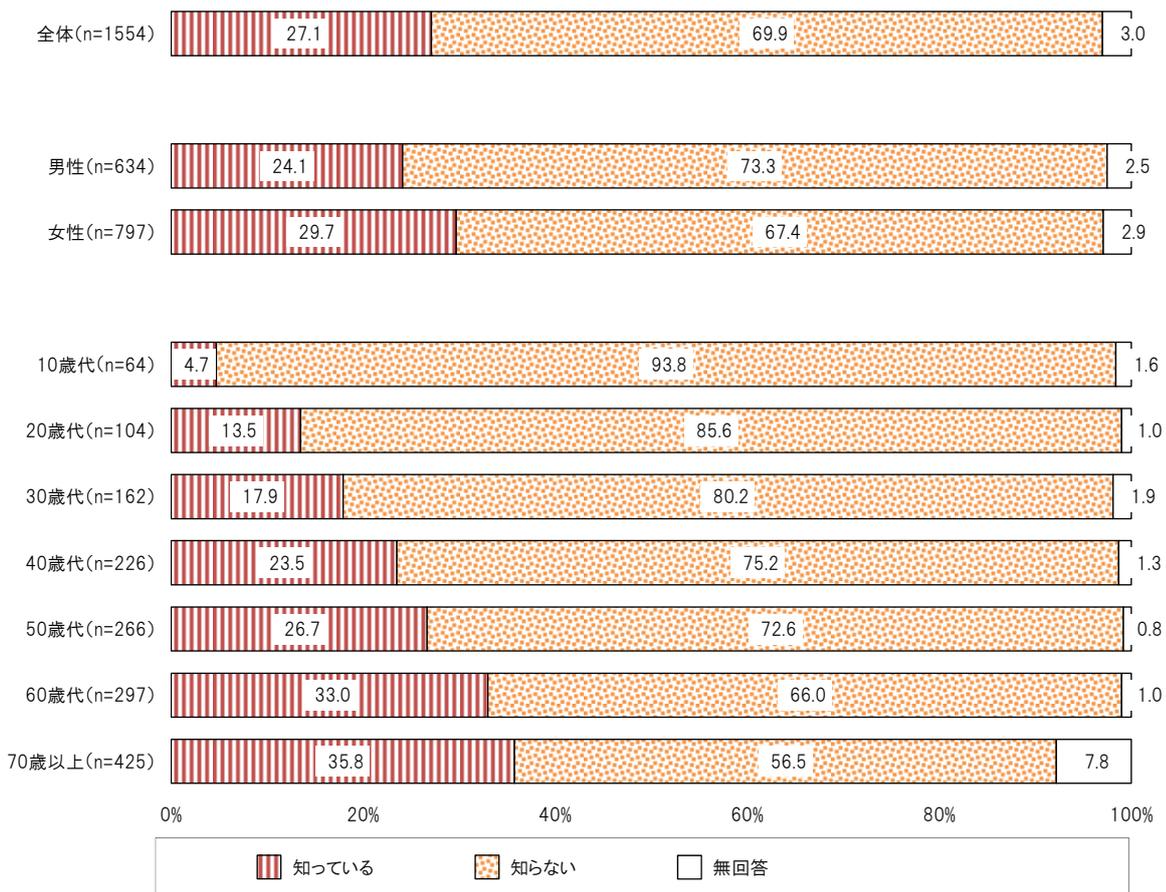
問 35 判断能力が不十分な方の財産と権利を守ることに、成年後見センターで相談できることを知っていますか。(〇は1つだけ)

全体では「知らない」が69.9%となっており、「知っている」が27.1%となっている。

性別にみると、「知っている」の割合について、女性の方が男性より5.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「はい」の割合について、年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、10歳代が4.7%で最も低く、70歳以上で35.8%と最も高くなっている。

問35 成年後見センターで相談できることを知っているか



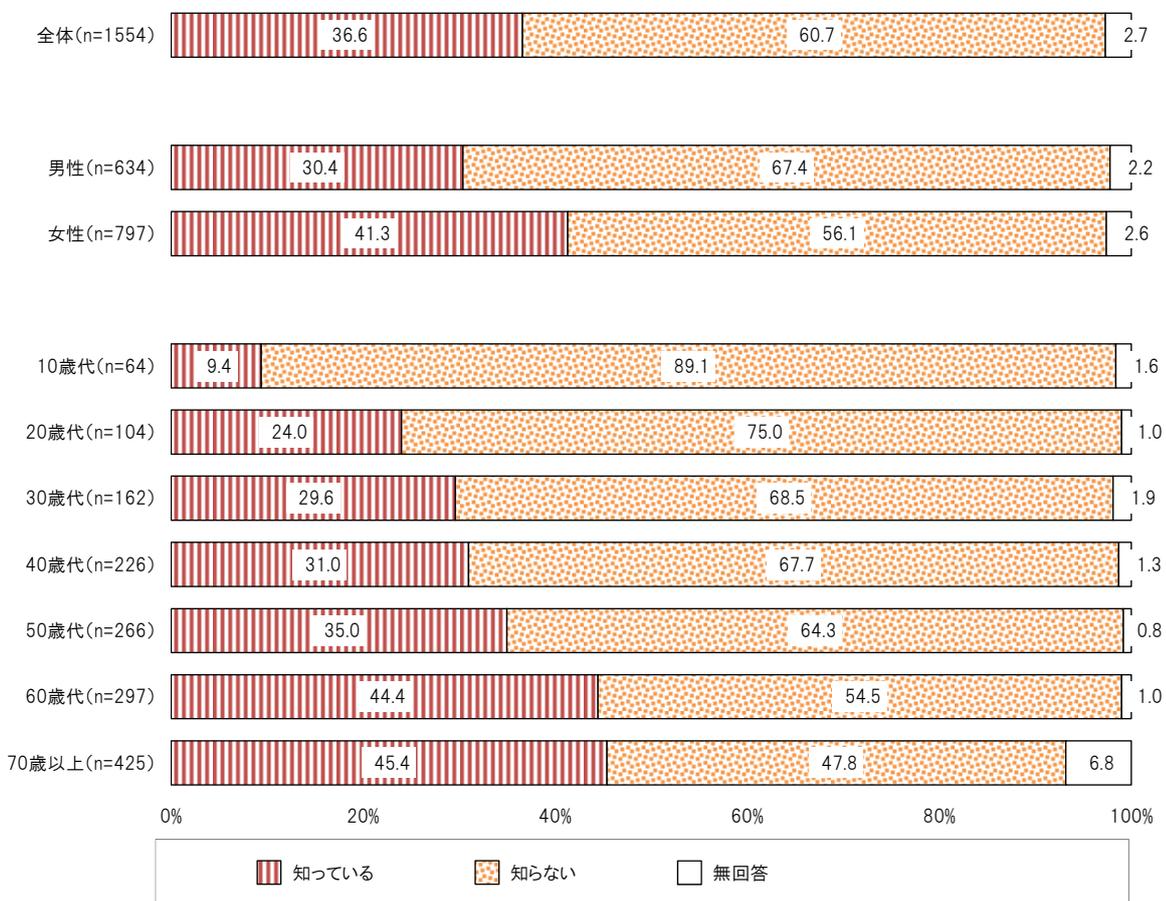
問 36 認知症は誰もがなる可能性がある病気です。認知症に関する相談機関（認知症の相談ができる専門医療機関、地域包括支援センター、かかりつけ医、ケアマネジャーなど）を知っていますか。（○は1つだけ）

全体では「知らない」が60.7%となっており、「知っている」が36.6%となっている。

性別にみると、「知っている」の割合について、女性の方が男性より10.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、「はい」の割合について、年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、10歳代が9.4%で最も低く、70歳以上で45.4%と最も高くなっている。

問36 認知症に関する相談機関を知っているか



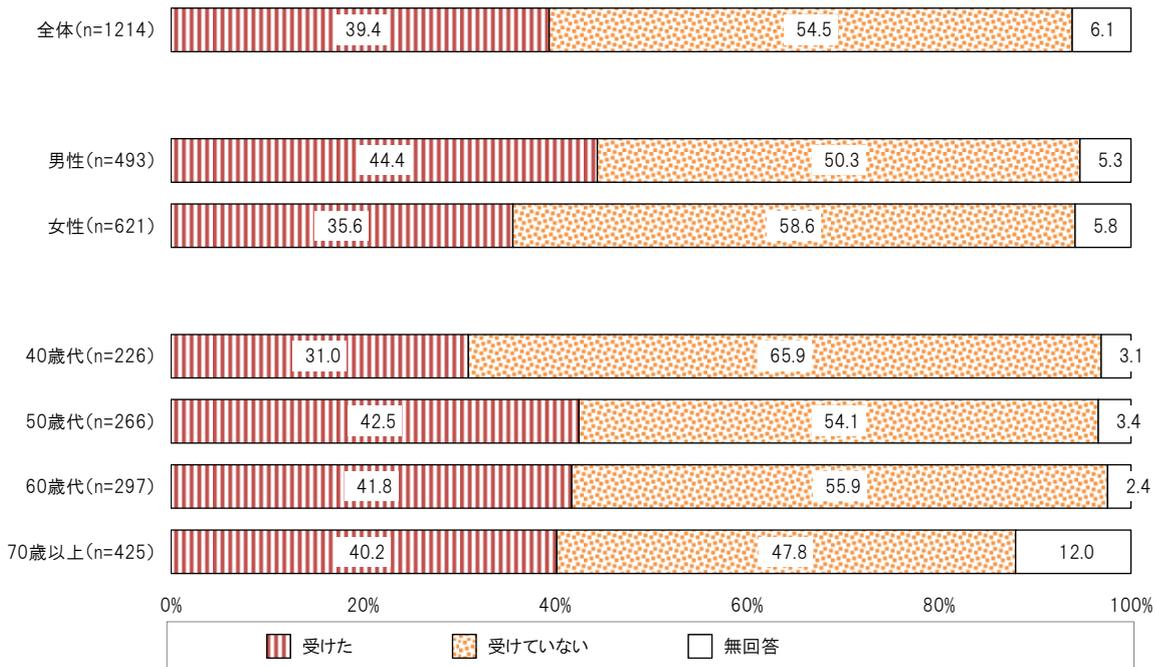
12. がん検診の受診について

問37 この1年間に下記のがん検診を受診しましたか。①～⑤についてそれぞれご回答ください（○は1つだけ）。また受けていない方はその理由を選んでください。（○はいくつでも）

①胃がん検診（40歳以上のみ回答）

全体では「受けていない」が54.5%となっており、「受けた」が39.4%となっている。性別にみると、「受けた」の割合について、男性の方が女性より8.8ポイント高くなっている。年代別にみると、「受けた」の割合について、40歳代で3割ほど、50歳より高齢の世代で4割ほどとなっている。

問37① がん健診の受診状況(胃がん検診)



<検診を受けていない理由>

「健康だと思うから」が34.3%で最も高く、ついで「その他」が18.4%、「忙しいから」が13.9%となっている。なお、「その他」の内容として多かったのは「コロナのため」や「毎年は受けていない」、「検査が怖い」などとなっている。

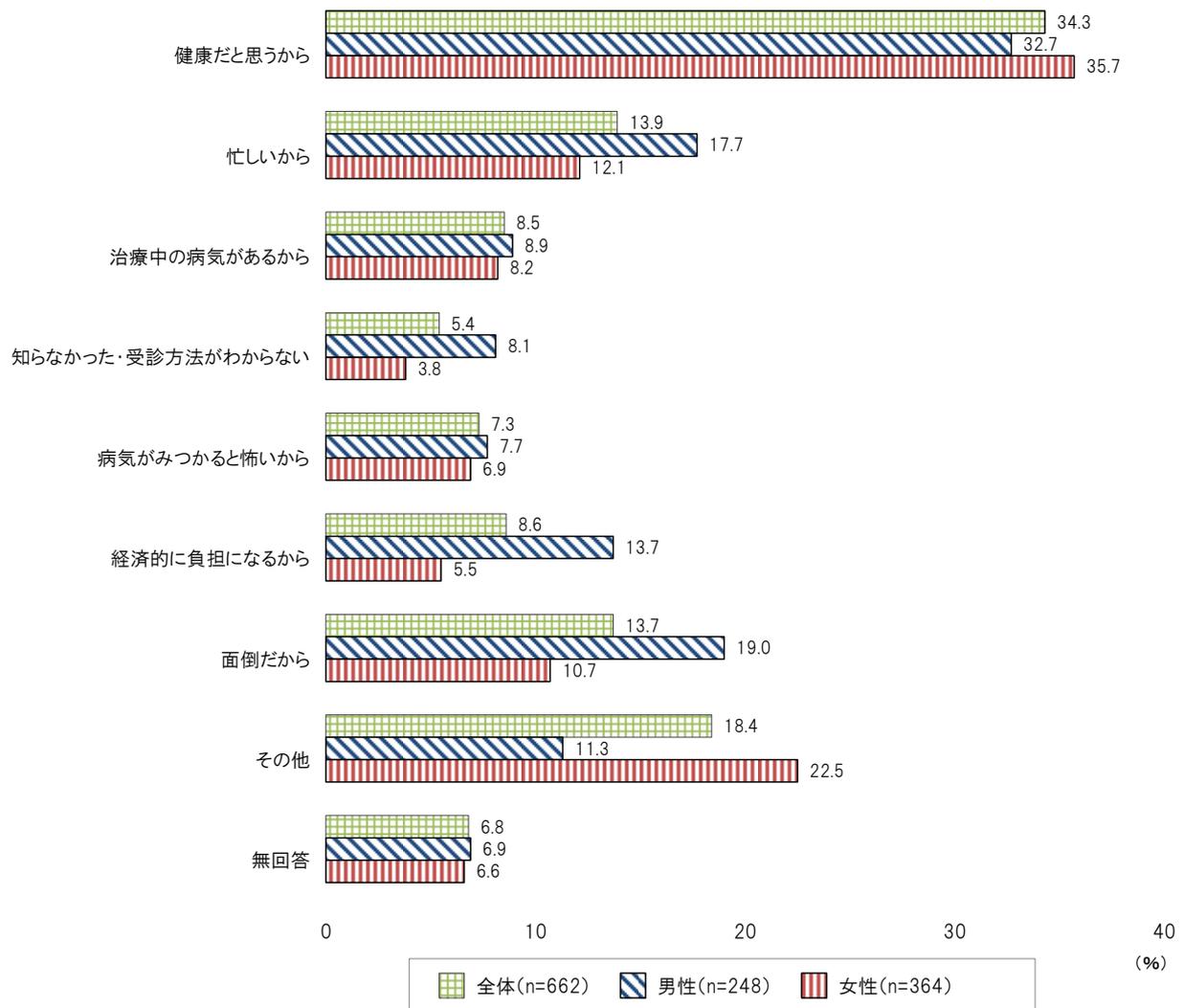
性別にみると、1番目、3番目に高い項目はそれぞれ「健康だと思うから」と「忙しいから」で同じであった。2番目に高い項目は、男性では「面倒だから」、女性では「その他」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「面倒だから」で8.3ポイント、「経済的負担になるから」で8.2ポイント男性の方が高く、一方で、「その他」で11.2ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「健康だと思うから」は2番目以内に入っている。3番目以内に入っている項目をみると、40歳代、50歳代で「忙しいから」、40歳代、60歳代で「面倒だから」が入っている。

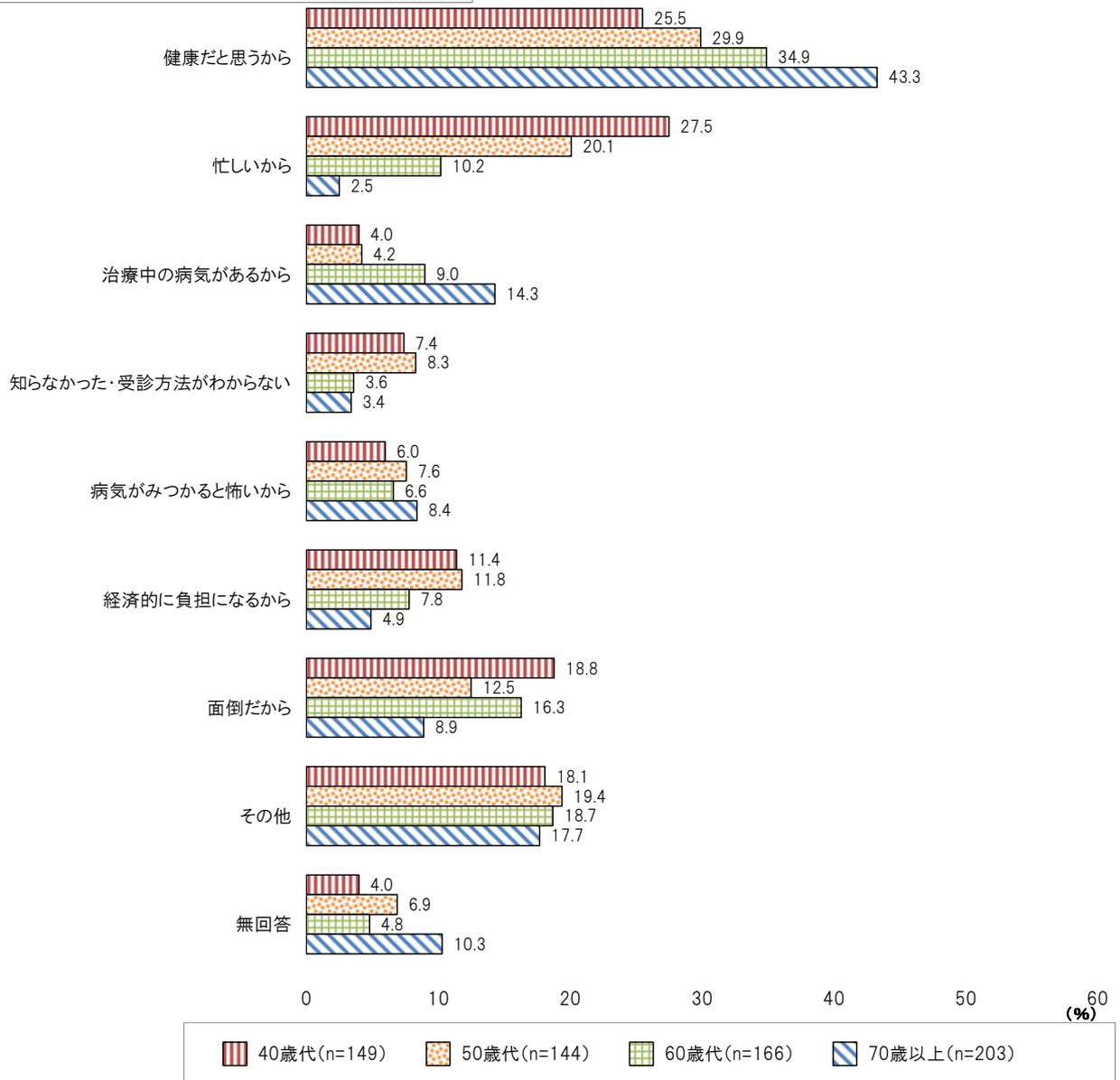
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
40歳代	忙しいから	27.5%	健康だと思うから	25.5%	面倒だから	18.8%
50歳代	健康だと思うから	29.9%	忙しいから	20.1%	その他	19.4%
60歳代	健康だと思うから	34.9%	その他	18.7%	面倒だから	16.3%
70歳以上	健康だと思うから	43.3%	その他	17.7%	治療中の病気があるから	14.3%

問37① がん検診を受けていない理由(胃がん検診)



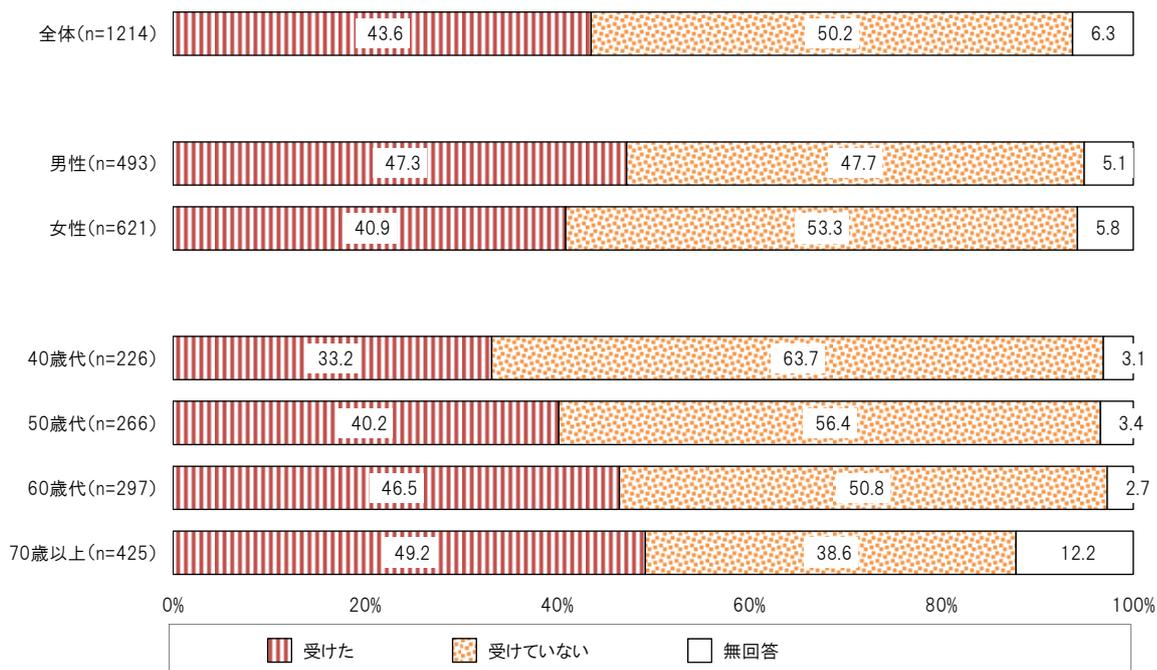
問37① がん検診を受けていない理由(胃がん検診)



②肺がん検診（40歳以上のみ回答）

全体では「受けていない」が50.2%となっており、「受けた」が43.6%となっている。
 性別にみると、「受けた」の割合について、男性の方が女性より6.4ポイント高くなっている。
 年代別にみると、「受けた」の割合について、40歳代で3割ほど、50歳代で4割ほどとなっている。
 70歳以上では49.2%と5割ほどとなっており、「受けていない」より多数となっている。

問37② がん健診の受診状況(肺がん検診)



<検診を受けていない理由>

「健康だと思うから」が37.3%で最も高く、ついで「その他」が14.1%、「忙しいから」が13.5%となっている。なお、「その他」の内容として多かったのは「コロナのため」や「毎年は受けていない」などとなっている。

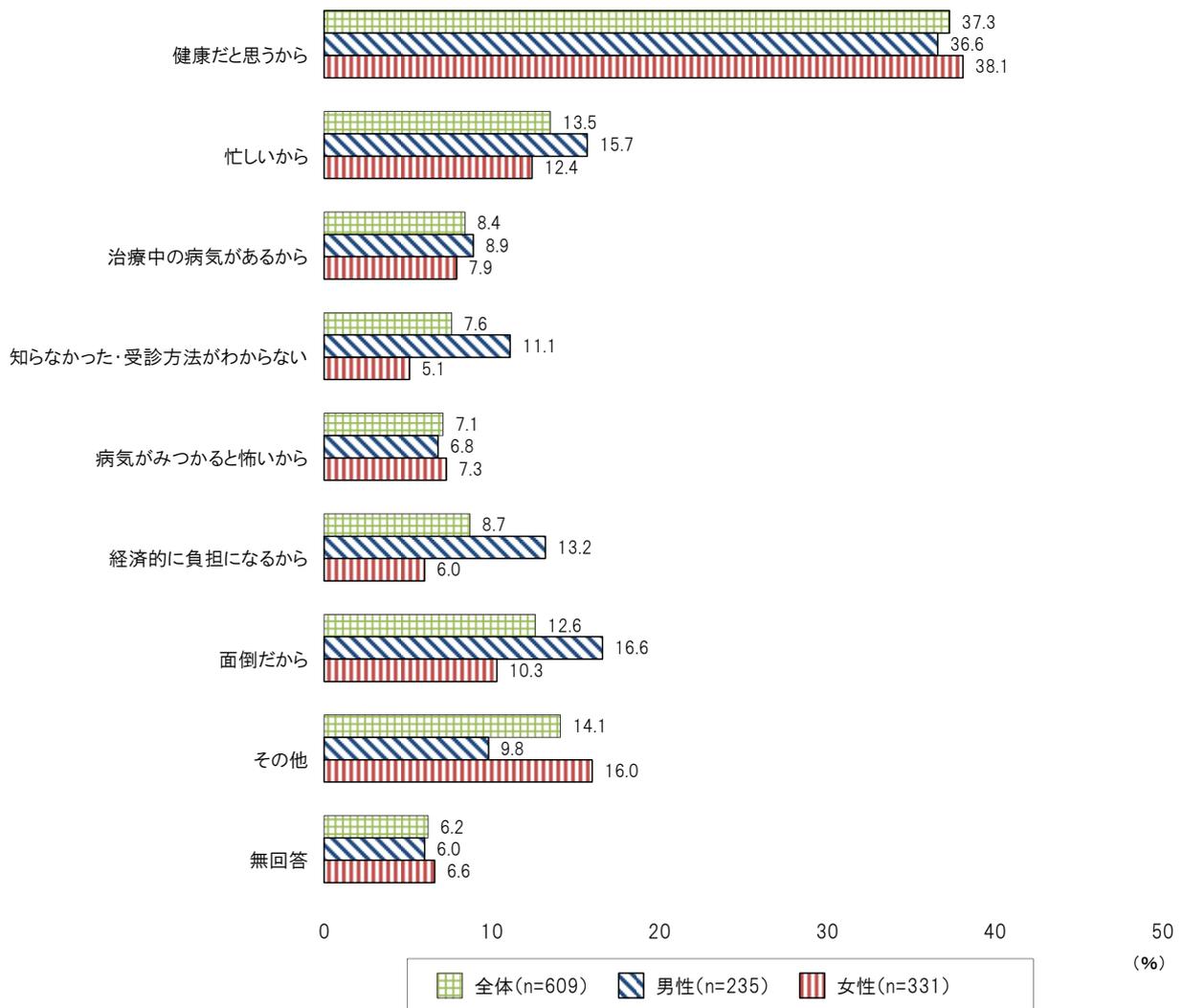
性別にみると、1番目、3番目に高い項目はそれぞれ「健康だと思うから」と「忙しいから」で同じであった。2番目に高い項目は、男性では「面倒だから」、女性では「その他」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「経済的負担になるから」で7.2ポイント、「面倒だから」で6.3ポイント男性の方が高く、一方で、「その他」で6.2ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「健康だと思うから」は1番目となっている。3番目以内に入っている項目をみると、40歳代、50歳代で「忙しいから」、全年代で「その他」が入っている。

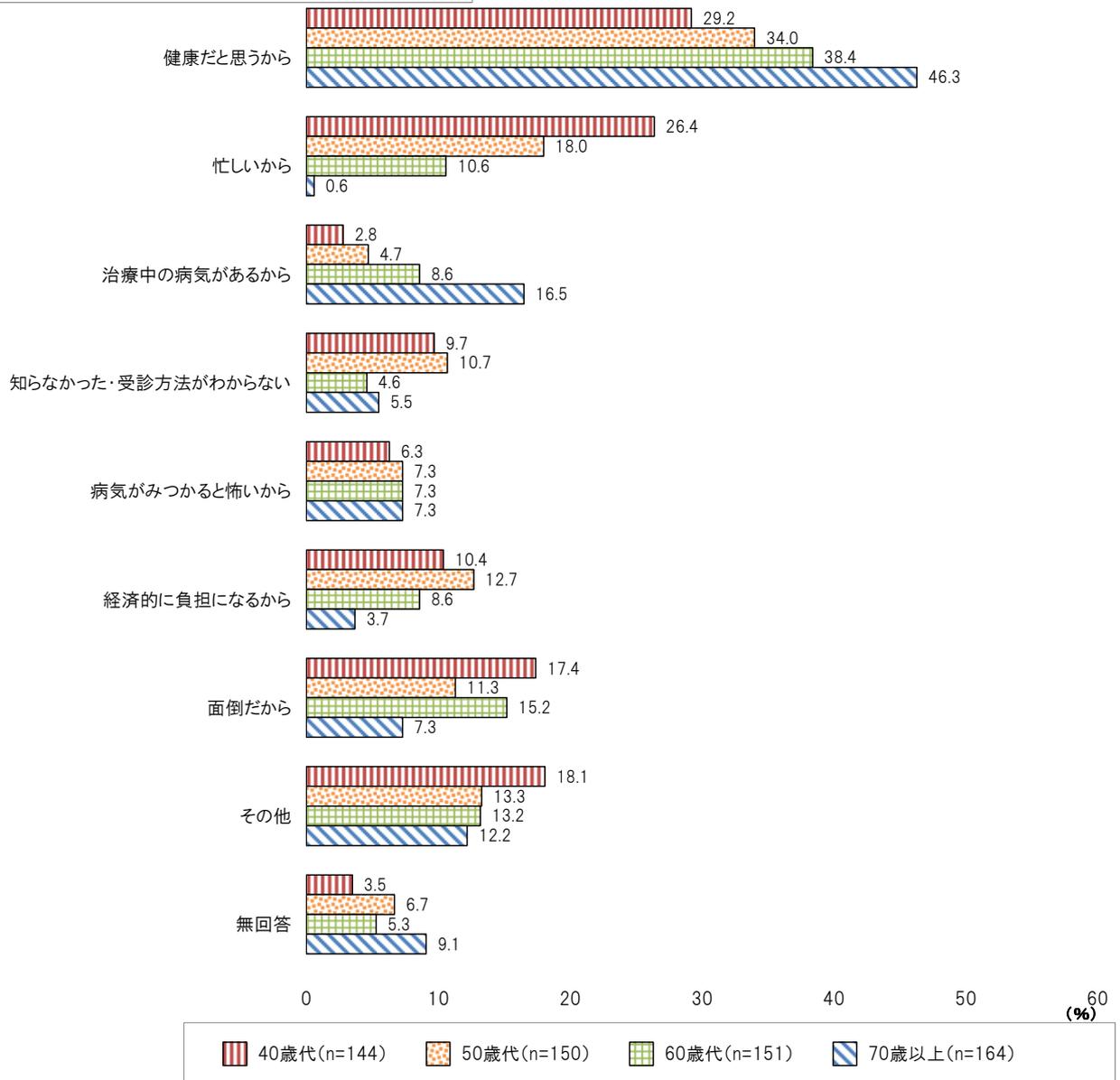
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
40歳代	健康だと思うから	29.2%	忙しいから	26.4%	その他	18.1%
50歳代	健康だと思うから	34.0%	忙しいから	18.0%	その他	13.3%
60歳代	健康だと思うから	38.4%	面倒だから	15.2%	その他	13.2%
70歳以上	健康だと思うから	46.3%	治療中の病気があるから	16.5%	その他	12.2%

問37② がん検診を受けていない理由(肺がん検診)



問37② がん検診を受けていない理由(肺がん検診)



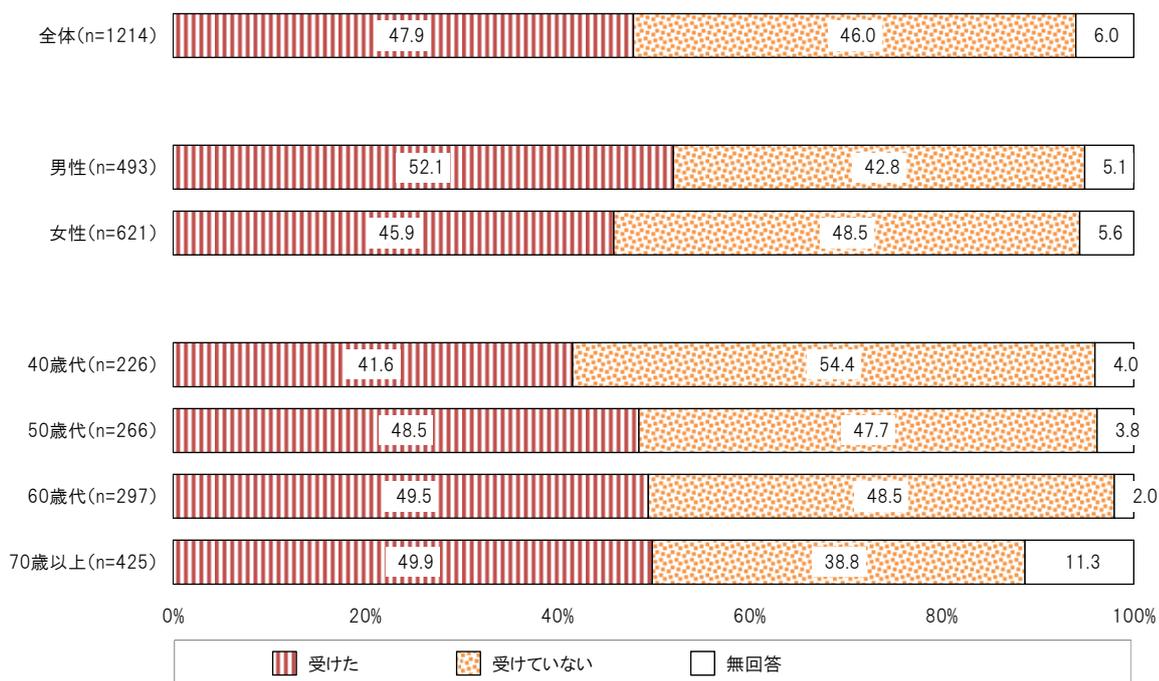
③大腸がん検診（便潜血検査）（40歳以上のみ回答）

全体では「受けた」が47.9%となっており、「受けていない」が46.0%で「受けた」人の方が多くなっている。

性別にみると、「受けた」の割合について、男性の方が女性より6.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「受けた」の割合について、50歳より高齢の世代では5割ほどとなっており、「受けていない」より多数となっている。

問37③ がん健診の受診状況(大腸がん検診(便潜血検査))



<検診を受けていない理由>

「健康だと思うから」が35.4%で最も高く、ついで「面倒だから」が15.4%、「その他」が14.1%となっている。なお、「その他」の内容として多かったのは「コロナのため」や「毎年は受けていない」などとなっている。

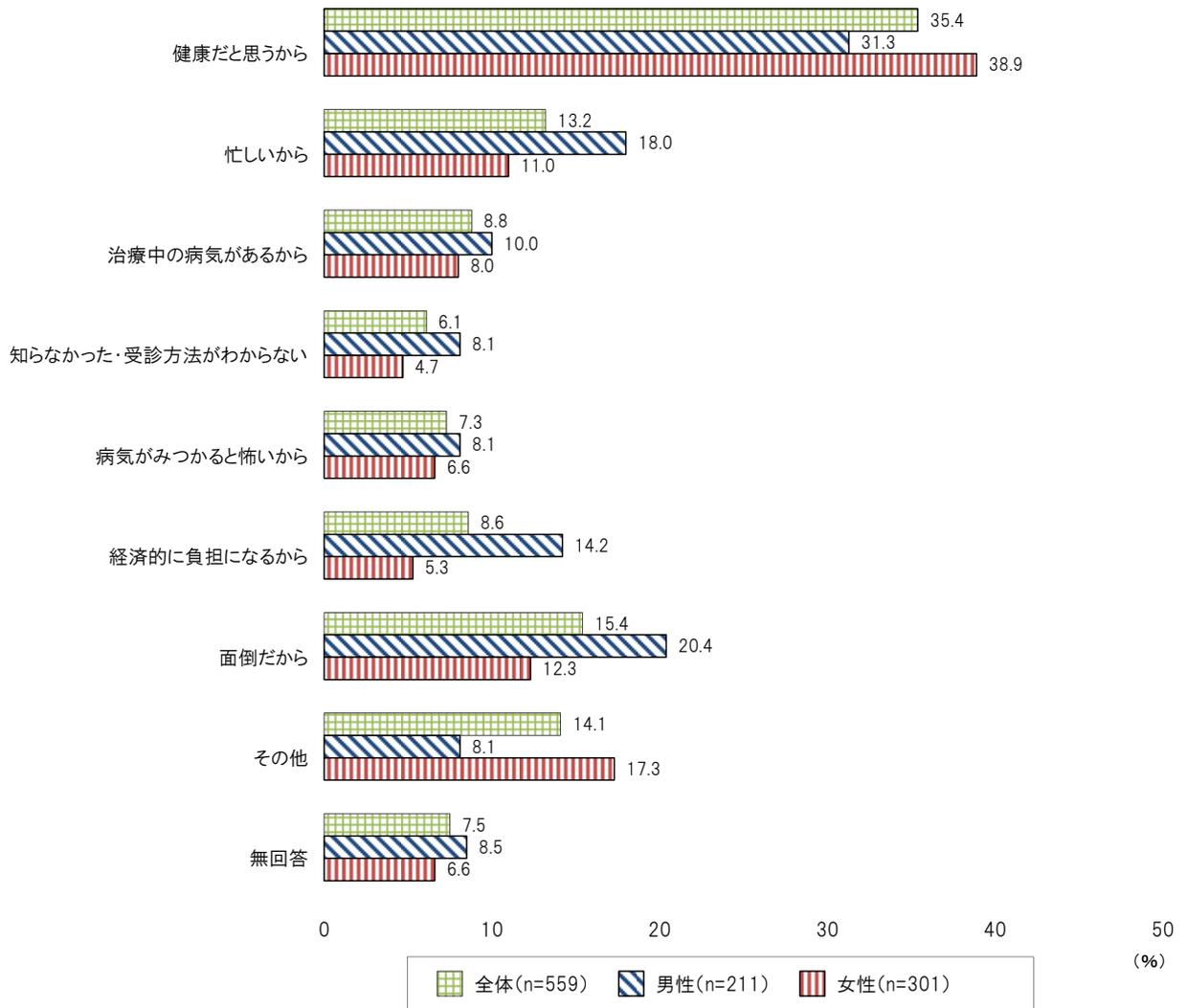
性別にみると、1番目の項目は男女ともに「健康だと思うから」であった。2番目に高い項目は、男性では「面倒だから」、女性では「その他」となっており、3番目に高い項目は、男性では「忙しいから」、女性では「面倒だから」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「経済的負担になるから」で8.9ポイント、「面倒だから」で8.1ポイント男性の方が高く、一方で、「その他」で9.2ポイント、「健康だと思うから」で7.6ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも「健康だと思うから」は2番目以内に入っている。3番目以内に入っている項目をみると40歳代、50歳代、60歳代で「面倒だから」、40歳代、50歳代で「忙しいから」が入っている。

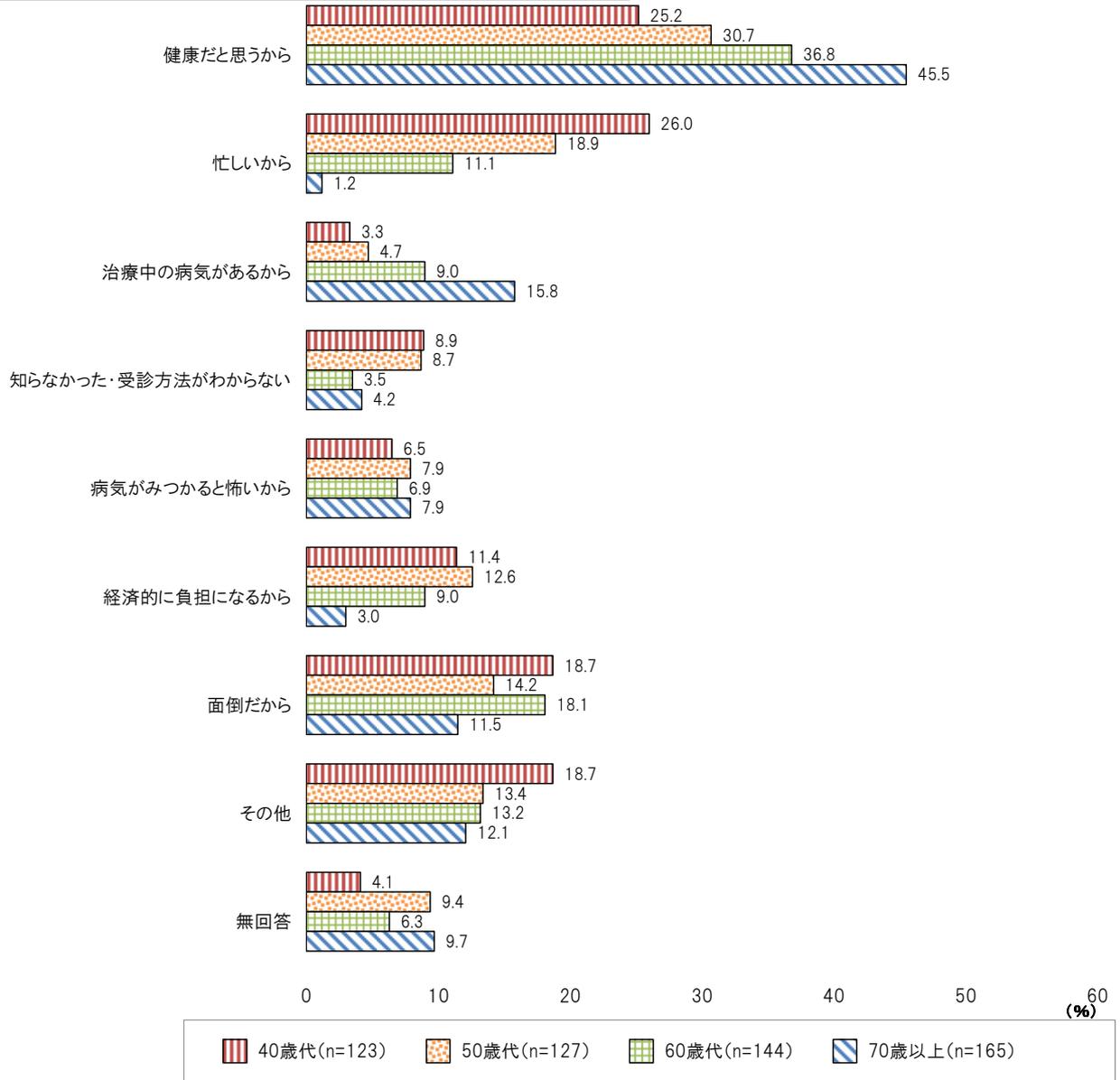
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
40歳代	忙しいから	26.0%	健康だと思うから	25.2%	面倒だから	18.7%
					その他	18.7%
50歳代	健康だと思うから	30.7%	忙しいから	18.9%	面倒だから	14.2%
60歳代	健康だと思うから	36.8%	面倒だから	18.1%	その他	13.2%
70歳以上	健康だと思うから	45.5%	治療中の病気があるから	15.8%	その他	12.1%

問37③ がん検診を受けていない理由(大腸がん検診(便潜血検査))



問37③ がん検診を受けていない理由(大腸がん検診(便潜血検査))

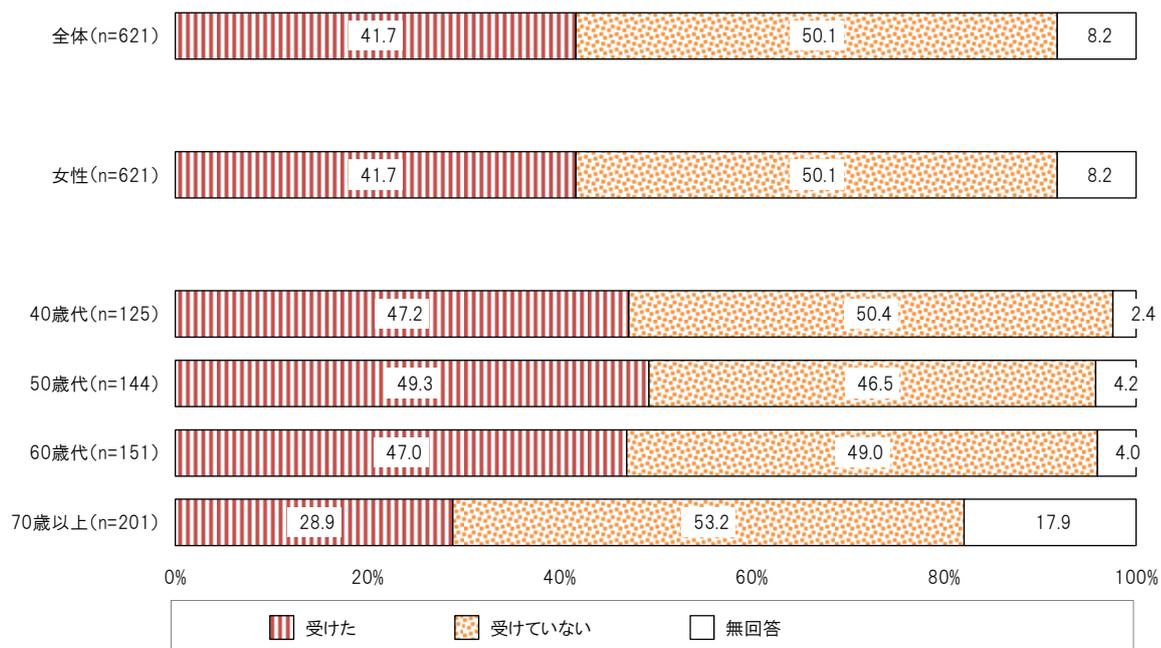


④乳がん検診（40歳以上の女性のみ回答）

全体では「受けていない」が50.1%となっており、「受けた」が41.7%となっている。

年代別にみると、「受けた」の割合について、40歳代から60歳代では5割ほどとなっているものの、70歳以上では28.9%と低下している。

問37④ がん健診の受診状況(乳がん検診)



<検診を受けていない理由>

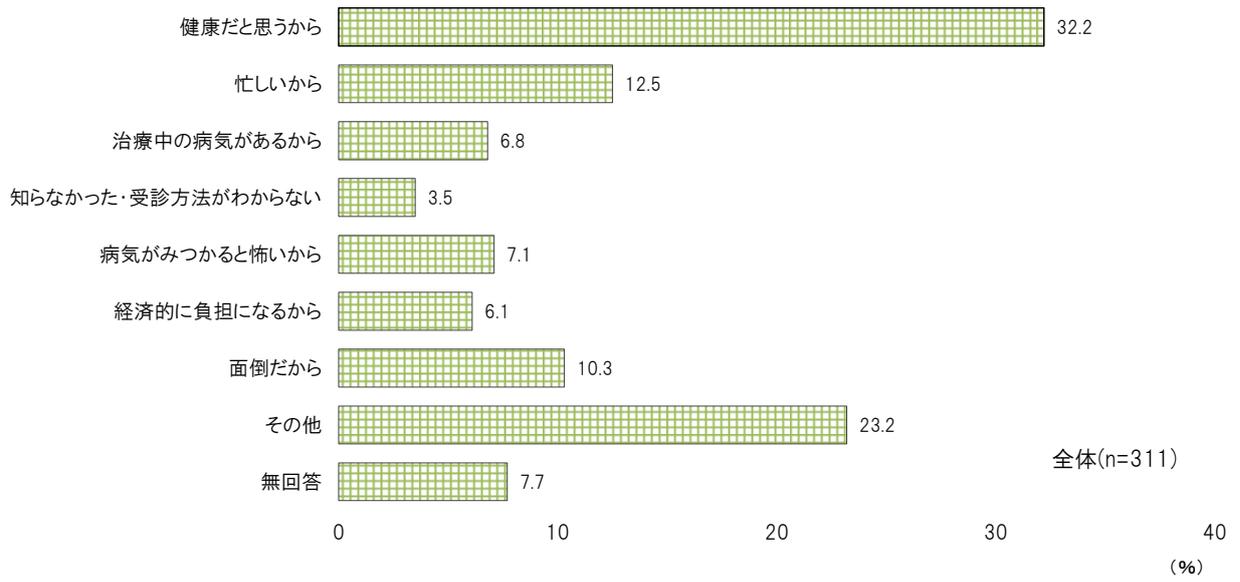
「健康だと思うから」が32.2%で最も高く、ついで「その他」が23.2%、「忙しいから」が12.5%となっている。なお、「その他」の内容として多かったのは「コロナのため」や「毎年は受けていない」「自分で触診している」などとなっている。

年代別にみると、40歳代を除いた年代で「健康だと思うから」は2番目以内に入っている。3番目以内に入っている項目をみると、40歳代、50歳代で「忙しいから」、60歳代、70歳以上で「治療中の病気があるから」が入っている。

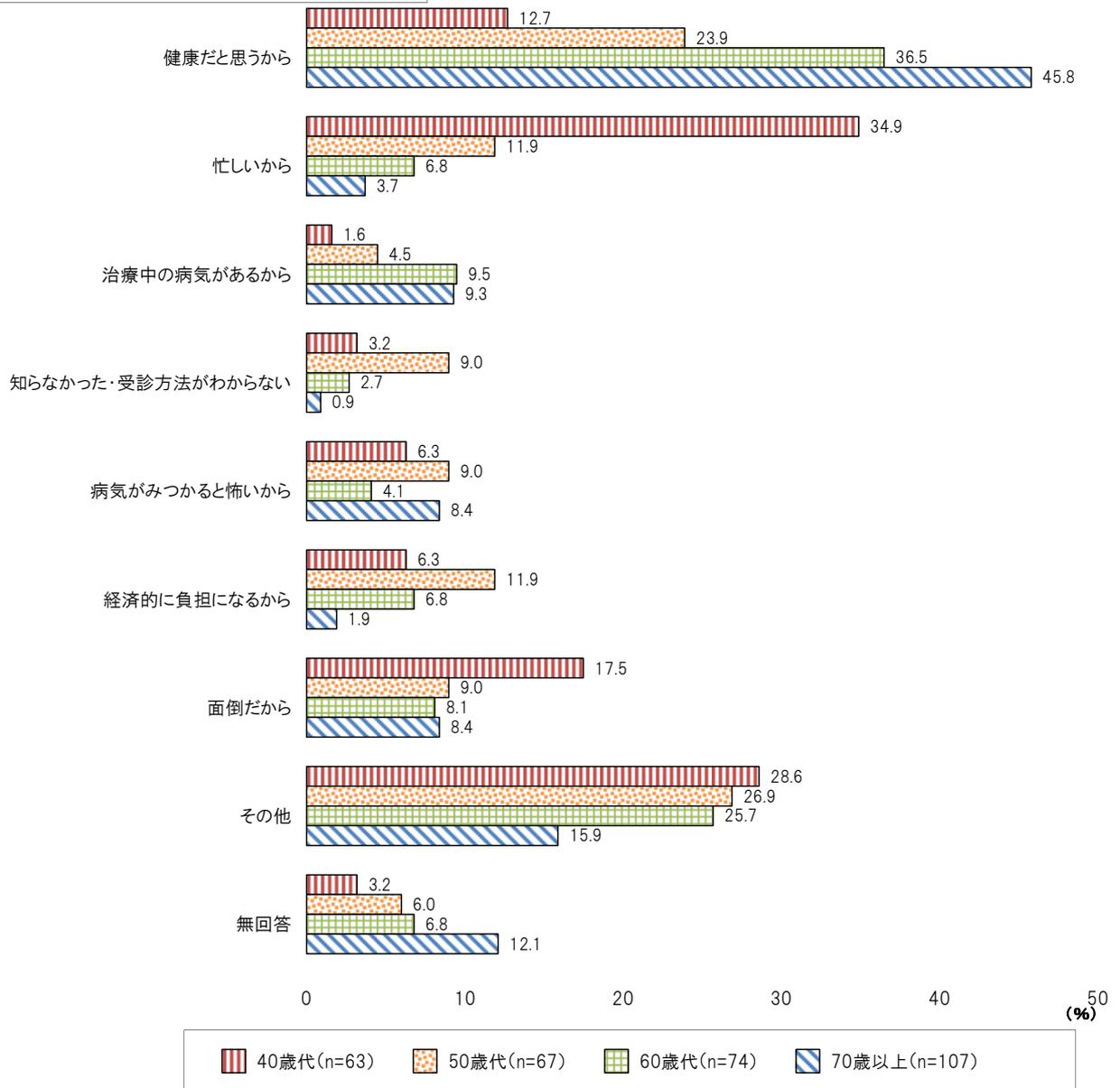
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
40 歳代	忙しいから	34.9%	その他	28.6%	面倒だから	17.5%
50 歳代	その他	26.9%	健康だと思うから	23.9%	忙しいから	11.9%
					経済的に負担になるから	11.9%
60 歳代	健康だと思うから	36.5%	その他	25.7%	治療中の病気があるから	9.5%
70 歳以上	健康だと思うから	45.8%	その他	15.9%	治療中の病気があるから	9.3%

問37④ がん検診を受けていない理由(乳がん検診)



問37④ がん検診を受けていない理由(乳がん)

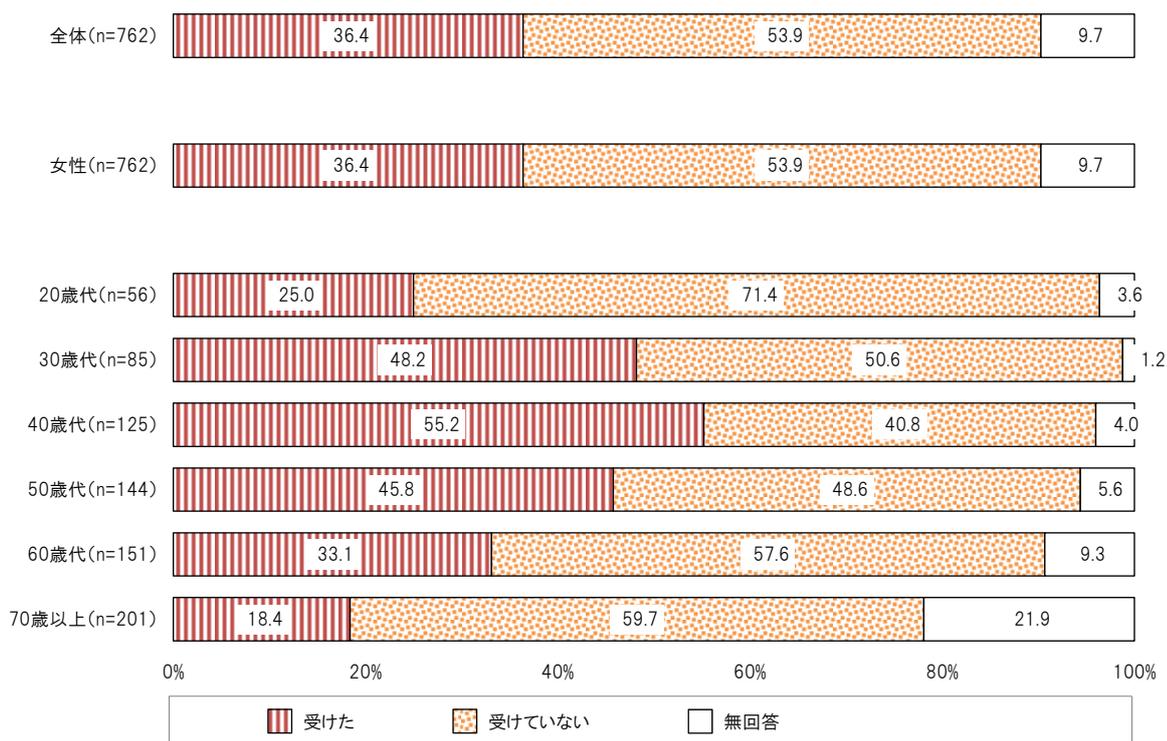


⑤子宮頸がん検診（20歳以上の女性のみ回答）

全体では「受けていない」が53.9%となっており、「受けた」が36.4%となっている。

年代別にみると、「受けた」の割合について、20歳代では25.0%と低くなっているものの、30歳代からは増加し40歳代で55.2%と最も高くなっている。50歳以降では年々割合が低下している。

問37⑤ がん健診の受診状況(子宮頸がん検診)



<検診を受けていない理由>

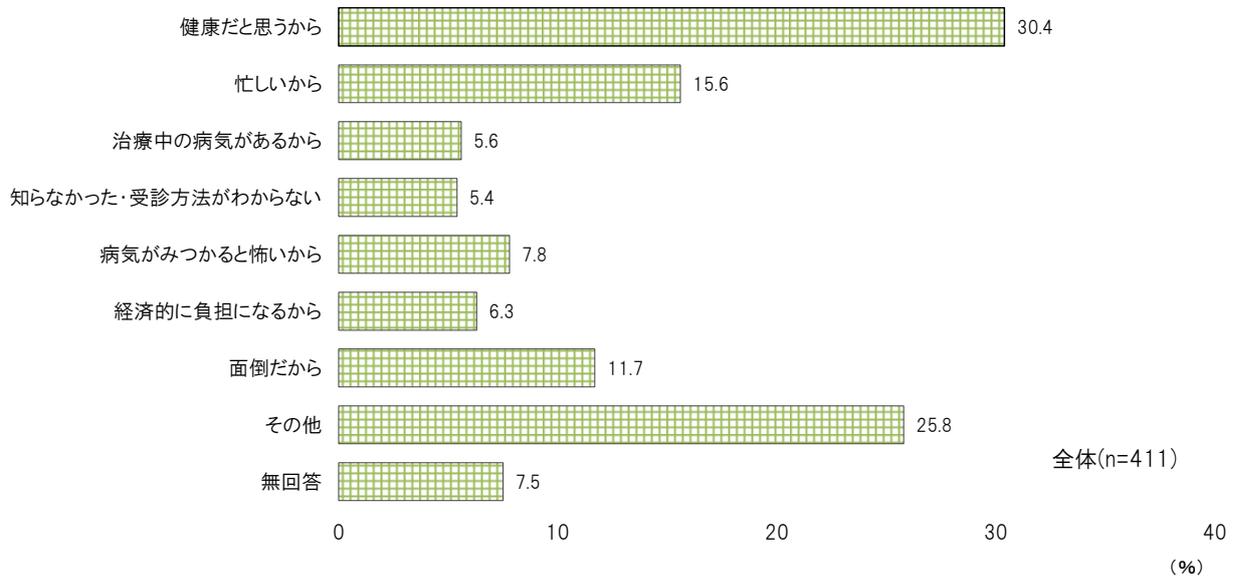
「健康だと思うから」が30.4%で最も高く、ついで「その他」が25.8%、「忙しいから」が15.6%となっている。なお、「その他」の内容として多かったのは「コロナのため」や「毎年は受けていない」「以前に受けた」などとなっている。

年代別にみると、40歳代を除いた年代で「健康だと思うから」は2番目以内に入っている。3番目以内に入っている項目をみると、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代で「忙しいから」、30歳代、40歳代、60歳代で「面倒だから」が入っている。「知らなかった・受診方法がわからない」は20歳代で3番目に多くなっている。

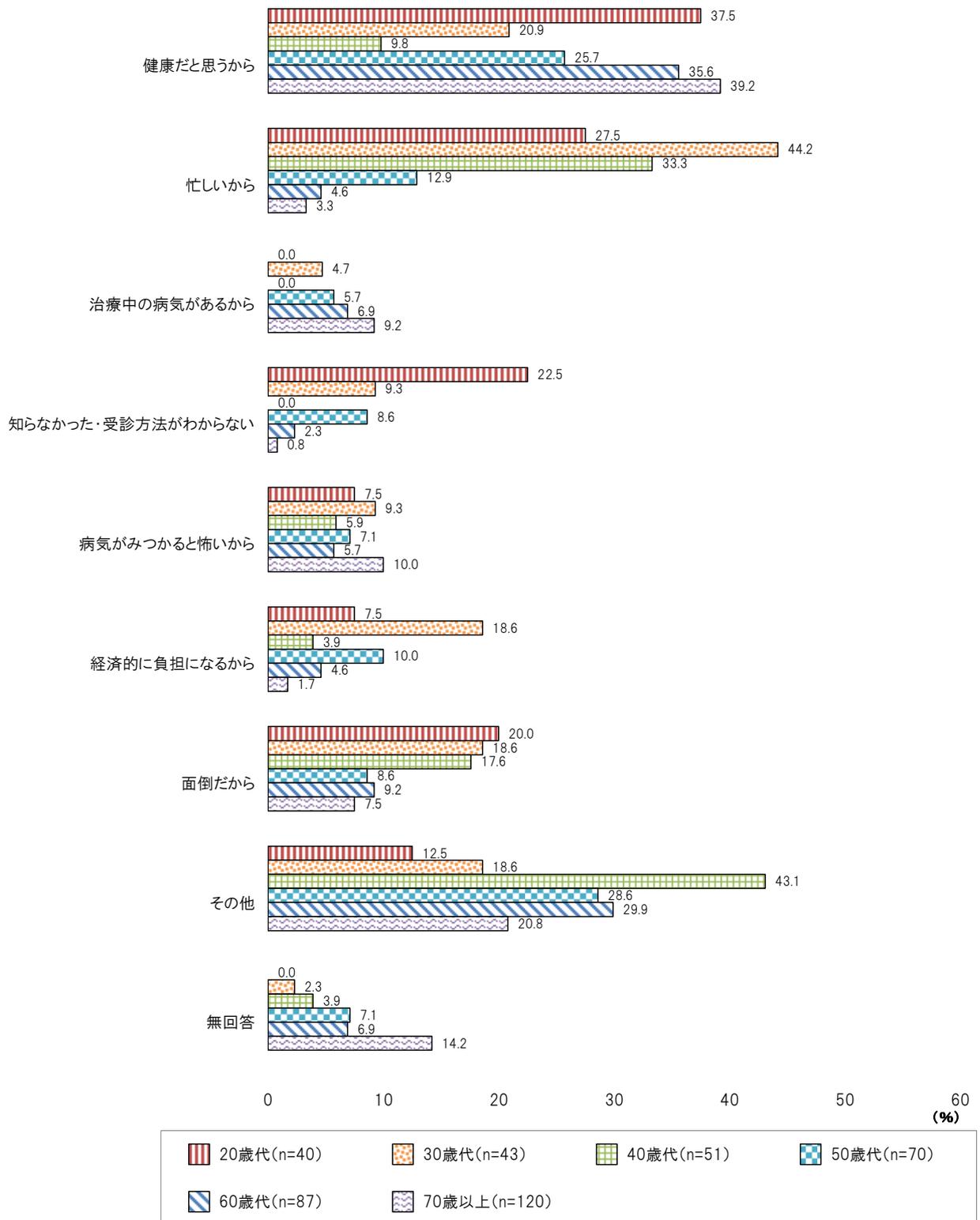
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
20 歳代	健康だと思うから	37.5%	忙しいから	27.5%	知らなかった・受診方法がわからない	22.5%
30 歳代	忙しいから	44.2%	健康だと思うから	20.9%	面倒だから	18.6%
					経済的に負担になるから	18.6%
					その他	18.6%
40 歳代	その他	43.1%	忙しいから	33.3%	面倒だから	17.6%
50 歳代	その他	28.6%	健康だと思うから	25.7%	忙しいから	12.9%
60 歳代	健康だと思うから	35.6%	その他	29.9%	面倒だから	9.2%
70 歳以上	健康だと思うから	39.2%	その他	20.8%	病気がみつかりと怖いから	10.0%

問37⑤ がん検診を受けていない理由(子宮頸がん検診)



問37⑤ がん検診を受けていない理由(子宮頸がん検診)



問 38 問 37 の①～⑤で、1つでも「1. 受けた」と答えた方におうかがいします。
 がん検診をどのような機会に受けましたか。(〇はいくつでも)

「市が実施するがん検診」が45.2%で最も高く、ついで「職場におけるがん検診(定期検診・補助を受けての人間ドック等)」が39.3%、「個人的に受診したがん検診(全額自費で受けた人間ドック等)」が23.7%となっている。

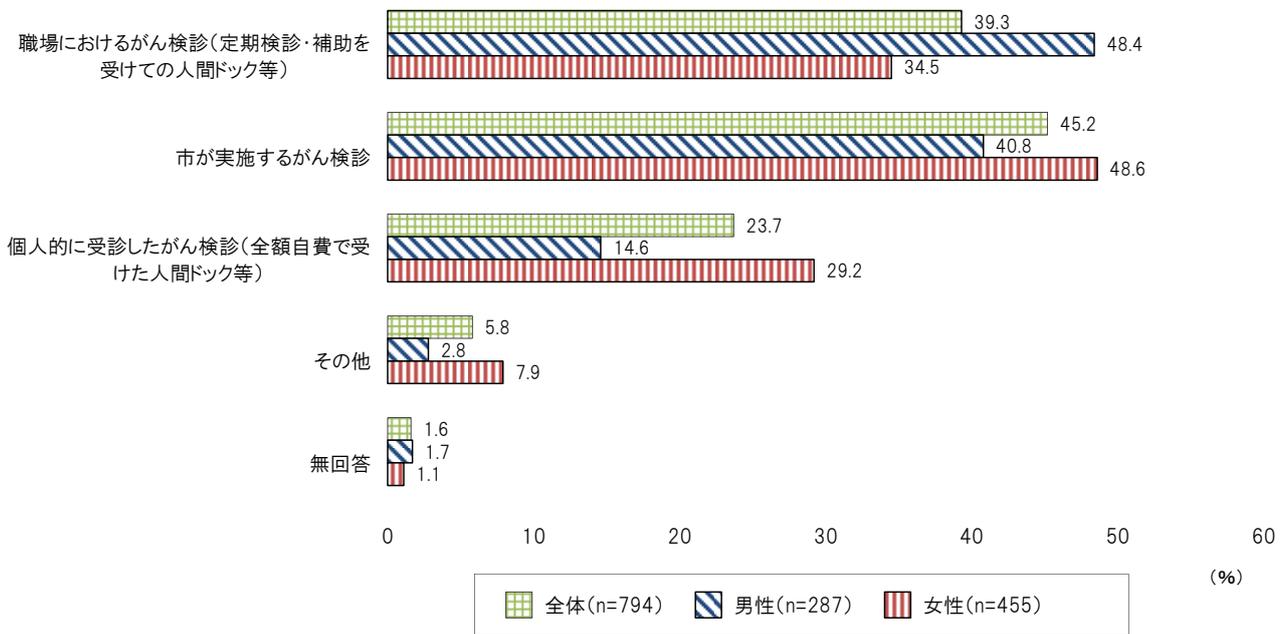
性別にみると、男性では「職場におけるがん検診」が48.4%で最も高く、女性では「市が実施するがん検診」が48.6%で最も高くなっている。男女の間で差が大きかった項目は、「職場におけるがん検診」で13.9ポイント男性の方が高く、一方で、「個人的に受診したがん検診」で14.6ポイント、「市が実施するがん検診」で7.8ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、30歳代、40歳代、50歳代では「職場におけるがん検診」が1番目に多く、60歳代、70歳以上では「市が実施するがん検診」が1番目に多くなっている。

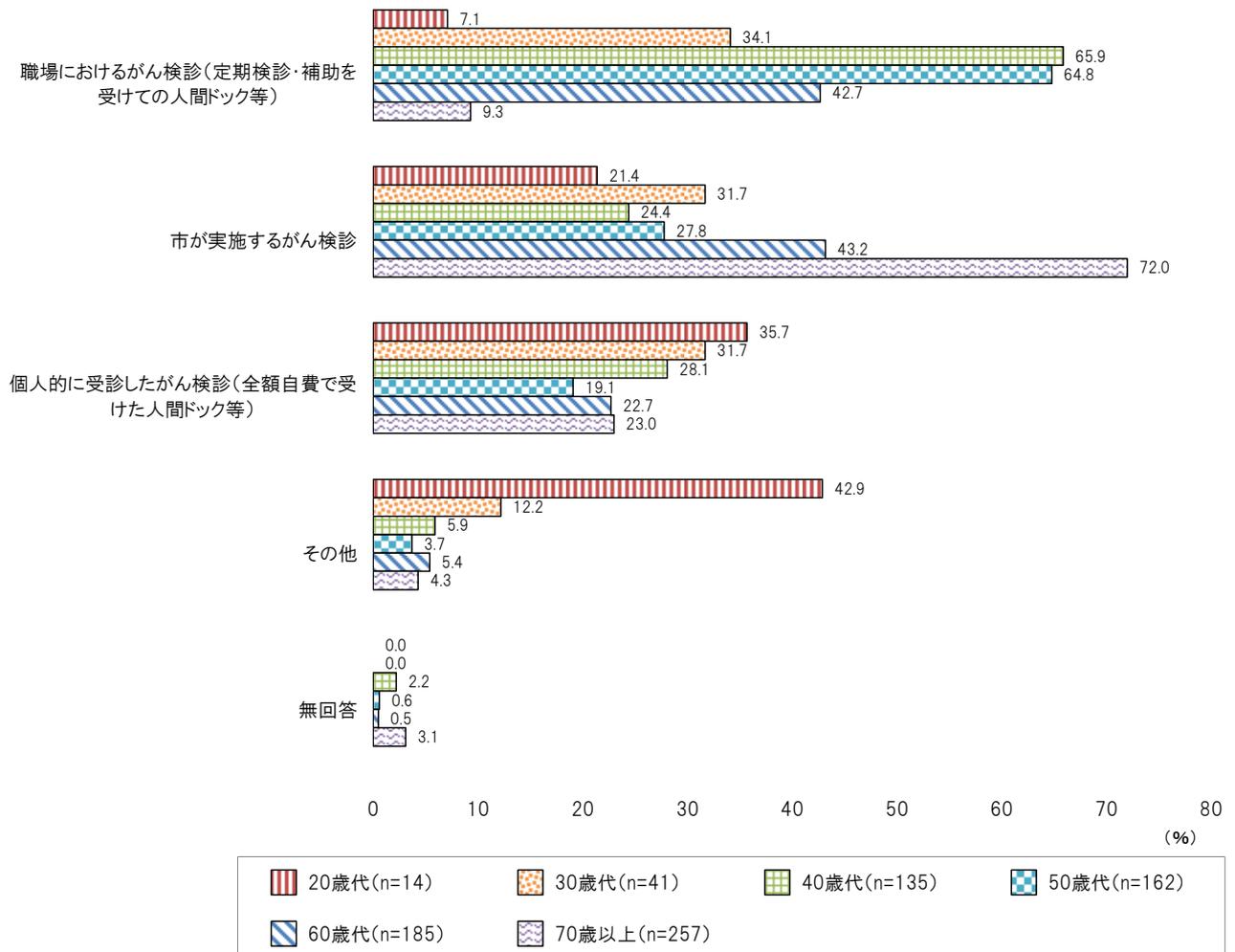
<年代ごとの上位3項目>

	1 番 目		2 番 目		3 番 目	
20 歳代	その他	42.9%	個人的に受診したがん検診(全額自費で受けた人間ドック等)	35.7%	市が実施するがん検診	21.4%
30 歳代	職場におけるがん検診(定期検診・補助を受けての人間ドック等)	34.1%	個人的に受診したがん検診	31.7%	市が実施するがん検診	31.7%
40 歳代	職場におけるがん検診	65.9%	個人的に受診したがん検診	28.1%	市が実施するがん検診	24.4%
50 歳代	職場におけるがん検診	64.8%	市が実施するがん検診	27.8%	個人的に受診したがん検診	19.1%
60 歳代	市が実施するがん検診	43.2%	職場におけるがん検診	42.7%	個人的に受診したがん検診	22.7%
70 歳以上	市が実施するがん検診	72.0%	個人的に受診したがん検診	23.0%	職場におけるがん検診	9.3%

問38 がん検診をどのような機会に受けたか



問38 がん検診をどのような機会に受けたか



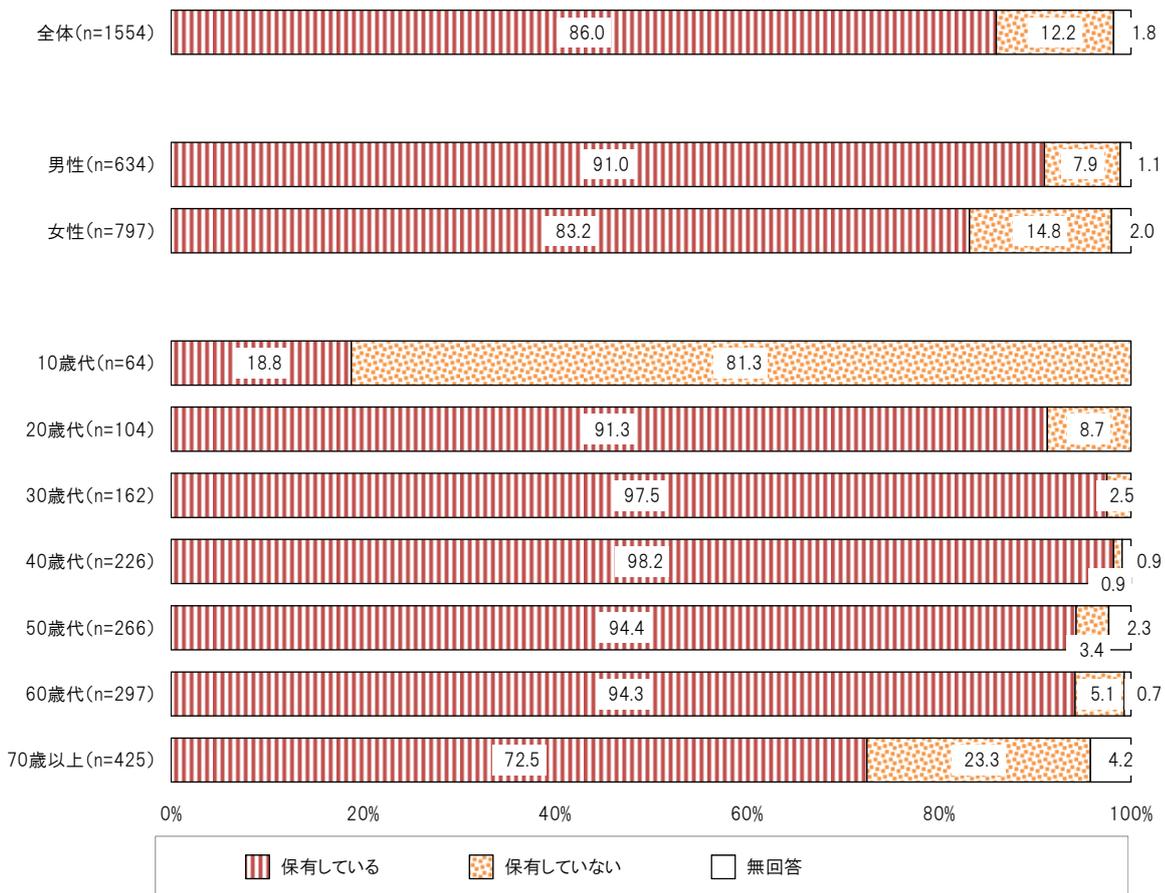
13. 移動手段について

問 39 運転免許証は保有していますか。（〇は1つだけ）

全体では「保有している」が86.0%となっており、「保有していない」が12.2%となっている。性別にみると、「保有している」の割合について、男性の方が女性より7.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「保有している」の割合について、10歳代では18.8%と低いものの、20歳代から60歳代までのいずれの年代でも9割を超えている。70歳代以上では72.5%と割合が少なくなっている。

問39 運転免許証の保有状況



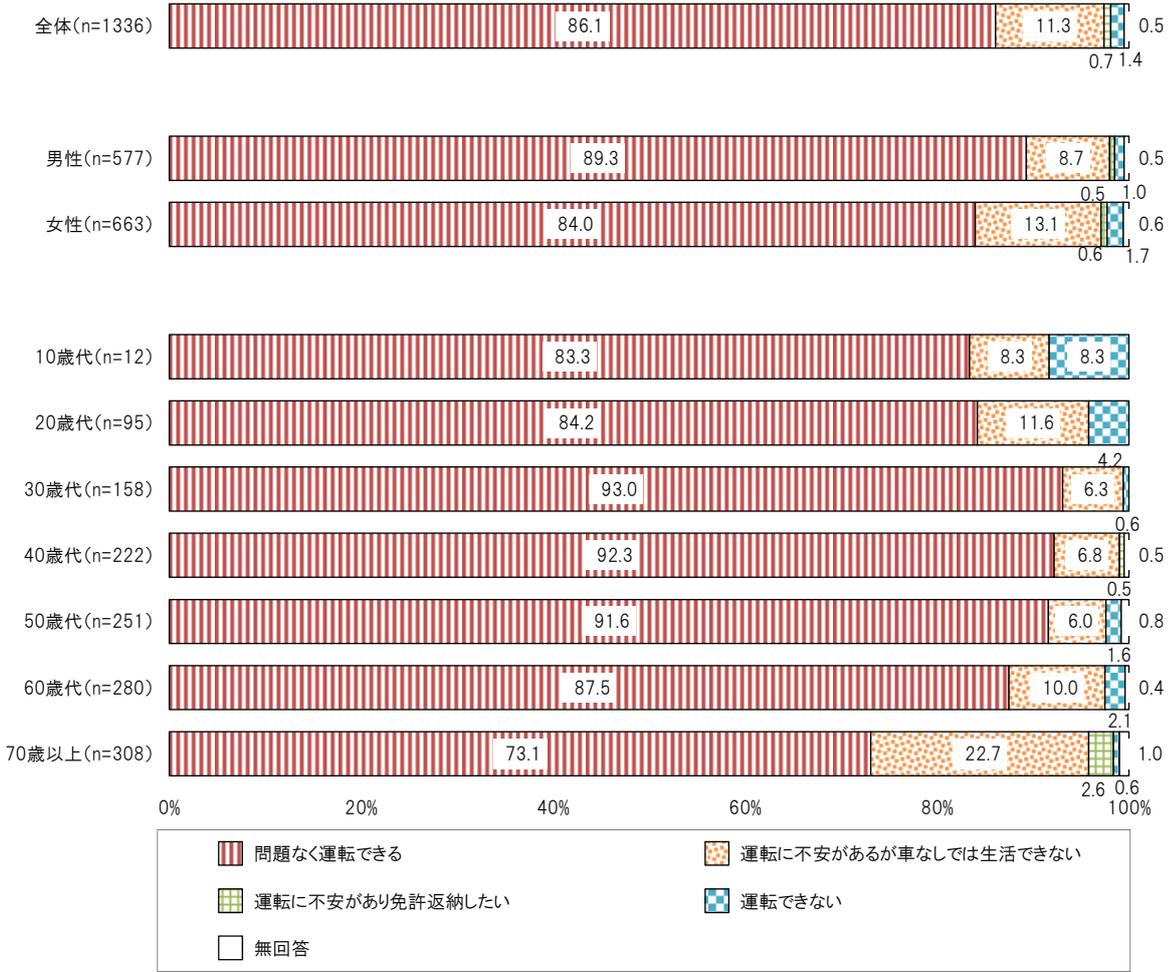
**問 40 問 39 で運転免許証を「1. 保有している」と答えた方におうかがいします。
車の運転について不安などはありますか。（○は1つだけ）**

全体では「問題なく運転できる」が 86.1%で最も高く、ついで「運転に不安があるが車なしでは生活できない」が 11.3%、「運転できない」が 1.4%となっている。

性別にみると、「問題なく運転できる」の割合について、男性の方が女性より 5.3 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「問題なく運転できる」の割合について、30 歳代、40 歳代、50 歳代では 9 割を超えており、10 歳代、20 歳代、60 歳代では 8 割台となっている。70 歳以上では「問題なく運転できる」の割合は 73.1%であり、「運転に不安があるが車なしでは生活できない」の割合が 22.7%となっている。なお、「運転に不安があり免許返納したい」の回答は 70 歳代以上で 2.6%、40 歳代で 0.5%となっている。

問40 車の運転について不安はあるか



問 41 外出する目的別での移動手段についておうかがいします。

(1) 通勤、通学の場合の移動手段 (○は3つまで)

「自動車 (自分で運転)」が 62.6%で最も高く、ついで「自転車」が 13.4%、「徒歩」が 12.8%となっている。

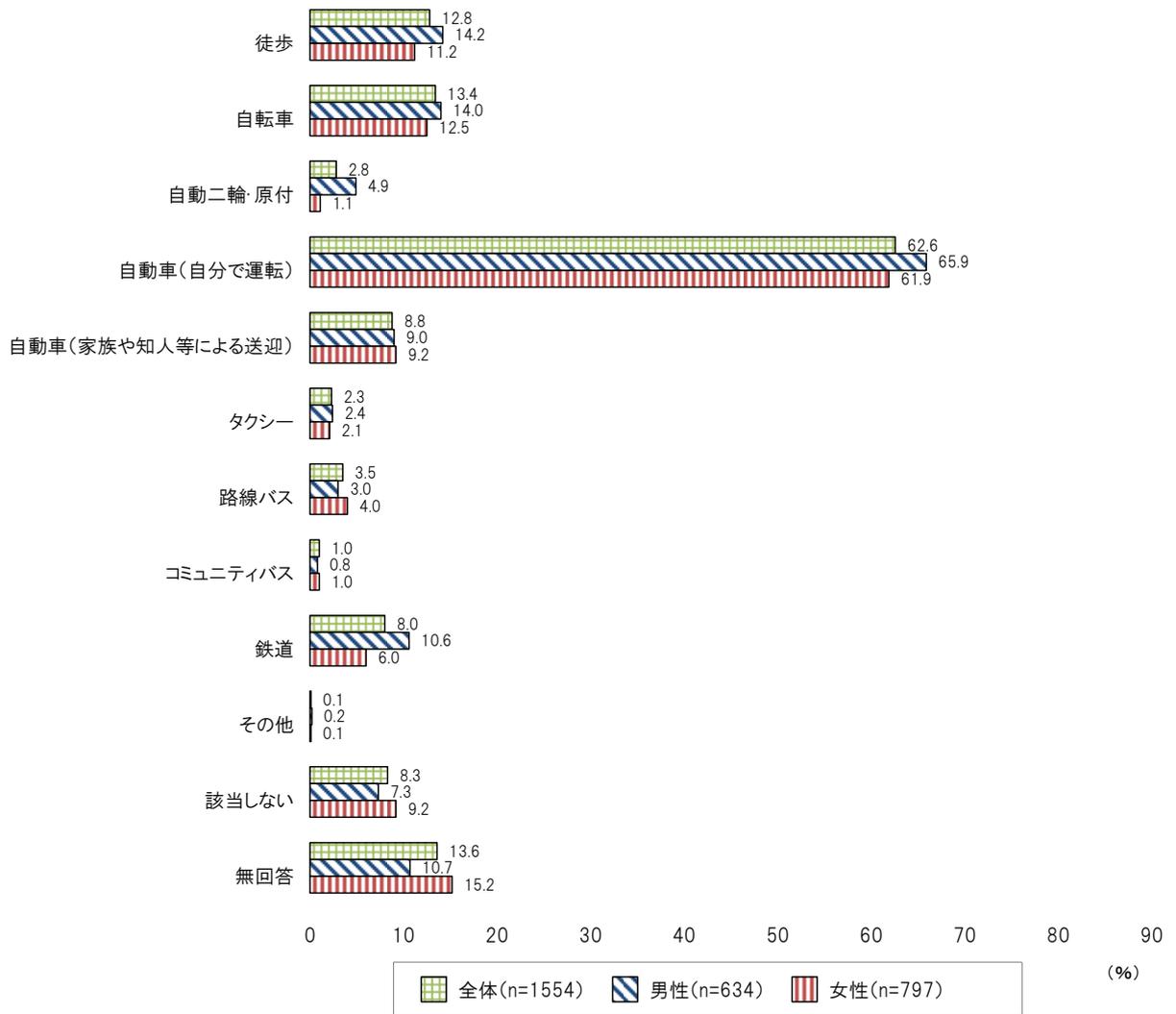
性別にみると、1番目に高い項目は「自動車 (自分で運転)」で男女ともに同じであった。2番目に高い項目は、男性では 14.2%で「徒歩」、女性では 12.5%で「自転車」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「鉄道」で 4.6ポイント、「自動車 (自分で運転)」で 4.0ポイント、「自動二輪・原付」で 3.8ポイント男性の方が高くなっている。

年代別にみると、10歳代を除いた年代では「自動車 (自分で運転)」が1番目となっているが、70歳以上では 35.3%と他の年代に比べ低くなっている。3番目以内に入っている項目をみると、70歳以上を除く年代で「徒歩」、10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代で「自転車」が入っている。10歳代、70歳以上では「自動車 (家族や知人等による送迎)」が2番目に多くなっている。

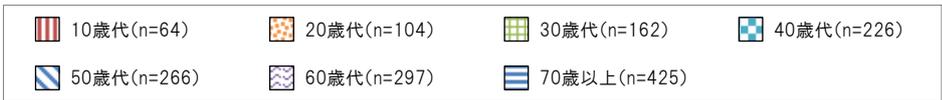
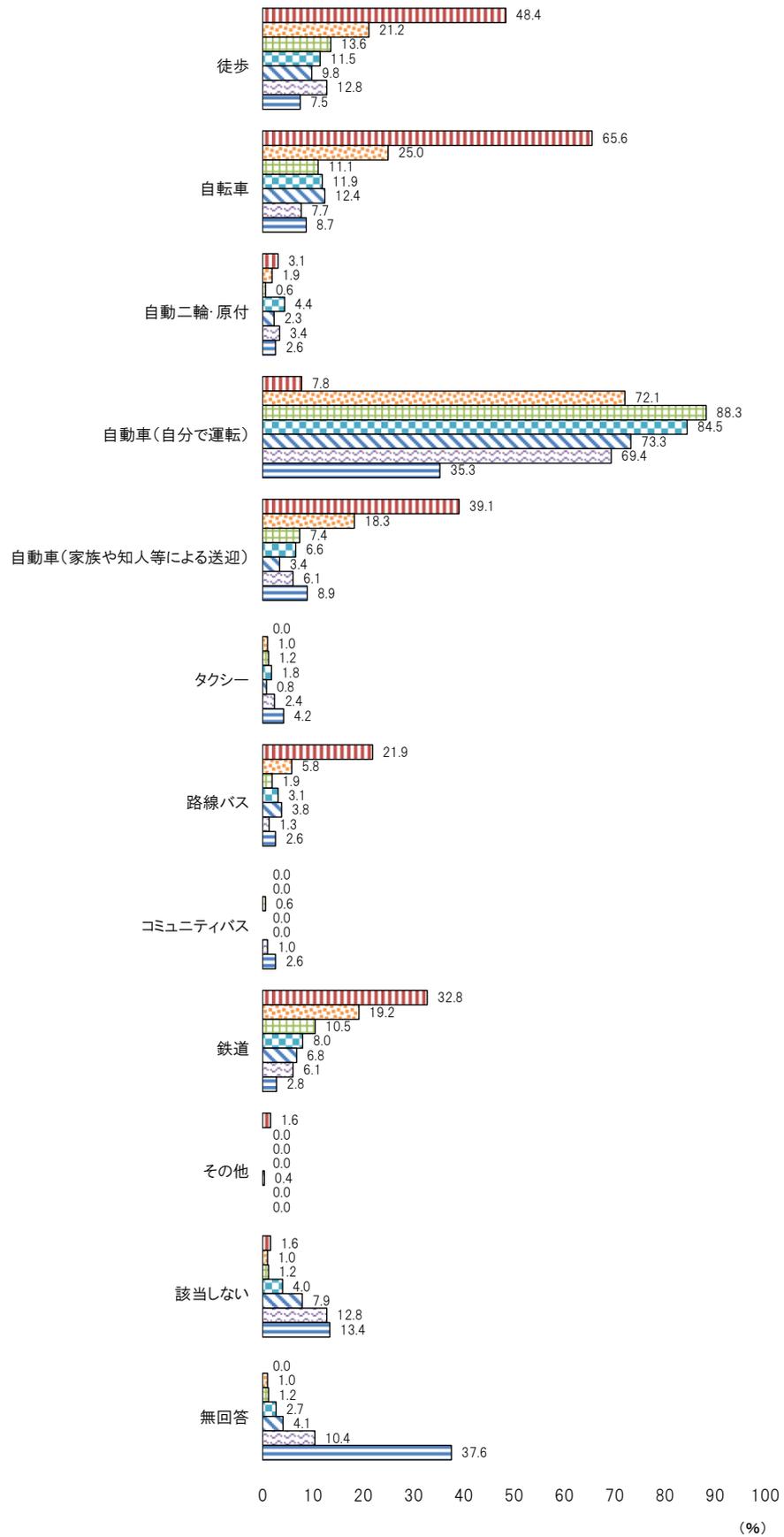
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	自転車	65.6%	自動車 (家族や知人等による送迎)	48.4%	徒歩	39.1%
20 歳代	自動車 (自分で運転)	72.1%	徒歩	25.0%	自転車	21.2%
30 歳代	自動車 (自分で運転)	88.3%	自転車	13.6%	徒歩	11.1%
40 歳代	自動車 (自分で運転)	84.5%	徒歩	11.9%	自転車	11.5%
50 歳代	自動車 (自分で運転)	73.3%	徒歩	12.4%	自転車	9.8%
60 歳代	自動車 (自分で運転)	69.4%	徒歩	12.8%	/	/
			該当しない	12.8%		
70 歳以上	自動車 (自分で運転)	35.3%	自動車 (家族や知人等による送迎)	13.4%	該当しない	8.9%

問41(1) 通勤。通学の場合の移動手段



問41(1) 通勤、通学の場合の移動手段



(2) 通院・治療の場合の移動手段 (○は3つまで)

「自動車 (自分で運転)」が 78.6%で最も高く、ついで「自動車 (家族や知人等による送迎)」が 23.3%、「自転車」が 10.3%となっている。

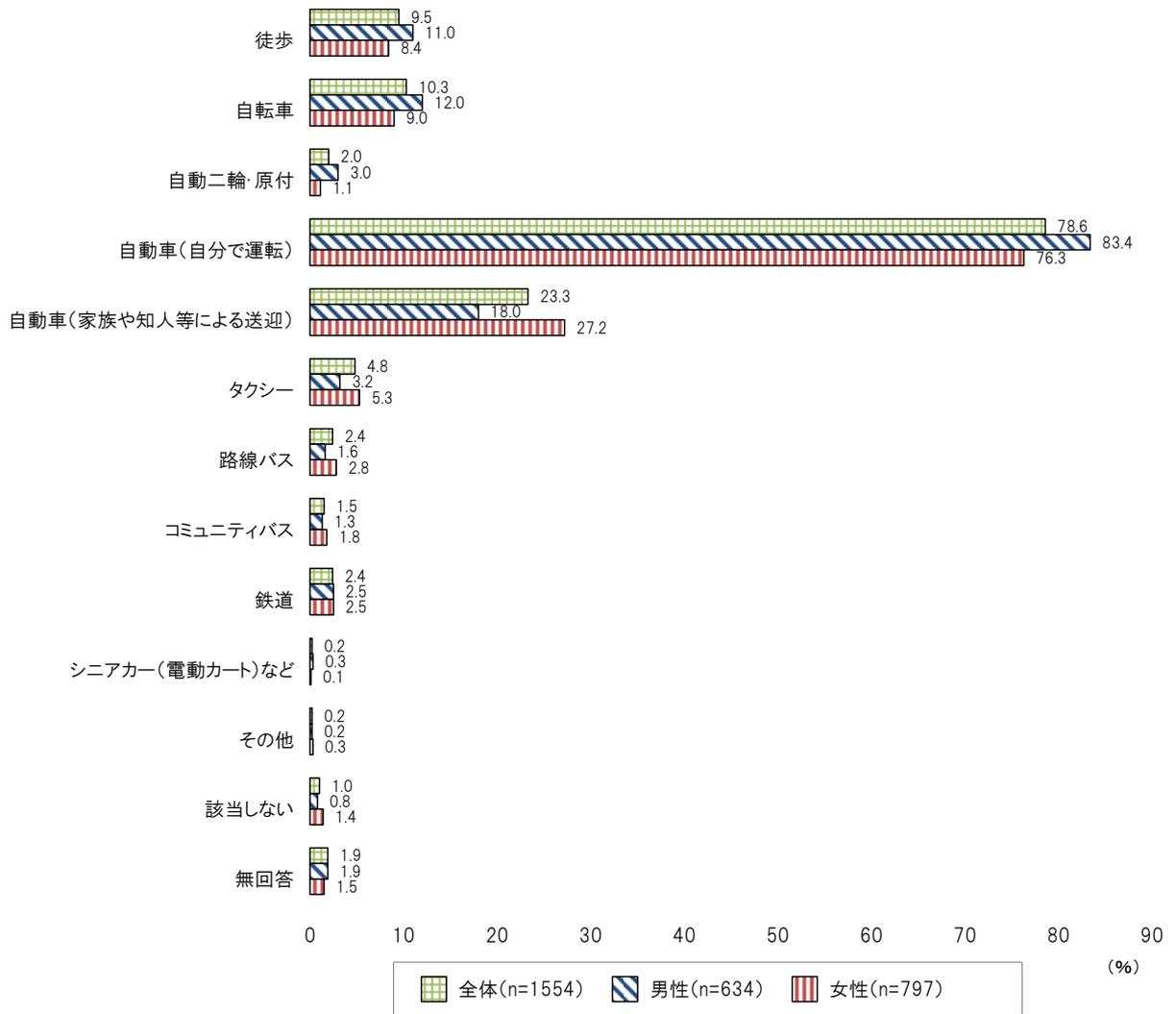
性別にみると、男女ともに「自動車 (自分で運転)」が最も高く、ついで「自動車 (家族や知人等による送迎)」、そのつぎに「自転車」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「自動車 (自分で運転)」で 7.1 ポイント、「自転車」で 3.0 ポイント男性の方が高く、一方で「自動車 (家族や知人等による送迎)」で 9.2 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、10 歳代を除いた年代では「自動車 (自分で運転)」が 1 番目となっており、「自動車 (家族や知人等による送迎)」は 10 歳代では 1 番目、他の年代では 2 番目となっている。3 番目に入っている項目は、「自転車」と「徒歩」となっている。

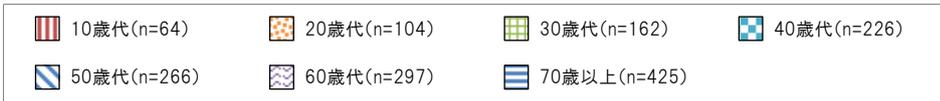
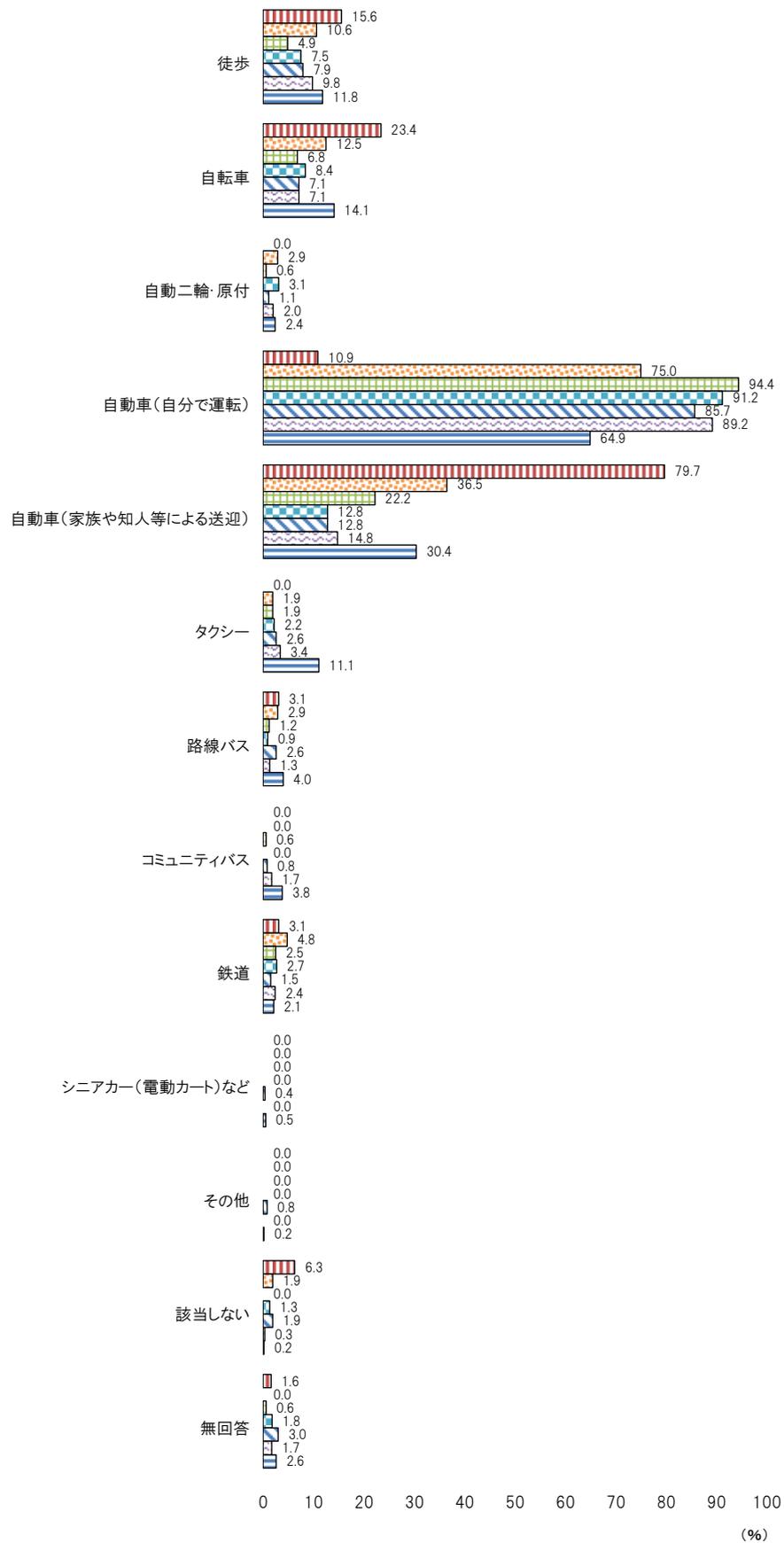
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	自動車 (家族や知人等による送迎)	79.7%	自転車	23.4%	徒歩	15.6%
20 歳代	自動車 (自分で運転)	75.0%	自動車 (家族や知人等による送迎)	36.5%	自転車	12.5%
30 歳代	自動車 (自分で運転)	94.4%	自動車 (家族や知人等による送迎)	22.2%	自転車	6.8%
40 歳代	自動車 (自分で運転)	91.2%	自動車 (家族や知人等による送迎)	12.8%	自転車	8.4%
50 歳代	自動車 (自分で運転)	85.7%	自動車 (家族や知人等による送迎)	12.8%	徒歩	7.9%
60 歳代	自動車 (自分で運転)	89.2%	自動車 (家族や知人等による送迎)	14.8%	徒歩	9.8%
70 歳以上	自動車 (自分で運転)	64.9%	自動車 (家族や知人等による送迎)	30.4%	自転車	14.1%

問41(2) 通院、治療の場合の移動手段



問41(2) 通院、治療の場合の移動手段



(3) 買い物の場合の移動手段 (○は3つまで)

「自動車 (自分で運転)」が 80.9%で最も高く、ついで「自動車 (家族や知人等による送迎)」が 23.7%、「徒歩」が 18.6%となっている。

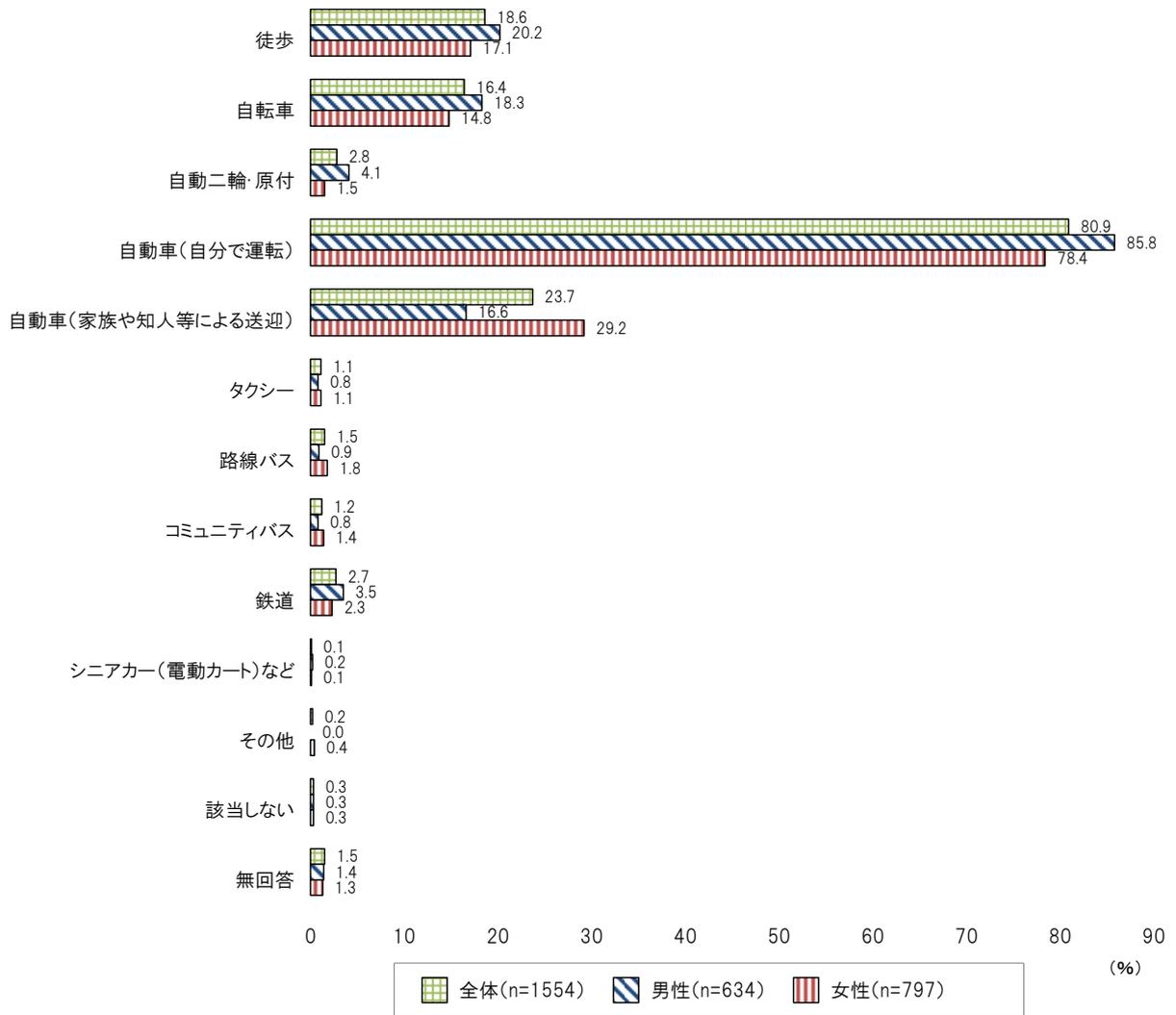
性別にみると、1番目に高い項目は「自動車 (自分で運転)」で男女とも同じであった。2番目に高い項目は、男性では 20.2%で「徒歩」、女性では 29.2%で「自動車 (家族や知人等による送迎)」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「自動車 (自分で運転)」で 7.4ポイント、「自転車」で 3.5ポイント男性の方が高く、「自動車 (家族や知人等による送迎)」で 12.6ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、10歳代を除いた年代では「自動車 (自分で運転)」が1番目となっており、「自動車 (家族や知人等による送迎)」はいずれの年代でも3番目以内に入っている。他に3番目に入っている項目は、「自転車」と「徒歩」となっている。

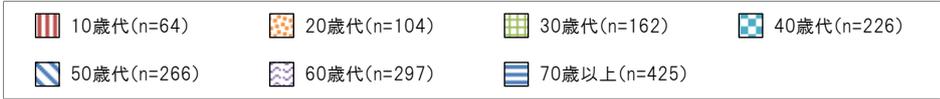
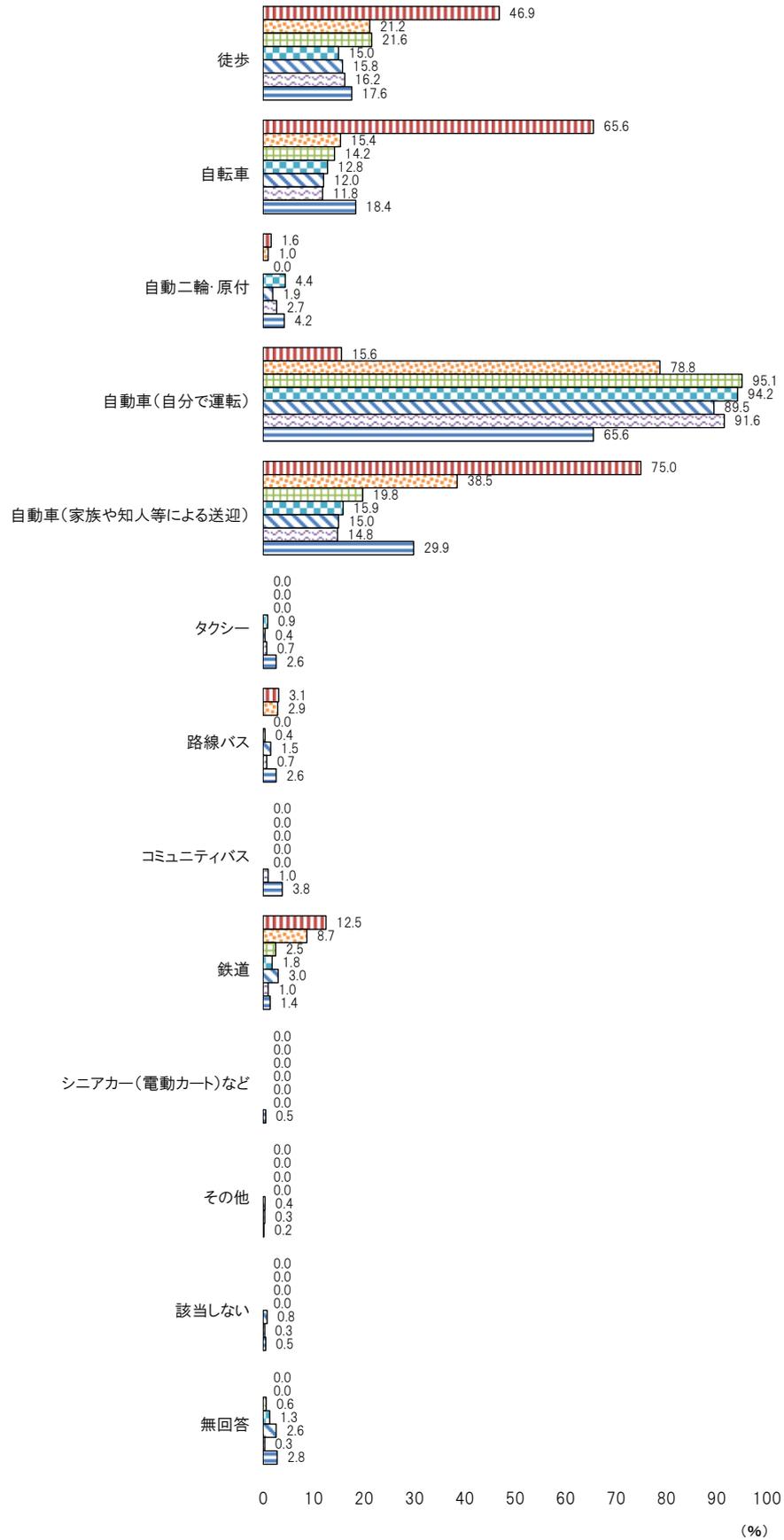
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	自動車 (家族や知人等による送迎)	75.0%	自転車	65.6%	徒歩	46.9%
20 歳代	自動車 (自分で運転)	78.8%	自動車 (家族や知人等による送迎)	38.5%	徒歩	21.2%
30 歳代	自動車 (自分で運転)	95.1%	徒歩	21.6%	自動車 (家族や知人等による送迎)	19.8%
40 歳代	自動車 (自分で運転)	94.2%	自動車 (家族や知人等による送迎)	15.9%	徒歩	15.0%
50 歳代	自動車 (自分で運転)	89.5%	徒歩	15.8%	自動車 (家族や知人等による送迎)	15.0%
60 歳代	自動車 (自分で運転)	91.6%	徒歩	16.2%	自動車 (家族や知人等による送迎)	14.8%
70 歳以上	自動車 (自分で運転)	65.6%	自動車 (家族や知人等による送迎)	29.9%	自転車	18.4%

問41(3) 買い物の場合の移動手段



問41(3) 買い物の場合の移動手段



(4) 娯楽・交友の場合の移動手段 (○は3つまで)

「自動車 (自分で運転)」が 78.4%で最も高く、ついで「自動車 (家族や知人等による送迎)」が 26.2%、「鉄道」が 14.0%となっている。

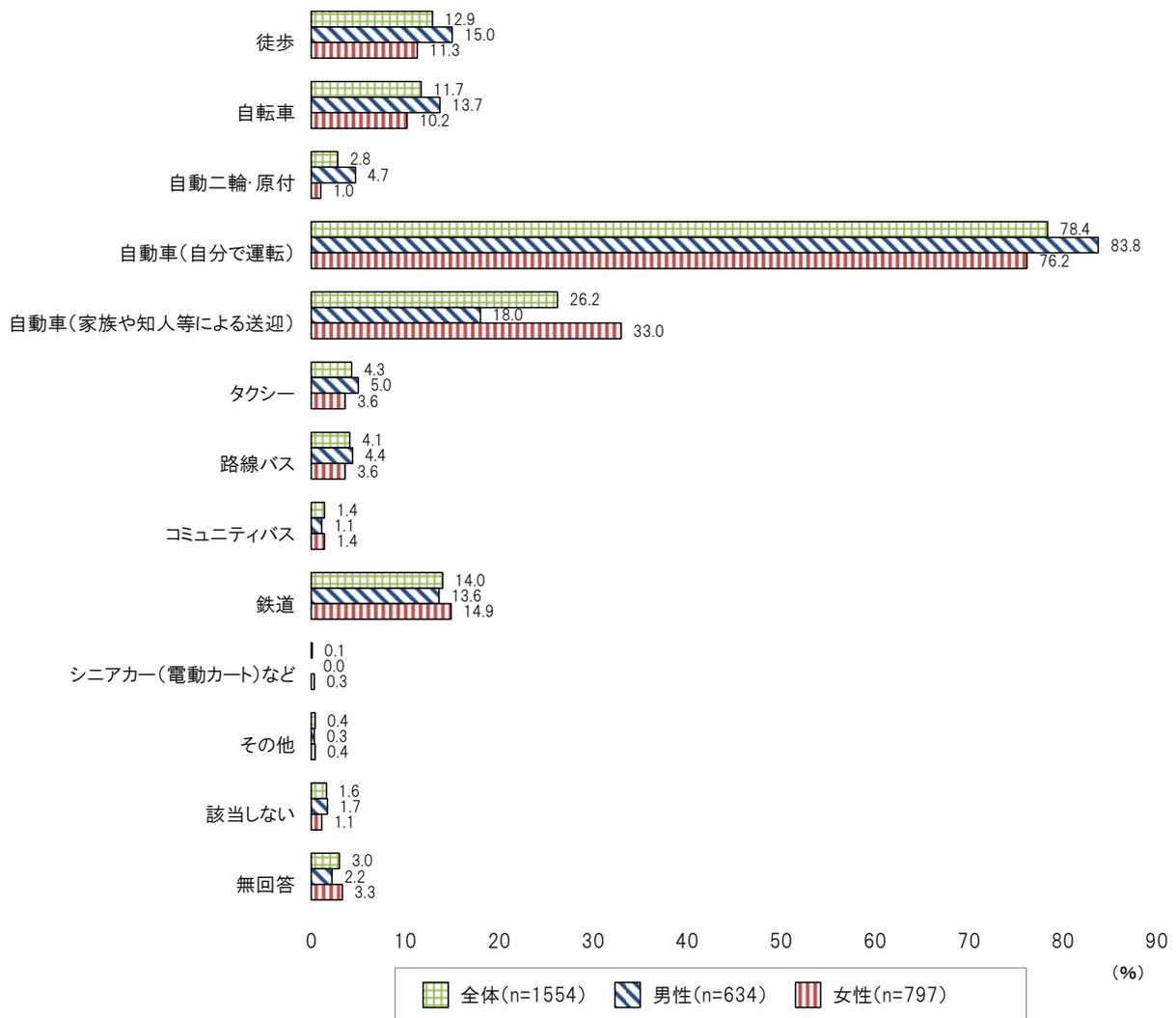
性別にみると、男女とも1番目に高い項目は「自動車 (自分で運転)」、2番目に高い項目は自動車 (家族や知人等による送迎)」であった。3番目に高い項目は、男性では 15.0%で「徒歩」、女性では 14.9%で「鉄道」となっている。男女の間に差が大きかった項目は、「自動車 (自分で運転)」で 7.6ポイント、「徒歩」で 3.7ポイント、「自動二輪・原付」で 3.7ポイント男性の方が高く、「自動車 (家族や知人等による送迎)」で 15.0ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、10歳代を除いた年代では「自動車 (自分で運転)」が1番目となっており、「自動車 (家族や知人等による送迎)」はいずれの年代でも2番目となっている。「鉄道」は70歳代を除く年代で3番目となっている。

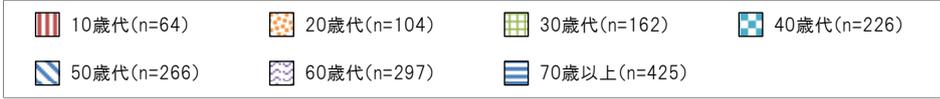
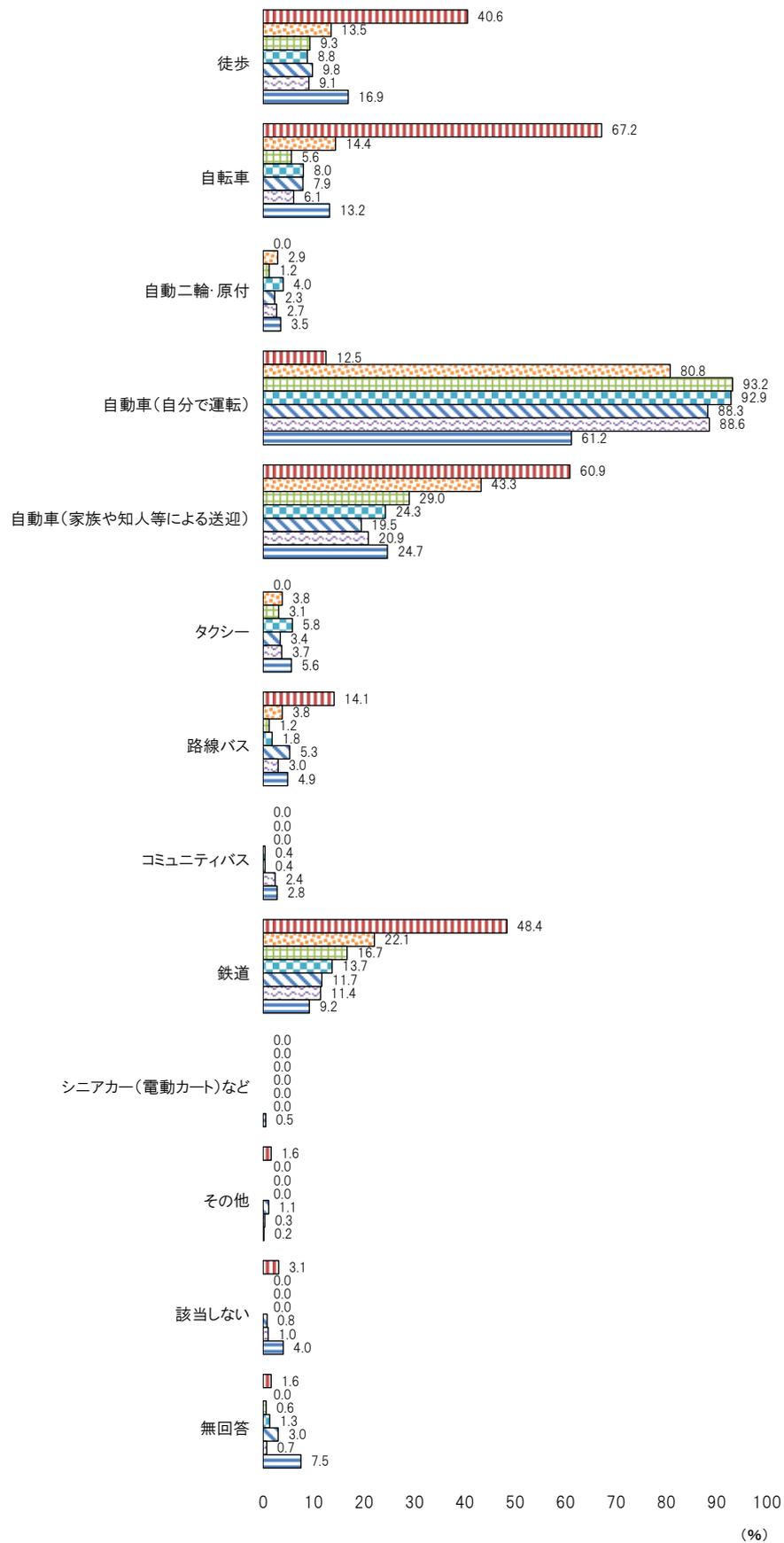
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	自転車	67.2%	自動車 (家族や知人等による送迎)	60.9%	鉄道	48.4%
20 歳代	自動車 (自分で運転)	80.8%	自動車 (家族や知人等による送迎)	43.3%	鉄道	22.1%
30 歳代	自動車 (自分で運転)	93.2%	自動車 (家族や知人等による送迎)	29.0%	鉄道	16.7%
40 歳代	自動車 (自分で運転)	92.9%	自動車 (家族や知人等による送迎)	24.3%	鉄道	13.7%
50 歳代	自動車 (自分で運転)	88.3%	自動車 (家族や知人等による送迎)	19.5%	鉄道	11.7%
60 歳代	自動車 (自分で運転)	88.6%	自動車 (家族や知人等による送迎)	20.9%	鉄道	11.4%
70 歳以上	自動車 (自分で運転)	61.2%	自動車 (家族や知人等による送迎)	24.7%	徒歩	16.9%

問41(4) 娯楽、交友の場合の移動手段



問41(4) 娯楽、交友の場合の移動手段



問 42 外出する目的別での外出頻度についておうかがいします。

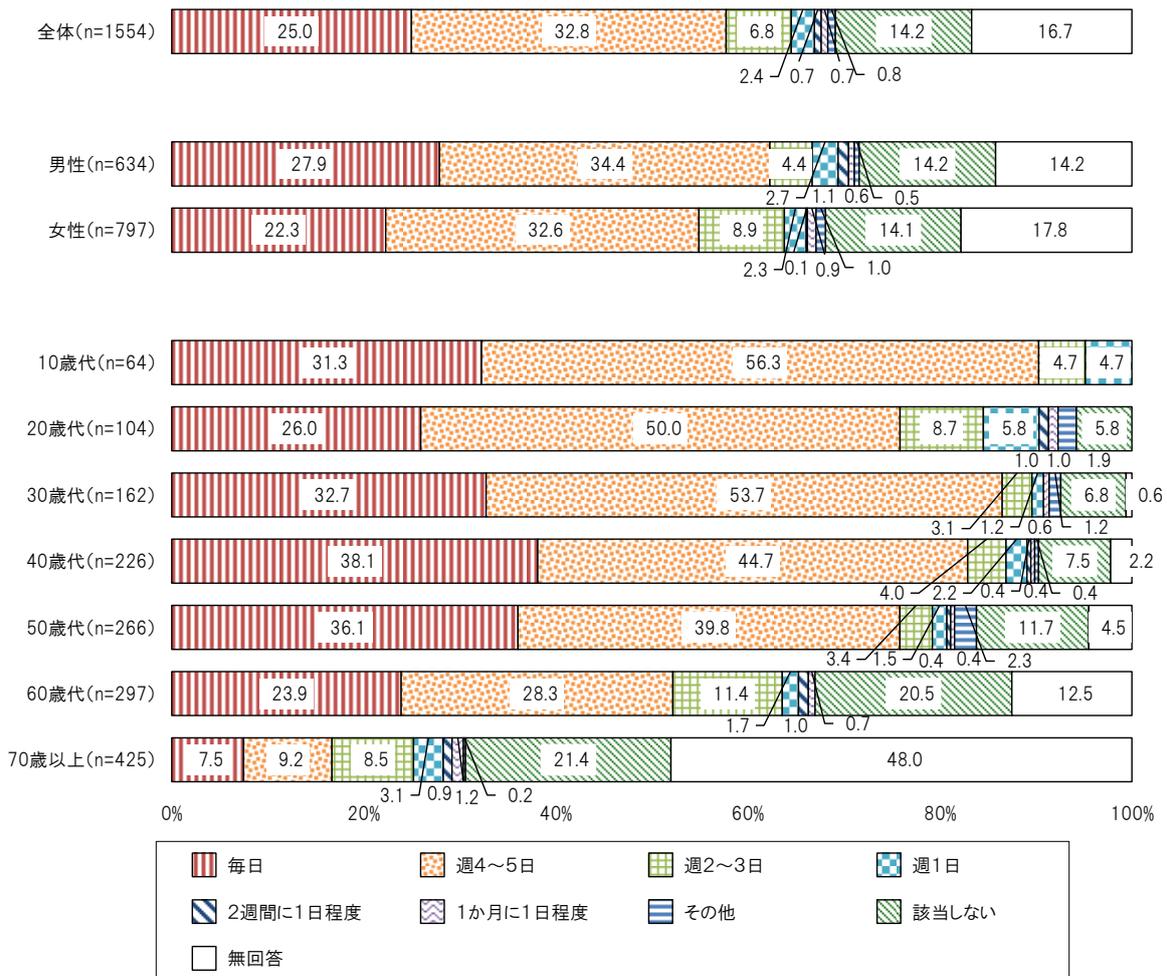
(1) 通勤、通学の場合の外出頻度 (○は1つだけ)

全体では「週4～5日」が32.8%で最も高く、ついで「毎日」が25.0%、「週2～3日」が6.8%となっている。なお「該当しない」と「無回答」の合計は30.9%となっている。

性別にみると、女性より男性の方が「毎日」の割合で5.6ポイント、「週4～5日」の割合で1.8ポイント高くなっており、一方で「週2～3日」の割合は男性より女性の方が4.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、「毎日」の割合は、10歳代から60歳代では2割台から3割台ほどとなっている。「週4～5日」の割合は、10歳代、20歳代、30歳代では5割台であり、40歳代以降では年々割合が低くなっている。なお、60歳代、70歳代では「該当しない」、「無回答」の割合が高くなっている。

問42(1) 通勤・通学の場合の外出頻度



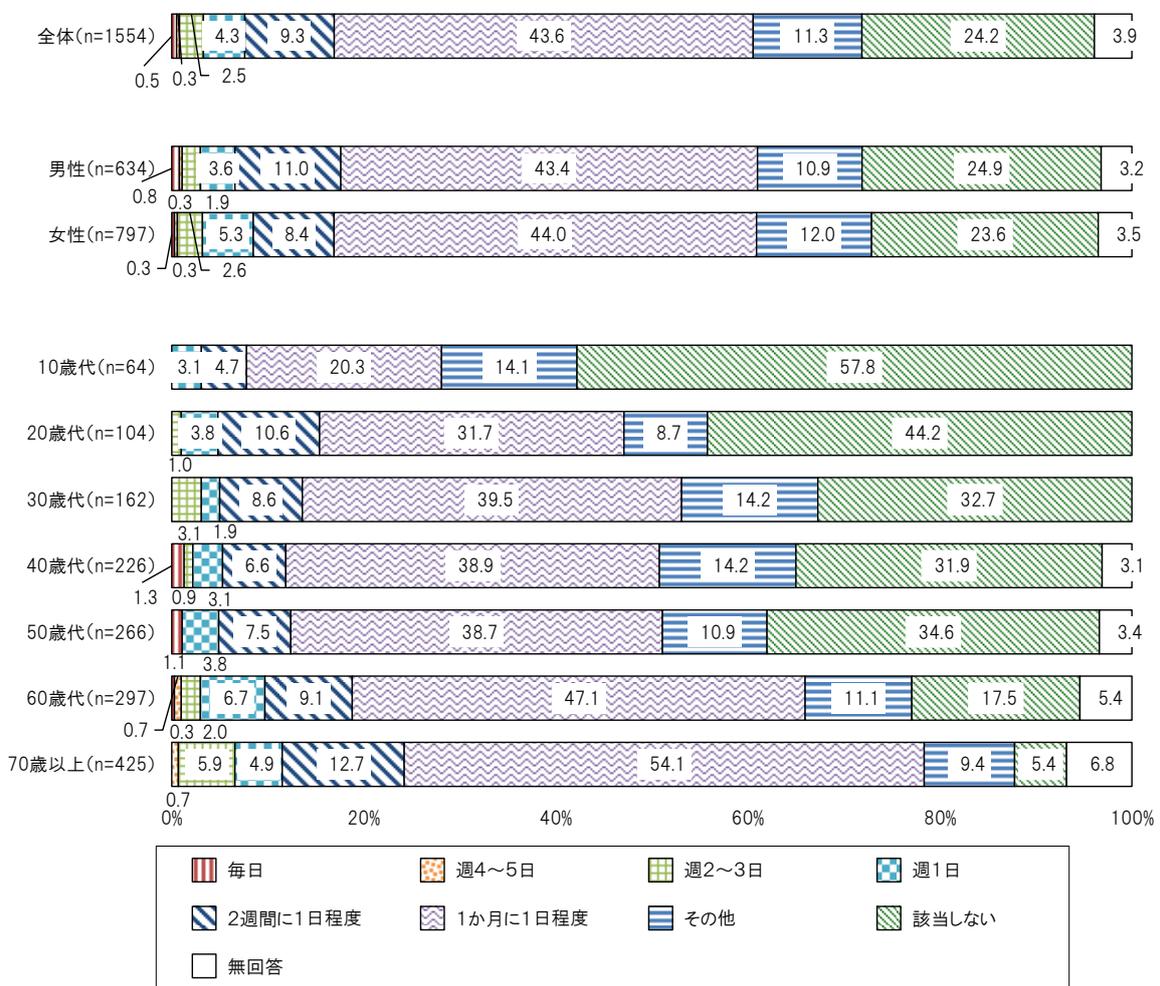
(2) 通院・治療の場合の外出頻度（〇は1つだけ）

全体では「1か月に1日程度」が43.6%で最も高く、ついで「その他」が11.3%、「2週間に1日程度」が9.3%となっている。なお「該当しない」と「無回答」の合計は28.1%となっている。

性別にみると、男女とも各回答ほとんど同割合となっている。

年代別にみると、「1か月に1日程度」の割合は、年代が上がるにつれ高くなっており、10歳代は2割、20歳代から50歳代までは3割台、60歳代は4割台、70歳以上では5割以上となっている。なお、10歳代から50歳代までは「該当しない」の割合が高くなっている。

問42(2) 通院・治療の場合の外出頻度



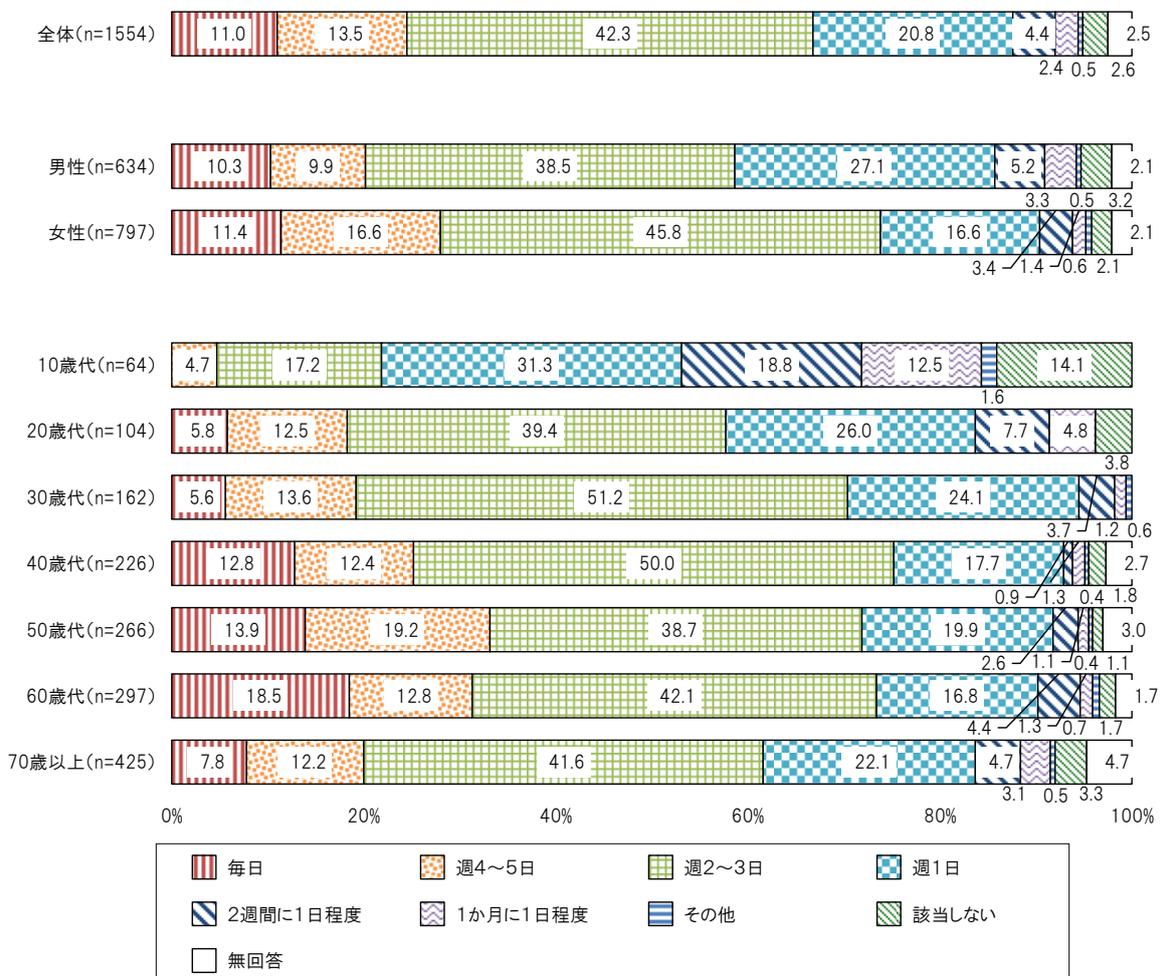
(3) 買い物の場合の外出頻度 (〇は1つだけ)

全体では「週2～3日」が42.3%で最も高く、ついで「週1回」が20.8%、「週4～5日」が13.5%となっている。

性別にみると、「毎日」、「週4～5日」、「週2～3日」の割合は女性の方が男性より高くなっており、一方で「週1回」の割合は男性の方が女性より10.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、「毎日」の割合は60歳代で18.5%と最も高く、50歳代で13.9%、40歳代で12.8%であり、20歳代、30歳代、70歳以上では1割以下となっている。「週4～5回」は20歳代から70歳以上までいずれの年代も1割台となっている。10歳代では「2週間に1日程度」が18.8%、「1か月に1日程度」が12.5%と買い物での外出頻度は低くなっている。

問42(3) 買い物の場合の外出頻度



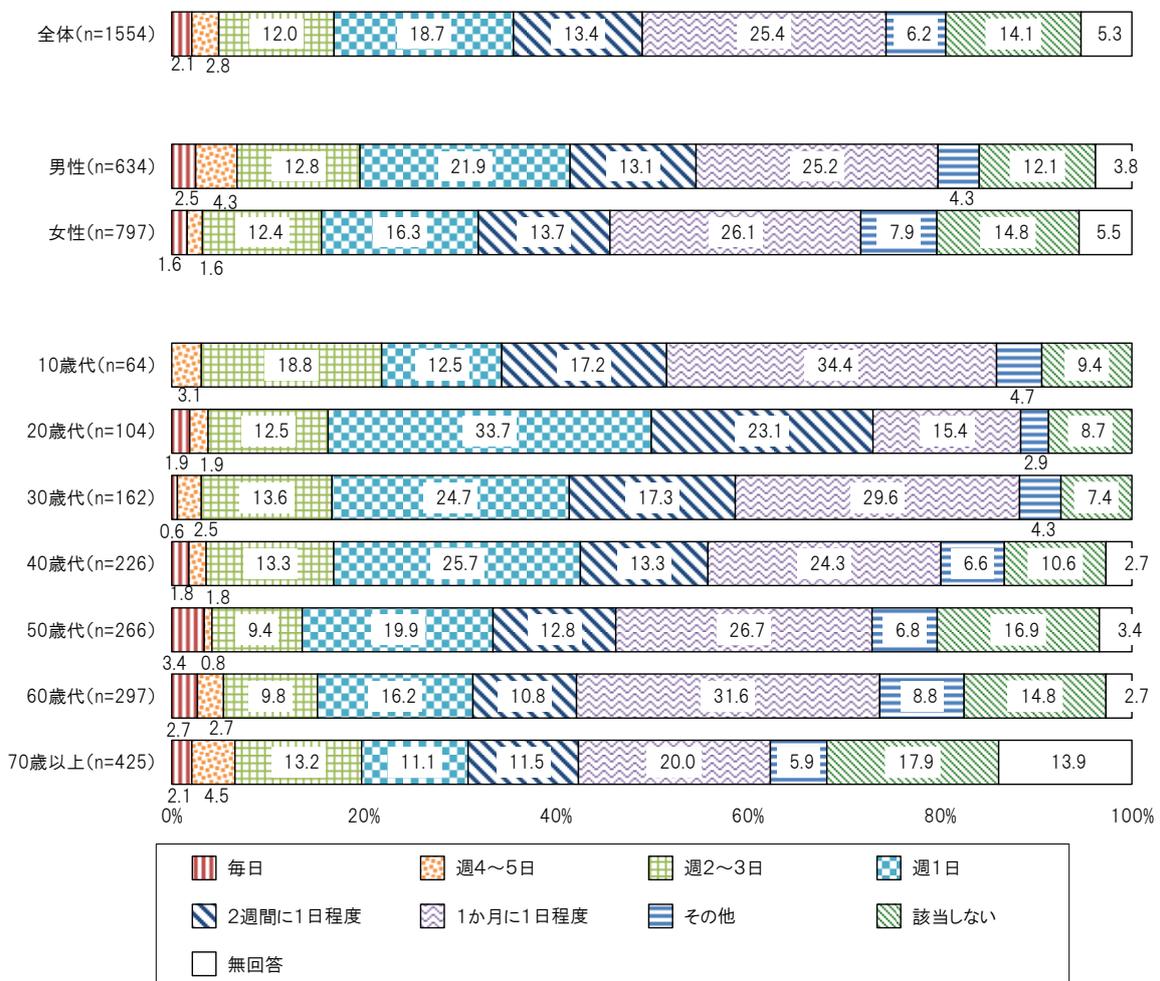
(4) 娯楽・交友の場合の外出頻度（〇は1つだけ）

全体では「1か月に1日程度」が25.4%で最も高く、ついで「週1回」が18.7%、「2週間に1日程度」が13.4%となっている。なお「該当しない」と「無回答」の合計は19.4%となっている。

性別にみると、「週1回」の割合では男性の方が女性より5.6ポイント高くなっており、「週1回」より多い頻度ではいずれも男性の方が女性より高くなっている。

年代別にみると、各年代で最も高い割合となっているのは、10歳代、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「1か月に1日程度」であり、20歳代、40歳代では「週1回」となっている。なお、70歳代では「該当しない」、「無回答」の割合が高くなっている。

問42(4) 娯楽・交友の場合の外出頻度



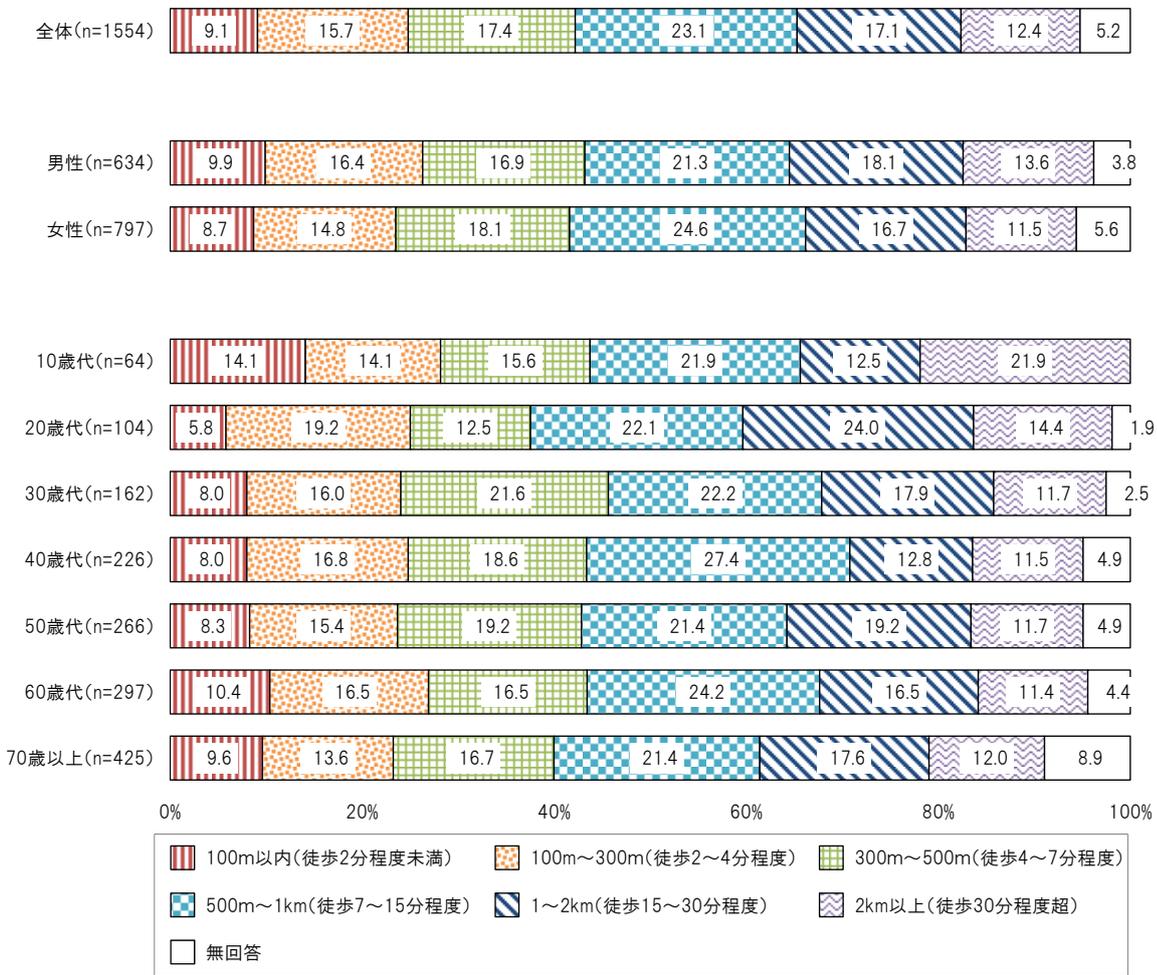
問 43 自宅から最寄りのバス停または鉄道駅までの距離はどれくらいですか。（○は1つだけ）

全体では「500m～1km（徒歩 7～15 分程度）」が 23.1%で最も高く、ついで「300m～500m（徒歩 4～7 分程度）」が 17.4%、「1～2km（徒歩 15～30 分程度）」が 17.1%となっている。「2km 以上（徒歩 30 分程度超）」の方は 12.4%となっている。

性別にみると、各回答ほぼ同割合となっている。

年代別にみると、10 歳代で「100m以内（徒歩 2 分程度未満）」および「2km 以上（徒歩 30 分程度超）」の割合が他年代に比べ高くなっており、20 歳代の「1～2km（徒歩 15～30 分程度）」の割合も他年代に比べ高くなっている。

問43 自宅から最寄りのバス停もしくは鉄道駅までの距離



問 44 10 年後、あなたが頼ると思われる移動手段は何だと思えますか。(〇は3 つまで)

「自動車（自分で運転）」が 59.9% で最も高く、ついで「自動車（家族や知人等による送迎）」が 29.1%、「徒歩」が 23.2% となっている。

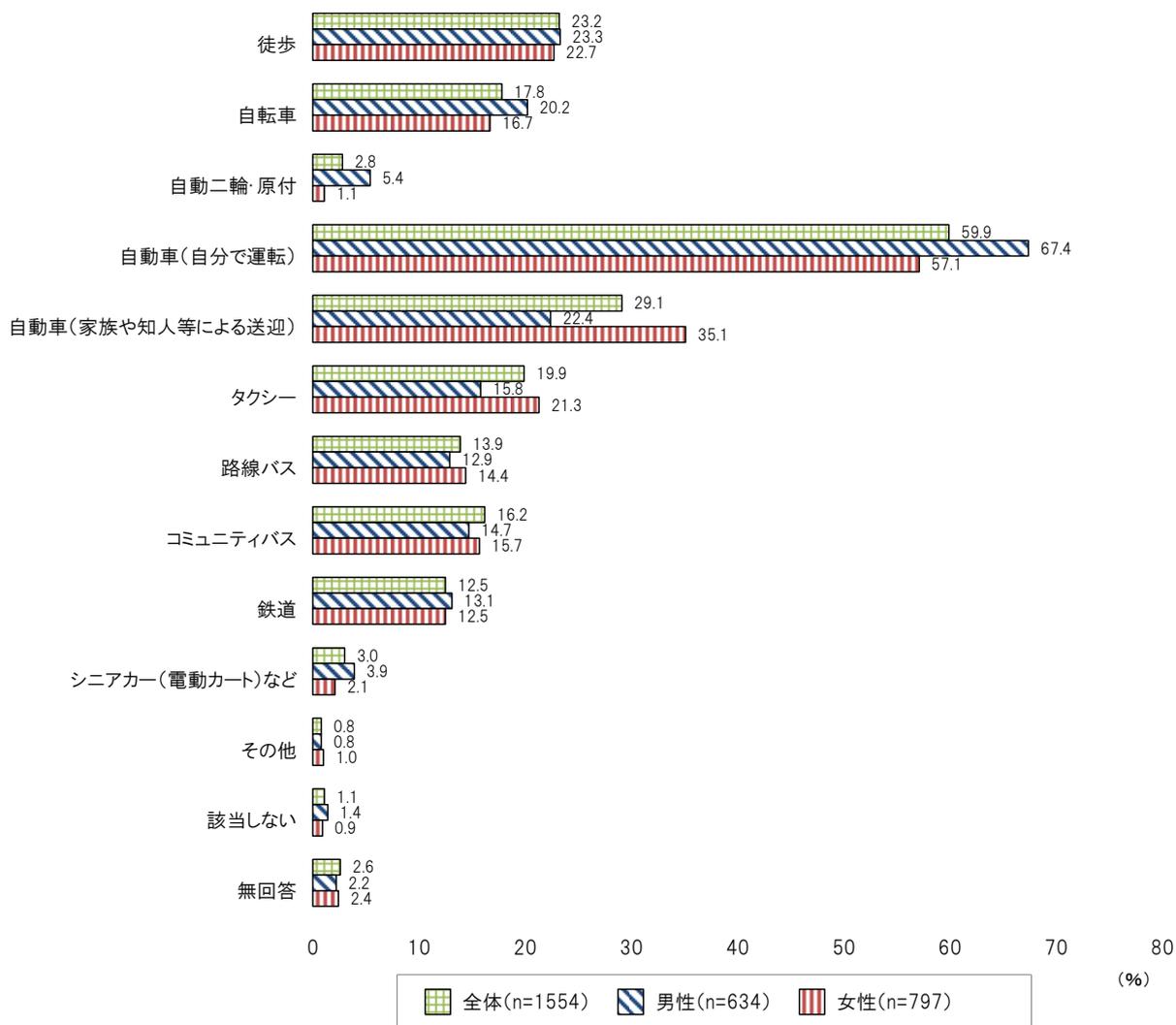
性別にみると、1 番目に高い項目は「自動車（自分で運転）」で男女とも同じであった。2 番目に高い項目は、男性では 23.3% で「徒歩」、女性では 35.1% で「自動車（家族や知人等による送迎）」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「自動車（自分で運転）」で 10.3 ポイント、「自動二輪・原付」で 4.3 ポイント、「自転車」で 3.5 ポイント男性の方が高く、一方で「自動車（家族や知人等による送迎）」で 12.7 ポイント、「タクシー」で 5.5 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、70 歳以上を除いた年代では「自動車（自分で運転）」が 1 番目となっており、70 歳以上では「自動車（家族や知人等による送迎）」が 1 番目となっている。「自動車（家族や知人等による送迎）」は 20 歳代、30 歳代、40 歳代、60 歳代、70 歳以上で 3 番目以内に入っている。70 歳以上では「タクシー」が 2 番目になっている。

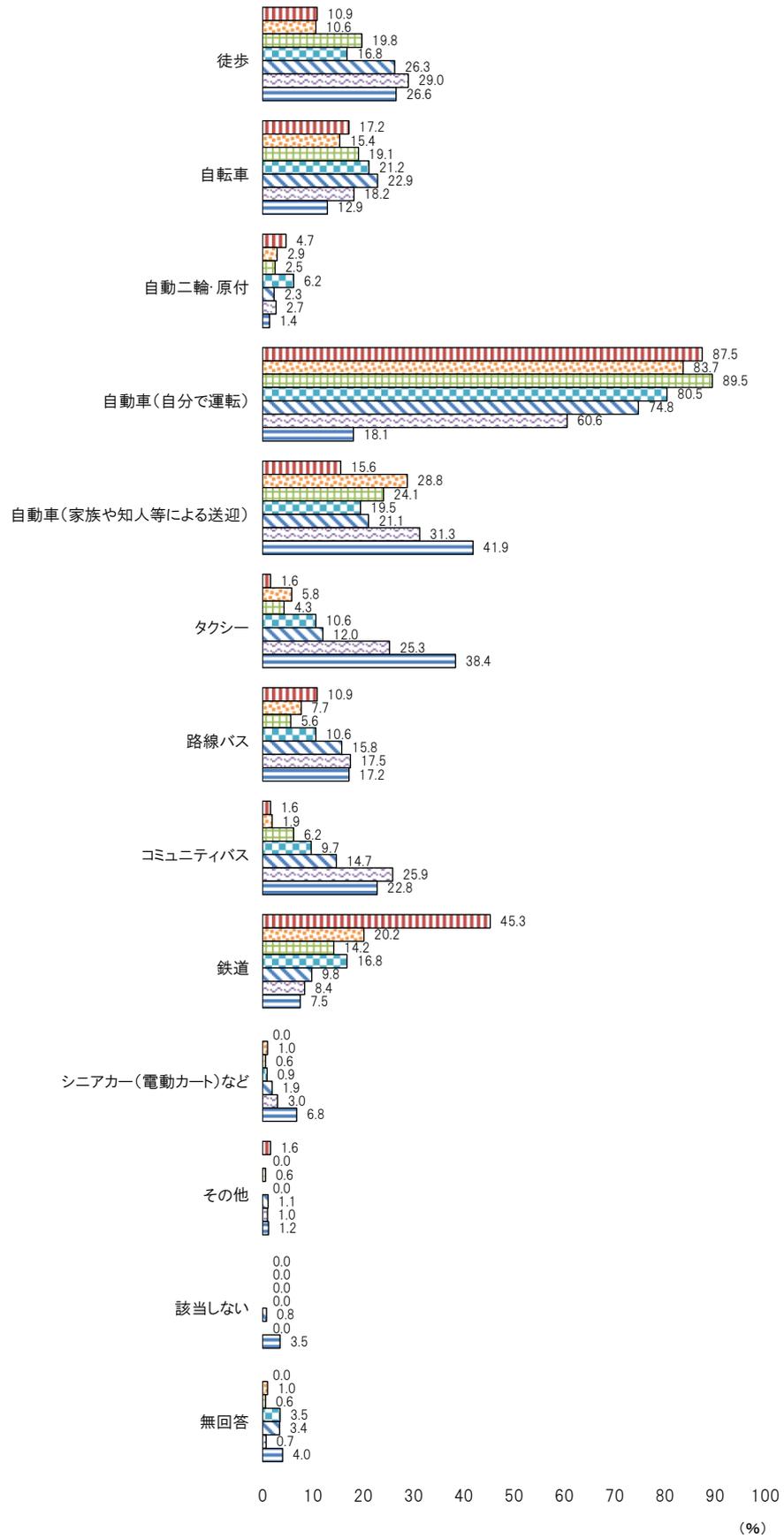
<年代ごとの上位 3 項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	自動車（自分で運転）	87.5%	鉄道	45.3%	自転車	17.2%
20 歳代	自動車（自分で運転）	83.7%	自動車（家族や知人等による送迎）	28.8%	鉄道	20.2%
30 歳代	自動車（自分で運転）	89.5%	自動車（家族や知人等による送迎）	24.1%	徒歩	19.8%
40 歳代	自動車（自分で運転）	80.5%	自転車	21.2%	自動車（家族や知人等による送迎）	19.5%
50 歳代	自動車（自分で運転）	74.8%	徒歩	26.3%	自転車	22.9%
60 歳代	自動車（自分で運転）	60.6%	自動車（家族や知人等による送迎）	31.3%	徒歩	29.0%
70 歳以上	自動車（家族や知人等による送迎）	41.9%	タクシー	38.4%	徒歩	26.6%

問44 10年後、あなたが頼ると思われる移動手段



問44 10年後、あなたが頼ると思われる移動手段



14. 企業誘致の推進について

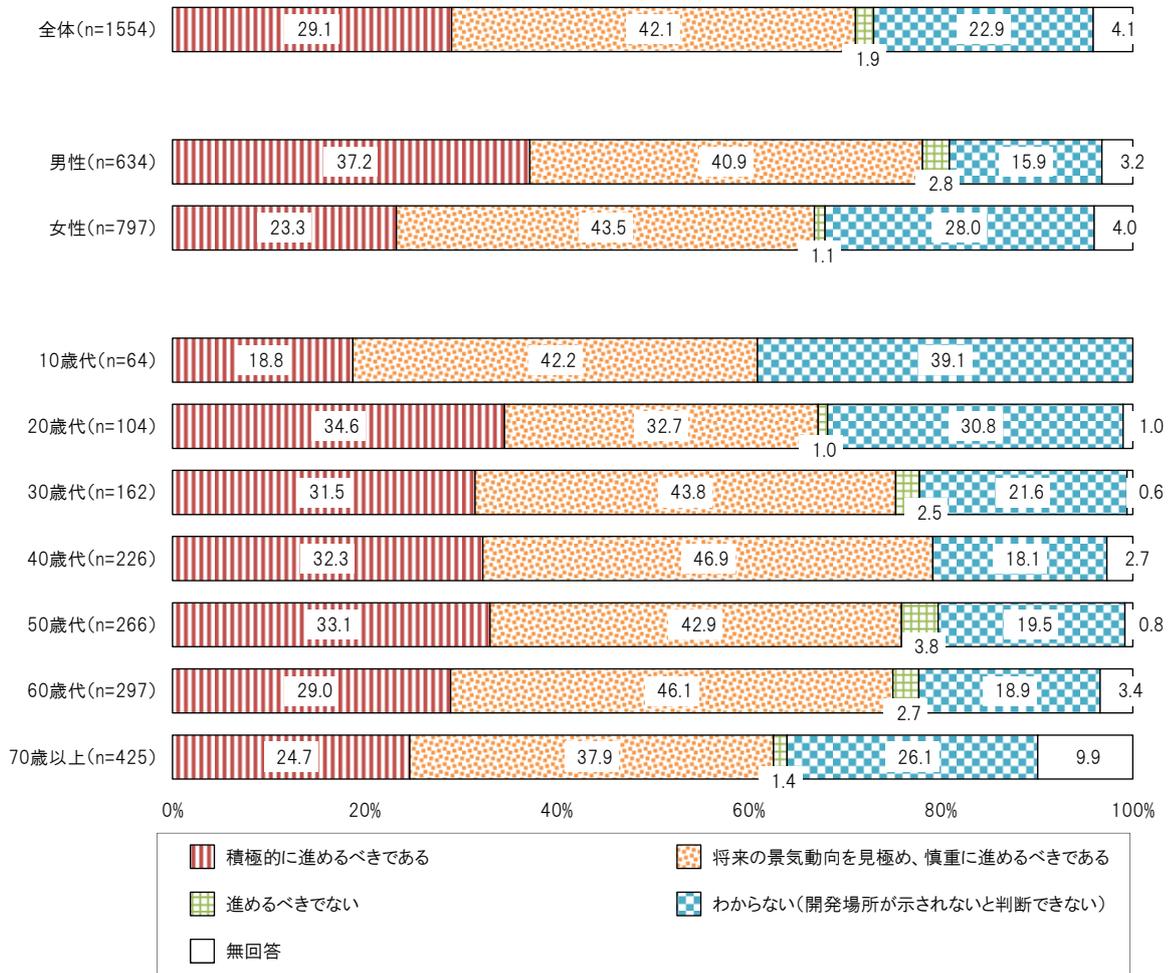
問 45 若者の雇用の場の確保、企業立地による税収の確保に向けて、企業の誘致・投資促進が重要ですが、現在市内の工業団地はほぼ完売しており、新たな産業用地の開発が必要となっています。今後の産業用地の開発について、あなたのお考えに近いものをお答えください。（○は1つだけ）

全体では「将来の景気動向を見極め、慎重に進めるべきである」が42.1%で最も高く、ついで「積極的に進めるべきである」が29.1%、「わからない（開発場所が示されないと判断できない）」が22.9%となっている。

性別にみると、「積極的に進めるべきである」の割合では男性の方が女性より13.9ポイント高くなっており、「わからない（開発場所が示されないと判断できない）」の割合では女性の方が男性より12.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、20歳代では「積極的に進めるべきである」の割合が最も高く、他の年代では「将来の景気動向を見極め、慎重に進めるべきである」の割合が最も高くなっている。次いで高い項目は、20歳代から60歳代では「積極的に進めるべきである」、10歳代、70歳以上では「わからない（開発場所が示されないと判断できない）」となっている。

問45 今後の産業用地の開発について



15. 観光施策について

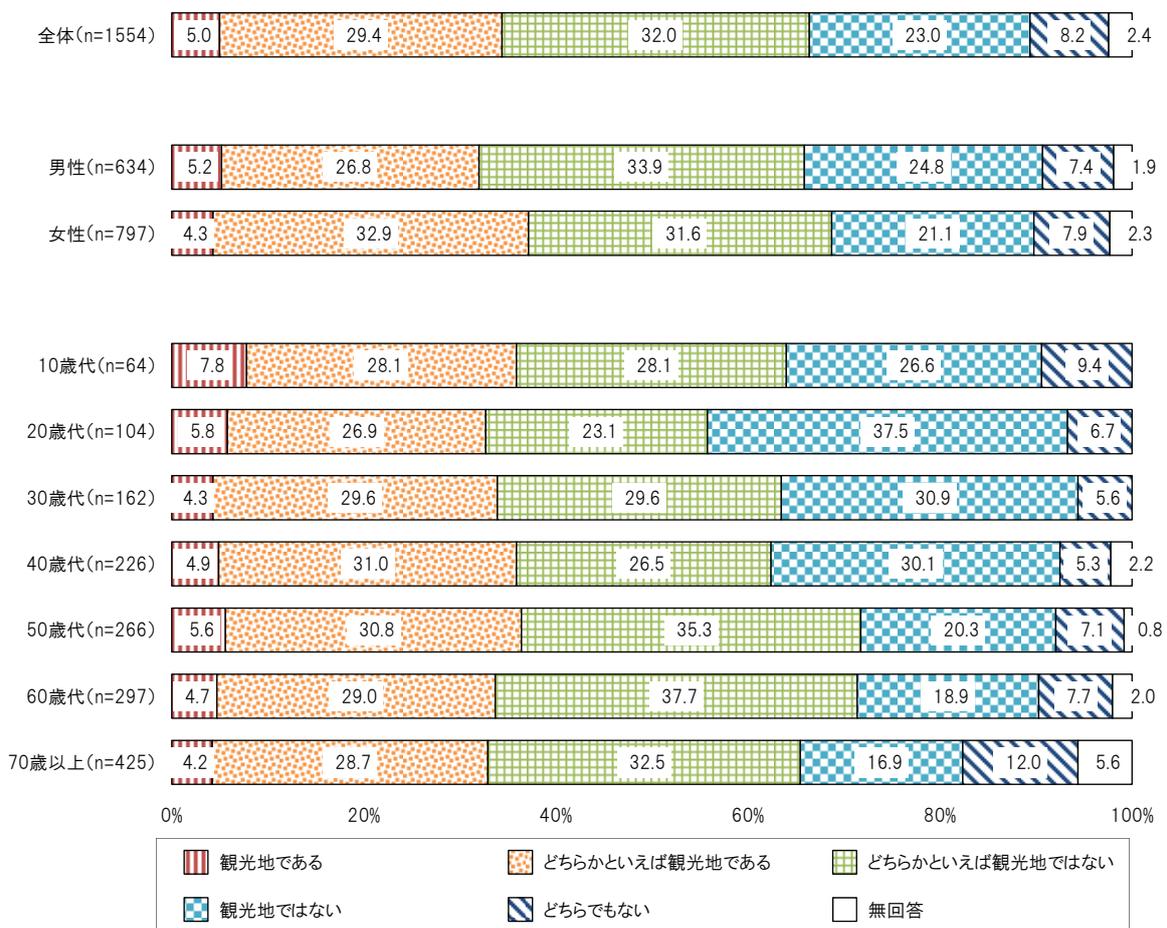
問 46 あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。（〇は1つだけ）

全体では「どちらかといえば観光地ではない」が32.0%で最も高く、ついで「どちらかといえば観光地である」が29.4%、「観光地ではない」が23.0%となっている。

性別にみると、「観光地である」と「どちらかといえば観光地である」の合計の割合は、女性の方が男性より5.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「観光地である」と「どちらかといえば観光地である」の合計の割合でみると、最も低い20歳代の32.7%と最も高い50歳代の36.4%の間では3.7ポイントの違いとなっている。「観光地ではない」と「どちらかといえば観光地ではない」の合計の割合でみると、最も低い70歳以上の49.4%と最も高い20歳代の60.6%の間では11.2ポイントの違いとなっている。

問46 松阪市を観光地だと思うか



問 47 あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。（〇は3つまで）

「グルメ・食事」が55.6%で最も高く、ついで「宿泊施設」が36.4%、「温泉」が35.0%となっている。

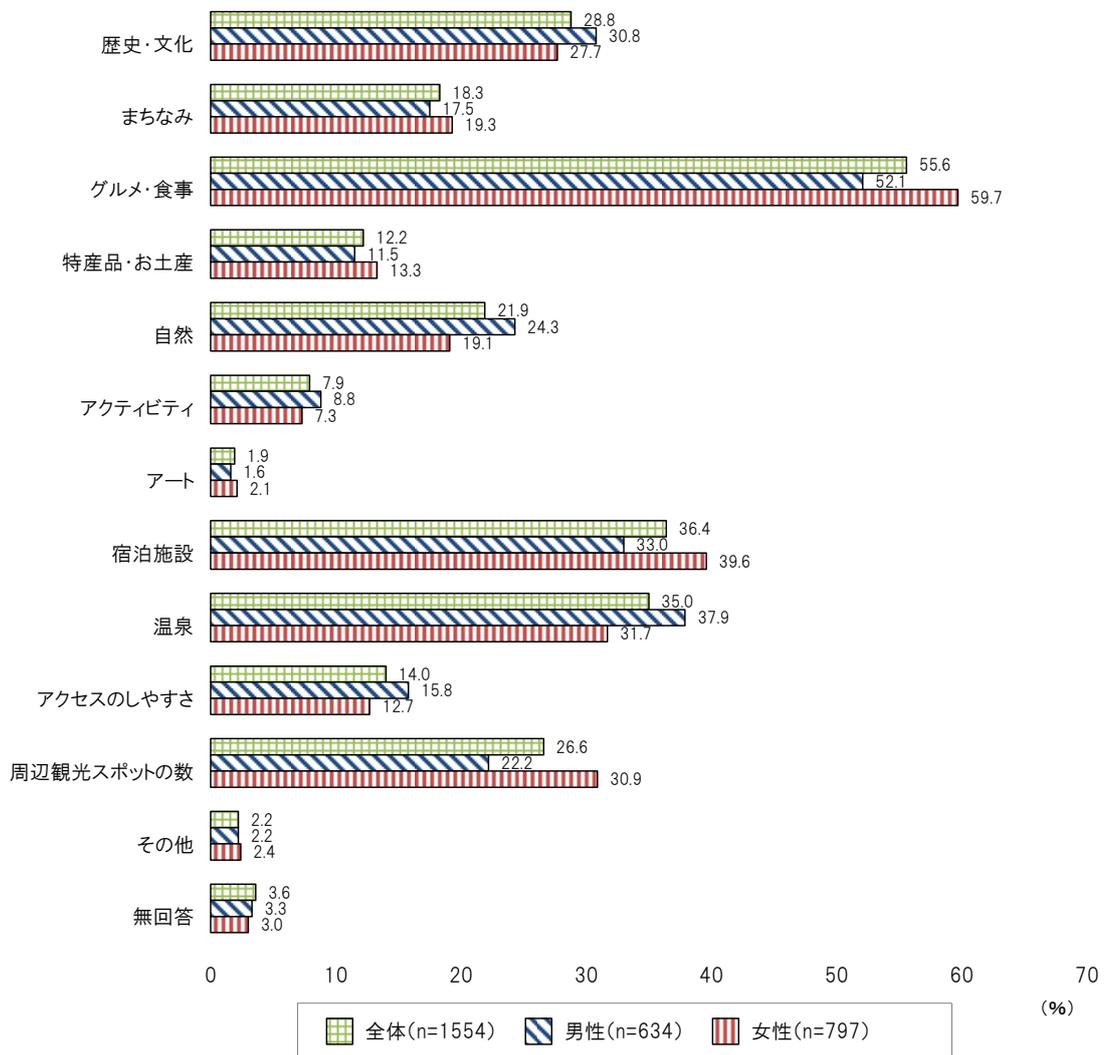
性別にみると、1番目に高い項目は「グルメ・食事」で同じであった。2番目に高い項目は、男性では37.9%で「温泉」、女性では39.6%で「宿泊施設」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「温泉」で6.2ポイント、「自然」で5.2ポイント男性の方が高く、一方で「周辺観光スポットの数」で8.7ポイント、「グルメ・食事」で7.6ポイント、「宿泊施設」で6.6ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、70歳以上を除いた年代では「グルメ・食事」が1番目となっており、70歳以上では「温泉」が1番目となっている。「温泉」は40歳代以上では3番目以内に入っている。70歳以上では「歴史・文化」が3番目になっている。

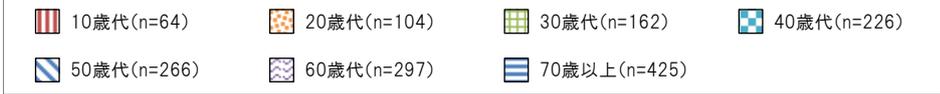
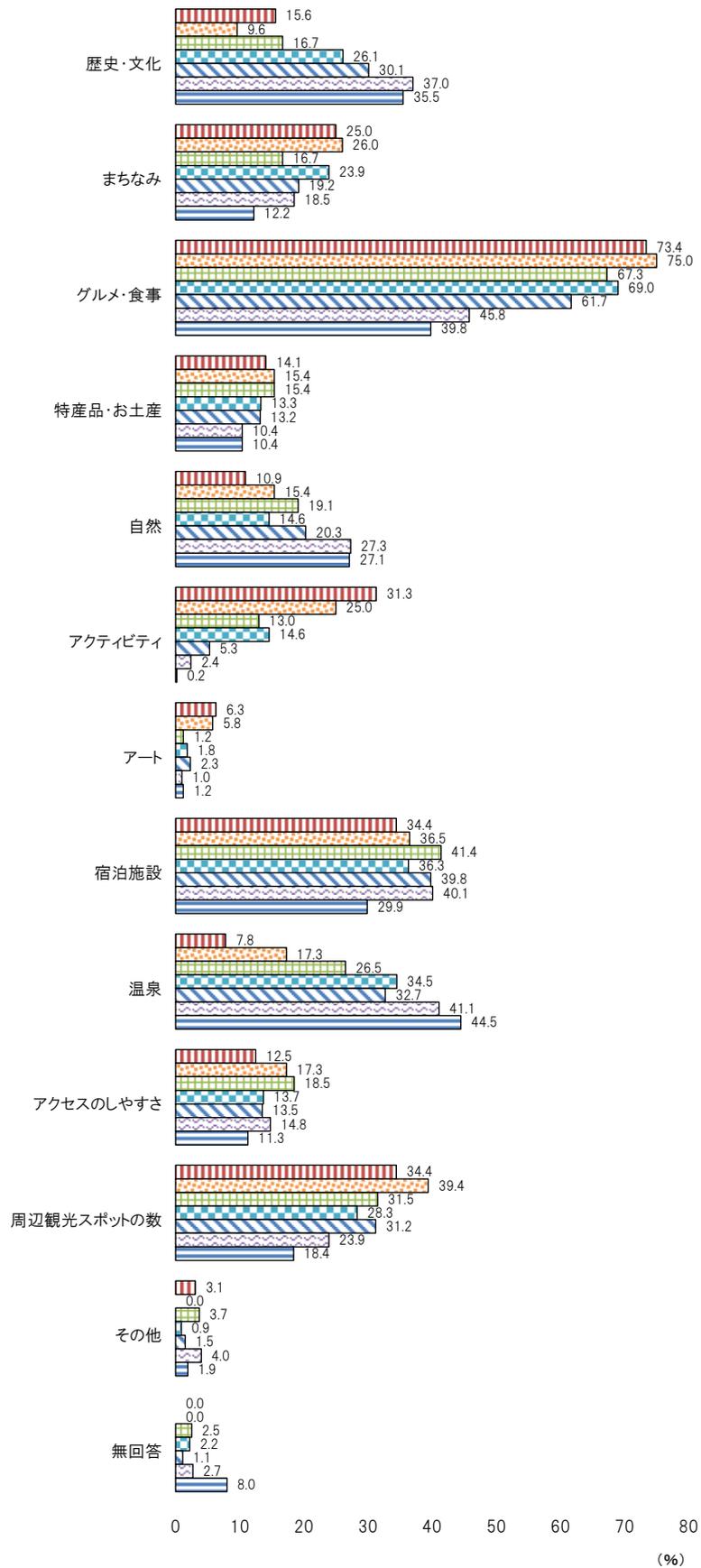
<年代ごとの上位3項目>

	1 番 目		2 番 目		3 番 目	
10 歳代	グルメ・食事	73.4%	宿泊施設	34.4%		
			周辺観光スポットの数	34.4%		
20 歳代	グルメ・食事	75.0%	周辺観光スポットの数	39.4%	宿泊施設	36.5%
30 歳代	グルメ・食事	67.3%	宿泊施設	41.4%	周辺観光スポットの数	31.5%
40 歳代	グルメ・食事	69.0%	宿泊施設	36.3%	温泉	34.5%
50 歳代	グルメ・食事	61.7%	宿泊施設	39.8%	温泉	32.7%
60 歳代	グルメ・食事	45.8%	温泉	41.1%	宿泊施設	40.1%
70 歳以上	温泉	44.5%	グルメ・食事	39.8%	歴史・文化	35.5%

問47 旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めるか



問47 旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めるか



問 48 もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介（自慢）しますか。（○は2つまで）

「グルメ（松阪牛）」が69.8%で最も高く、ついで「歴史、文化、まちなみ」が40.5%、「郷土の偉人」が12.9%となっている。

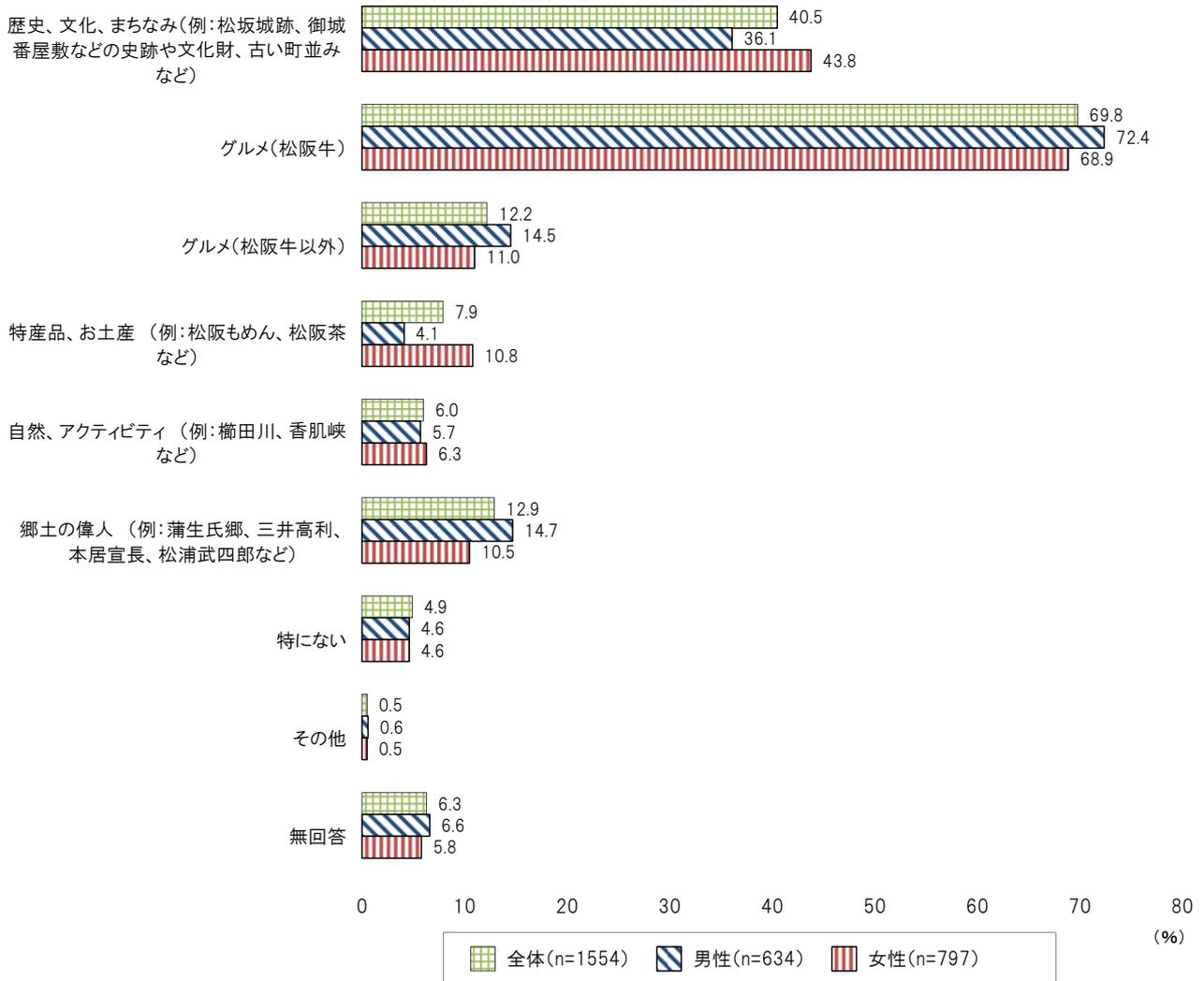
性別にみると、1番目、2番目に高い項目は男女とも同じで「グルメ（松阪牛）」「歴史、文化、まちなみ」であった。3番目に高い項目は、男性では14.7%で「郷土の偉人」、女性では11.0%で「グルメ（松阪牛以外）」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「郷土の偉人」で4.2ポイント、「グルメ（松阪牛）」で3.5ポイント、「グルメ（松阪牛以外）」で3.5ポイント男性の方が高く、一方で「歴史、文化、まちなみ」で7.7ポイント、「特産品、お土産」で6.7ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも1番目は「グルメ（松阪牛）」、2番目は「歴史、文化、まちなみ」となっている。3番目の項目として、10歳代、60歳代、70歳以上では「郷土の偉人」、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代では「グルメ（松阪牛以外）」が入っている。

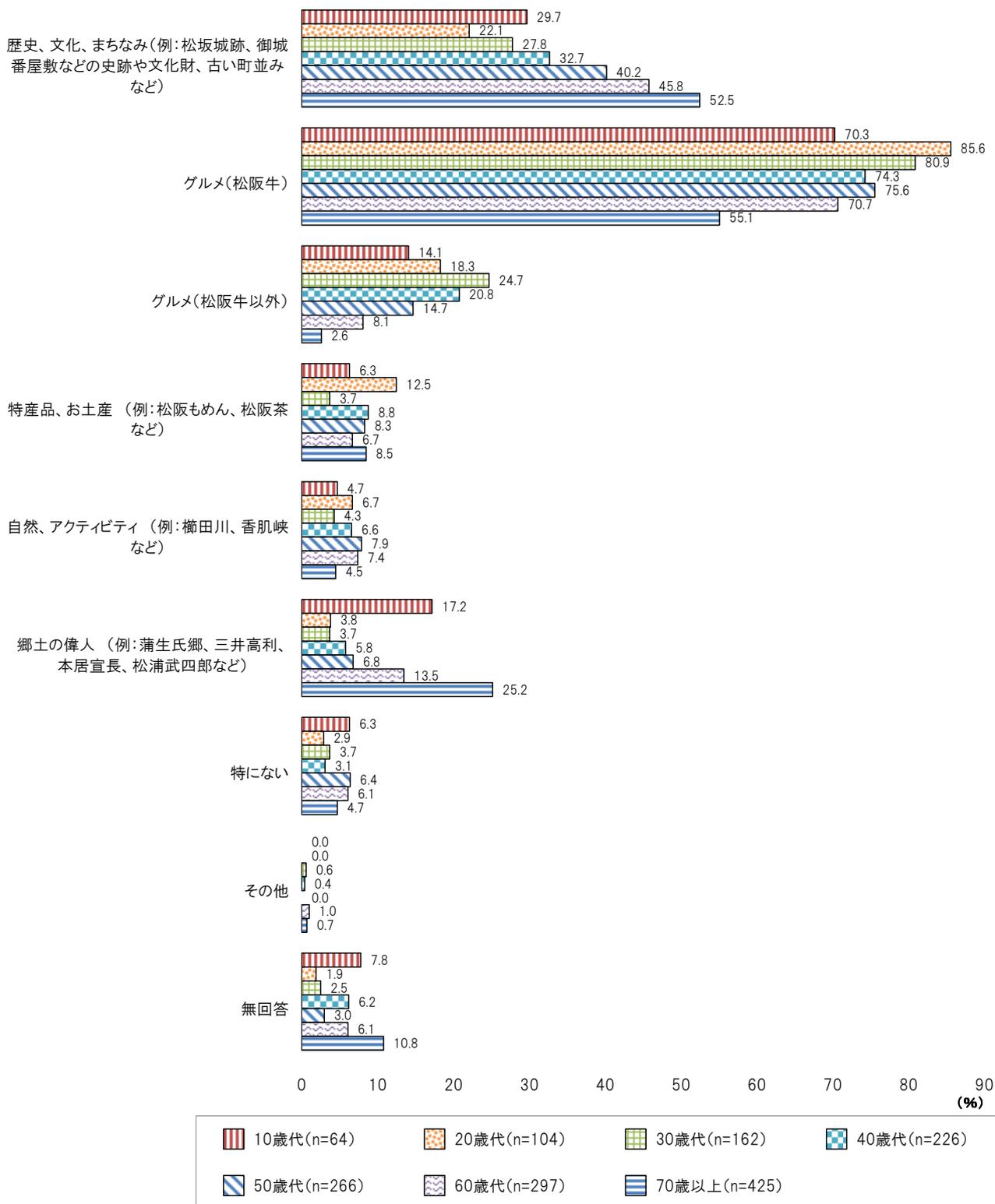
<年代ごとの上位3項目>

	1 番 目		2 番 目		3 番 目	
10 歳代	グルメ（松阪牛）	70.3%	歴史、文化、まちなみ（例：松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど）	29.7%	郷土の偉人（例：蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など）	17.2%
20 歳代	グルメ（松阪牛）	85.6%	歴史、文化、まちなみ	22.1%	グルメ（松阪牛以外）	18.3%
30 歳代	グルメ（松阪牛）	80.9%	歴史、文化、まちなみ	27.8%	グルメ（松阪牛以外）	24.7%
40 歳代	グルメ（松阪牛）	74.3%	歴史、文化、まちなみ	32.7%	グルメ（松阪牛以外）	20.8%
50 歳代	グルメ（松阪牛）	75.6%	歴史、文化、まちなみ	40.2%	グルメ（松阪牛以外）	14.7%
60 歳代	グルメ（松阪牛）	70.7%	歴史、文化、まちなみ	45.8%	郷土の偉人	13.5%
70 歳以上	グルメ（松阪牛）	55.1%	歴史、文化、まちなみ	52.5%	郷土の偉人	25.2%

問48 観光客などに松阪市の何を紹介(自慢)するか



問48 観光客などに松阪市の何を紹介(自慢)するか



問 49 旅行前に利用する情報源は何ですか。（○は3つまで）

「旅行情報誌」が48.8%で最も高く、ついで「観光施設等のWEBサイト」が34.7%、「宿泊予約サイト」が28.6%となっている。

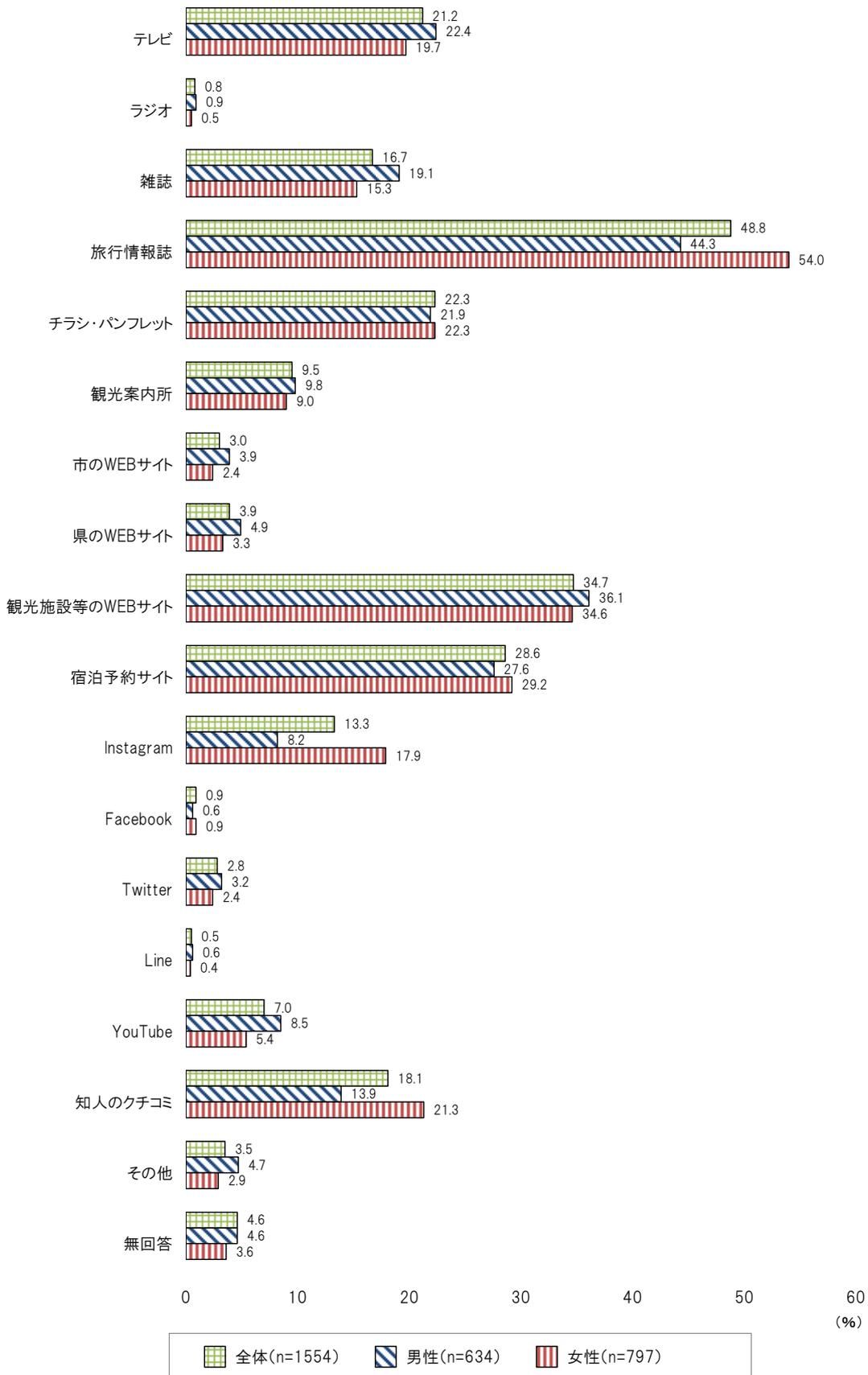
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも同じで、「旅行情報誌」「観光施設等のWEBサイト」「宿泊予約サイト」であった。男女の間で差が大きかった項目は、「雑誌」で3.8ポイント、「YouTube」で3.1ポイント男性の方が高く、一方で「旅行情報誌」で9.7ポイント、「Instagram」で9.7ポイント、「知人のクチコミ」で7.4ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、1番目の項目は30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「旅行情報誌」であるが、10歳代、20歳代では「Instagram」となっている。「Instagram」は10歳代、20歳代以外の年代では3番目以内に入ってきていない。3番目以内に入ってきている項目として、70歳以上を除く年代では「宿泊予約サイト」、10歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「観光施設等のWEBサイト」が入っている。

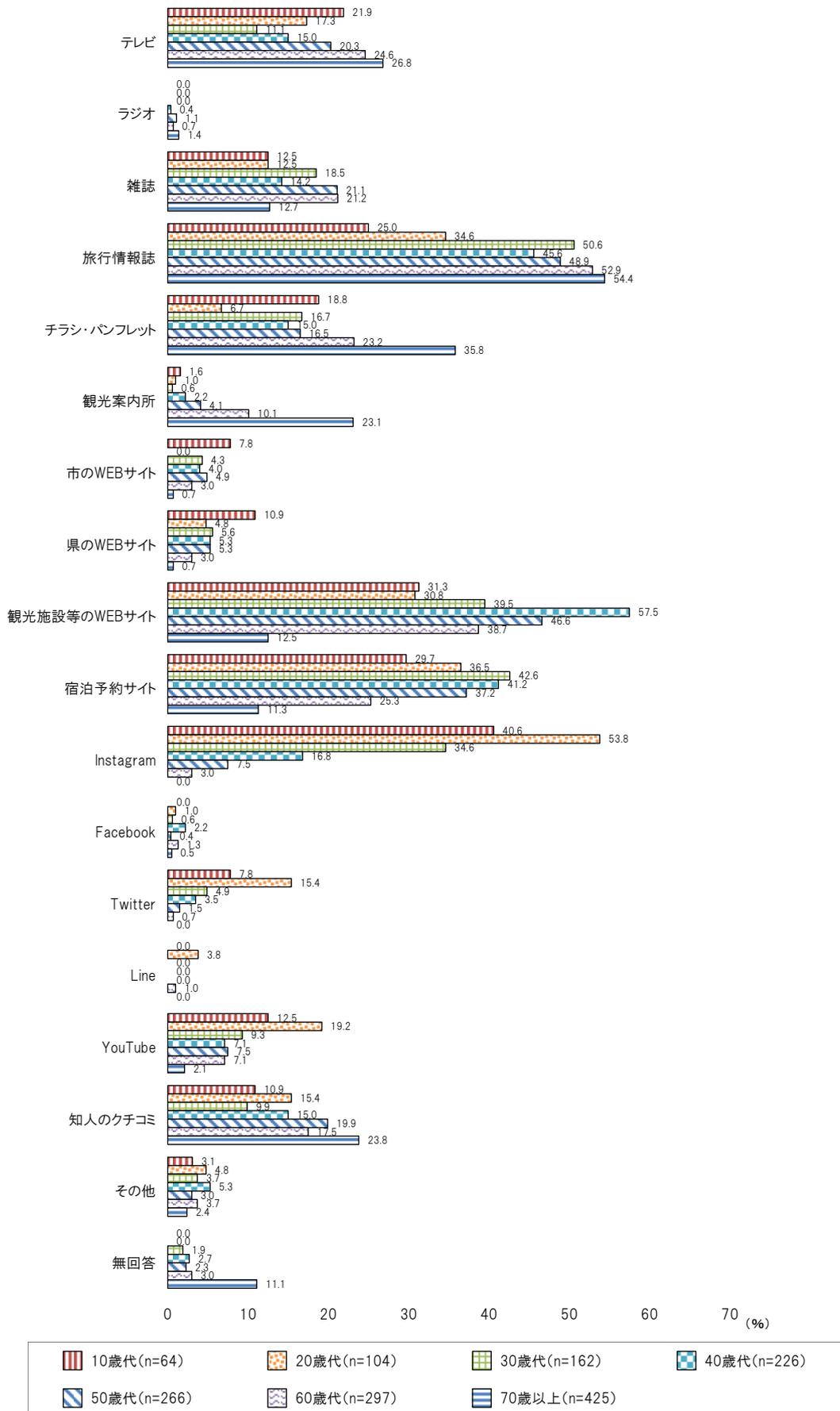
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	Instagram	40.6%	観光施設等のWEB サイト	31.3%	宿泊予約サイト	29.7%
20 歳代	Instagram	53.8%	宿泊予約サイト	36.5%	旅行情報誌	34.6%
30 歳代	旅行情報誌	50.6%	宿泊予約サイト	42.6%	観光施設等のWEB サイト	39.5%
40 歳代	観光施設等のWEB サイト	57.5%	旅行情報誌	45.6%	宿泊予約サイト	41.2%
50 歳代	旅行情報誌	48.9%	観光施設等のWEB サイト	46.6%	宿泊予約サイト	37.2%
60 歳代	旅行情報誌	52.9%	観光施設等のWEB サイト	38.7%	宿泊予約サイト	25.3%
70 歳以上	旅行情報誌	54.4%	チラシ・パンフレ ット	35.8%	テレビ	26.8%

問49 旅行前に利用する情報源



問49 旅行前に利用する情報源



問 50 旅行中に利用する情報源は何ですか。（〇は3つまで）

「旅行情報誌」が39.3%で最も高く、ついで「観光施設等のWEBサイト」が35.3%、「チラシ・パンフレット」が32.9%となっている。

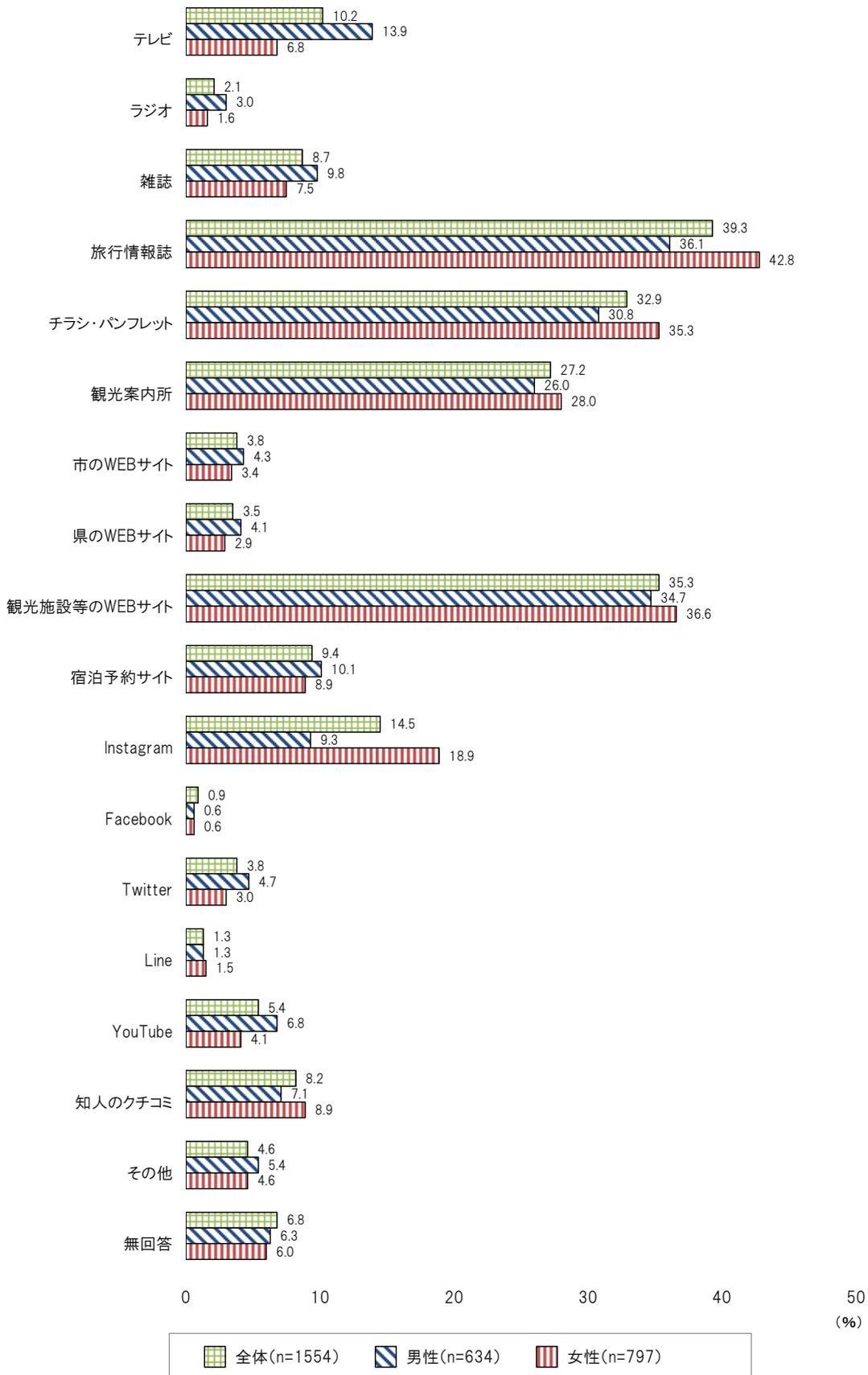
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも同じで、「旅行情報誌」「観光施設等のWEBサイト」「チラシ・パンフレット」であった。男女の間で差が大きかった項目は、「テレビ」で7.1ポイント男性の方が高く、一方で「Instagram」で9.6ポイント、「旅行情報誌」で6.7ポイント、「チラシ・パンフレット」で4.5ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、1番目の項目は10歳代では「チラシ・パンフレット」、20歳代では「Instagram」、30歳代、40歳代、50歳代では「観光施設等のWEBサイト」、60歳代、70歳以上では「旅行情報誌」となっており、年代によってバラつきがみられる。

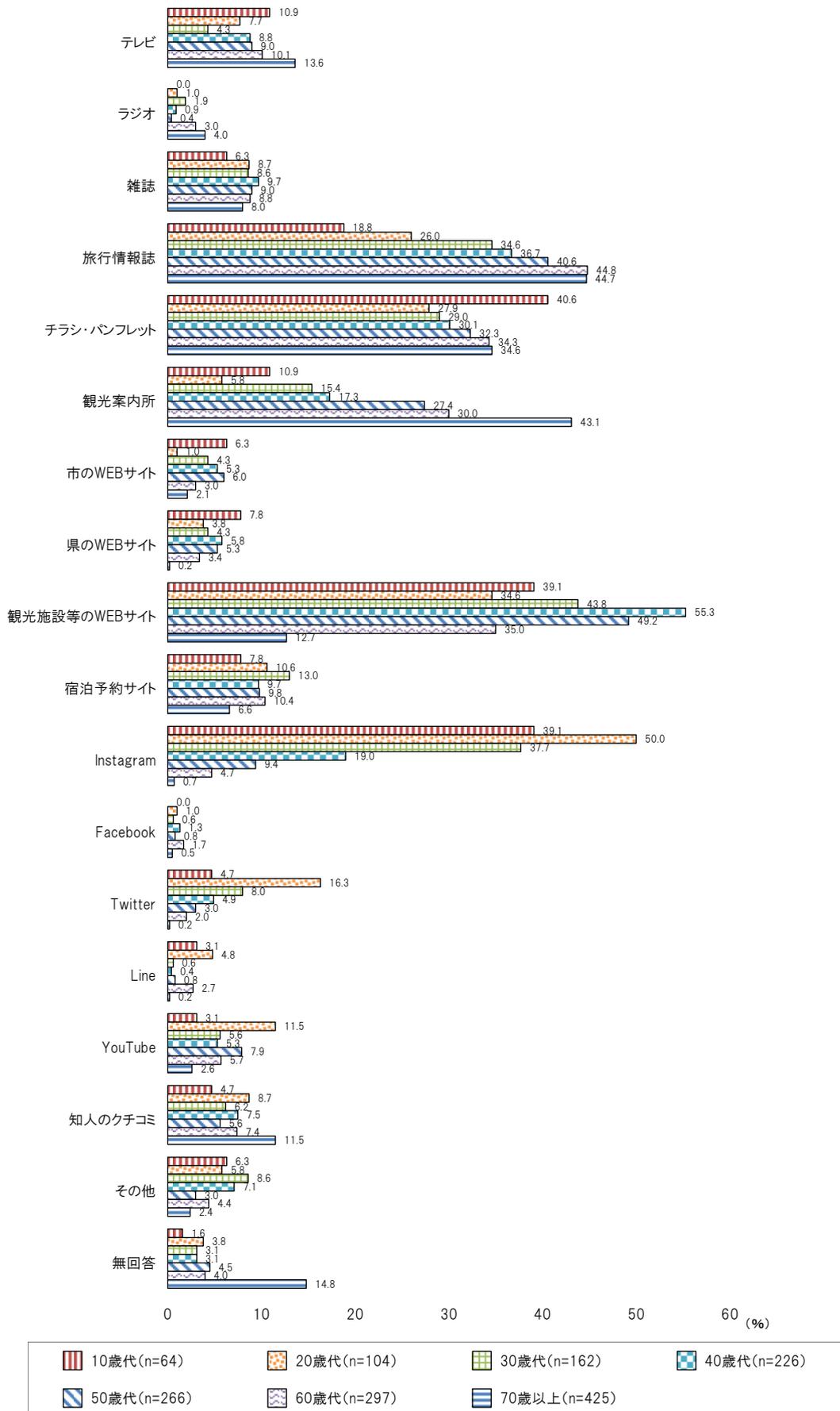
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
10歳代	チラシ・パンフレット	40.6%	観光施設等のWEBサイト	39.1%		
			Instagram	39.1%		
20歳代	Instagram	50.0%	観光施設等のWEBサイト	34.6%	チラシ・パンフレット	27.9%
30歳代	観光施設等のWEBサイト	43.8%	Instagram	37.7%	旅行情報誌	34.6%
40歳代	観光施設等のWEBサイト	55.3%	旅行情報誌	36.7%	チラシ・パンフレット	30.1%
50歳代	観光施設等のWEBサイト	49.2%	旅行情報誌	40.6%	チラシ・パンフレット	32.3%
60歳代	旅行情報誌	44.8%	観光施設等のWEBサイト	35.0%	チラシ・パンフレット	34.3%
70歳以上	旅行情報誌	44.7%	観光案内所	43.1%	チラシ・パンフレット	34.6%

問50 旅行中に利用する情報源



問50 旅行中に利用する情報源



16. 松阪駅西地区複合施設について

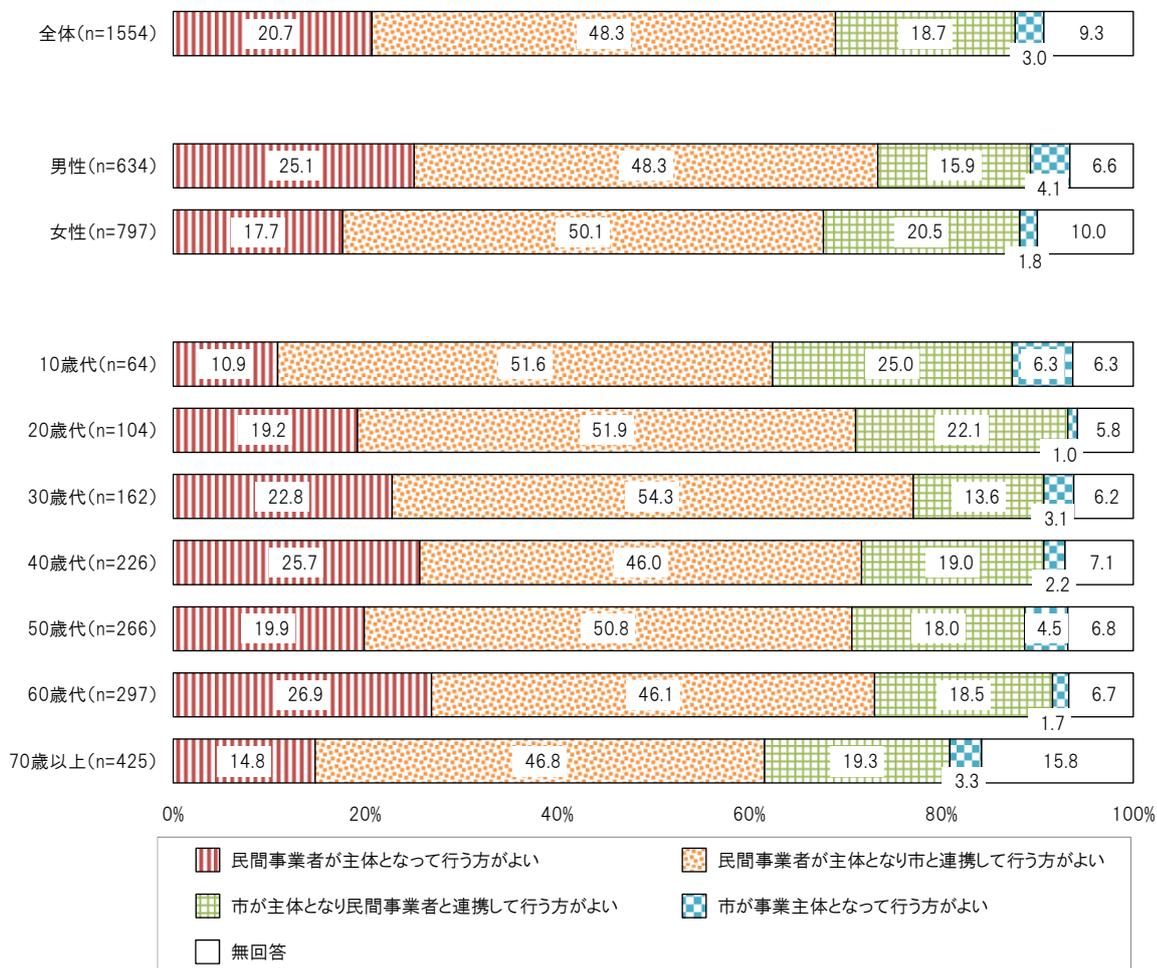
問 51 松阪駅西地区複合施設の建設にあたり、市が多額の税金・補助金等を投入するのではなく、民間事業者が主体となり、その資金やノウハウを広く活用し建設する方法を考えていますが、そのことについてどう思いますか。（〇は1つだけ）

全体では「民間事業者が主体となり市と連携して行う方がよい」が48.3%で最も高く、ついで「民間事業者が主体となって行う方がよい」が20.7%、「市が主体となり民間事業者と連携して行う方がよい」が18.7%、「市が事業主体となって行う方がよい」が3.0%となっている。

性別にみると、「民間事業者が主体となって行う方がよい」の割合は、男性の方が女性より7.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「民間事業者が主体となって行う方がよい」の割合では、最も低い10歳代の10.9%と最も高い60歳代の26.9%の間では16.0ポイントの違いとなっている。「市が主体となり民間事業者と連携して行う方がよい」の割合では、最も低い30歳代の13.6%と最も高い10歳代の25.0%の間では11.4ポイントの違いとなっている。

問51 松阪駅西地区複合施設の建設にあたり民間の資金やノウハウを活用し建設する方法について



17. COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る認知度について

問 52 あなたは COPD（慢性閉塞性肺疾患※）という病気を知っていますか。（〇は1つだけ）

「知らない」が48.5%で最も高く、ついで「聞いたことがあるが、内容までは知らない」が25.5%、「どんな病気か知っている」が21.9%となっている。

性別にみると、「知らない」の割合は、男性で54.7%であるのに対し、女性では44.8%であり、男性の方が9.9ポイント高くなっている。

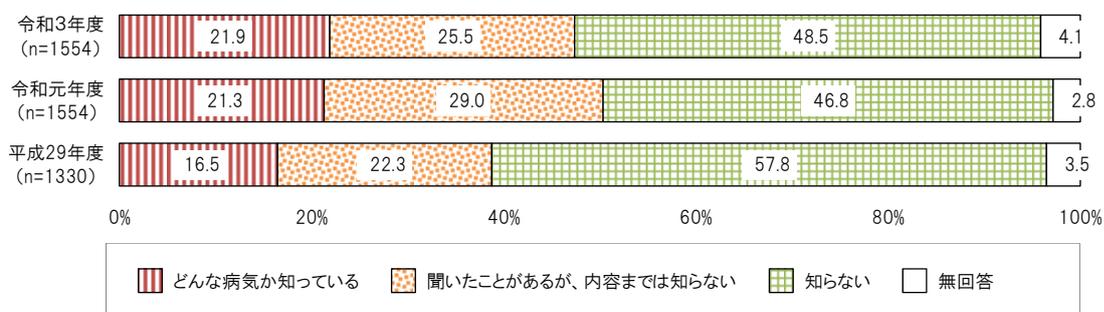
年代別にみると、「どんな病気か知っている」の割合は、40歳代では3割を超えており、20歳代、30歳代、50歳代、60歳代では2割台、70歳以上では1割台、10歳代では1割未満となっている。「知らない」の割合は、10歳代、20歳代で高くなっている。

問52 COPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気を知っているか



前回と比較すると、「聞いたことがあるが、内容までは知らない」の割合は、前回が29.0%であったのが今回は25.5%と4.5ポイント低くなっている。「知らない」の割合は1.7ポイント高くなっている。

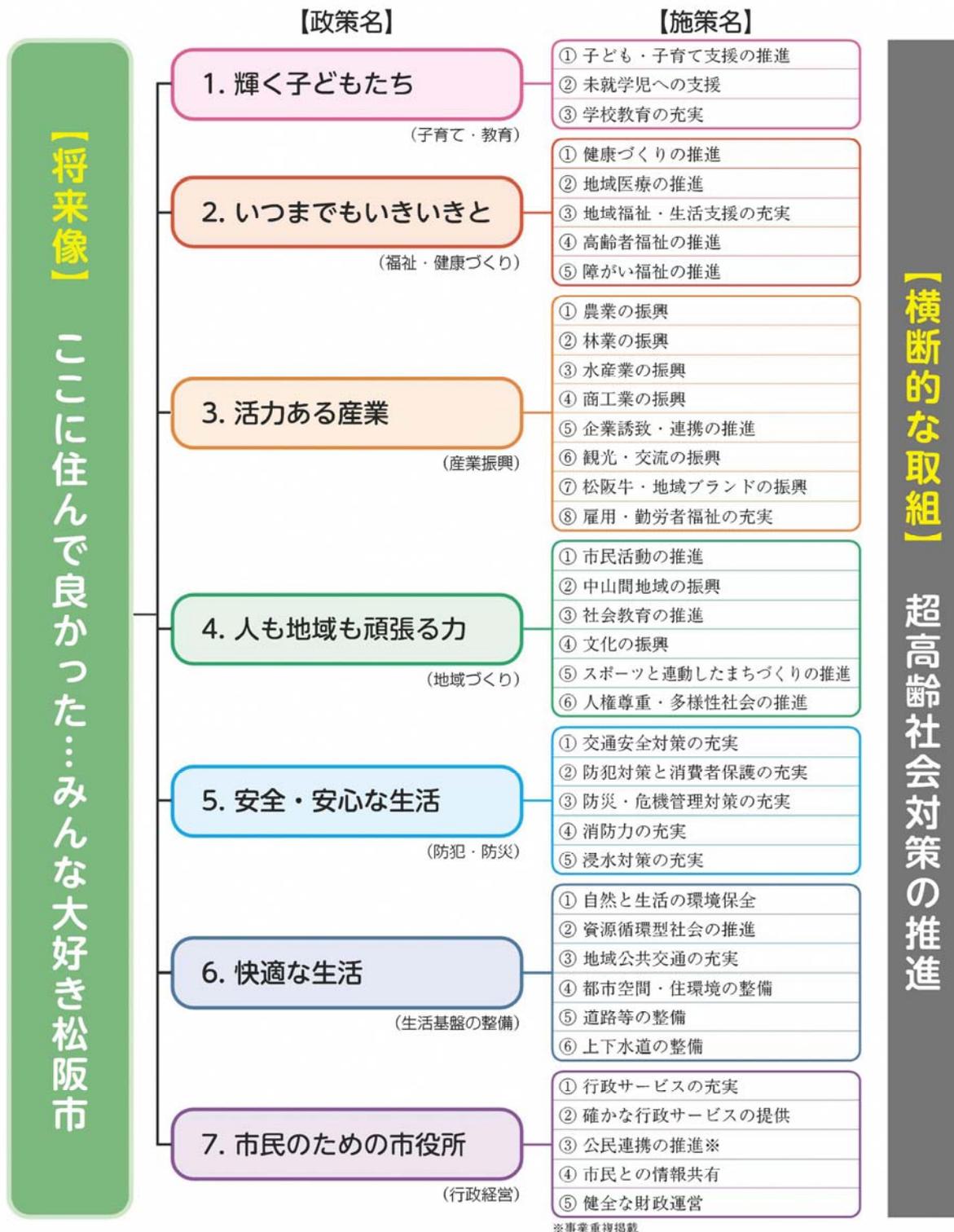
問52 COPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気を知っているか



Ⅲ 自由記述

市政に対するご意見については、460人の方からご意見をいただきました。いただいたご意見の主なものを総合計画の政策分野ごとに分類し、政策分野に属さないご意見については、「市政全般」等に分類しました。

できる限り原文に忠実に記述していますが、不適切な表現は一部修正しています。また、誤字等についても修正させていただいています。ご了承ください。



《主な意見》

1. 輝く子どもたち

- 我が家の様な子ども8人の大家族に対して、もう少し色々な支援をお願いしたいです。
- 妊活の際や、出産時は支援金以外でもサポート出来るような取り組みがなされるといいと考えました。
- 松阪は規模の割に子どもたちが気軽に自分で行ける児童公園や児童館のような施設がない。小さい子どもの施設はあると思うが、子どもが自転車で行けるようなところ。
- 若い世代の人たちが住みたいと思えるような市になると良いと思います。働く若いお母さんの子どもが兄弟別々の保育園になったと聞く。働く若い世代の方々が安心して働けるよう応援する優しい市であってほしいと思います。
- 生後8ヶ月の娘を育てています。病院などの医療体制は近隣の市と比べて整っているので、とても助かっています。しかし、子育て支援センター等はなかなか利用出来ません。地元が松阪市ではないので、ママ友もおらず、また、娘にお友だちも作ってあげられていません。いつでも気軽に支援センターが利用出来るようになればいいなと思っています。
- 医療ケア児や療育等の親のケアや就学援助の施策の促進をお願いいたします。
- 松阪市は子育てに力を入れているにも拘わらず、保育園が入りにくかったり、延長保育が無料でなかったりするので、そこを改善していただいたら、働く女性はすごく助かります。あと、不妊治療の助成金が津市とかに比べ、松阪市だけ少ないので、そこも考慮していただければと思います。
- 8年ぶりに出産し、8年前よりは補助金や支援センター等の充実、又は、情報量もかなり多くなっています。市で取り組んでいる結果であると満足しつつあります。そんな松阪が大好きだからこそ、もっと自慢できる市になってほしいと思います。出産すると市からお祝いしてもらえるようなシステムがあるといいと思います。
- 子どもの医療費、窓口で一旦支払いしているが、後で返ってくるので助かっています。ただ、はじめから支払いがなければもっと助かります。
- 子ども医療を市内だけでなく、県内の医療機関であれば、現物給付又は一部負担に変更してほしい。子どもが遊べる場所（公園などの施設）をバランス良く作ってほしい。市街地から離れた所にはなさ過ぎる。高齢者に対する支援よりも働く世代・子ども世代の支援を手厚くし、未来を踏まえた支援をもっと考えてほしい。
- 気軽に行ける子育て支援センターや児童館も増やしてほしい。保育園内のものではなく、それ専用の施設、部屋がほしいし、行きたいです。そちらの方が気軽に行けるので。
- 子どもを育てながら働くための保育と職場の確保が難しいように感じる。
- 松阪市の様々な世帯に向けてのピッタリな制度など、色々知りたいし、活用もしたいが、仕事と子育てでなかなか時間もなく、ゆっくり調べたり出来ない為、現在利用すると便利というお知らせを通知していただくとありがたいです。せっかくの制度を利用せず、知らずに終わっていく事があるように感じます。
- 小学生の遊び場がない。公園、遊具が歩いていける距離に。
- 子育てと両立できる仕事、職場の選択肢がもっとあるとよいです。現在、子育てに理解のある玉城町の会社にフルタイムで勤務していますが、自宅の近くにもそんな会社があれば、もっと働きやす

いなと思います。

- 一時保育の施設を増やしてほしい！嬉野からたまに利用しているが遠いので、近くに作ってほしいです。
- 所得に応じた子育て世代に対する負担に不公平を感じています。(医療費、保育料など) 所得に差が少ない公平なサービスで子育てしやすい地域にしてほしいです。
- 産後保健師訪問が生後2ヶ月頃でしたが、一番大変なのは1ヶ月頃までなので、早めにしてほしかったです。他町のようにブックスタートなどもあれば良いのにと思いました。子育て支援センターが近くにないので、公民館、保育園単位でほしいです。
- 娘も仕事に復帰するため保育園へ申し込んでいるが、0歳児は保育園が少なく入園できません。
- 育休中ですが、復帰時希望の保育園に入れるか不安です。待機児童0に。保育士も増やして下さい。
- 若年層を対象に“松阪市内観光を計画しては！”と思っている。歴史的建物、海岸等が豊富にあり、社会教育の一助になる。日本に寄与した歴史や人物等を知る事も大事ではないだろうか？観光ルートも確立するのでは？
- 小中学校の体育館の老朽化が進んでいて、雨漏りします。災害時の避難所になるので、修理の予算を組んでください。
- 小学校で配布された iPad が全く活用されていないように思う。せっかくのツールなのにもっと家庭で活用できるようにして、教科書等も全て iPad に入れるようにして持ち物を減らしてやってほしい。
- 教員がメディアに対する知識に乏しいので、GIGA スクール実現に向け、教員の WEB やメディアに対するスキルアップをすべき。子どもの方が iPad 使いこなしていますよ。
- 松阪市立中学校、小学校のトイレのリフォームお願いします。古い、汚い。トイレ行きたがらない。がまんしている。
- 小学校(中学校)のトイレがまだ洋式になっていなかったりするので、時代に合った環境づくりをしてほしい。暗い感じもするので明るくしてあげてほしい。運動場の水はけなども…。
- 学校の体育館の使用について、校区外だと使えなかったり、その地区じゃないとダメというのはやめてほしいです。児童数が多い所は不利です。スケジュールがいっぱいで新規の方が全く使えません。他の学校が空いていたなら、少し遠くても使いたい方はたくさんいると思います。何とかして下さい。
- 鎌田中学校や第四小学校エリアの充実だけではなく、松阪市全体の小・中・高校に目をやって下さい。声を上げないと改善されていかないのではなく、将来を担う子どもたちを市全体で守って行って下さい。
- 学生服を男女関係なく選択出来るようにしてほしい。
- 先生の負担が大きすぎると思います。先生の人数を増やして下さい。子どもたちの教育の為にもよろしくをお願いします。
- 小中学生へのタブレットの配布を早急に進めていただいた事は感謝致します。どんどん活用して、そういう事に強い松阪市であってほしいです。
- 小学校の通学路の危険チェックや通学路の検討をもっと定期的にしてほしい。熱中症になる子もいるし、交通量の多さもある。
- 小中学校にも各校に学校司書を配置してほしい。

2. いつまでもいきいきと

- 夜間救急が遠い。
- 大きな病院は多い方だと思うが、かかりつけ医など気軽にかかれる医院などが分かりにくい。
- 特定検診に COPD の検査を追加してほしい
- 小児医療（特に救急分野）に困ることが多い。力を入れてほしい。休日夜間診療所の 24h 化をしてほしい（平日昼以外で）。コロナワクチン接種を早期終了へ実現してほしい。
- 松阪市民病院の存続についての噂も耳にしますが、私共家族はこれまでも大変お世話になり、日々感謝をして生活しています。今後も安心して、心強く老後を送るために、ぜひ一番身近で信頼できる市民病院を残して下さい。
- 市民病院を市民が頼れる病院にしてほしい。医師とナースの数を増やし、入院しても充分見てもらえるように。
- 健康や福祉サービスを充実させてほしいです。お得に利用出来るサークル等もっともっと幅を広げてほしいです。就労していると難しい時間じゃ何も参加出来なく残念な時たくさんあります。福祉サービス、もっとたくさんあれば良いのに。とにかく少ない！！
- お世話になっております。障がい者を持つ者です。高齢になり、毎年提出しなければならない障がい者関係の申請等の手続きの為、市役所へ出向かなくてはならない事が負担になってきました。インターネットの普及も良いのですが、それに乏しい者への理解も受けとめてほしいと願っております。
- ヤングケアラーにも気をつけてほしい。「認識している」のみではなく、手立てを施してほしい。
- 市の情報もどんどんインターネット等を用いたものに移行していくと思う。今後の生活に必要ということで、市として老人向けのパソコン教室をしてほしい。有料でも良い。市政が発信する情報を全員が受け取れるツールとして、という部分だけで良いので、作表も文字入力も不要です。
- 一人暮らしの人が安心して暮らせるように、生活サポートの充実を図ってほしい。急に体調が悪くなった場合に自分で連絡が出来なくなった時の連絡手段等。個人別の年金額で入居出来る介護施設の増設をお願いします。
- 私は高齢者施設で働いており、家族にも認知症になった祖父や祖母がいます。なので、地域の人たち等の認知症に対する理解がもっと深まり、人と人の交流が増える事で、少しでも同じような状況で悩む人の不安が和らぐと良いな、と思っています。
- 市街地と違うところに住んでいるので買い物が大変です。週に 1 度でいいので移動スーパーでも来てくれると助かります。
- 認知症が進んでいても、自分で歩ければ介護認定が低いため、ご家族の方が苦しんでいらっしゃると思います。そんな方を助けていけるような松阪市になっていただきたいと思います。
- 特別養護老人ホームが少なく、申し込んでもなかなか入居できなくて、在宅介護が大変でした。
- 介護保険料が高すぎます。高齢で年金収入だけで生活している者には、他にも収入のある人などと同額に等しいのでは、不公平ではありませんか。介護保険を使わない様に健康に注意している者と、何でもかんでも介護保険を使う人との違いを分かってほしいです。
- 知的、精神などの障がい者にも愛の手を差しのべてもらいたいです。障がい者の方たちが楽しく幸せに過ごせる施設を奪わないでほしいです。
- 障がい者に対してもまだまだ偏見がある様子で、時々、そんな視線を投げかけている若者を見る事

があります。(注意しようと声かけると無視している人を見かけます) 身近に存在しない理由もあるかと思います。老後は誰にも訪れるものです。

3. 活力ある産業

- 獣害対策をもっとしてほしい。
- 山林、田畑は、近い将来、物理的に維持できなくなる。狭隘な土地では効率も悪く収入は見込めない。農機具は高く、3Kの仕事で後継者離れ、数年先にはどの地域も荒廃する田園風景に高齢者家屋が散在します。農家個々の対応では耕作放棄地が増えるのみ。
- 人工林の放置を整備し、災害防止や山と海の関係改善に努めていく市政を進めて行く様にしてほしい。
- 結婚して36年間ずっと松阪市に住んでいます。松阪市は歴史や文化がすばらしく、職人のまちなので、住むのには適していると思います。しかし、駅西が寂れているので是非活気のあるまち作りをして頂きたいと願います。
- 駅西商店街の活気を取り戻す。(わざわざ「松阪の〇〇に行く」といった所がない) 松阪市に関する人物等のドラマやアニメの作成とそれに合わせたタイアップ(アニメファンの聖地巡礼のようなもの)
- 中心市街地のまちづくりもよいが、もっと周辺部の振興に力を入れてほしい。多気町、明和町、玉城町と比べると住民サービスが劣っている。
- 昨年度のペイペイの還元事業ですが、当時持っていたスマートフォンが古くてペイペイのアプリをダウンロード出来ませんでした。少しでも多くの市民の方が利用出来る還元事業を、今後はお願いします。
- 商品券の買える限度が一世帯単位ではなく1人1枚にしてほしい。
- もっと企業誘致に力を入れるべきだと思います。私は松阪市で育ち、三重大学に入り、今年4年生になって就職活動をしましたが、松阪市はおろか三重県内で魅力ある企業が失礼ながら少ないと感じました。私は松阪が好きですが、苦渋の決断で県外に就職します。
- 若者の定住には企業誘致しかないと思う。水も空気もきれいな松阪は、研究施設とかには最適ではないでしょうか。既に一生懸命に取り組んでいただいているとは思いますが、これからも活力ある松阪市に、がんばって下さい。
- 開発について。中国地方や熱海の例もあるので、再開発の許可も慎重にお願いします。先日、なめり湖に行ったら、山肌に大規模の太陽光パネルがありました。ちょっと心配でした。外から企業を招くのも良いですが、地元の優良企業への援助も大切だと思います。
- 松阪市は豊富な観光資源(歴史文化、グルメ)を持っているが、伊勢志摩地域への通過地点となっている。長時間滞在出来る様なカルチャー(メニュー)と施設を整備すべきであると思います。
- 現在、射和地区に住んでいます。中心部だけの情報だけでなく、周辺地域の情報も積極的に発信していただきたいと思います。
- 観光振興を図るならば、「松阪牛」「松阪もめん」に頼り切ったアプローチではなく、地方都市らしい、クラシックなカフェやゲストハウス、コワーキング・スペース等王道のアプローチで充分振興できると思う。
- 松阪の良さは、本来、表層的なグルメや特産品ではなく、もう一步踏み込んだ魅力の言語化を行う

べき。自治体職員で対応できないなら、住民に企画持ち込みを依頼するなどのオープンな姿勢で行政運営をしてほしい。松阪は良いまちです。ただし、現状は面白くありません。

- アフターコロナの観光は外国人に依存するのではなく、国内の日本人が三重県、松阪へ来たくなるようなもの、例えば、高度な医療を提供するのをメインとした施設を駅の周辺に建設し、医療都市として集客できるようにしてはどうでしょうか。
- 松阪牛で認知度は高いと思いますが、自然も豊かで住みやすいところ、歴史もあるのでもっと広く伝えられたら良いと思う。前例はありますが、映画とかのロケ地で使ってもらって、ロケ地めぐりとかも兼ねて観光に来てもらえると良いと思う。
- 若者が楽しめる場所がない。若者がショッピングできる場所や惹かれる観光スポットがない。高校生の頃は、車も無いのでカラオケとプリクラしかすることがなく、つまらなかった。松阪駅付近が発展しておらず、今も娯楽には車が手放せず、気軽さに欠ける。居酒屋が多すぎるように思う。今、市内にあるカフェの評判が良いので、コロナが終わればもっと誘致やイベントを開催してほしいです。
- ちゃちゃもがかわいいです。でも、そろそろ新しいキャラクターも、もう一体考えてみるのも良いのではないのでしょうか。
- ちゃちゃものファンが周囲に結構います。でも、ちゃちゃものグッズを売っているお店が分からないと言われます。もっと大々的にあちこちで販売してほしいです。
- 松阪の手土産商品（お菓子）500円くらいのをもっと作って販売してほしいです。県外の友だちに配りたいけど、500円以上が多いです。箱に入った商品を希望します。
- 自動車のご当地ナンバー、早く松阪もOKもらって下さい。ずっと待ってます。よろしくお願いします。
- 61歳を超えても社会で働きたい方が居ます。そういう方々にも職を与えてほしいと思います。
- 若者の賃金が安く、松阪から出ていく人が多いのでは…。何とか就労に結びつく給料になるように支援してほしい。

4. 人も地域も頑張る力

- 市民センターを週1回利用していますが、無料で使えるのは月2回だけです。来年4月から使用料金が値上がりするそうですが、市民に優しくありません。
- 松阪市民の為に日々考え、働いて下さり、ありがとうございます。松阪市に来て20年くらいになりますが、この場所が大好きです。もっとご近所づきあいが活発になり、みんなで楽しみ、助け合いが出来るといいなと思っています。
- まちづくり協議会が実施している地区運動会は、参加メンバーが高齢化やレジャーの多様化で集まらない。自治会の班長や会長なども困っている。
- コミュニティセンターについて、一定の人しか利用しないのではなく、もっとなじみ深い場所にできるように、若いうちから幅広い活用ができれば、その後も身近な場所となるのではないか。例えば奈良の中心辺りに「奈良県コンベンションセンター」などがある。松阪にあればいいなと、かなり思った。
- 住民自治協議会と市とで市政について協議する組織を作り、定期的に協議することを行けば、全体的な意見、将来的な方向も協議できるのではないかと。

- 松阪市は緑豊かで気候も良く、住みやすいところだと思います。災害も少なく、恵まれているにもかかわらず、普段は何気なく過ごしています。地域の行事にも参加することも少ないです。もっと地域のことを知り、この地のすばらしさに触れる機会があればと思います。
- 私は大阪出身で、松阪に住んで30年余り、大阪と松阪は歴史的にも繋がりがあり、住んで、住みにくいと思った事はありません。松阪は非常に住み心地の良い所です。車でちょっと走れば、海、川、山があり、レクリエーションも買い物も史跡もあり、言う事なく、伊勢神宮も私には自分の庭の様です。
- 「コミュニティセンター化」が検討されておりますが、各地域での格差が大きくなるのではないかと心配です。どういう人材でセンターが運営されるのか。現在、市役所を訪れると各人（職員の方）が専門性をもって市民が理解できるよう対処していただき、質の高さを感じます。センター化になった時、それが期待できますでしょうか。
- 地域公民館に洋式トイレがないところがほとんどで、車イス生活をしている者にとっては利用することが出来ない。
- 高齢者、過疎地の自治会での役員のなり手がなく、同じ人がやむを得ず役員を続けている。解消方法はないか？例えば、区画整理や入居者を増やすなど。
- 山間部に住む高齢者です。若者が減っていき、田畑は害獣に荒らされ、小さな子どもを見かけることも少なくなってきて淋しい限りです。若者の働くところも限られ、空き家が増え、老人も車に乗れなくなったらどうなるのか、縦に長い我が町は、循環バスも回れない。空気、水、緑のきれいなこの所を生かして、素晴らしい施設でも考えてもらいたいものです。
- 飯南地域の10年先がとても怖いです。人口の少なさにびっくりしています。子どもたちの頃は小学校も100人はいましたが、今では…。子どもたちは町中への転居と言っています。不安ばかりが増えていきます。
- 飯南地域から衰退化していく。医院、診療所、行政の力で新たに診療所の新設、誘致を希望します。
- 現在、山林に入る人はいなくなり田畑を耕作する年齢層は恐らく70歳を超える高齢者が主体で、近い将来、物理的に維持できなくなる。地域ぐるみでこの田園風景を将来的に維持できる、その活用方法について、市の担当者や関係団体等を交え地域で協議できる場を設定してください。
- 社会人の学び直しは、費用、時間、場所といった制約要因もあり、なかなか進んでいない現状にあると思います。学費による支援の強化、大学でのリカレント教育の拡大など、誰もがいくつになっても不安を抱くことなく「学び」が出来る環境になってほしいです。
- 自分が知らない活動もあったので、インターネットなどを利用して広めれば、若者も興味を持ち、より良い松阪市になっていくのではないかと思います。
- 松坂城、本居宣長、松浦武四郎、松阪牛、茶、鳥焼肉など、資源は多々あるのに、それを活かして残っていないのが残念。市長を筆頭に、もっと活性化のために外へ発信すべき。
- 松坂城址によく登るのですが、坂道（二櫓三櫓を登る道）が大雨が降ると大きな石ころが突出して危険です。何時も手入れが行き届いて感心しています。坂道は何とかならないのでしょうか。お願いします。
- 鈴の森公園に文化財の保管庫を作る理由は？市政の予算を投資する必要や場所は本当に適正なのか？
- 趣味で楽器をしていますが、活動しにくいと感じます。公民館の確保、防音室、大型楽器を保管出

来る倉庫の確保など、文化活動がしやすいようにサポートしてほしい。

- 基本的に不便です。スポーツ施設が少なく一ヶ所に固まっており、施設から遠い人と近い人の差が激しい。
- スポーツ運動場横の歩道の草刈りが間引き状態で刈られている。両サイド刈って下さい。
- スケートパークは失敗だと思います。松阪市規模であるなら、旧さんぎんアリーナを改修すべきであると思う。松阪市総合運動公園にトラックを整備し、陸上競技の大会が開催できるようにしてほしい。中南勢には陸上競技の大会が開催できるところが少ない。
- 松阪市に於いても、伊賀市のように、ぜひ性的マイノリティの方々への各種対策、ダイバーシティ対策を進めて下さい。子どもの人権に関する施策の充実もお願いします。
- 特に市政に関心の薄い人にも分かりやすく色々な人の意見が反映され、かつ、どんな人でも人権が守られる市政であってほしい。ハンディキャップがあっても言いにくい人もいますので、その辺を配慮してもらえ市政であってほしい。
- 外国人と外国にルーツをもつ人との共生社会の推進。日系フィリピン人が 2000 人以上住んでおり、ある人は家を建てたり、中古の物件を購入したりしています。多言語の表示、分かり合えるための啓発は必要です。

5. 安全・安心な生活

- 他県から引っ越しをしてきて驚いたのが交通マナーの悪さです。踏切で一時停止をしている車は極僅かだと思います。恐ろしくて幼い子どもを連れて外を歩くことが出来ません。松阪市は恐ろしいという印象しかありません。
- 交通マナーが悪い。自動車も悪いが、特に自転車・歩行者のマナーが悪い。自分で身を守る意識を付けるため、小中学校で交通授業を増やす。横断歩道は必ず手を上げる教育徹底。
- 交通マナーが悪すぎる。ウィンカーを出さない人多すぎ。毎日見る。以上、他県から引っ越してきて思ったことです。よろしくをお願いします。
- 取締りがないので、交通マナーが悪すぎる。平気で赤信号、矢印式信号を直進で走行してくる。どうなっているのでしょうか。そりゃあ、死亡事故も多いでしょう。
- 交通マナーが悪すぎるので、取り締まりの強化を！！（赤信号でも平気で進む。無理な追い越しなど多すぎる）
- 人の気持ちや思いやりのない車の運転が目立つ。特に横断歩道、片方が止まってくれても片方の車が止まらず動いていて、人の思いやりが無い。事故のもとを作っている。私はその時は絶対に渡らないです。
- このまちの人とはとにかく運転が下手で荒っぽい。もっとパトロールしてほしい。今時暴走族まがいの連中がいると青少年に悪い影響を与える。悪い意味での田舎感を感じてしまう。
- 松阪はとても住みやすいです。これからも安心安全で暮らせる事を願います。夜間のパトロール強化宜しくお願い致します。
- ペットと一緒に避難出来る避難所を増やしてほしいです。
- 津波避難タワーを建ててくれることはありがたいですが、場所を考えてくださればもっと良かったと思います。
- 防災等に必要個人情報地域のコミュニティー、自治会、学校と連携して、交換出来るようにし

てほしい。個人情報保護法による防災時の人の確認が今のままでは間違いなく遅れる。連携をスムーズにする事は大切です。

- 三雲地区、津波対策してほしい。
- 松阪市にずっと住む予定なのでこれからもよろしくお願ひ致します。子どもの学校、中学、高校、小学校にいる間に災害が起きる事が一番心配です。
- 台風や豪雨の時、避難が松阪市指定の中川小学校は遠くて、高齢者にはどうして行けばよいか不安です。平屋だから水につかった時、屋根が飛んだ時、誰に助けを求めたらよいか不安です。避難場所を近くに考えてほしい。市や自治会がもっと動いてほしい。
- 防災無線が全然聞こえないので、どこにいてもどの家でもいつでも聞こえるようにしてほしい。
- 防災情報がない。防災無線が聞こえない。
- 最近の大雨で各地に災害をもたらしていますが、松阪市では備蓄品が十分確保されてないと聞きます。市民の生命、財産を守ってくれるのか心配です。
- 地震があった時、すぐに市民に知らせ、特に子ども（幼、小、中）日中、校長、先生の指示に従わなければならない子どもたちには的確な指示がすぐに判断出来るような訓練、指導をトップの人はしてほしい。津波などで判断を間違わなければ落とす命が一つもないようにお願いしたい。
- 防災対策について。毎年避難場所に悩みます（その場所が河川に近く低地なので）。以前住んでいた所では、毎年避難訓練がありました。自分の住んでいる地域がどの災害に対して、どの場所に避難すべきか、広報でなく絶対に目にする回覧板などで、避難場所を知らせてほしいです。
- 防災無線で連絡をしてもらっているが、家の中にいると聞こえないため、家の中でも聞けるような対策をとっていただきたい。
- ここの処大雨が続きます。道路が冠水して通れない状態が続き、雨水の行き場がなく、排水が追いついていません。自治会からも苦情として陳情したいと思います。もっと地域の声を大事にしてほしいと思います。危険な箇所をなくするのが防災の1つではないでしょうか？

6. 快適な生活

- 嬉野に住んでいます。高齢化が進む中、田畑が荒れ地になって、太陽光パネルがここ数年でたくさん増えました。市街化調整区域の為、売りに売れず、跡取りがいない家はとても困っている現状です。少子化をくい止め、地域に活気が出るのは、規制を緩和することではないでしょうか。ぜひご検討いただければ。
- 飯高での風力発電建設案について。風力発電は百害あって一利なし。移住を考える人も、風力発電があるところ＝そういう市政を行うところ、と捉え、失望し、選択肢から外すでしょう。移住や観光に力を入れるとされながら、風力発電計画に「NO」と言われたいのはおかしいと思います。
- ペットが亡くなった時、嬉野斎場で単独火葬、お骨拾いができたことにはとても救われました。以前の居住地は合同火葬のみ。お骨拾いもできませんでした。犬を連れて行ける公園や娯楽施設、行き場所のない犬や猫の保護施設などが、もっと充実していくと嬉しいです。
- 脱炭素に向けた市のサポートが必要になってくるが、このアンケートには書かれていなかった。もっと10年～20年後に向けた市の考えを市民に伝えていく必要があると思う。
- 野焼きによる悪臭が多いです。プラごみの燃えるような刺激臭も度々あります。取締りは難しいかもしれませんが、野焼きがダメなことはあまり広報等でも知らされていないように感じます。

- 風力発電は今後の市民生活に大きな影響を与えると思われるが、地域住民に説明会なり早く開いてほしい。
- 畜産による悪臭が放置されています。悪臭に境目はありません。糞尿臭い観光地はありえません。
- コロナ対策について、松阪市はワクチンの進捗状況が遅いような気がする。市長自身がイニシアチブをとって、国や県に働きかけて確保すべき。
- ごみ収集。出し方など、いつものごみ置き場から離れた所へリサイクルペットボトル、アルミ缶など月1回持って行かなければいけない。しかも当番で、管理者が回ってくる。せめて燃えるごみ置き場に捨てられるようにしてほしい。引っ越しして20年以上経つが、その制度が改善されない。
- ごみ捨てについて、指定された曜日に出されていなかったり、分別がきちんとなされていないため、ルールをもう少し徹底した方が良いと思います。
- ごみ収集の市職員の丁寧な仕事ぶりに感謝します。ありがとう！！
- 私が松阪市で他の市の人に自慢できるのは、公園が多くあり、整備されている事で、市民の憩いの場となる事です。それで希望としては、交通の便が悪く、車を利用できない市民の場合、バスが利用できるといういなーと思います。
- コミュニティタクシーが出来た事は大変良い事だと感謝していますが、行く病院が多く3~4ヶ所行っています。タクシーはそこまでは行ってくれませんので、タクシー代が大変です。
- 都市部で生まれ育ち、27才で松阪市民となりました。今や我が町松阪は、ほんと落ち着く。住めば都です。ただ一つの将来に向けての不安は、車に乗れなくなった時、もう松阪には住めないかもしれせん。「車に乗れなくなった時」でもストレスなく生活出来る町であることを願ってやみません。
- ほぼ、毎日の様に、公共交通機関を利用していますが、朝は良いのですが、夜間のバスが全くと言っていい程ありません。帰りの時間も18時とか19時が多々あります。しかし、その時間帯はバスがありません。改善策等々切に願うばかりです。
- 松阪の方はバスが少なく中高生には行きにくいという話を聞く機会が何度かあり、私も少ないと思いました。もう少しバスなどが増えると松阪に足を運んでももらえるのかもしれないと考えます。
- 老後免許返納したいが、生活でどうしても移動に車が必要である。コミュニティバスをもっと広範囲に走らせてもらいたい。駅から離れていると路線バスも少ない。老後が不安である。
- 中部台公園の遊具の老朽化や種類の少なさが気になります。子どもたちもあまり(種類が少なく)楽しくないとの声もあります。
- 松阪市内の公園は、ペットの立ち入り禁止が多く、犬を連れての散歩が出来ない。諸外国の様に色々な市営の施設にペット同伴で入れるようにしてほしい。
- キャンプを出来る場所をもっと作ってほしい。
- 松阪市役所の前の通りの電線地中化、歩道のデザインを統一してほしい。
- 松阪駅西地区複合施設って何ですか？初めて聞きました。
- 松阪市総合運動公園に、遊具のような、家族連れが遊べるものを作ってほしい。
- 空き家が目立ち、防犯上あまり良くないと思うので、売り主が土地を売りやすい制度や環境に力を入れてほしいです。
- 町の街灯が少なく、暗い。LED等を利用したらもう少し明るくなるのではないのでしょうか。道路の整備がされていないので歩くのに不安。歩道の白線が消えているところが多い。

- 運転マナーが悪いし、横断歩道は消えているし、車は止まらないし、危ない。数年住んでいるが、まだ松阪に愛着がない。田舎だし、何もない。つまらないと思うが、仕方なく住んでいます…。
- 道路の停止線、白線がかすれている所が大分目立ちます。危険なので塗り直して下さい。後、見通しが悪いと事故につながるので、道路沿いに生える草は、もっと年に数回刈り取って下さい。
- 車イスやシニアカー、ベビーカーでも市内を移動しやすい道になればいいなと思います。歩道が途切れていたり、段差があるまちではなくなれば、まちの活性化にもなると思います。
- 小学校の子どもたちが通う通学路にガードレールも何もありません。スマホ運転も増え、よそ見による車との事故など増えている中で、とても心配です。子どもたちが安全に登校出来る町づくりをお願いします。
- 道路工事をするのはいいのですが、終わった後道がでこぼこなのが許せない。
- 松阪市内は、道路が非常に混み合うスポットが多く、車移動の際に時間がかかることが多いです。道路の拡張やバイパスの増設など、交通量調査を元に積極的に行ってほしい。
- 水道料金が他市町村と比べて高く思います。又、下水道料金の同じ町内、隣で下水道を引いてなく、差がありすぎると感じる。
- 私の住んでいる地域は、下水道が整備されました。昨年より工事終了し利用していますが、近所は工事がまだで利用していない人が多く、不公平に感じます。
- 上下水道の事ですが、本線まで下水が来ているのに個人の家でまだ繋がっていない方がいるのですが、全部繋がったら衛生面でも良いと思うのですが、いつまでにやらなければという期限はないのでしょうか？
- 下水道工事ですが、自己負担金が多く大変でした。早めに工事しましたが、下水道代で高くなるし、もっと遅く工事した方が良かったなと思いました。早く工事した人には早期割引とか、何かメリットがあれば、工事を早くしようというきっかけにもなったのではないかな。
- 周辺部に対する下水道の整備が遅れている。
- 松阪に住んで長いのですが、お水がとても美味しいです。一市民としては、ライフライン等の重要な事業は営利の発想のない公共事業としての存続を願っています。水道事業を営利の対象とすることのないよう強く願っています。

7. 市民のための市役所

- 住民の目線で何事も考えて答えられる職員の育成に力を入れてほしい。専門知識のあるレベルの高い職員の採用をして、自然環境に対して松阪市全体を考えて取り組みしていただきたい。
- 各種申請に当たり「この人には必要だろうな」と思う情報を積極的に示してほしい。「聞かれなければ答えない」ではダメです。皆、分からないから尋ねに行くのだから。後で「そうだったんだ」不利になる事も有るから。
- もっと若い人（30代～40代）に仕事を任せるべき。日本一若い人が役職多い役場でも良いのでは？このままでは年寄りにお金取られて、若者は松阪市を離れるだけだ。
- 職員の対応が遅すぎます。職員数が多すぎるのではないのでしょうか？
- 市職員が多すぎる。待遇が良すぎると思われる。
- 市の職員さんも非正規の方がたくさんみえると聞きました。待遇をきちんとして、気持ちよく仕事に取り組んでもらえるようにして下さい。専門性を必要とする職場への職員の確保を、充実をお願い

いします。

- 松阪市の文化講座や健康講座、講演会などを Zoom などのウェブで配信してもらえると家で受講することが出来ます。育児中の方も高齢者も体の不自由な方も平等に参加することが出来る機会を与えていただけるよう DX の推進を望みます。
- 電子申請、届出利用は便利だと思いますが、80 才前の年では電子器具はなく、又、扱い方も指導してもらわなくては無理だと思います。ゆっくりとした講習の機会を与えてほしいと思います。
- 公務員は、自分が本当に必要なことだと思って仕事をしていますか？時々行政がしている事が自分たちの仕事を作るための仕事をしているように思えます。一市民としての見解です。
- マイナンバーカードを用いた手続きやサービスをもっと充実してほしい。
- 情報公開条例の適切な実施。情報公開審査会委員の見直し（弁護士を複数に）。
- アンケート結果や普段の市政にかかる情報発信は、あらゆる媒体を活用して行ってほしい。市 HP への掲載では 20・30 代は見ません。SNS 等で関心を引くような内容で発信をしていただければと思います。
- 広報、行政関係の書類はなるべくカタカナ語を使わず、日本語で表現出来るものは日本語で書いてほしい。
- 市民にこうだと公開される時はほとんど決定事項となっている事が多い気がします。
- 情報すべてにおきまして、紙媒体です。このような市民もおりますので、広報紙配布の継続をお願いします。
- 市民・公共に関係する計画は、確定前に適切な方法で広くオープン化し、市民の意見を聞く事が大切ではないでしょうか。後手後手にまわっていて残念です。
- コロナ禍の中、ご苦勞様です。役に立つ意見ではありませんが、私たちが生活費を削って支払いました市税を少しでも還元して下さい。
- 限られた市の予算の中で何もかも今迄のまま支出していつかは市の借金が膨らむだけである。節約できるところは前向きに減らしていくべきである。例えば、小中学校で全校生徒が随分と減少している学校は先々のことを考え、前向きに合併していくべきである。
- これからの人口減に伴い、維持費の掛かる箱物の建設などは進めないでほしい。現在、あまり使用されていない施設もかなりあるように思う。
- 市民税が高いと思う。若くて、頑張れば働ける人に色々な形でお金を渡すよりも、体の弱った年配の人や病気で働くことが困難な人へ助けてあげられる（お金の面で）、そういうことを考えてほしい。市民みんなで助け合うとは、そういうことなのだと思う。
- 古いので市役所建物が火災等に大丈夫か心配です。建て直すなら色々な建物に事務所があり、分かりにくいので、まとめてほしい。
- 市民税の減税（コロナ禍により収入の減少から）

市政全般

- 市独自の決断、方向性を決めるのがともかく遅い。他市の様子を見た上でしか松阪独自の判断が出来ないのは市民として情けない。
- このような機会はあるがたいです。それと、私は県外からの移住者ですが、友人は三重をよく知らなくても、松阪だよと言うとうなずきます。松阪は自信をもってメジャーと言えます。

- 以前に比べれば、どの窓口にも訪問しても市職員の皆様親切に、丁寧に説明していただき、ありがたく感謝しております。他の公共機関よりも分かりやすく思います。これからもよろしく願います。
- 市政に対して疑問があった場合、どこへ問い合わせたらよいのか、窓口を教えてください。市民との対話を本気でやって、市政を改革していく気持ちがあるのか、市長から具体的に発信してほしい。
- 自分自身が高齢なので、後に残る人々が暮らしやすい様に願います。教育、就職、子育て、共働きの家庭が、安心して仕事に従事できる様、障がい者の方々が安心出来る様、いろいろな政策をしていただいています、より一層住みやすい松阪になることを願います。
- 私のように生まれ育った場所がずっと同じ人間からすると松阪市は住みやすいが、市外の方（特に県外の方）は松阪市の魅力が全く分からないらしい…。徒歩圏内にいくつもスーパーやコンビニ、薬局があること、大きな総合病院が3つもあること、松阪牛、うなぎなど他の地域にありそうでない魅力をもっとアピールして（特に県外の方に）ほしいと思う。そうすれば、人口も少しは増えるのではないのでしょうか…？
- この様なアンケートは大変ありがたく、私の様な人間の意見でも少しでも役に立てばと思う。しかし、私の母の様なアナログ人間は、電話でしか市政に意見を言ったことがなく、不満が溜まっている様なので、アンケートで良いので希望する市民の不満を聞いてあげる場があれば良いなあとと思います。
- どなたが首長になられても、数十年前の松阪市から大きな変化を感じない。十数年、他の県で暮らし、一昨年戻ってきたが、何も変化を感じられなかった。このまちには魅力がないので、今後どんどん若い人口は流出し、高齢化地域になっていくと思う。
- 本当に住み辛い。できることなら転居したい。できないから住んでいる。もっと住みやすくしてほしい。
- 学生視点ですが、コロナウイルスの感染予防対策はしっかりとできており、最近の感染者増加も対策が足りない、ゆるんでいるというよりは、コロナウイルスそのものの感染力が高くなったことにあると思います。まん防などは適切ですが、これ以上の対策よりもコロナ収束後の対応に重きを置いた方が良いのではないかと思います。
- グルメ以外の目玉がほしい。
- 地元民ですがあまり地元が好きではありません。魅力を感じません。寂れているなと思います。
- 質問に関心がなかったり、知らないことも多々あり、実際には充実した取り組みがされているかもしれなと思っています。他県から嫁いだ私にとって松阪は、気候は温暖で災害もほとんど経験したこともない、海の幸や山の幸も豊富でいい所だと思う。今後もこの形を残して行ってほしい。これ以上自然を壊したり、便利さばかりを追求するのではなく、今あるものを生かした取り組みをしてほしい。
- シルバー世代を上手く活用して、健康づくりと住みやすいまちづくりに力を入れてほしいです。新たな建物（大学など）やイベント（マラソンなど）より、生活充実を希望します。
- 市は地域に任せきりでなく、市がやって見せ、事を行ってほしい。
- 松阪市は暗いイメージです。松阪市が明るいイメージ、良い町に期待しています。
- 三重県で生涯住み続けるための課題は、移動の不便さ、生活する上でのもの足りなさ、就職の不安さが挙げられ、これらをいかに改善していくかでこの先の松阪市を含む全体の未来が決まると考え

て良い。現状は全てが不便という言葉で片づけることが出来てしまうため、とりあえず不便さから取りかかるのがよいと考える。

- 若い人が住みたいと思うようなまちづくりを希望します。

新型コロナ関連

- 新型コロナワクチン接種予約はとても大変でした。子どもの職場では未だに10~11月でないと受けられないと聞いております。先日のような人為的ミスでワクチンを廃棄するのは本当に心が痛みました。
- 企業への補助や減税ばかりで個人への補助がまったくない。企業を支えるのは個人。その個人はとても苦しい。住宅確保給付金など各種補助金への案内が不十分。また、ネットで辿り着いても言い回しが難しく、利用したいと思えない。分かりやすく、利用しやすい制度を切実に希望します。
- コロナに負けるな商品券、大変ありがたく使用させていただきましたが、ただ一点、非常に残念に思ったのが一世帯に2枚というところ。一人暮らしの世帯もあれば、多人数の世帯もあるというところ。不公平さをとても感じました。(財政的な問題もあるのかもしれませんが…)
- 松阪みんなの商品券の購入がありました。主屋宅に届いた為に(世帯主が祖父になっている為)子ども世帯に届きませんでした。もし、次回があるなら人数によって設定するとかしてほしい!! 2人家族でも、8人家族でも購入額が同じなのは不公平。ちゃんと子ども世帯にも届くようにして下さい。
- コロナで経済的に大変な時なので、松阪で使える商品券を各自に配布する。銀行に行けない人もいるので、平等に各家庭に送ってやってほしいです。
- 『松阪みんなの商品券』とてもお得だと思います。またしてください。
- コロナに負けるな商品券や3人目(子ども)の制度など(3人子どもはいませんが)、他の地域より迅速に、また手厚い制度にして下さってること、大変ありがたいと感じています。もっともっと、松阪市を良くして行って下さい。
- コロナに対する施策をしっかりとってほしい。
- コロナワクチン接種の予約を高齢者の両親に頼まれて、集団接種の予約を私がしましたが、電話はつながらず、高齢の両親には手紙の内容も理解しづらく、とても困りました。もっと質の高い業務をお願いします。
- コロナ対策を何とかしてほしい。比較的松阪はコロナが少なめではあるが、他地区に比べてワクチン対応が下手な気がしている。年齢区分を細かく予約開始したほうがスムーズだったのでは?
- コロナ対策として第1弾~第2弾の商品券はとても助かりました。ありがとうございました。

アンケート

- これまでの市政運営や行政サービス等に対して、市民意識アンケートを取ることは必要です。今後の行政方針、総合計画基礎資料、統計的に政策の重要度を知り、どこを中心に政策等を進めるべきかを計画に反映して下さい。
- このアンケートを手書きとWEBどちらでも回答出来るようにしてほしい。
- 高齢者なのでカタカナは理解し難い。カタカナを日本語に説明していただくと有難い。広報まつさ

かでもそう。辞書を引きますが、辞書に載ってない時もあります。

- WEB で回答できるようにしてほしい。郵送代がムダ。
- 問題数多かったです！良い町づくり期待しています。現在も非常に満足しております。特においしい食べ物屋さんがたくさんあり、満足。
- 愛する松阪市のため日々市の職員さん御苦勞様です。集計し、そこから明らかになる事、考察された内容まで知りたいなあと一老人は思っています。よろしくお願ひします。
- このアンケートが未成年には難しいものが多かったです。
- 調査自体は良いことだと思いますが紙はイマイチ。少なくともインターネットとの併用は考えるべき。全体の 70%がインターネットを活用すれば、集計する費用は半分で可能だと思います。あと回収率も上がると思います。
- この調査に選んでいただけて、我が松阪をどう思っているとか、こんなことが必要とか、文章にしたり、前向きに考えたりすることも出来て本当に良かったです。松阪居住歴 30 年以上ですが、未来のために若い人や子どもが住みやすく、高齢の方にも安心して老後を送ってもらえるような町づくりをこれからもよろしくお願ひします。
- 内容が多すぎてアンケートに答えるのがいやになってきた。疲れて何日かかけて記入した。もっと簡単に書けると良い。
- このアンケートによって、知り得た情報もありました。
- 松阪市の政策に対する質問がいくつもありましたが、市が何をしているのか気軽に情報収集する場を知らないで、同世代の中ではあまり認知されていないように思います。満足度等を聞かれても答えようがないので、アンケートと共にこういう活動をしているという案内を入れてくれたら知るきっかけになったと思います。
- 今回このアンケートに回答するにあたり、とても悩みました。なぜなら、松阪市全体のことがわからないからです。市町村合併により範囲が広くなり、一住民が松阪市全体の市政に関して意見を言うのは難しいです。これからはもっと市政に関心を持ち、松阪市民であることの意識を高めたいと思います。

その他

- バスの本数や時間帯が偏っていて、学校から帰りにくい。あらゆる分野の大学や専門学校が少なすぎる。
- 電子化の動きについていけない。代わりに一緒にしてくれる気楽に頼める公の人がいればありがたい。
- 先日、市議員選挙があり、投票率の低さが問題になっていたが、市政に対する若者の関心の低さの表れだと思うし、市の政策や市議会の様子など分かりやすく伝えていくことが大切だと思う。
- 県立大学を市へ設置したいとか新聞に出ているが、全国で多数の大学が林立しているが、どのような大学（規模、学部、学科）を目指しているのか知りたい。
- 大学生の補助を考えていただきたい。小さい時より大きくなってからの方がお金がかかるので負担が大きいです。
- 出会いの場。結婚相談所がほしい。
- 少子化の中、今更、又、大学誘致ですか？誘致するなら一流私立大でないと希望者はないでしょう。

無名で実績のない県立大学に来るのは、落ちこぼれと滑り止めだけ。定員割れで維持できないのがオチです。

- 海側地域のへき地化対策。海側地域は人口が増えることはなく、どんどん僻地化しています。山側へ移動する支援や、そういった海側地域に住む人たちへの働きかけ等を望みます。
- 市職員の給与、人事規約を改定することから始める。20年勤務で民間は2倍は給与差つくが、公務員は絶対評価なのか差がほとんどない。よって市民の提案の良い意見でも取り組もうとしない。余計な仕事が増えるから。また部長への登用に年齢制限を付ける。定年2～3年前になっても改革の意識は持ちづらい。これは松阪市だけに限らず、地方公務員全体に言える。
- 蓄電池を買うための補助を出してほしい。

IV 調査票

松阪市市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対し、ご協力をいただきありがとうございます。
さて、このアンケートは本市のまちづくりの指針となる「松阪市総合計画」の進捗や効果をはかり、市民の皆さまが市の政策や行政サービスに対してどのようなご意見やご要望をお持ちなのかをお聞かせいただくために実施させていただきます。

アンケートの結果は、今後のきめ細やかな市政運営のための基礎資料として活用させていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしませんので、個人のお名前やご意見が特定されることはございません。

令和3年8月

松阪市長 竹上 真人

【対象】 松阪市にお住まいの15歳以上の市民の中から無作為に選んだ3,000人

※必ず封筒のあて名のご本人がご回答ください。

※介護が必要な状態、病院に入院中等でご本人が回答できない場合は、お答えいただかなくてかまいません。なお、その場合でもお礼状が届きますのでご了承ください。

【期限】 同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、令和3年9月3日（金）までに、郵便ポストに投函してください。（氏名、住所をご記入いただく必要はありません）

【お問合せ】

調査実施主体：松阪市企画振興部経営企画課

〒515-8515 松阪市殿町1340番地1

TEL：0598-53-4319 FAX：0598-22-1377



(2) 現在の生活に満足していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 満足している | 4. 満足していない |
| 2. どちらかという満足している | 5. わからない |
| 3. どちらかという満足していない | |

(3) 余暇よかは充実していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 充実している | 4. 充実していない |
| 2. どちらかという充実している | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかという充実していない | |

(4) 生きがいいきがいにしているものはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ある | 4. ない |
| 2. どちらかというある | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというない | |

(5) 地域への愛着あいじゃくはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ある | 4. ない |
| 2. どちらかというある | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというない | |

(6) あなたは今、幸せしあわせだと感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. とても幸せだと感じる | 4. 幸せでないと感じる |
| 2. どちらかという幸せだと感じる | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかという幸せでないと感じる | |

(7) あなたは幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 健康であること | 12. 地域に憩いの場があること |
| 2. 食生活が良好であること | 13. 頼れる人がいること |
| 3. 住まいがあること | 14. 地域に愛着があること |
| 4. 生活に経済的な余裕があること | 15. 人から頼りにされること |
| 5. 家族との関係が良好なこと | 16. 自分が活躍する場があること |
| 6. 災害に対する備えができていること | 17. 社会に貢献していると感じること |
| 7. 治安が保たれていること | 18. 働く場所があること |
| 8. 食の安全が保たれていること | 19. 仕事にやりがいを感じる |
| 9. 生活環境が良好なこと | 20. 生きがいがあること |
| 10. 近所づきあいが良好なこと | 21. 余暇が充実していること |
| 11. 地域活動・行事に参加できること | 22. その他 () |

問3 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. している | 4. していない |
| 2. どちらかというとしている | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというとしていない | |

(2) かかりつけ医がいますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

(3) あなたは、この1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 週に1回 | 7. 年に6~10回 |
| 2. 週に4~5回 | 5. 月に2~3回 | 8. 年に1~5回 |
| 3. 週に2~3回 | 6. 月に1回 | 9. 特にしていません |

(4) 最近(この2~3年間で)、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. よく利用する | 3. あまり利用しない(これまでに数回利用した程度) |
| 2. たまに利用する(年に数回程度) | 4. 利用したことがない |

問4 あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。

(1) あなたのお住まいの地域の住民自治協議会(まちづくり協議会)*を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 知っている | 3. 知らない |
| 2. 聞いたことはあるがくわしくは知らない | |

*住民自治協議会(まちづくり協議会) ……住民協議会、自治会連合会、公民館と市が住民自治のあり方を協議した結果できた、地域の住民等が身近な地域の課題を自主的に解決し、地域の特性を生かして自律的に地域づくりを行う組織です。

(2) あなたはお住まいの地域の住民自治協議会(まちづくり協議会)のまちづくり活動(清掃活動・防災訓練・お祭りなど)に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 積極的に参加している | 3. 参加していない |
| 2. とまどき参加している | |

問5 市全般に関することについておうかがいします。

(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|------------------------------------|
| 1. 公園や憩いの施設が整っている | 14. 防災対策が進んでいる |
| 2. 緑が比較的多く自然環境に恵まれている | 15. 騒音などの公害が少ない |
| 3. 道路が整備されている | 16. 歴史や伝統がある |
| 4. バスや鉄道など、公共交通の便が良い | 17. 商業や事業を行うのに有利 |
| 5. 買い物 convenient | 18. 情報・通信が整備されている |
| 6. 働く場所がある | 19. 市の情報公開や情報提供が積極的 |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っている | 20. ごみが落ちていない |
| 8. 保健・福祉施設が整っている | 21. 観光資源が豊富 |
| 9. 文化・スポーツなどの施設が整っている | 22. 食べ物がおいしい |
| 10. 医療施設、救急医療が整っている | 23. 交通マナーが良い |
| 11. 人と人とのつながりがある | 24. 空気がきれい |
| 12. 市政に参加する機会が多い | 25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されている |
| 13. 治安が良い | 26. その他() |

(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 1. 公園や憩いの施設が整っていない | 14. 防災対策が遅れている |
| 2. 緑が少なく自然環境に恵まれていない | 15. 騒音などの公害が多い |
| 3. 道路が整備されていない | 16. 歴史や伝統がない |
| 4. バスや鉄道など、公共交通の便が悪い | 17. 商業や事業を行うのに不利 |
| 5. 買い物 convenient | 18. 情報・通信が整備されていない |
| 6. 働く場所がない | 19. 市の情報公開や情報提供が消極的 |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っていない | 20. ごみが落ちている |
| 8. 保健・福祉施設が整っていない | 21. 観光資源が少ない |
| 9. 文化・スポーツなどの施設が整っていない | 22. 食べ物がおいしくない |
| 10. 医療施設、救急医療が整っていない | 23. 交通マナーが悪い |
| 11. 人と人とのつながりが薄い | 24. 空気が汚れている |
| 12. 市政に参加する機会が少ない | 25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されていない |
| 13. 治安が悪い | 26. その他() |

(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 住みやすい | 4. 住みにくい |
| 2. どちらかというと住みやすい | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというと住みにくい | |

問6 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(38)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	でない	あまり重要でない
(1)地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)交通事故のないまちづくり(交通安全対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)中心市街地の賑わいをつくるまちづくり(市街地・拠点等の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供(上水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9)生活排水の適切な処理による水質保全(下水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10)安全で快適に生活できる住環境づくり(住環境の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11)気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備(公園・緑地の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12)森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組(自然環境の保全)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13)ごみを減らしたり、ごみを再利用する取組(廃棄物(ごみ)対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14)さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15)元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり(健康づくりの推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16)どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17)お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18)障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19)子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20)子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくり(学校教育の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満 足 度					重 要 度				
	満 足	やや 満足	ふ つ う	やや 不 満	不 満	重 要	やや 重 要	ふ つ う	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い
(21)子どもや若者がすこやかに成長できるまちづくり（青少年の健全育成）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22)生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり（生涯学習の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23)地域の歴史や芸術文化を生かしたまちづくり（文化活動の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24)気軽にスポーツを行うことができる環境づくり（スポーツの推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25)地域の特色を生かした農業・水産業の取組（農業・水産業の振興）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26)森林保全や森林資源の活用促進などの取組（林業の振興）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27)魅力的な中小企業の支援など地域の産業を育てる取組（商工業の振興）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28)企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組（企業誘致の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29)地域資源を生かした観光政策（観光の振興）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30)働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり（雇用・勤労者対策）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31)人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり（人権の尊重）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32)男性と女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり（男女共同参画の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33)外国人住民にも暮らしやすいまちづくり（多文化共生の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34)すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現（バリアフリー社会の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35)市民と行政との協働を推進するまちづくり（市民参加の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36)中山間地域の地域資源を活用したまちづくり（中山間地域の振興）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37)市民生活の利便性を高める情報通信社会の取組（情報・通信の環境整備）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38)市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制（情報公開・情報提供）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問7 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。（○は1つだけ）

1. 満足	3. ふつう	5. 不満
2. やや満足	4. やや不満	

ここからは、
「松阪市の個々の課題について」
 おうかがいします



広報全般について

問8 松阪市の情報は主にどのような方法で得ていますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. テレビ | 7. 行政チャンネル（アイウエーブまつさかなど） |
| 2. ラジオ | 8. 自治会などの回覧 |
| 3. 新聞 | 9. 知人・家族のクチコミ |
| 4. 松阪市ホームページ | 10. インターネットサイト（ネットニュース・個人ブログ等） |
| 5. SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど） | 11. その他（ ） |
| 6. 広報まつさか | |

問9 広報まつさかを読んでいますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 毎月読んでいる | 4. ほとんど読まない |
| 2. 大体読んでいる | 5. 読んだことがない・知らない |
| 3. 時々読む | |

問10 広報まつさかのページ数は適切ですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. とても多い | 4. 少ない |
| 2. 多い | 5. とても少ない |
| 3. 適切 | |

問11 松阪市ホームページを利用していますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 必要なときのみ |
| 2. 週1回以上 | 5. 災害時のみ |
| 3. 月1回以上 | 6. 見たことがない・知らない |

問12 松阪市ホームページをリニューアルするときに求めるものは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 見やすさ | 6. アクセシビリティ* |
| 2. 検索しやすさ | 7. スマートフォンへの対応 |
| 3. デザイン性 | 8. 災害に強いシステム |
| 4. 市政情報の充実 | 9. その他（自由記述） |
| 5. 観光情報の充実 | （ ） |

*アクセシビリティ …… 障がいの有無や年齢などに関わらず、全ての人が同じように利用できるようにすること

問 13 行政チャンネル（123ch）をご覧になったことはありますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 必要なときのみ |
| 2. 週1回以上 | 5. 見たことがない・知らない |
| 3. 月1回以上 | |

問 14 松阪市公式アプリ「松阪ナビ」を知っていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. ダウンロードして利用している | 4. 知らないが今後利用してみたい |
| 2. ダウンロードしているが利用していない | 5. 知らない |
| 3. 知っているがダウンロードしていない | |

問 15 「松阪ナビ」で発信して欲しい情報は何か。（○はいくつでも）

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 子育て情報 | 7. イベント情報 |
| 2. 学校・教育情報 | 8. 市政情報 |
| 3. 防災・安全情報 | 9. 観光情報 |
| 4. 災害情報 | 10. ボランティア情報 |
| 5. 健康情報 | 11. 利用者参加型企画（プレゼント企画等） |
| 6. ごみ情報 | 12. その他
() |

アフターコロナの重点的施策について

問 16 アフターコロナに向けて、どのような分野に力をいれていくべきだと思いますか。（○は3つまで）

- | | | |
|--------------|--------------|---------------------------------|
| 1. 子ども子育て支援 | 13. 地域ブランド振興 | 25. 浸水対策 |
| 2. 未就学児支援 | 14. 雇用・勤労者福祉 | 26. 自然・生活環境保全 |
| 3. 学校教育 | 15. 市民活動推進 | 27. 資源循環型社会 |
| 4. 健康づくり | 16. 中山間地域振興 | 28. 地域公共交通 |
| 5. 地域医療 | 17. 社会教育 | 29. 都市空間・住環境整備 |
| 6. 地域福祉・生活支援 | 18. 文化 | 30. 道路整備 |
| 7. 高齢者福祉 | 19. スポーツ | 31. 上下水道整備 |
| 8. 障がい福祉 | 20. 人権・多様性社会 | 32. 行政サービスの充実 |
| 9. 農林水産業 | 21. 交通安全 | 33. DX（デジタルトランス
フォーメーション）の推進 |
| 10. 商工業 | 22. 防犯・消費者保護 | 34. その他（ ） |
| 11. 企業誘致 | 23. 防災・危機管理 | 35. わからない |
| 12. 観光 | 24. 消防力 | 36. 特にない |

若者流出防止対策・大学誘致について

松阪市を含めた南三重地域においては、人口減少が深刻な問題となっておりますが、とりわけ高校卒業後に進学を希望する生徒の約4分の3が県外の大学等に進学している実態があります。今、三重県では県立大学設置の是非の検討が始まっています。地方から都市部への若者の流出対策として、南三重地域へ県立大学を誘致することについて、あなたの考えをおうかがいします。

問 17 南三重地域へ県立大学を誘致することについてどう思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 良いことだと思う | 3. どちらとも言えない |
| 2. 良くないと思う | |

問 18 問 17 でそう思われた理由は何ですか。(ご自由にご記入ください。)

--

電子申請・届出の利用について

問 19 市役所へ来庁することなくパソコンやスマートフォンから各種申請・届出等の行政手続きができる「電子申請」を利用したいですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない |
|----------|------------|

問 20 問 19 で「1. 利用したい」と答えた方におうかがいします。

どのような行政手続きで電子申請を利用したいですか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 子育て関係(子どもの予防接種券の交付、保育支給認定の申請等) |
| 2. 介護関係(要介護・要支援認定の申請、障害者控除認定申請等) |
| 3. 被災者支援関係(罹災証明書の発行申請等) |
| 4. 税務証明各種申請等 |
| 5. 図書館の利用(蔵書検索、本のリクエスト・予約等) |
| 6. 文化・スポーツ施設等の利用(空き状況の確認や予約等) |
| 7. 研修・講習・各種イベント等の申込 |
| 8. その他() |

公共施設のコミュニティセンター化について

人口減少や超高齢社会の到来により、福祉や介護、健康づくりから防災対策など、地域課題も多様化しており、地域と行政の協働は必要不可欠であると考えています。

また、昨年、様々な分野の有識者で組織する「松阪市超高齢社会対策検討委員会」から、これからの地域づくりについて「地域と行政がそれぞれの役割を果たすことで役割相乗社会とし、住んで良かった、住んでいることに誇りを持てるまちを目指す。」を柱の一つとし、「更なる人口減少は、必ずやって来る未来なので、今から十分考え準備しておけば必ず乗り越えられる」と提言されました。

現在、地域における様々な地域課題を解決する拠点施設として、また地区市民センターや公民館などの公共施設を地域が使いやすい施設とするため、地域が主体となって施設を運営していく「コミュニティセンター化」について協議を進めています。

問 21 「コミュニティセンター化」について、このような拠点施設が地域に必要だと思いますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 必要だと思う | 2. 必要でないと思う | 3. わからない |
|-----------|-------------|----------|

問 22 コミュニティセンターにはどのような機能があればよいと思いますか。あるいはどのような活動の拠点であればよいと思いますか。(○は3つまで)

- | | | |
|----------|-----------------------|-----------|
| 1. 地域づくり | 7. 地域振興 | 12. その他 |
| 2. 地域の交流 | 8. 防犯の拠点(子どもや高齢者の見守り) | () |
| 3. 子育て支援 | 9. 防災の拠点(災害対応も含む) | 13. わからない |
| 4. 健康づくり | 10. 地域公共交通の拠点 | 14. 特にない |
| 5. 介護予防 | 11. 生涯学習の拠点(学びの場所) | |
| 6. 生活相談 | | |

人権尊重・男女の地位の平等について

問 23 松阪市は、人権が尊重されている社会になっていると感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 感じる | 3. どちらかといえば感じない |
| 2. どちらかといえば感じる | 4. 感じない |

問 24 家庭生活において、男女の地位が平等になっていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 男性のほうが優遇されている | 4. どちらかといえば女性のほうが優遇されている |
| 2. どちらかといえば男性のほうが優遇されている | 5. 女性のほうが優遇されている |
| 3. 平等である | 6. どちらともいえない |

松阪市人権施策基本方針（第二次改訂）の改訂について

松阪市では人権施策の推進にあたって 2014 年に松阪市人権施策基本方針（第二次改訂）を策定しています。

しかし基本方針策定後において、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法（障害者差別解消法）」や「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）」、「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」が施行されるとともに、性の多様性を認める社会などの課題への対応・変化や、新型コロナウイルス感染症による生活不安などによる SNS 上における誹謗中傷など、私たちを取り巻く社会環境は大きく変わってきています。

問 25 松阪市において基本方針の改訂を行う必要があると思いますか。（○は 1 つだけ）

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 必要があると思う | 3. 特に必要があるとは思わない |
| 2. もう少し待つ方がよい | 4. わからない |

パートナーシップ宣誓制度について

令和 3 年 9 月から三重県において、性的マイノリティのカップルを婚姻相当と認める「パートナーシップ宣誓制度」がスタートします。

問 26 松阪市においても「パートナーシップ宣誓制度」のような独自の施策を導入する必要があると思いますか。（○は 1 つだけ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 必要があると思う | 3. 特に必要があるとは思わない |
| 2. もう少し待つ方がよいと思う | 4. わからない |

障がい福祉の推進について

問 27 障がいのある人に対する人々の理解は進んでいると思いますか。（○は 1 つだけ）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. かなり進んでいる | 4. まったく進んでいない |
| 2. ある程度進んでいる | 5. わからない |
| 3. あまり進んでいない | |

問 28 障がいのある人が自立した生活ができるよう支援する福祉サービスは充実していると思いますか。（○は 1 つだけ）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. かなり充実している | 4. まったく充実していない |
| 2. ある程度充実している | 5. わからない |
| 3. あまり充実していない | |

問 29 障がいの有無にかかわらず、安心して生活・行動できるようにするための日常生活の中におけるバリアフリー化などの整備は進んでいると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. かなり進んでいる | 4. まったく進んでいない |
| 2. ある程度進んでいる | 5. わからない |
| 3. あまり進んでいない | |

松阪市版エンディングノート「もめんノート」の活用推進にむけて

令和2年9月から、松阪市版エンディングノート「もめんノート」を配布しています。目的は、将来にむけての医療や介護の希望、財産の処分のことなどを家族等に伝えられる「終活」のツールとして活用していただくためのものです。

※市役所高齢者支援課等で「もめんノート」を配布しています。ぜひご利用ください。

問 30 「もめんノート」を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 31 終末期の医療や財産の処分について家族と話し合っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 話している | 3. 話していない |
| 2. 話そうと思っている | 4. 家族がいらない |

問 32～問 34 については、問 30 で「1. 知っている」と答えた方におうかがいします。

問 32 「もめんノート」を何で知りましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 広報まつさか | 5. 公的機関に設置しているチラシ |
| 2. 松阪市ホームページ | 6. 地域包括支援センターの講座 |
| 3. 新聞 | 7. 老人会、住民自治協会等地域の団体 |
| 4. 松阪ナビ | 8. その他 () |

問 33 「もめんノート」を書き始めていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 34 「もめんノート」について気がついたことを教えてください。(ご自由にご記入ください。)

がん検診の受診について

問 37 この 1 年間に下記のがん検診を受診しましたか。①～⑤についてそれぞれご回答ください
(○は 1 つだけ)。また受けていない方はその理由を選んでください (○はいくつでも)。

※①～③は 40 歳以上全員、④は 40 歳以上女性、⑤は 20 歳以上女性 の方がお答えください

検診の種類	受けた	受けていない	受けていない理由を選んでください (○はいくつでも)
①胃がん検診	1	2	1. 健康だと思うから 2. 忙しいから 3. 治療中の病気があるから 4. 知らなかった・受診方法がわからない 5. 病気がみつかる怖いから 6. 経済的に負担になるから 7. 面倒だから 8. その他()
②肺がん検診	1	2	→ 受 け て い な い 方
③大腸がん検診 (便潜血検査)	1	2	
④乳がん検診	1	2	
⑤子宮頸がん検診	1	2	

問 38 問 37 の①～⑤で、1 つでも「1. 受けた」と答えた方におうかがいします。

がん検診をどのような機会に受けましたか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 職場におけるがん検診 (定期検診・補助を受けての人間ドック等)
2. 市が実施するがん検診
3. 個人的に受診したがん検診 (全額自費で受けた人間ドック等)
4. その他 () |
|---|

移動手段について

問 39 運転免許証は保有していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 保有している | 2. 保有していない |
|-----------|------------|

問 40 問 39 で運転免許証を「1. 保有している」と答えた方におうかがいします。
車の運転について不安などはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 問題なく運転できる | 2. 運転に不安があるが車なしでは生活できない |
| 3. 運転に不安があり免許返納したい | 4. 運転できない |

問 41 外出する目的別での移動手段についておうかがいします。

(1) 通勤、通学の場合の移動手段 (○は3つまで)

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 徒歩 | 7. 路線バス |
| 2. 自転車 | 8. コミュニティバス |
| 3. 自動二輪・原付 | 9. 鉄道 |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 10. その他 () |
| 5. 自動車 (家族や知人等による送迎) | 11. 該当しない |
| 6. タクシー | |

(2) 通院・治療の場合の移動手段 (○は3つまで)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 徒歩 | 7. 路線バス |
| 2. 自転車 | 8. コミュニティバス |
| 3. 自動二輪・原付 | 9. 鉄道 |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 10. シニアカー (電動カート) など |
| 5. 自動車 (家族や知人等による送迎) | 11. その他 () |
| 6. タクシー | 12. 該当しない |

(3) 買い物の場合の移動手段 (○は3つまで)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 徒歩 | 7. 路線バス |
| 2. 自転車 | 8. コミュニティバス |
| 3. 自動二輪・原付 | 9. 鉄道 |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 10. シニアカー (電動カート) など |
| 5. 自動車 (家族や知人等による送迎) | 11. その他 () |
| 6. タクシー | 12. 該当しない |

(4) 娯楽・交友の場合の移動手段 (○は3つまで)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 徒歩 | 7. 路線バス |
| 2. 自転車 | 8. コミュニティバス |
| 3. 自動二輪・原付 | 9. 鉄道 |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 10. シニアカー (電動カート) など |
| 5. 自動車 (家族や知人等による送迎) | 11. その他 () |
| 6. タクシー | 12. 該当しない |

問 42 外出する目的別での外出頻度についておうかがいします。

(1) 通勤、通学の場合の外出頻度 (○は1つだけ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 毎日 | 5. 2週間に1日程度 |
| 2. 週4～5日 | 6. 1か月に1日程度 |
| 3. 週2～3日 | 7. その他 () |
| 4. 週1日 | 8. 該当しない |

(2) 通院・治療の場合の外出頻度 (○は1つだけ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 毎日 | 5. 2週間に1日程度 |
| 2. 週4～5日 | 6. 1か月に1日程度 |
| 3. 週2～3日 | 7. その他 () |
| 4. 週1日 | 8. 該当しない |

(3) 買い物の場合の外出頻度 (○は1つだけ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 毎日 | 5. 2週間に1日程度 |
| 2. 週4～5日 | 6. 1か月に1日程度 |
| 3. 週2～3日 | 7. その他 () |
| 4. 週1日 | 8. 該当しない |

(4) 娯楽・交友の場合の外出頻度 (○は1つだけ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 毎日 | 5. 2週間に1日程度 |
| 2. 週4～5日 | 6. 1か月に1日程度 |
| 3. 週2～3日 | 7. その他 () |
| 4. 週1日 | 8. 該当しない |

問 43 自宅から最寄りのバス停または鉄道駅までの距離はどれくらいですか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 100m以内 (徒歩 2分程度未満) | 4. 500m～1km (徒歩 7～15分程度) |
| 2. 100m～300m (徒歩 2～4分程度) | 5. 1～2km (徒歩 15～30分程度) |
| 3. 300m～500m (徒歩 4～7分程度) | 6. 2km以上 (徒歩 30分程度超) |

問 44 10年後、あなたが頼られると思われる移動手段は何だと思えますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 徒歩 | 7. 路線バス |
| 2. 自転車 | 8. コミュニティバス |
| 3. 自動二輪・原付 | 9. 鉄道 |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 10. シニアカー (電動カート) など |
| 5. 自動車 (家族や知人等による送迎) | 11. その他 () |
| 6. タクシー | 12. 該当しない |

企業誘致の推進について

問 45 若者の雇用の場の確保、企業立地による税収の確保に向けて、企業の誘致・投資促進が重要ですが、現在市内の工業団地はほぼ完売しており、新たな産業用地の開発が必要となっています。今後の産業用地の開発について、あなたのお考えに近いものをお答えください。
(○は1つだけ)

1. 積極的に進めるべきである
2. 将来の景気動向を見極め、慎重に進めるべきである
3. 進めるべきでない
4. わからない(開発場所が示されないと判断できない)

観光施策について

問 46 あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。(○は1つだけ)

1. 観光地である
2. どちらかといえば観光地である
3. どちらかといえば観光地ではない
4. 観光地ではない
5. どちらでもない

問 47 あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。(○は3つまで)

1. 歴史・文化
2. まちなみ
3. グルメ・食事
4. 特産品・お土産
5. 自然
6. アクティビティ
7. アート
8. 宿泊施設
9. 温泉
10. アクセスのしやすさ
11. 周辺観光スポットの数
12. その他 ()

問 48 もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介(自慢)しますか。(○は2つまで)

1. 歴史、文化、まちなみ
(例：松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど)
2. グルメ(松阪牛)
3. グルメ(松阪牛以外)
4. 特産品、お土産 (例：松阪もめん、松阪茶など)
5. 自然、アクティビティ (例：櫛田川、香肌峡など)
6. 郷土の偉人 (例：蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など)
7. 特にない
8. その他 ()

問 49 旅行前に利用する情報源は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. テレビ | 10. 宿泊予約サイト |
| 2. ラジオ | 11. Instagram |
| 3. 雑誌 | 12. Facebook |
| 4. 旅行情報誌 | 13. Twitter |
| 5. チラシ・パンフレット | 14. Line |
| 6. 観光案内所 | 15. YouTube |
| 7. 市のWEBサイト | 16. 知人のクチコミ |
| 8. 県のWEBサイト | 17. その他 |
| 9. 観光施設等のWEBサイト | () |

問 50 旅行中に利用する情報源は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. テレビ | 10. 宿泊予約サイト |
| 2. ラジオ | 11. Instagram |
| 3. 雑誌 | 12. Facebook |
| 4. 旅行情報誌 | 13. Twitter |
| 5. チラシ・パンフレット | 14. Line |
| 6. 観光案内所 | 15. YouTube |
| 7. 市のWEBサイト | 16. 知人のクチコミ |
| 8. 県のWEBサイト | 17. その他 |
| 9. 観光施設等のWEBサイト | () |

松阪駅西地区複合施設について

松阪駅西地区複合施設について、これまでに実施したアンケート結果では、「交通との連携」、「テナントゾーン」、「滞在ゾーン」などの施設の整備・充実が求められていました。

市では令和3年度から令和4年度にかけ、施設の建設及び運営事業者を募集していくことを予定しています。つきましては施設の建設及び運営事業の実施方法について、あなたの考えをおうかがいします。

問 51 松阪駅西地区複合施設の建設にあたり、市が多額の税金・補助金等を投入するのではなく、民間事業者が主体となり、その資金やノウハウを広く活用し建設する方法を考えていますが、そのことについてどう思いますか。(○は1つだけ)

- | |
|----------------------------|
| 1. 民間事業者が主体となって行う方がよい |
| 2. 民間事業者が主体となり市と連携して行う方がよい |
| 3. 市が主体となり民間事業者と連携して行う方がよい |
| 4. 市が事業主体となって行う方がよい |

COPD（慢性閉塞性肺疾患）に係る認知度について

問 52 あなたは COPD（慢性閉塞性肺疾患[※]）という病気を知っていますか。（○は 1 つだけ）

- | | |
|------------------------|---------|
| 1. どんな病気が知っている | 3. 知らない |
| 2. 聞いたことがあるが、内容までは知らない | |

[※]COPD（慢性閉塞性肺疾患）………たばこの煙などの有害物質を吸い続けることで肺や気管支に慢性的な炎症を起こして、息切れや咳がひどくなり呼吸困難を招く進行性の病気。以前は、肺気腫や慢性気管支炎と呼ばれていました。

最後に

市政に対するご意見などございましたら、ご自由にご記入ください。



同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
9月3日（金）までに、郵便ポストに投函してください。
ご協力ありがとうございました。

松阪市 市民意識調査
結果報告書

令和3年12月

松阪市企画振興部経営企画課

〒515-8515 松阪市殿町1340番地1

TEL 0598-53-4319

FAX 0598-22-1377

E-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp